

# 子育て支援に関するアンケート 報告書

令和元年 9月  
猪名川町



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査目的 .....	1
2	実施概要 .....	1
3	報告書の見方 .....	2
<b>II</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>3</b>
<b>II - 1</b>	<b>就学前児童保護者</b> .....	<b>5</b>
1	居住地や家族の状況等について .....	3
2	子どもの育ちをめぐる環境について .....	7
3	保護者の就労状況について .....	18
4	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について .....	25
5	土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について ...	34
6	子どもの病気の際の対応について .....	39
7	地域の子育て支援事業の利用状況等について .....	47
8	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について ...	49
9	小学校就学後の放課後の過ごし方について .....	56
10	職場の両立支援制度について .....	60
11	猪名川町での子育てや子育て支援サービスについて .....	73
12	世帯の状況や経済状況について .....	79
13	猪名川町産業拠点地区での就労意向について .....	85
<b>II - 2</b>	<b>小学生児童保護者</b> .....	<b>87</b>
1	居住地や家族の状況等について .....	87
2	子どもの育ちをめぐる環境について .....	91
3	放課後の過ごし方について .....	99
4	子どもの病気の際の対応について .....	104
5	一時預かり等の利用について .....	110
6	保護者の就労状況について .....	113

7	職場の両立支援制度について .....	120
8	子どもの安全について .....	133
9	猪名川町での子育てや子育て支援サービスについて .....	138
10	世帯の状況や経済状況について .....	144
11	猪名川町産業拠点地区での就労意向について .....	150
<b>II-3 中学生生徒保護者 .....</b>		<b>153</b>
1	居住地や家族の状況等について .....	153
2	子どもの育ちをめぐる環境について .....	156
3	保護者の就労状況について .....	162
4	子どもの安全について .....	166
5	猪名川町での子育てや子育て支援サービスについて .....	171
6	世帯の状況や経済状況について .....	176
7	猪名川町産業拠点地区での就労意向について .....	182
<b>II-4 小学生児童・中学生生徒 .....</b>		<b>185</b>
1	児童・生徒自身について .....	185
2	日常生活の様子やふだん思っていることについて .....	188
3	携帯電話、タブレット端末、パソコンの利用について .....	207
4	体験活動や地域活動について .....	211
5	将来のことについて .....	215

# I 調査の概要

---



## 1 調査目的

本調査は、平成27年3月に策定した「猪名川町子ども・子育て支援事業計画」の見直しにあたり、町民が必要とする子ども・子育て支援などに関する施策に対する意向を把握するとともに、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

## 2 実施概要

### (1) 調査対象

猪名川町内に居住する0歳から中学生までの子どもがいる世帯 2,464世帯  
 (上記のうち、小学5年生から6年生の児童及び中学生生徒 903人)

### (2) 調査方法

郵送配布・郵送回収（住民基本台帳による無作為抽出法）

### (3) 調査期間

令和元年6月1日（土）～令和元年6月20日（木）

### (4) 回収結果

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	943件	660件	70.0%
小学生児童保護者	960件	615件	64.0%
中学生生徒保護者	561件	296件	52.8%
小学生児童・中学生生徒	903件	468件	51.8%
小学生児童(5・6年生)	342件	199件	58.2%
中学生生徒	561件	269件	48.0%

### 3 報告書の見方

- (1) 図表中の「n (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表している。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効標本数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。そのため、単一回答であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (4) 図表中に以下の表示がある場合は、複数回答を依頼した質問を示している。
- ・ MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
  - ・ 3 LA% (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
- ※特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問である。



## II 調查結果

---



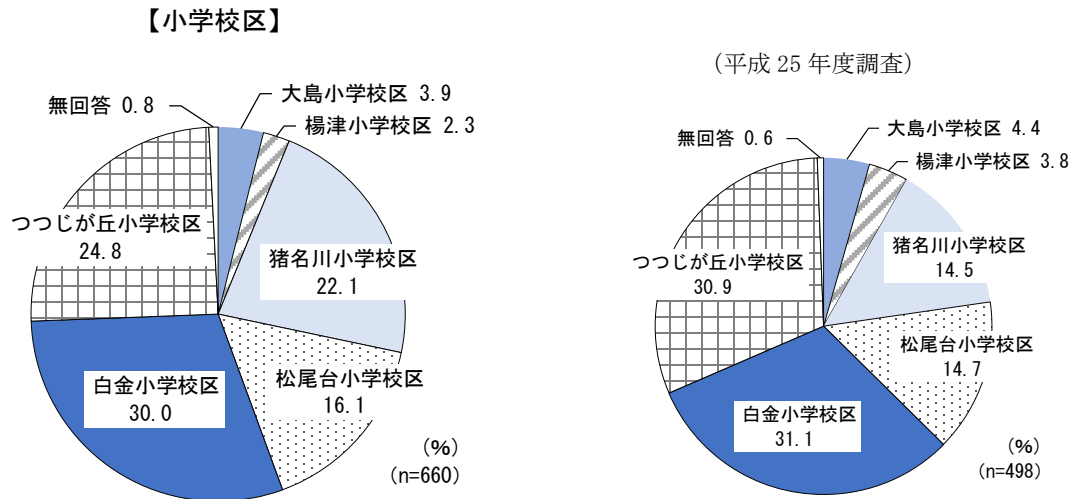
## **Ⅱ - 1 就学前児童保護者**



## 1 居住地域や家族の状況等について

### (1) 小学校区

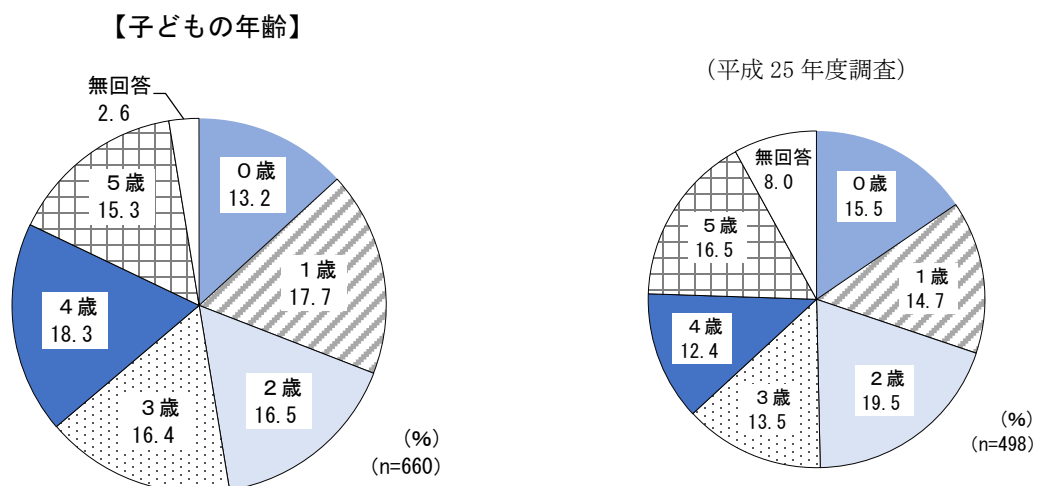
問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(ひとつに〇)



小学校区は、「白金小学校区」が 30.0%と最も高く、次いで「つつじが丘小学校区」が 24.8%、「猪名川小学校区」が 22.1%となっている。

### (2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

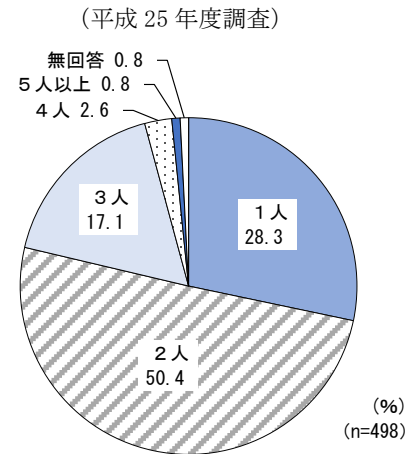
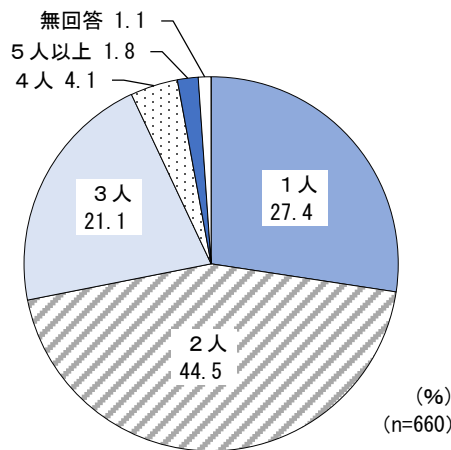


子どもの年齢は、「4歳」が 18.3%と最も高く、次いで「1歳」が 17.7%、「2歳」が 16.5%となっている。

(3) 子どもの人数

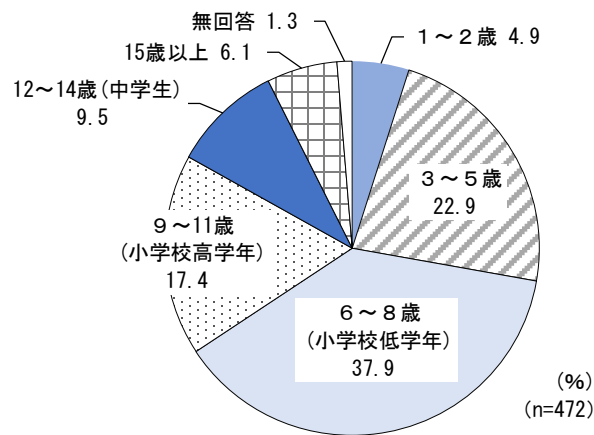
問3 記入者の方の家庭にはお子さんは何人いらっしゃいますか。  
お2人以上の子どもがいらっしゃる場合は、第1子の方の生年月をご記入ください。

【子どもの人数】



(子どもが2人以上いる場合)

【第1子の年齢】



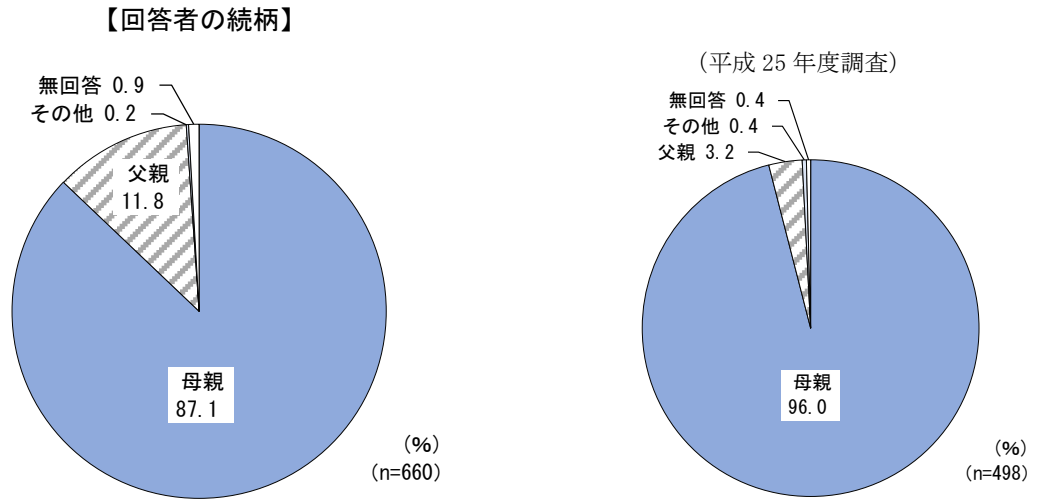
子どもの人数は、「2人」が44.5%と最も高く、次いで「1人」が27.4%、「3人」が21.1%となっている。

また、子どもが2人以上いる世帯の第1子の年齢としては、「6～8歳(小学校低学年)」が37.9%と最も高く、次いで「3～5歳」が22.9%となっている。

(4) アンケート回答者

①回答者の続柄

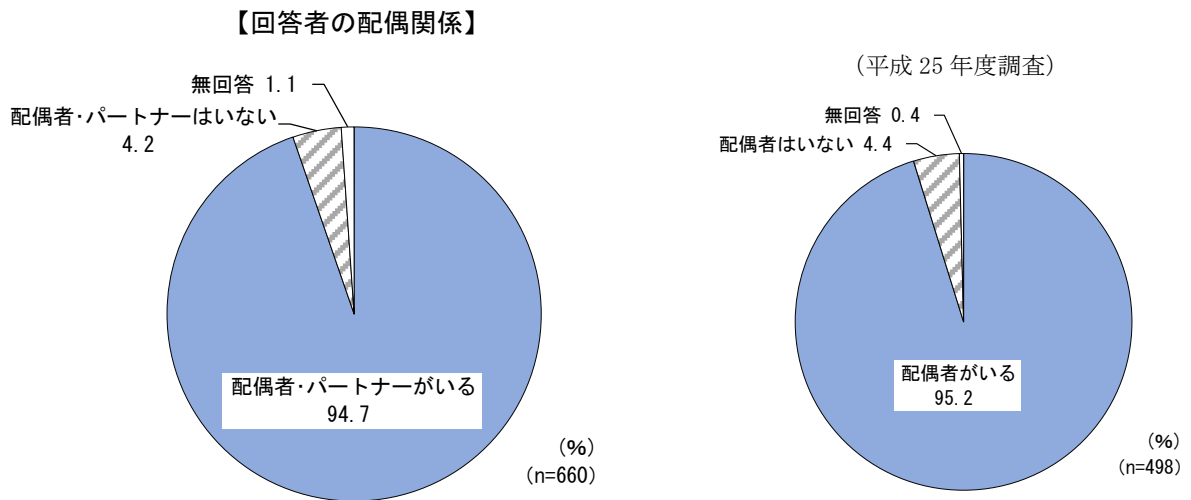
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。  
(ひとつに〇)



回答者の子どもからみた関係としては、「母親」が8割台(87.1%)を占めており、「父親」が11.8%となっている。

②回答者の配偶関係

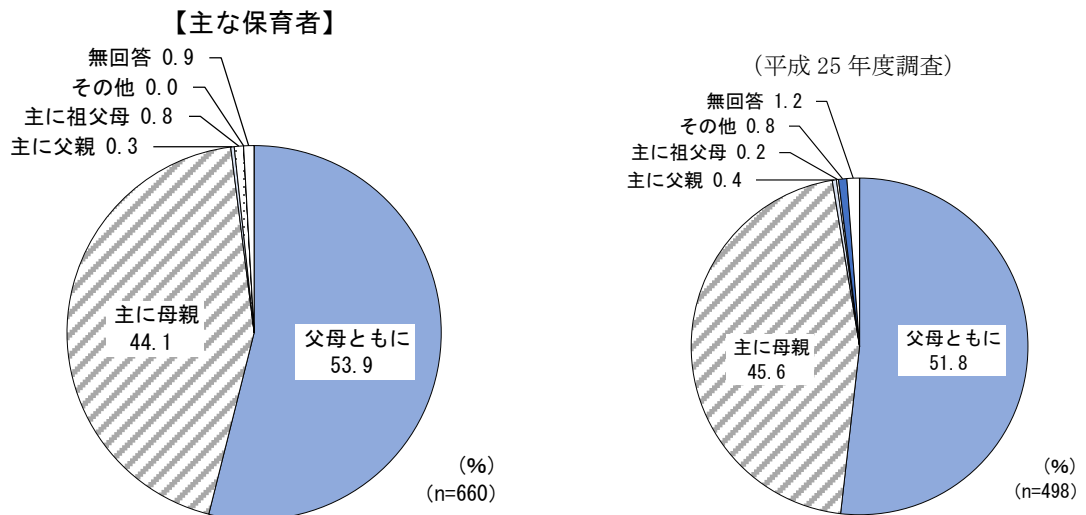
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(ひとつに○)



回答者の配偶関係としては、「配偶者・パートナーがいる」が9割台(94.7%)に対し、「配偶者・パートナーはいない」は4.2%となっている。

(5) 主な保育者

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(ひとつに○)



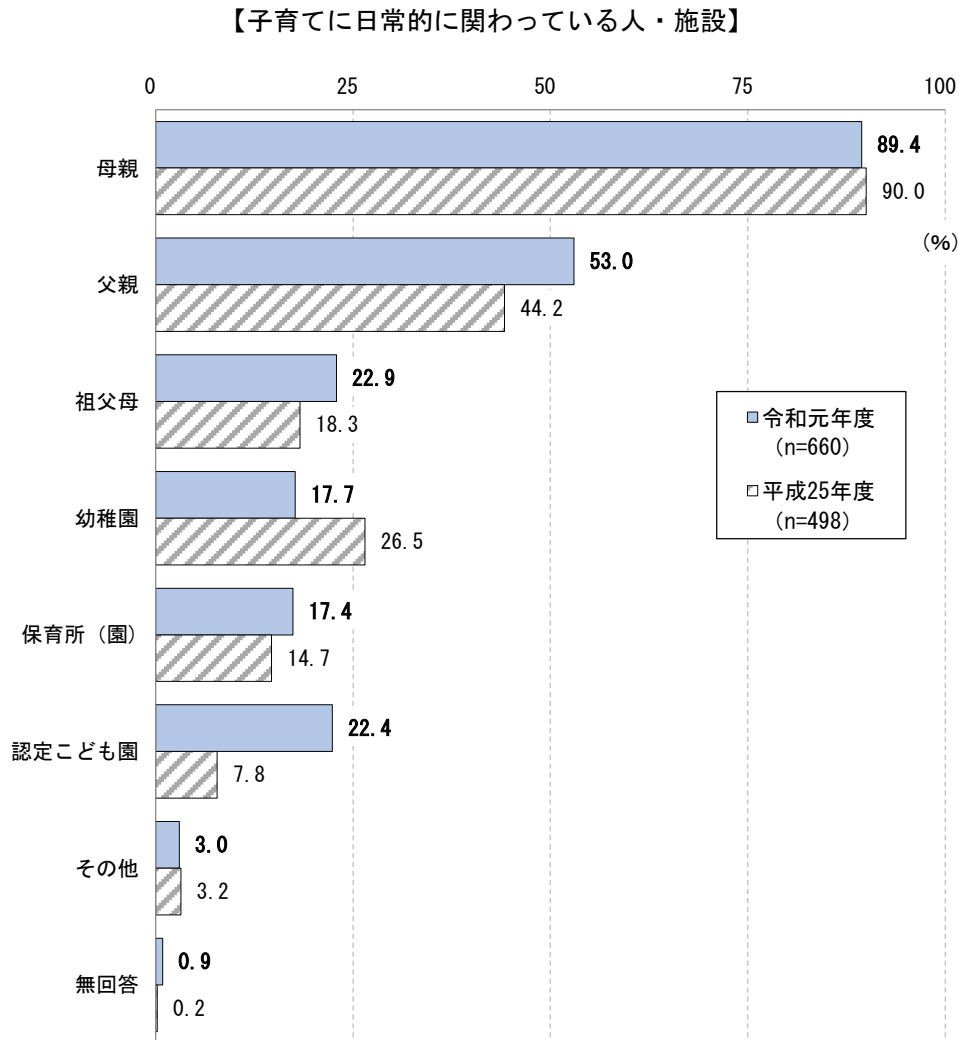
子育てを主に行っている人としては、「父母ともに」が53.9%と最も高く、次いで「主に母親」が44.1%となっている。



## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

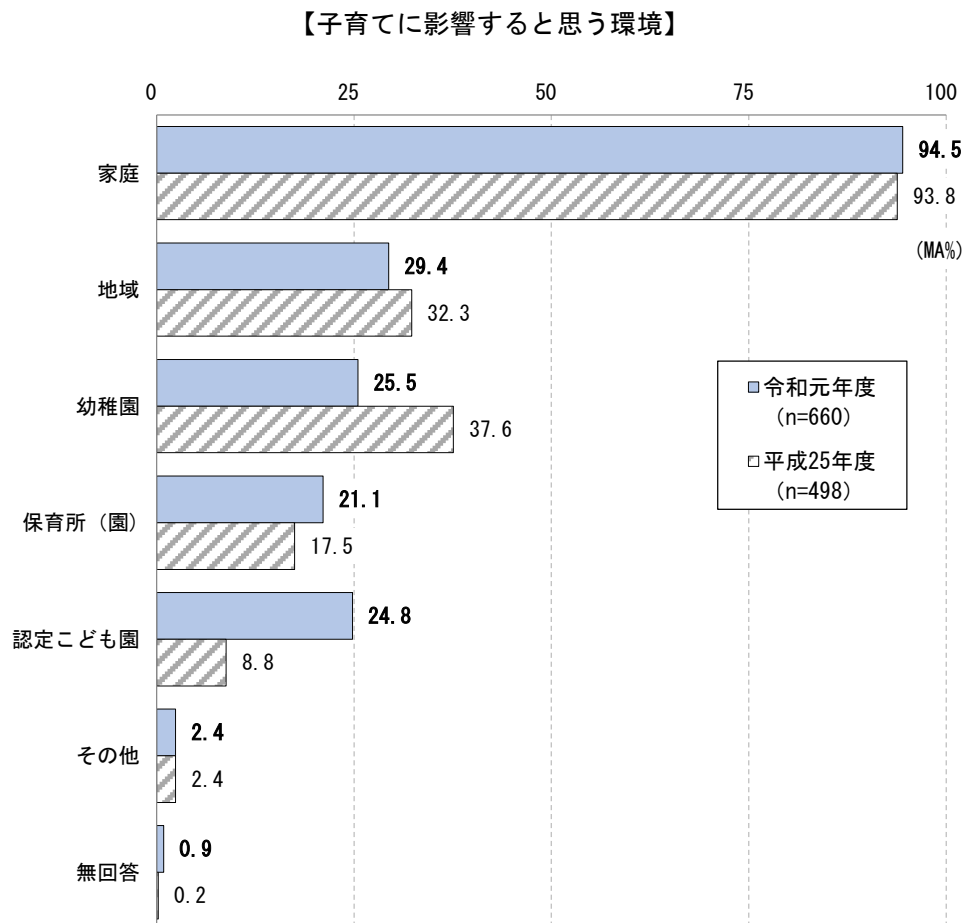
問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるすべてに○）



子育てに日常的に関わっている人・施設としては、「母親」が約9割（89.4%）と最も高く、次いで「父親」が53.0%、「祖父母」が22.9%、「認定こども園」が22.4%となっている。

(2) 子育てに影響すると思う環境

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも大きく影響すると思われる環境はどれですか。  
（あてはまるすべてに○）



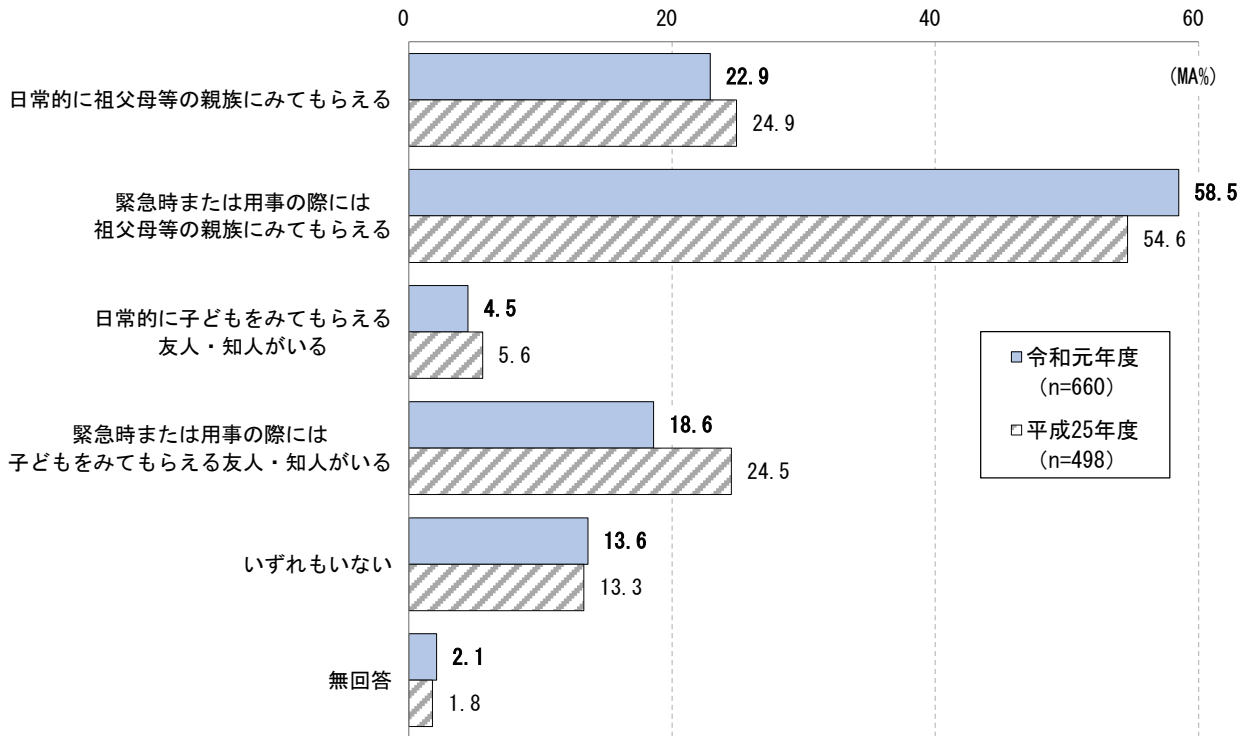
子育てに大きく影響すると思う環境としては、「家庭」が9割台（94.5%）と最も高く、次いで「地域」が29.4%、「幼稚園」が25.5%、「認定こども園」が24.8%となっている。

(3) 親族・知人に子どもをみてもっている状況

①子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるすべてに○)

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無】



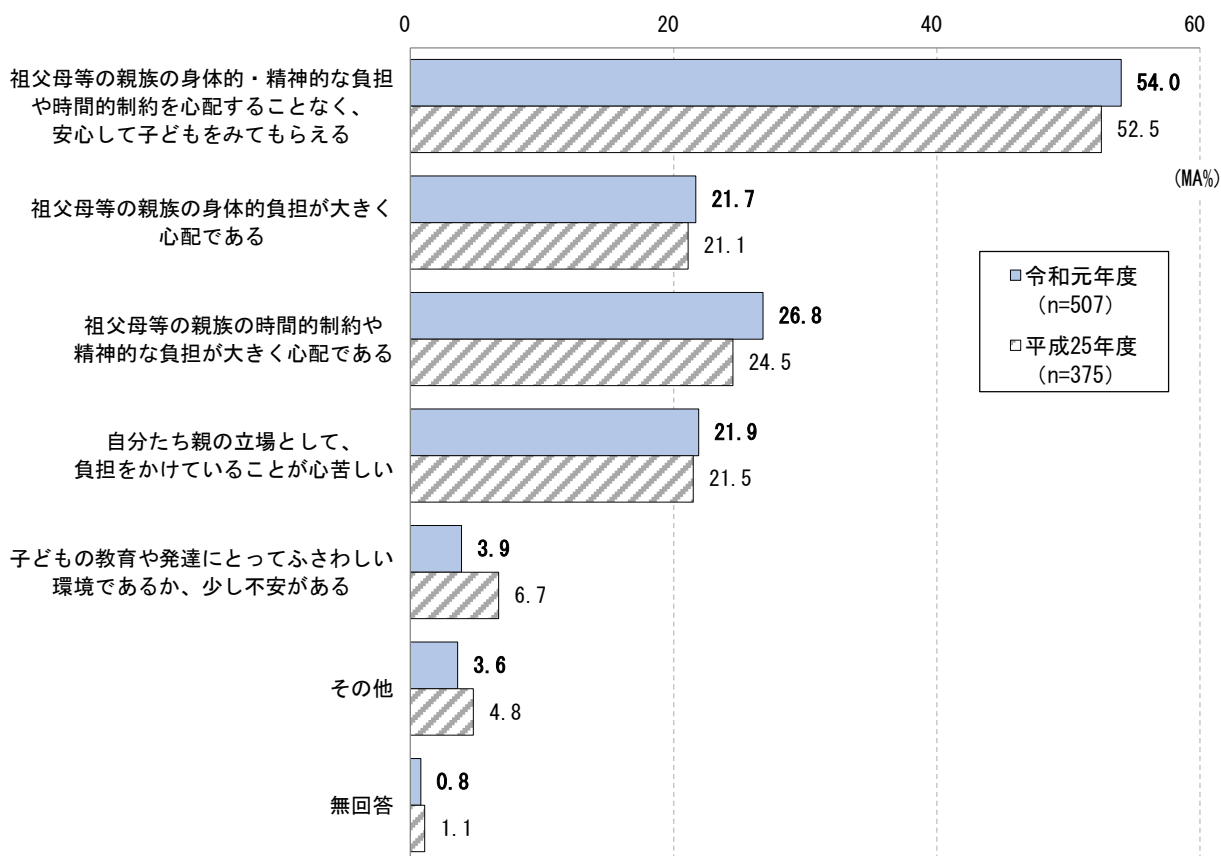
子どもをみてもらえる親族・知人の有無としては、「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が6割弱（58.5%）と最も高く、「緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が18.6%、「いずれもない」が13.6%となっている。

②親族に子どもをみてもらっている状況

問9で“祖父母等の親族にみてもらっている”のいずれかに○をつけた方にかがいます。

問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるすべてに○)

【親族に子どもをみてもらっている状況】



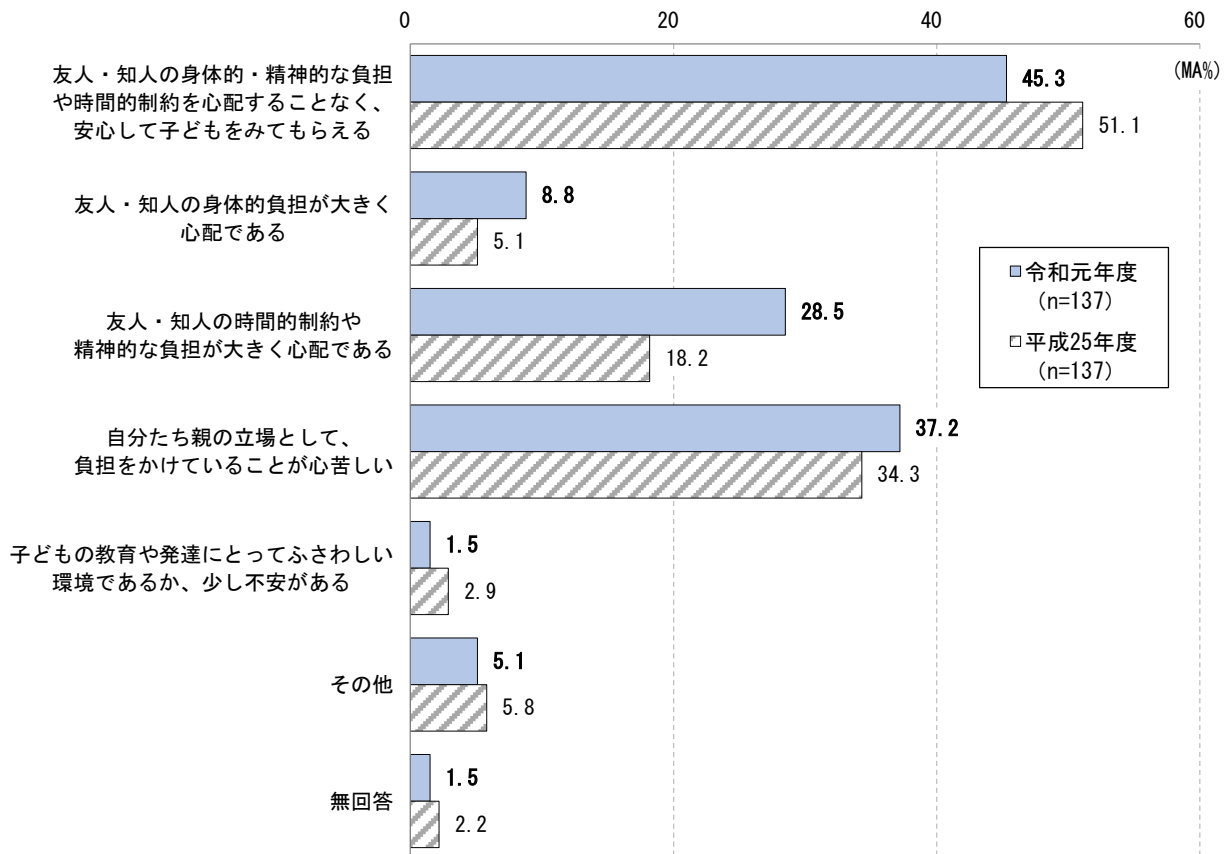
祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況としては、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が5割台（54.0%）と最も高くなっている。

③友人・知人に子どもをみてもらっている状況

問9で“友人・知人にみてもらっている”のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまるすべてに○)

【友人・知人に子どもをみてもらっている状況】



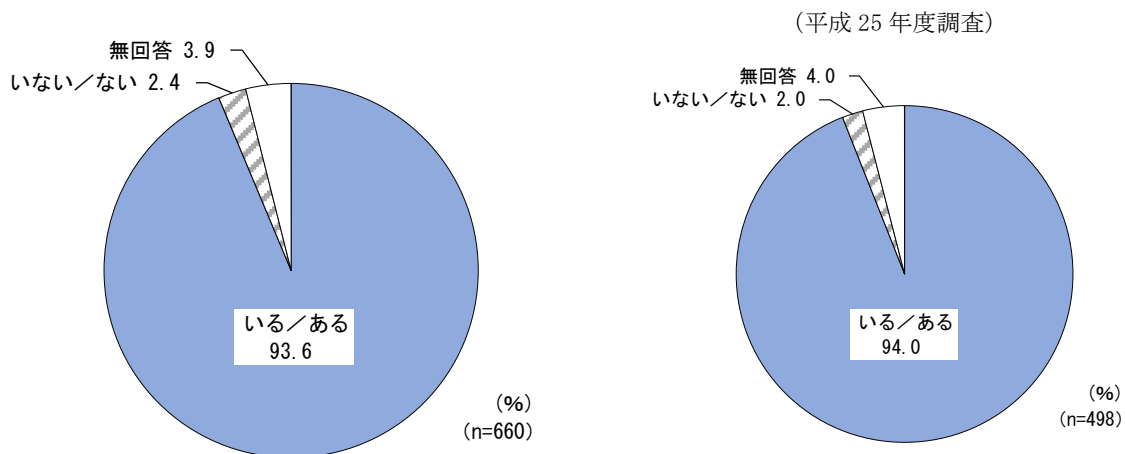
友人・知人に子どもをみてもらっている状況としては、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が4割台(45.3%)と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が37.2%となっている。

(4) 子育てに関する相談

①子育てに関する相談先の有無

問 10 おさんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（ひとつに○）

【子育てに関する相談先の有無】

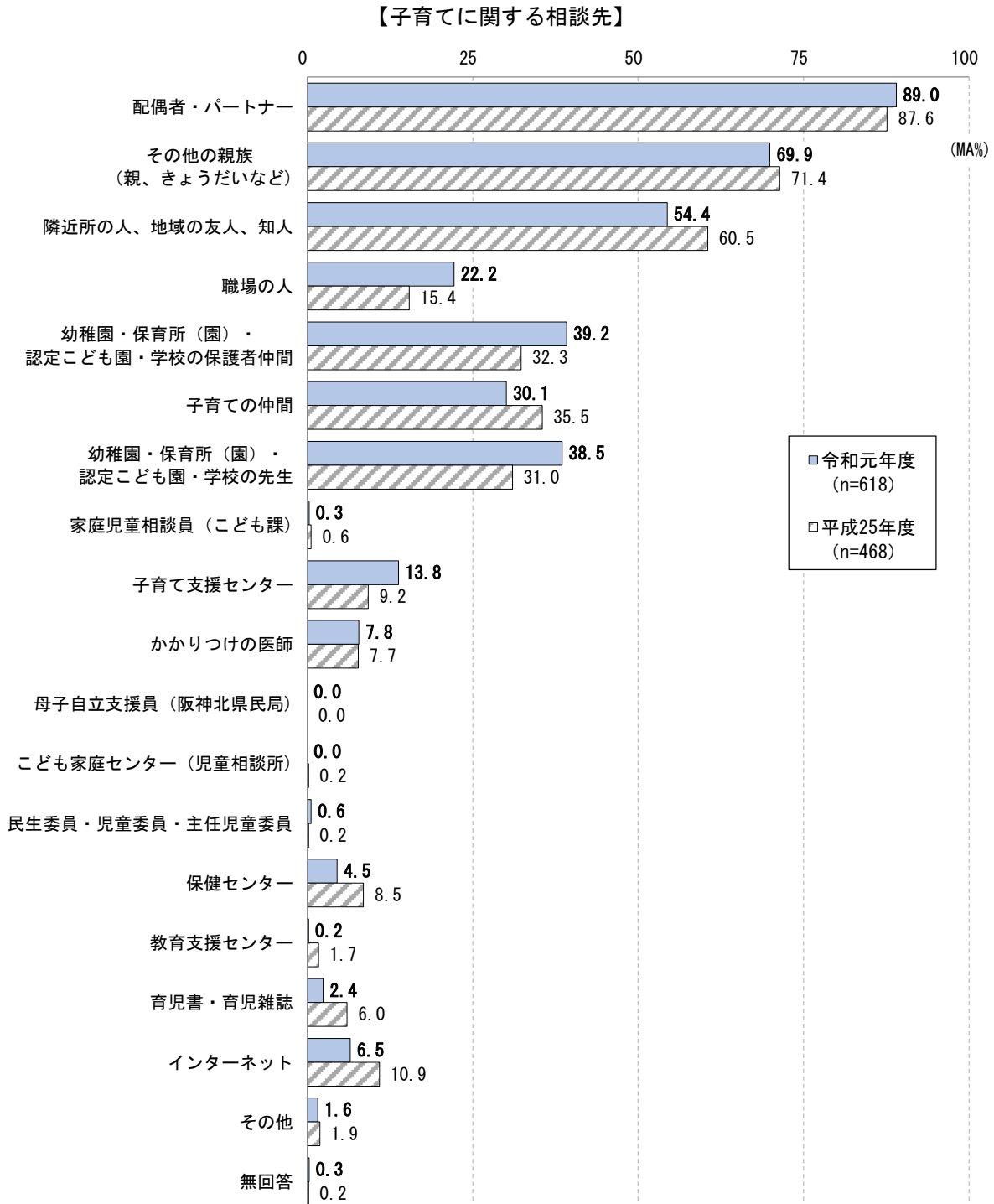


子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）が「いる／ある」は9割台（93.6%）を占めている。

②子育てに関する相談先

問 10 で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

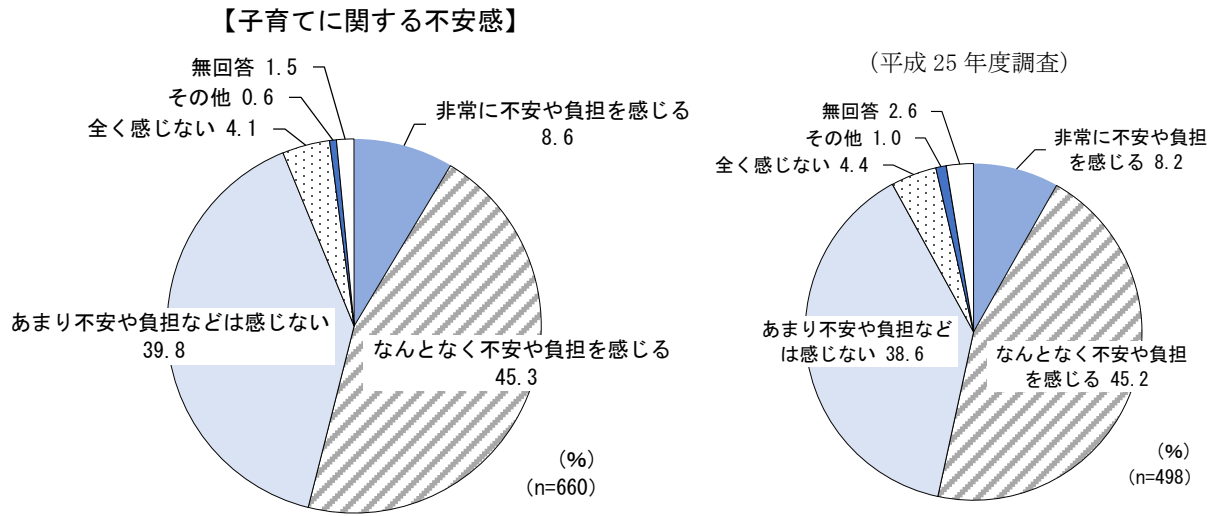
問 10-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。  
（あてはまるすべてに○）



子育てをする上で、気軽に相談できる人(場所)がいる(ある)と回答した人の相談先としては、「配偶者・パートナー」が約9割(89.0%)と最も高く、次いで「その他の親族(親、きょうだいなど)」が69.9%、「隣近所の人、地域の友人、知人」が54.4%、「幼稚園・保育所(園)・認定こども園・学校の保護者仲間」が39.2%、「幼稚園・保育所(園)・認定こども園・学校の先生」が38.5%となっている。

(5) 子育てに関する不安感

問 12 子育てに関して不安感や負担等はお感じですか。(ひとつに○)

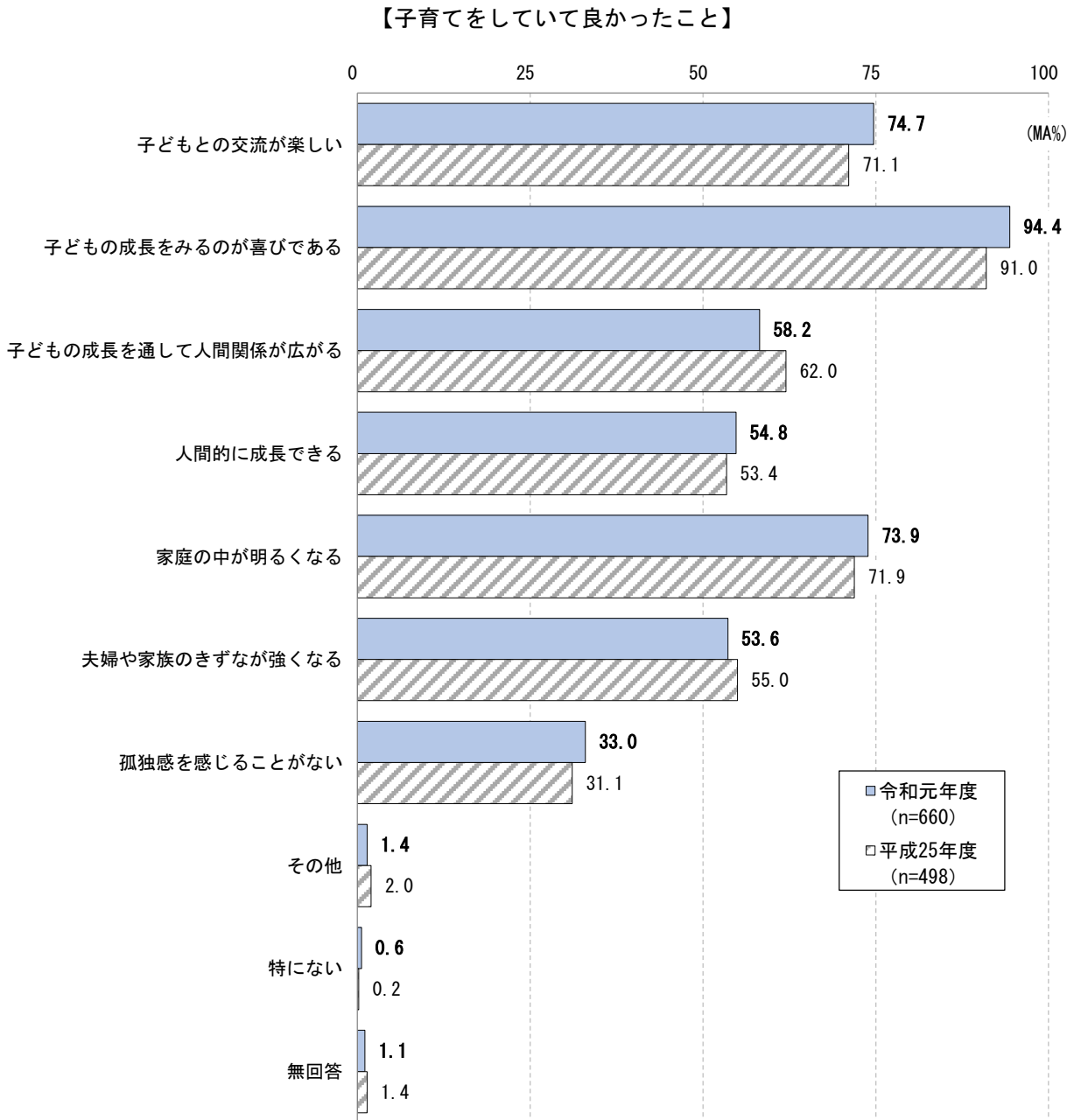


子育てに関しての不安や負担について、「なんとなく不安や負担を感じる」が45.3%と最も高く、「非常に不安や負担を感じる」(8.6%)を合わせると、不安や負担を感じている人が5割台(53.9%)を占めている。



(6) 子育てをしていて良かったこと

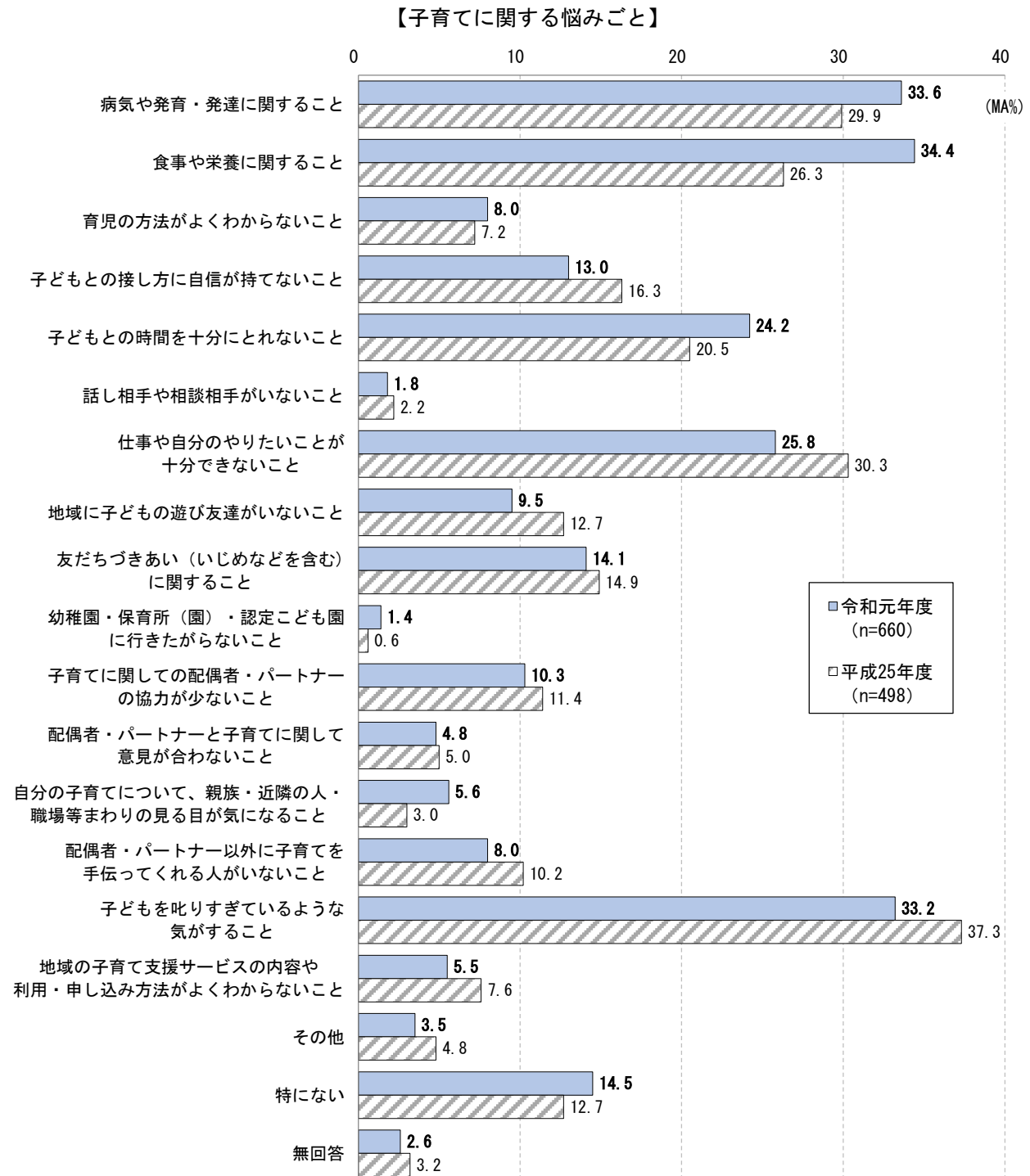
問 13 子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはありますか。(あてはまるすべてに○)



子育てをしていて良かったことや喜びを感じたこととしては、「子どもの成長をみるのが喜びである」が94.4%と最も高く、次いで「子どもとの交流が楽しい」が74.7%、「家庭の中が明るくなる」が73.9%となっている。

(7) 子育てに関する悩みごと

問 14 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。  
(あてはまるすべてに○)

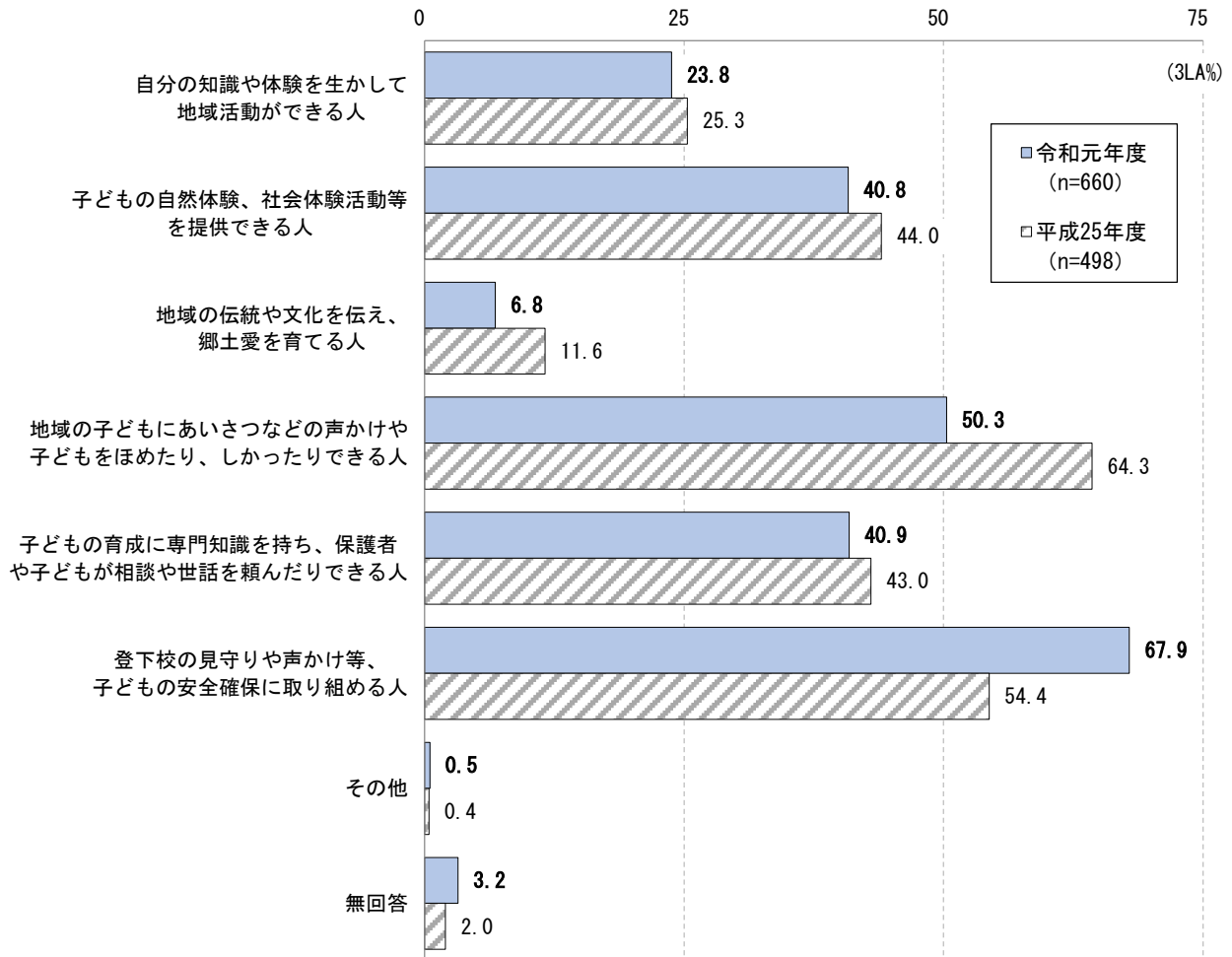


子育てに関して、日頃悩んでいることや気になることとしては、「食事や栄養に関すること」が34.4%、「病気や発育・発達に関すること」が33.6%、「子どもを叱りすぎているような気がする」が33.2%と、いずれも3割台と高くなっている。これに続くのが、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が25.8%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が24.2%となっている。

(8) 子どもの育成を支援するために地域に必要な人材

問 15 子どもの育成を支援するため、地域では特にどのような人が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【子どもの育成を支援するために地域に必要な人材】



子どもの育成を支援するために、地域で特に必要な人材としては、「登下校の見守りや声かけ等、子どもの安全確保に取り組める人」が67.9%と最も高く、次いで「地域の子どものあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる人」が50.3%となっている。

### 3 保護者の就労状況について

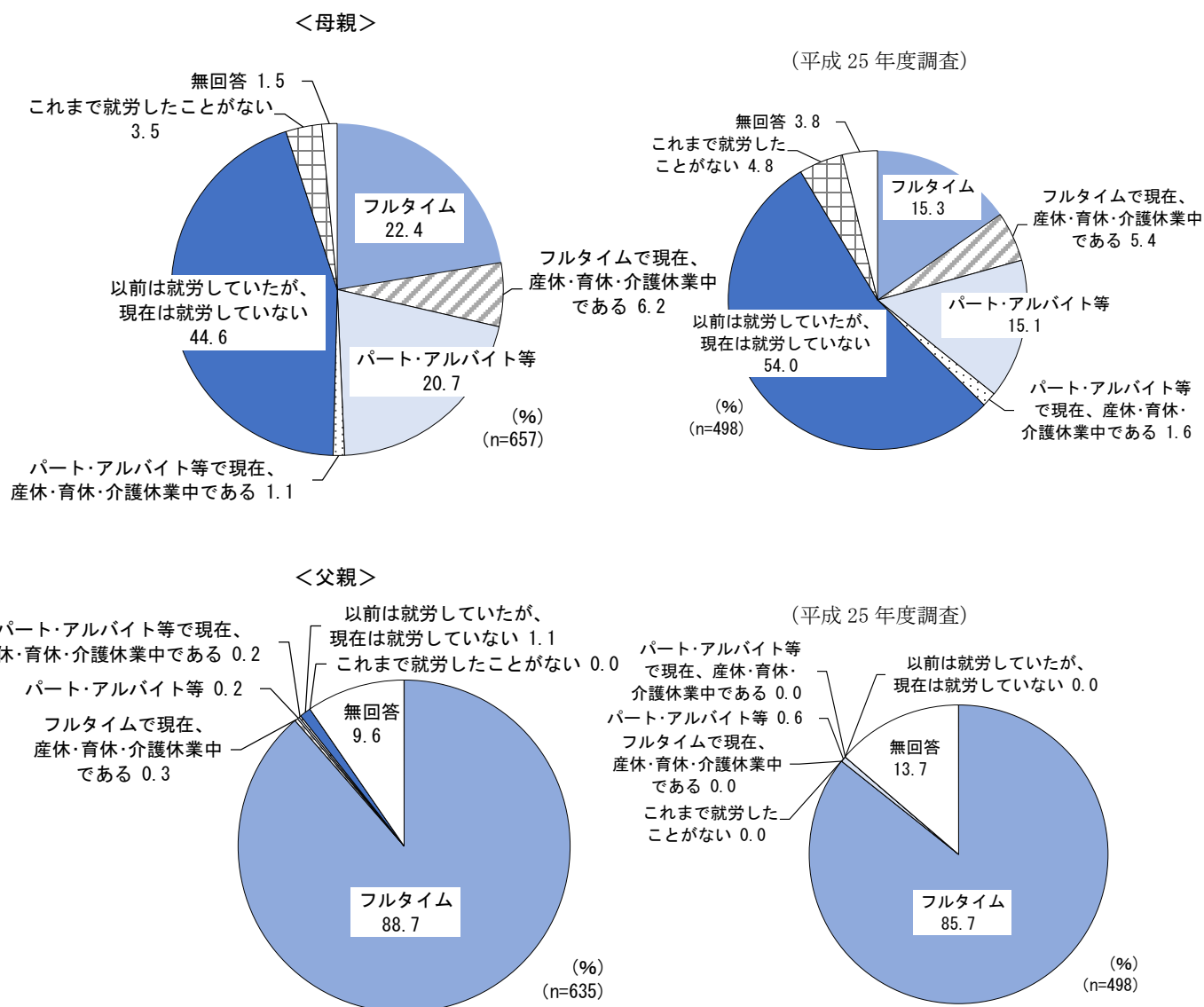
#### (1) 保護者の就労状況

##### ①就労形態

問 16 おさんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親、父親の両方にご回答ください。（父子家庭、母子家庭の場合はいずれかで構いません。父母ともにいない場合は未回答で構いません。）

“フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労”（就労している）のいずれかに○をつけた方は、週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」「家を出る時間と帰宅時間」をお答えください。

#### 【就労形態】



保護者の現在の就労形態として、フルタイム（育休中等含む）が母親で28.6%に対し、父親では89.0%を占めている。また、母親では、現在就労していない（就労したことがない）が48.1%となっている。

(現在、就労していると回答した人のみ)

② 1週当たりの就労日数

【1週当たりの就労日数】

										(%)	
	n (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答	平均 (日)	
母親	331	3.0	5.1	13.0	11.8	53.8	3.6	0.6	9.1	4.4	
父親	567	0.2	0.2	1.1	0.7	64.2	15.9	0.7	17.1	5.2	

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週当たりの就労日数としては、「5日」が母親で53.8%、父親で64.2%と、ともに最も高くなっている。

③ 1日当たりの就労時間

【1日当たりの就労時間】

												(%)	
	n (人)	4 時 間 未 満	4 ～ 5 時 間 未 満	5 ～ 6 時 間 未 満	6 ～ 7 時 間 未 満	7 ～ 8 時 間 未 満	8 ～ 9 時 間 未 満	9 ～ 1 0 時 間 未 満	1 0 ～ 1 1 時 間 未 満	1 1 ～ 1 2 時 間 未 満	1 2 時 間 以 上	無 回 答	平均 (時間)
母親	331	5.1	6.6	7.9	11.2	17.5	29.9	6.6	2.4	0.6	1.5	10.6	7.0
父親	567	0.2	0.0	0.0	0.4	3.2	28.4	13.2	15.3	4.1	13.8	21.5	9.8

1日当たりの就労時間としては、「8～9時間未満」が母親で29.9%、父親で28.4%と、ともに最も高くなっている。これに続くのが、母親では「7～8時間未満」が17.5%、「6～7時間未満」が11.2%、父親では「10～11時間未満」が15.3%、「12時間以上」が13.8%となっている。

④家を出る時間及び帰宅時間

【家を出る時間】

		（％）							平均（時）
	n（人）	6時より前	6時台	7時台	8時台	9時台	10時以降	無回答	
母親	331	0.6	5.7	34.1	36.9	6.9	3.9	11.8	7.9
父親	567	4.9	20.1	35.6	13.6	2.5	2.3	21.0	7.0

【帰宅時間】

		（％）										平均（時）
	n（人）	15時より前	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答	
母親	331	11.5	4.2	5.7	18.7	32.6	9.4	3.6	0.6	1.5	12.1	17.3
父親	567	0.4	0.0	0.5	2.6	10.1	14.6	19.0	14.6	16.4	21.7	20.6

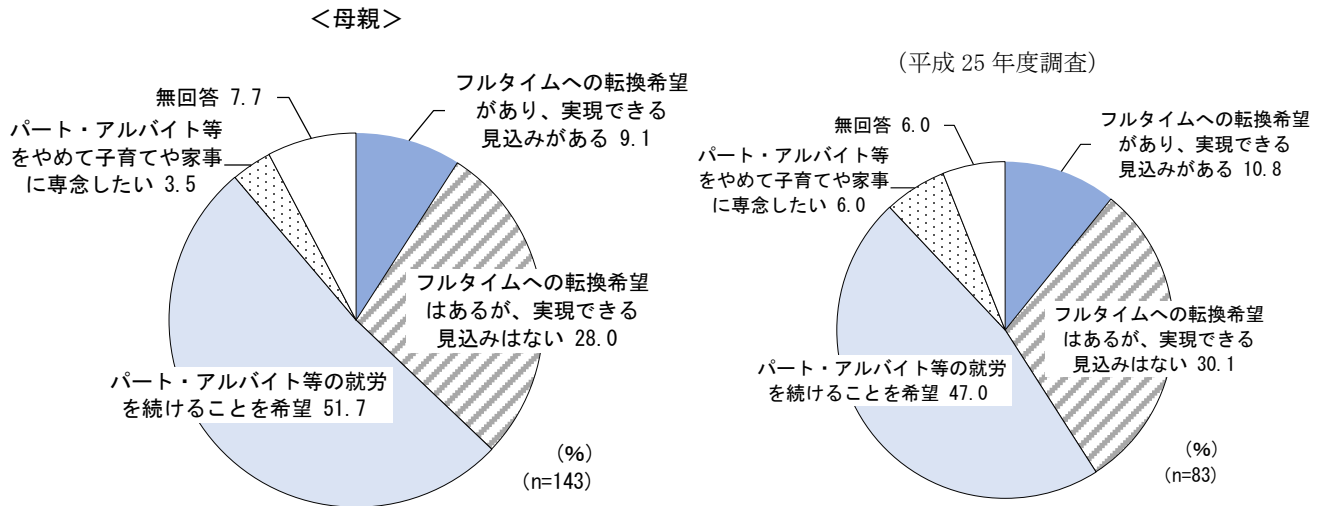
家を出る時間として、母親では「8時台」が36.9%、父親では「7時台」が35.6%と、それぞれ最も高くなっている。

帰宅時間として、母親では、「18時台」が32.6%と最も高く、次いで「17時台」が18.7%となっている。一方、父親では、「20時台」が19.0%と最も高く、次いで「22時以降」が16.4%となっている。

(2) フルタイムへの転換希望

問 16 の母親または父親で“パート・アルバイト等で就労”のいずれかに○をつけた方にうかがいます。  
 問 16-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(母親、父親それぞれひとつに○)

【フルタイムへの転換希望】



<父親>

(平成 25 年度調査)

母親						父親					
n (人)	見込みがあり、実現できる	フルタイムへの転換希望はない	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる	フルタイムへの転換希望はない	希望の就労を続けることを	n (人)	見込みがあり、実現できる	フルタイムへの転換希望はない	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる	フルタイムへの転換希望はない	希望の就労を続けることを
2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	3	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3

現在、パート・アルバイト等で就労している（産休・育休等含む）母親のフルタイムへの転換希望としては、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が5割台（51.7%）を占めている。





(「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」と回答した人のみ)

②就労を希望する時期（末子の年齢）

【就労を希望する時期】

<母親>

n (人)	(%)											平均 (歳)
	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳以上	無回答	
183	2.7	3.3	16.4	17.5	6.0	15.3	23.0	5.5	0.0	6.0	4.4	5.4

<父親>

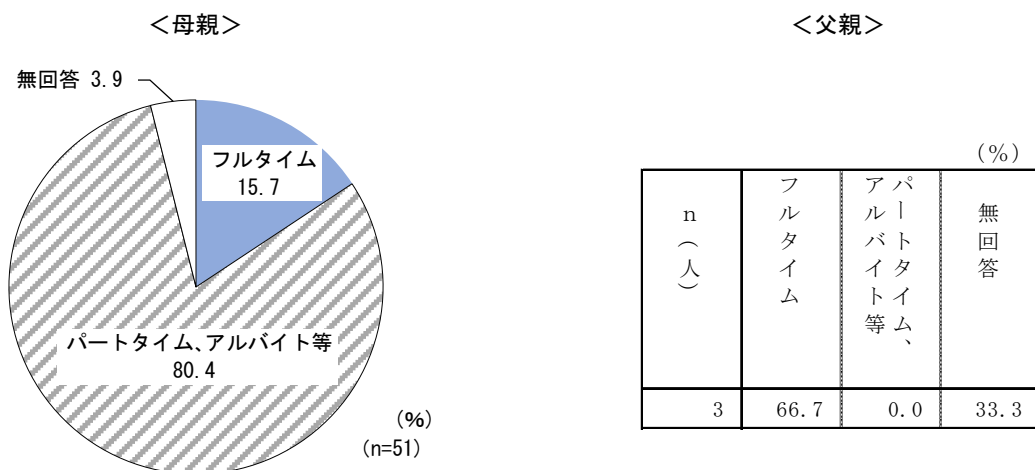
※該当なし

現在就労していないが、1年より先に一番下の子どもが大きくなったところに就労したいと回答した母親の就労を希望する時期（子どもの年齢）としては、「7歳」が23.0%と最も高く、次いで「4歳」が17.5%、「3歳」が16.4%、「6歳」が15.3%となっている。

(「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人のみ)

③希望する就労形態

【希望する就労形態】



現在就労していないが、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した母親の希望する就労形態としては、「フルタイム」が15.7%に対し、「パートタイム、アルバイト等」が約8割(80.4%)を占めている。

(「パートタイム、アルバイト等」と回答した人のみ)

④希望する就労日数及び就労時間

【1週当たりの希望就労日数】

<母親>

n (人)	1週当たりの希望就労日数 (%)								平均 (日)
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
41	0.0	4.9	48.8	19.5	9.8	0.0	0.0	17.1	3.6

<父親>

※該当なし

【1日当たりの希望就労時間】

<母親>

n (人)	1日当たりの希望就労時間 (%)								平均 (時間)
	3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8時間以上	無回答	
41	0.0	17.1	17.1	29.3	12.2	2.4	4.9	17.1	4.9

<父親>

※該当なし

すぐにでも、もしくは1年以内にパート・アルバイト等で働きたいと回答した母親の希望する1週当たりの就労日数としては、「3日」が48.8%と最も高く、次いで「4日」が19.5%となっている。

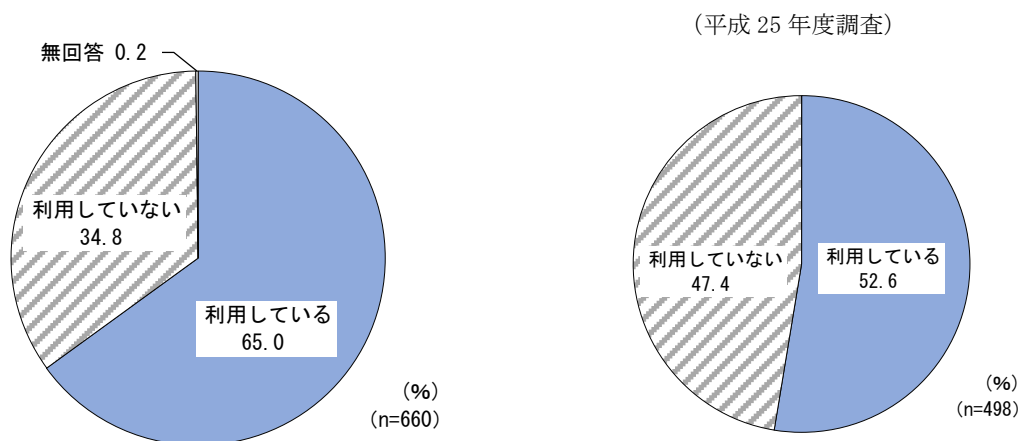
また、1日当たりの就労時間としては、「5～6時間未満」が29.3%と最も高く、次いで「3～4時間未満」、「4～5時間未満」がともに17.1%となっている。

#### 4 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

##### (1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無

問 17 お子さんは現在、幼稚園・保育所(園)・認定こども園などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(ひとつに○)

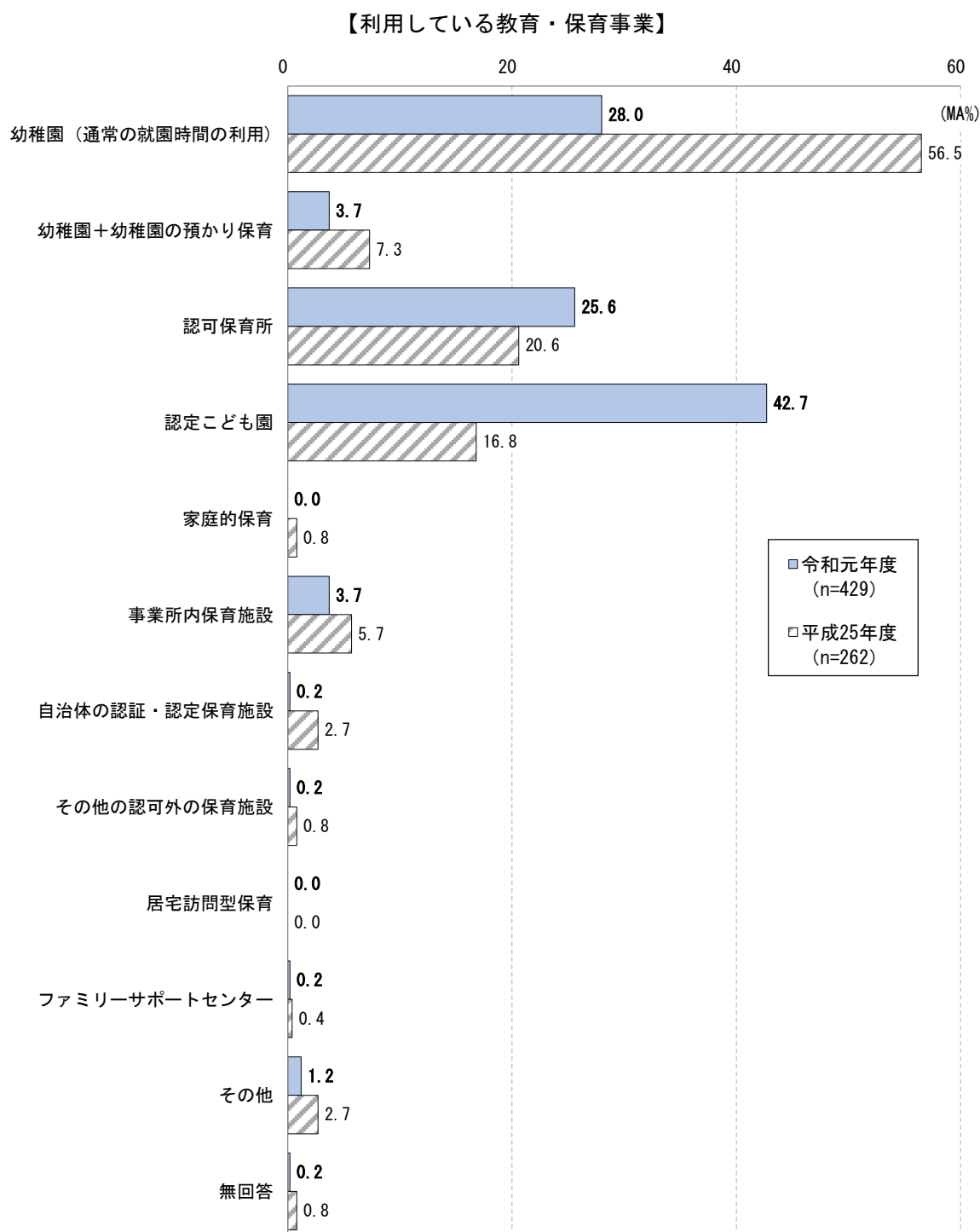
【平日の定期的な教育・保育事業の利用有無】



平日の定期的な教育・保育事業について、「利用している」が6割台（65.0%）を占めている。

(2) 利用している教育・保育事業

問 17-1～問 17-4 は、問 17 で「利用している」に○をつけた方にうかがいます。  
 問 17-1 お子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるすべてに○)



教育・保育事業を利用していると回答した人の具体的な利用事業としては、「認定こども園」が 42.7%と最も高く、次いで「幼稚園 (通常の就園時間の利用)」が 28.0%、「認可保育所」が 25.6% となっている。

(3) 教育・保育事業の利用頻度

① 1週間当たりの利用日数

問 17-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。具体的な数字でご記入ください。

【1週間当たりの利用日数】

	n (人)	(%)								平均 (日)
		1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答	
現在	429	0.5	3.3	2.1	4.4	83.2	2.6	0.2	3.7	4.8
希望	429	0.2	1.4	1.9	2.6	61.3	4.4	0.2	28.0	4.9

教育・保育事業の1週間当たりの利用日数としては、「5日」が現在・希望ともに最も高くなっている。

② 1日当たりの利用時間

【1日当たりの利用時間】

	n (人)	(%)											平均 (時間)	
		3 時 間 未 満	3 ～ 4 時 間 未 満	4 ～ 5 時 間 未 満	5 ～ 6 時 間 未 満	6 ～ 7 時 間 未 満	7 ～ 8 時 間 未 満	8 ～ 9 時 間 未 満	9 ～ 1 0 時 間 未 満	1 0 ～ 1 1 時 間 未 満	1 1 ～ 1 2 時 間 未 満	1 2 時 間 以 上		無 回 答
現在	429	2.8	0.5	4.9	33.6	6.3	4.2	9.6	11.0	15.6	6.3	2.3	3.0	4.8
希望	429	0.7	1.2	0.9	9.3	12.8	8.9	9.3	8.9	10.7	4.7	3.5	29.1	4.9

教育・保育事業の1日当たりの利用時間としては、現在では「5～6時間未満」、希望では「6～7時間未満」がそれぞれ最も高くなっている。

③利用時間帯

【利用開始時間】

		(%)							平均 (時)
	n (人)	7 時 より 前	7 時 台	8 時 台	9 時 台	1 0 時 台	1 1 時 以 降	無 回 答	
現在	429	0.2	12.4	31.0	49.0	3.0	0.2	4.2	8.5
希望	429	0.7	9.1	21.2	36.8	2.1	0.0	30.1	8.4

【利用終了時間】

		(%)								平均 (時)
	n (人)	1 5 時 より 前	1 5 時 台	1 6 時 台	1 7 時 台	1 8 時 台	1 9 時 台	2 0 時 以 降	無 回 答	
現在	429	44.8	3.3	6.1	13.3	22.4	6.1	0.0	4.2	15.7
希望	429	12.6	13.1	10.7	11.7	15.6	4.0	2.3	30.1	16.3

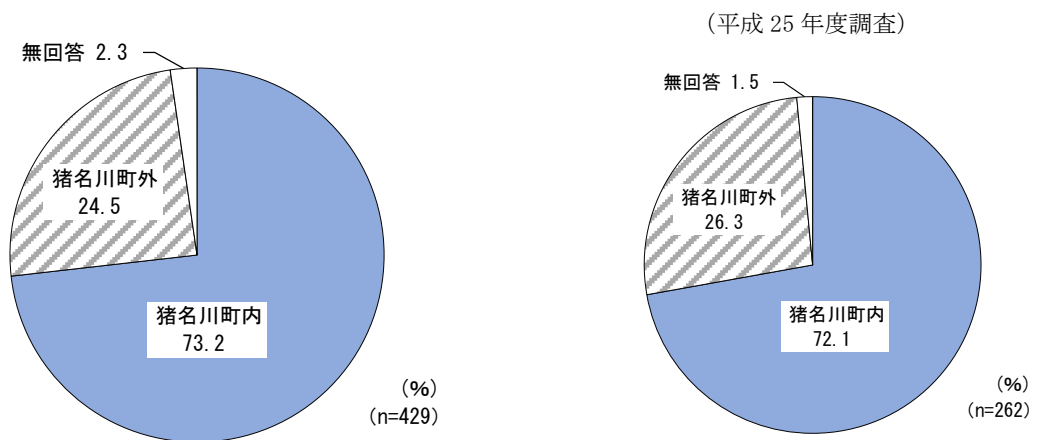
教育・保育事業の利用開始時間としては、現在・希望ともに「9時台」が最も高く、次いで「8時台」となっている。

現在では「15時より前」、希望では「18時台」がそれぞれ最も高くなっている。

(4) 教育・保育事業の実施場所

問 17-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。(ひとつに○)

【教育・保育事業の実施場所】

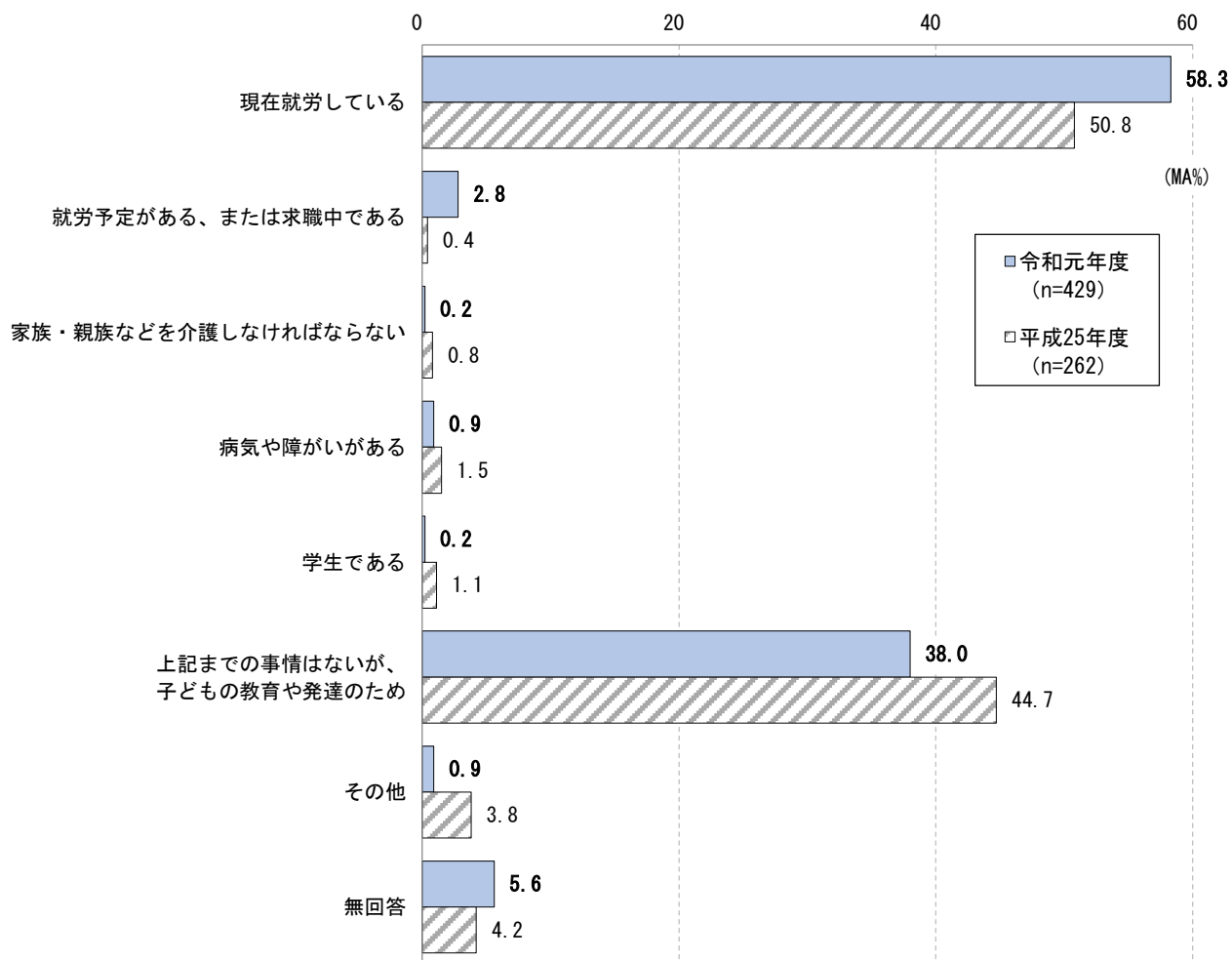


利用している教育・保育事業の実施場所としては、「猪名川町内」が7割台(73.2%)に対し、「猪名川町外」が2割台(24.5%)となっている。

(5) 教育・保育事業を利用している理由

問 17-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。  
(あてはまるすべてに○)

【教育・保育事業を利用している理由】

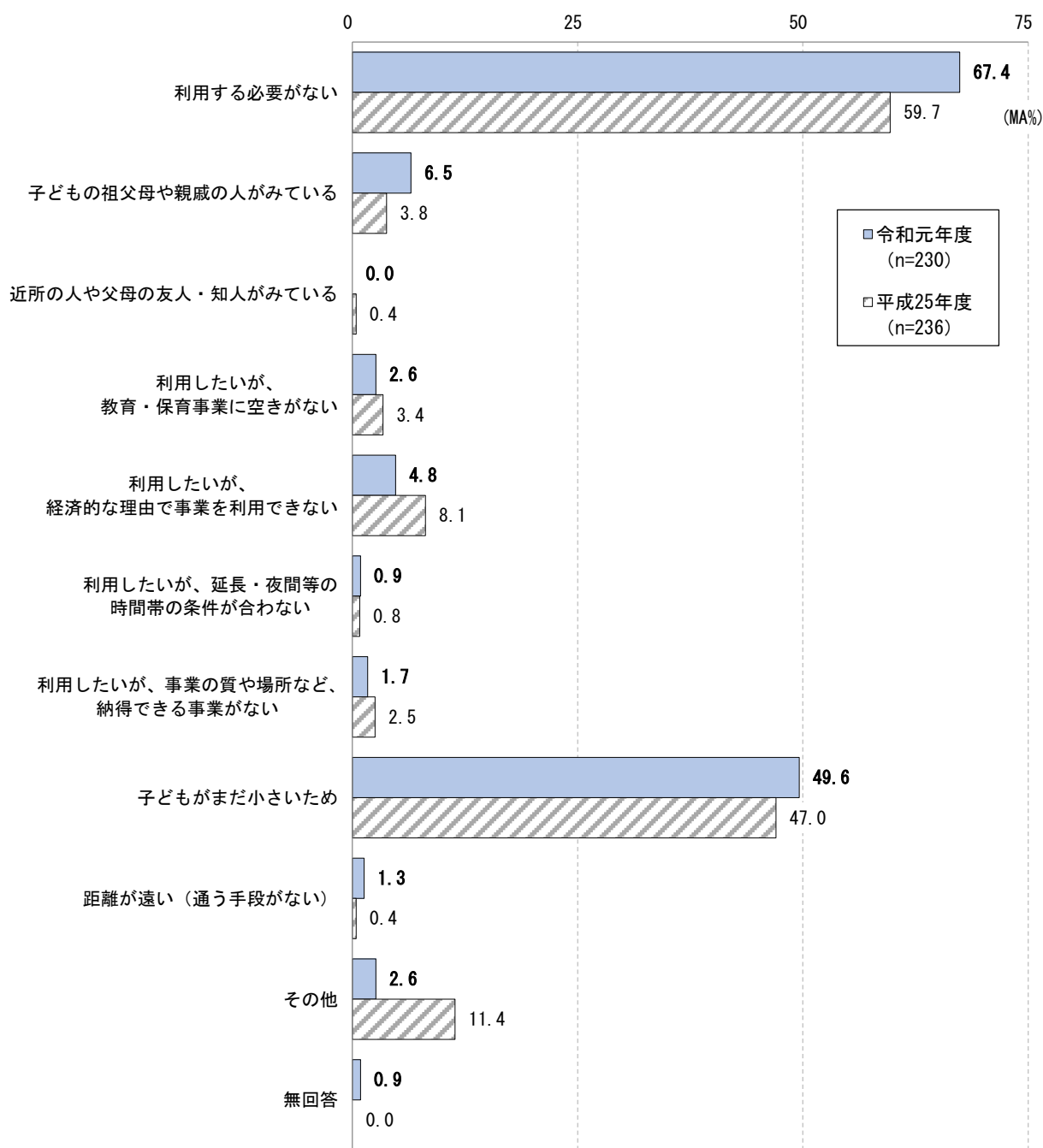


教育・保育事業を利用している理由としては、「現在就労している」が 58.3%と最も高く、次いで「上記までの事情はないが、子どもの教育や発達のため」が 38.0%となっている。

(6) 教育・保育事業を利用していない理由

問 17 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。  
 問 17-5 利用していない理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

【教育・保育事業を利用していない理由】

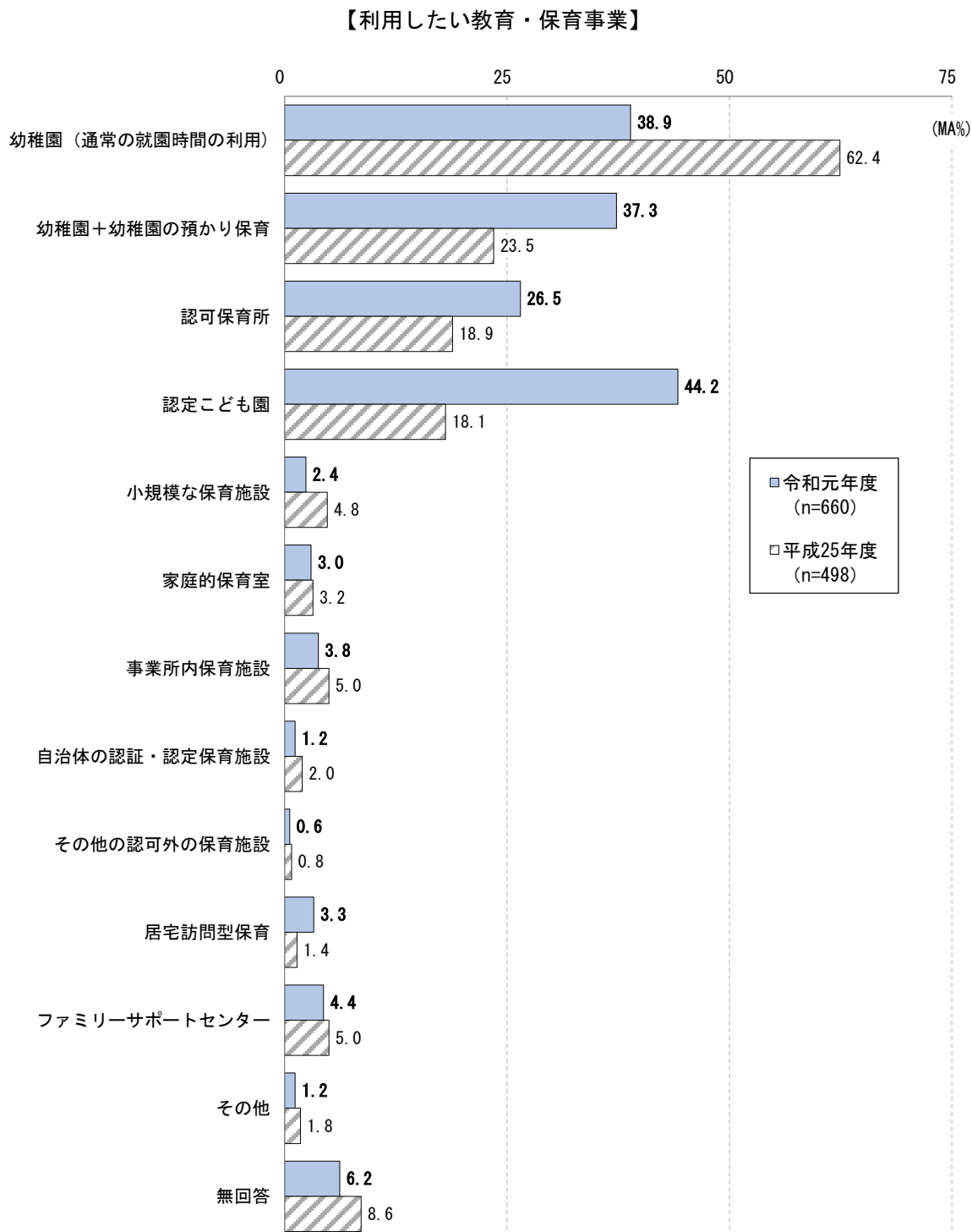


教育・保育事業を利用していないと回答した人の理由としては、「利用する必要がない」が 67.4% と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 49.6% となっている。



(7) 利用したい教育・保育事業

問 18 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したい事業は何ですか。(あてはまるすべてに○)



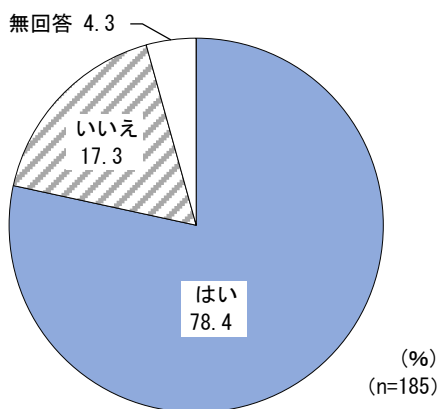
平日の教育・保育事業として、定期的に利用したい事業としては、「認定こども園」が 44.2%と最も高く、次いで「幼稚園 (通常の就園時間の利用)」が 38.9%、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」が 37.3%、「認可保育所」が 26.5%となっている。

(8) 幼稚園の利用希望

問 18 で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園＋幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「認可保育所」～「その他」にも○をつけた方にうかがいます。

問 18-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

【幼稚園の利用希望】

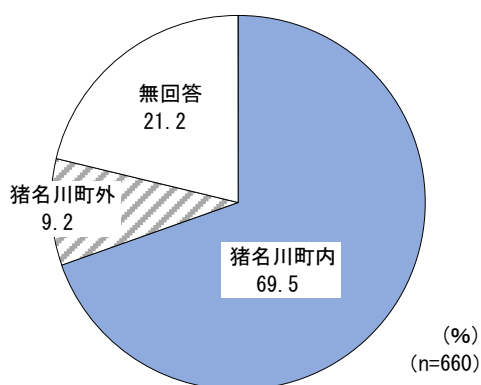


現在、幼稚園及びそのほかの事業を利用している子どもに対し、特に幼稚園の利用を強く希望する人（「はい」）は8割弱（78.4%）を占めている。

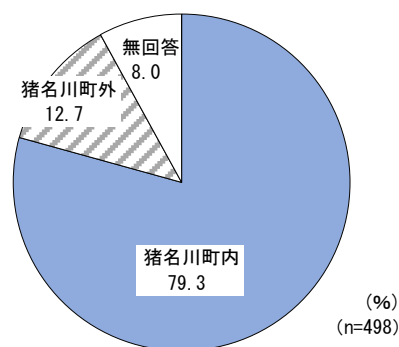
(9) 教育・保育事業を利用したい場所

問 18-2 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。（ひとつに○）

【教育・保育事業を利用したい場所】



(平成 25 年度調査)

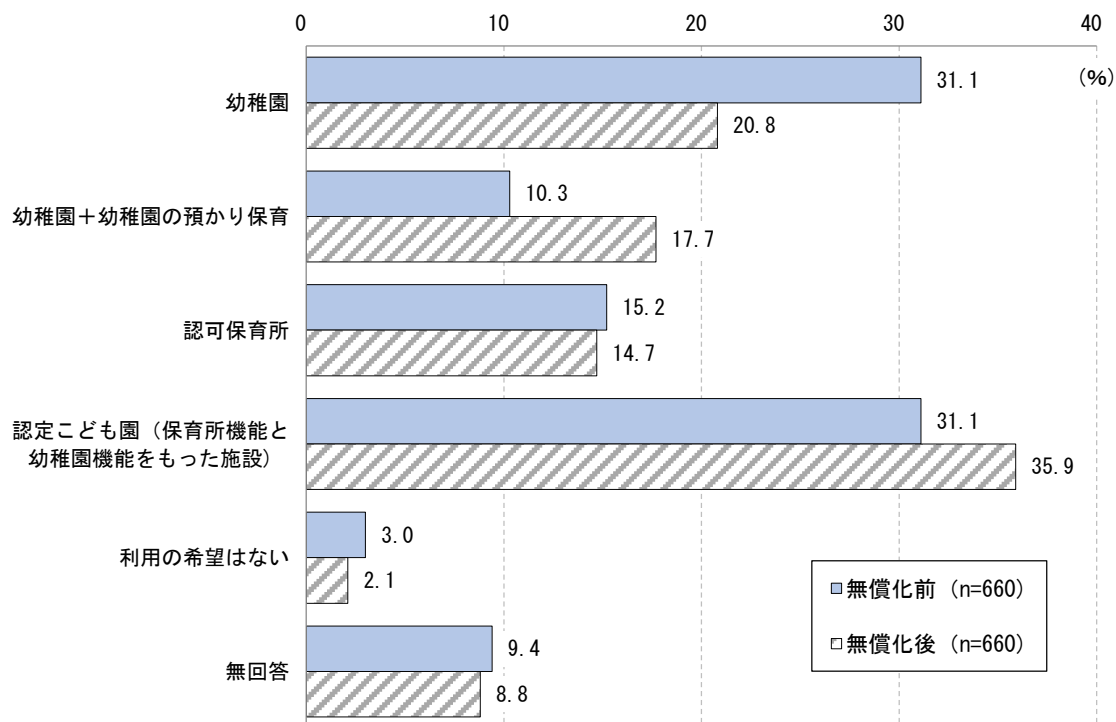


教育・保育事業を利用したい場所として、「猪名川町」が約7割（69.5%）に対し、「猪名川町外」は約1割（9.2%）となっている。

(10) 幼児教育・保育の無償化による利用希望施設

問 18-3 2019 年 10 月から幼児教育・保育の無償化が実施される予定ですが、幼児教育・保育の無償化が実現したら、利用を希望する施設は変わりますか。  
無償化前と無償化後でそれぞれ希望する施設を 1 つずつ選んでください。

【幼児教育・保育の無償化による利用希望施設】



幼児教育・保育の無償化による利用を希望する施設についてたずねたところ、無償化前に比べて、無償化後では「幼稚園」は低く、「認定こども園 (保育所機能と幼稚園機能をもった施設)」、「幼稚園+幼稚園の預かり保育」は高くなる傾向にある。

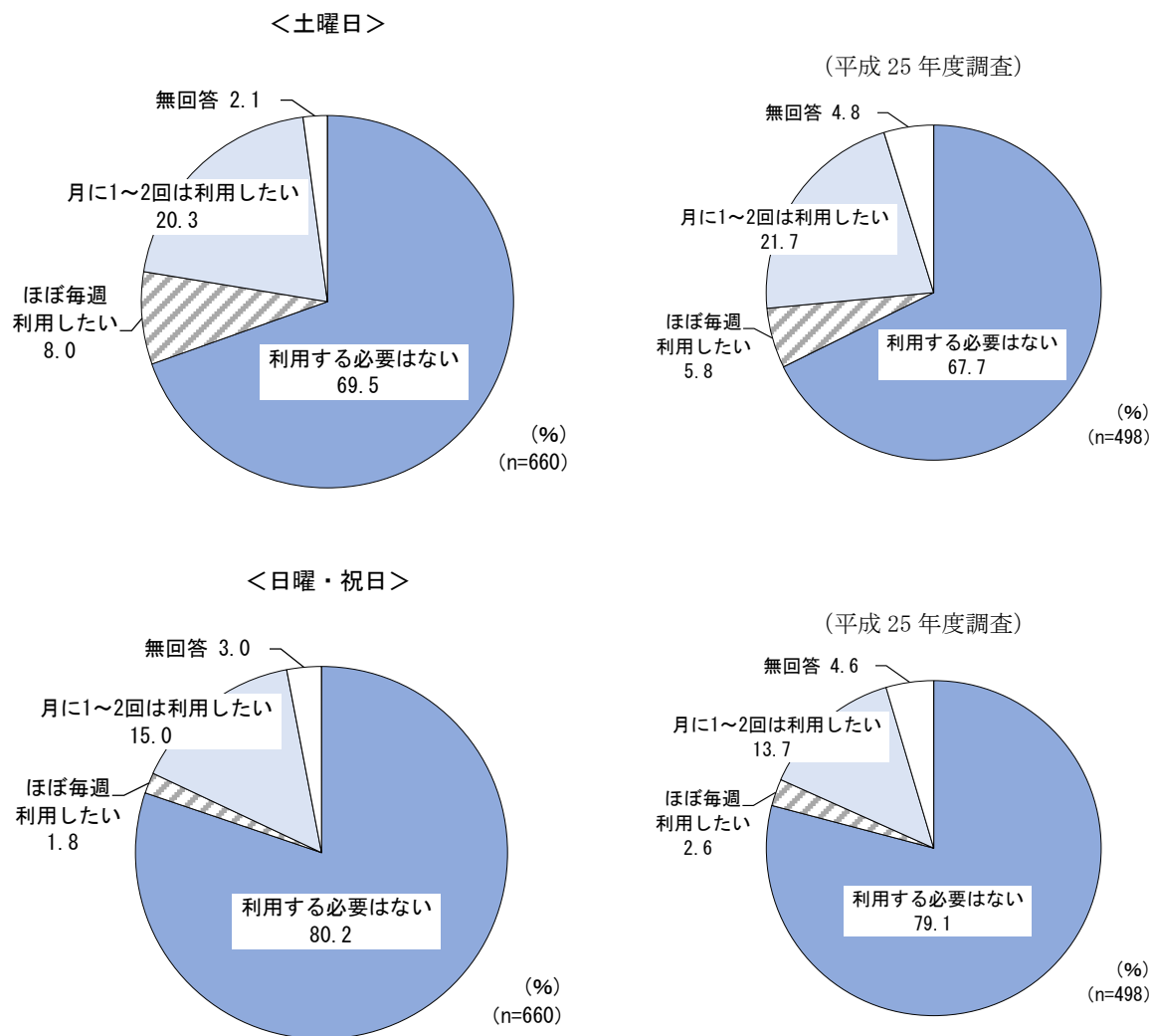
## 5 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

### (1) 土曜・休日の教育・保育事業の利用に対する希望

#### ①土曜・休日の利用希望

問 19 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

#### 【土曜・休日の利用希望】



土曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望として、土曜日では、「ほぼ毎週利用したい」が 8.0%、「月に 1～2 回は利用したい」が 20.3%（計 28.3%）に対し、日曜・祝日では、「ほぼ毎週利用したい」が 1.8%、「月に 1～2 回は利用したい」が 15.0%（計 16.8%）となっている。

②土曜・休日の利用希望時間帯

【土曜・休日の利用希望開始時間】

	n (人)	7時台							無回答	平均 (時)
		7時より前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時以降	(%)		
土曜日	187	1.1	19.3	36.4	32.6	4.3	1.1	5.3	8.3	
日曜・祝日	111	1.8	19.8	37.8	30.6	5.4	1.8	2.7	8.3	

【土曜・休日の利用希望終了時間】

	n (人)	13時台										無回答	平均 (時)
		13時より前	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	(%)		
土曜日	187	1.6	0.5	5.3	8.6	13.4	26.7	27.3	8.0	3.2	5.3	17.0	
日曜・祝日	111	0.9	0.0	0.9	9.0	12.6	24.3	34.2	9.9	5.4	2.7	17.4	

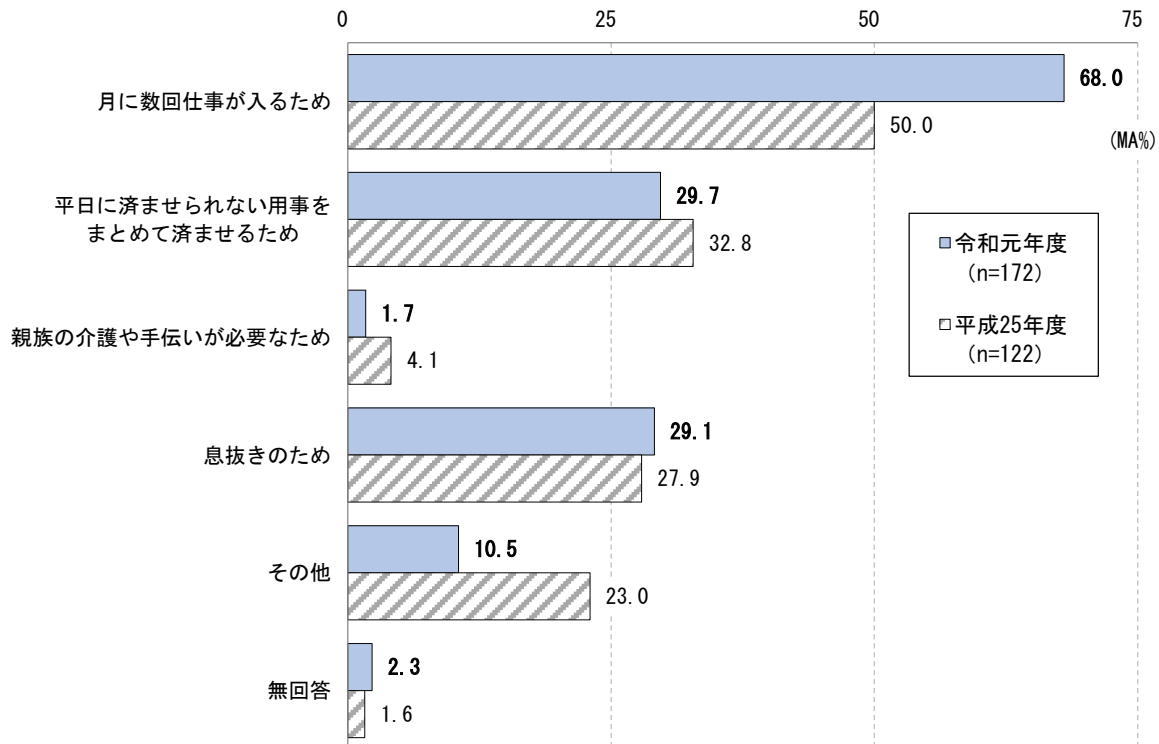
土曜・休日の定期的な教育・保育事業を利用したいと回答した人の希望する開始時間としては、「8時台」が土曜日で36.4%、日曜・祝日で37.8%と、ともに最も高くなっている。

終了時間としては、「18時台」が土曜日で27.3%、日曜・祝日で34.2%と、ともに最も高くなっている。

(2) 土曜・休日にたまに利用したい理由

問 19 の土曜日または日曜・祝日で「月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
 問 19-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまるすべてに○)

【土曜・休日にたまに利用したい理由】



土曜・休日に、毎週ではなく、月に1～2回利用したいと回答した人の理由としては、「月に数回仕事が入るため」が68.0%と最も高くなっている。

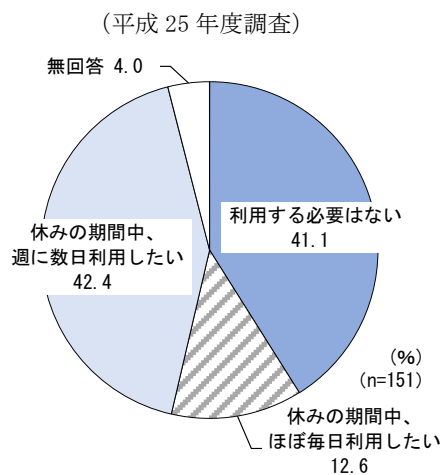
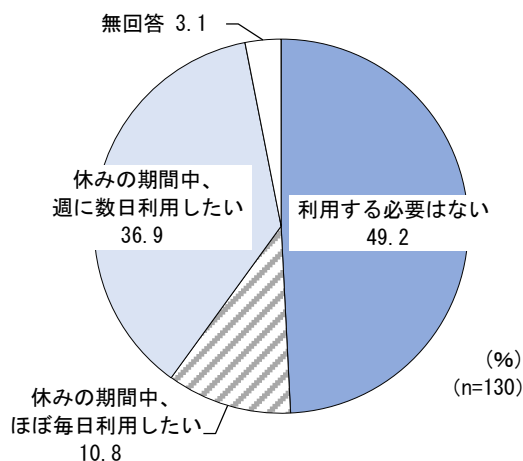
(3) 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用に対する希望

①長期休暇期間中の利用希望

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 20 お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。(ひとつに○)

【長期休暇期間中の利用希望】



長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望としては、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 10.8%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 36.9%となっており、合わせると、休みの期間中に利用したい人は 4 割台 (47.7%) みられる。

②長期休暇期間中の利用希望時間帯

【長期休暇期間中の利用希望開始時間】

n (人)	7 時より前	7 時台	8 時台	9 時台	10 時台	11 時以降	無回答	平均 (時)
62	0.0	8.1	27.4	53.2	3.2	0.0	8.1	8.6

【長期休暇期間中の利用希望終了時間】

n (人)	13 時より前	13 時台	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台	19 時台	20 時以降	無回答	平均 (時)
62	1.6	3.2	9.7	21.0	17.7	19.4	17.7	0.0	1.6	8.1	16.1

長期の休暇期間中の定期的な教育・保育事業を利用したいと回答した人の希望する開始時間としては、「9時台」が53.2%と最も高く、次いで「8時台」が27.4%となっている。

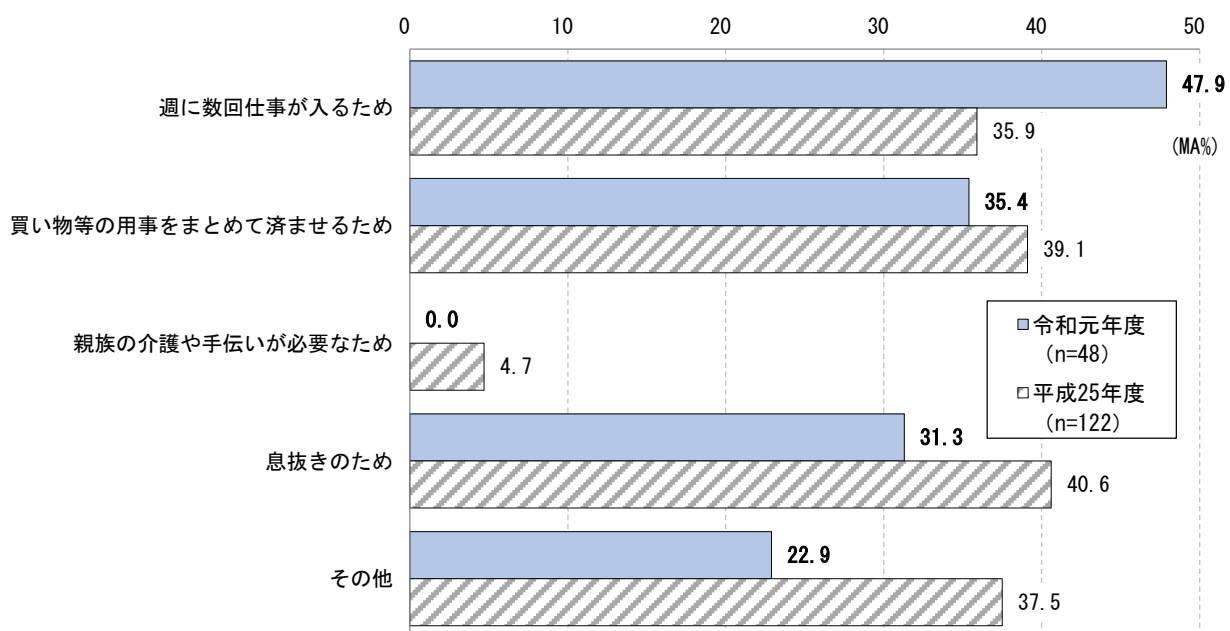
終了時間としては、「15時台」が21.0%と最も高く、次いで「17時台」が19.4%となっている。

(4) 長期休暇期間中にたまに利用したい理由

問 20 で「休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 20-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(あてはまるすべてに○)

【長期休暇期間中にたまに利用したい理由】



長期の休暇期間中に、毎日ではなく、週に数日利用したいと回答した人の理由としては、「週に数回仕事が入るため」が47.9%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が35.4%となっている。

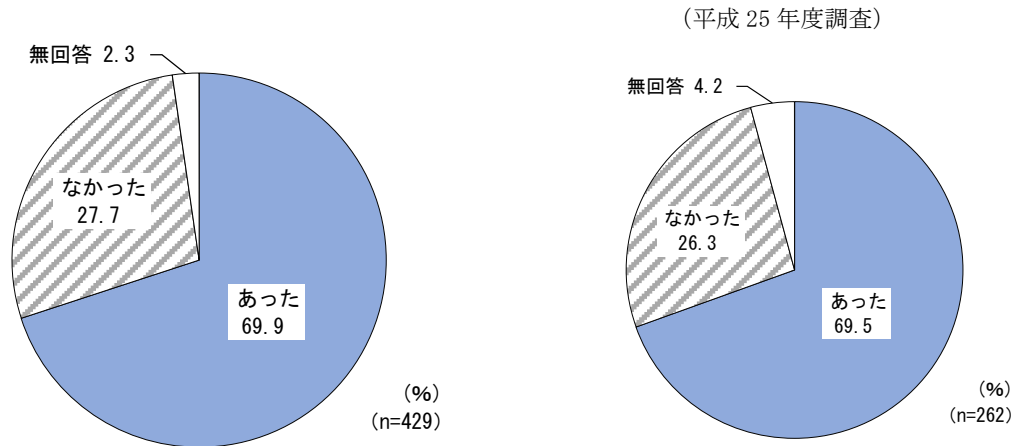


## 6 子どもの病気の際の対応について

### (1) 子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったことの有無

平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた方(問17で「利用している」に○をつけた方)にうかがいます。  
 問21 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の利用ができなかったことはありますか。(ひとつに○)

#### 【子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったことの有無】



この1年間に、子どもの病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」は約7割(69.9%)を占めている。

(2) 子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかった際の対処

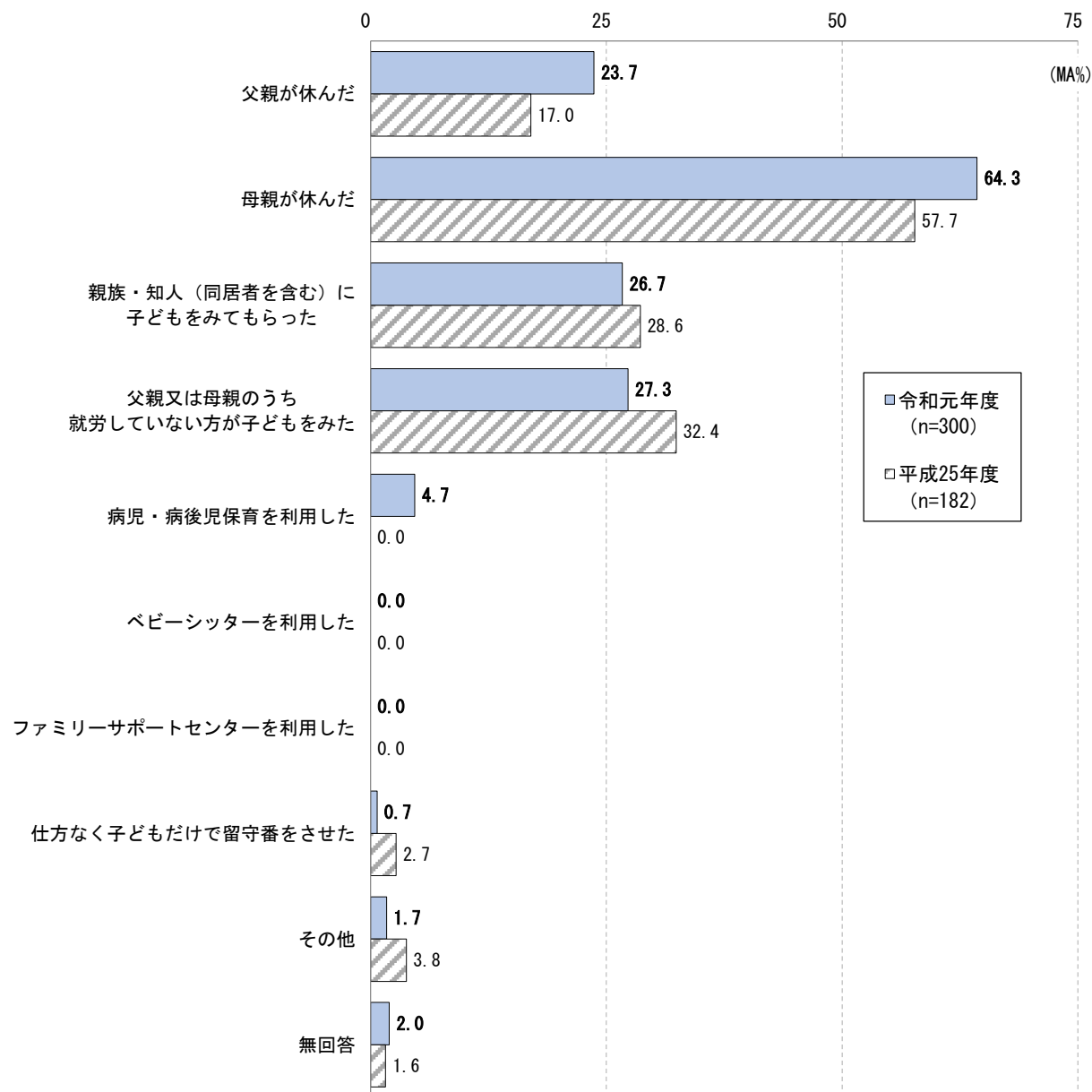
①子どもの病気等の際の対処方法

問 21 で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどのようなものですか。

(あてはまるすべてに○、それぞれの日数も数字で記入)

【子どもの病気等の際の対処方法】



子どもの病気等で教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法としては、「母親が休んだ」が6割台(64.3%)と最も高く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が27.3%、「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」が26.7%となっている。

②対処方法別の年間日数

【対処方法別の年間日数】

(%)

	n (人)	1 日	2 ～ 3 日	4 ～ 5 日	6 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 日 以 上	無 回 答	平均 (日)
①父親が休んだ	71	22.5	40.8	19.7	5.6	7.0	1.4	2.8	3.7
②母親が休んだ	193	10.9	32.6	16.6	9.3	17.1	9.3	4.1	7.4
③親族・知人（同居者を含む） に子どもをみてもらった	80	13.8	35.0	22.5	10.0	7.5	5.0	6.3	5.7
④父親又は母親のうち就労して いない方が子どもをみた	82	22.0	20.7	20.7	7.3	17.1	3.7	8.5	5.7
⑤病児・病後児保育を利用した	14	28.6	57.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	2.4
⑥ベビーシッターを利用した	0								
⑦ファミリーサポートセンター を利用した	0								
⑧仕方なく子どもだけで留守番 をさせた	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
⑨その他	5	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	4.0

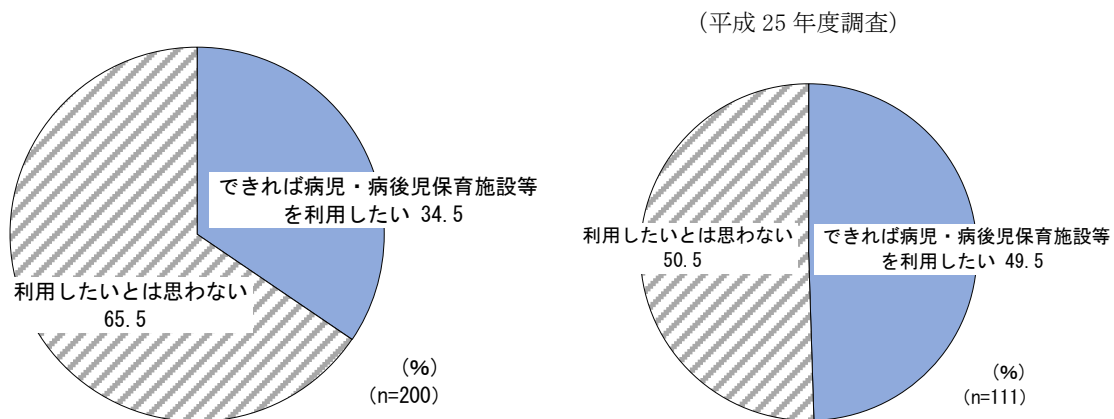
子どもの病気等で教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法別の年間日数としては、『①父親が休んだ』、『②母親が休んだ』、『③親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった』では「2～3日」、『④父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』では「1日」が、それぞれ最も高くなっている。

(3) 病児・病後児保育施設等の利用に対する希望

①病児・病後児保育施設等の利用希望

問 21-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。  
(ひとつに〇、日数についても数字で記入)

【病児・病後児保育施設等の利用希望】



子どもが病気等の際、親が休んだと回答した人のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は3割台 (34.5%) となっている。

②病児・病後児保育施設等の利用希望日数

【病児・病後児保育施設等の利用希望日数】

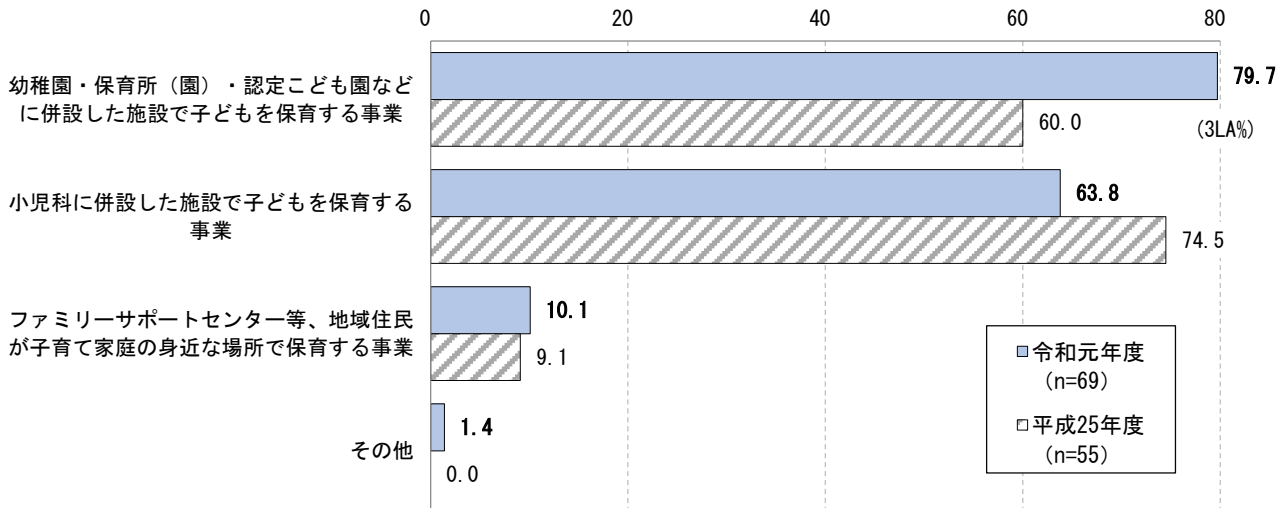
n (人)	希望する利用日数 (%)							平均 (日)
	1日	2 ～ 3日	4 ～ 5日	6 ～ 9日	10 ～ 19日	20日 以上	無回答	
69	7.2	30.4	21.7	2.9	8.7	4.3	24.6	5.3

できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと回答した人の希望する利用日数としては、「2～3日」が30.4%と最も高く、次いで「4～5日」が21.7%となっている。

(4) 病児・病後児保育施設等で希望する事業形態

問 21-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。  
 問 21-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。  
 (あてはまるすべてに○)

【病児・病後児保育施設等で希望する事業形態】

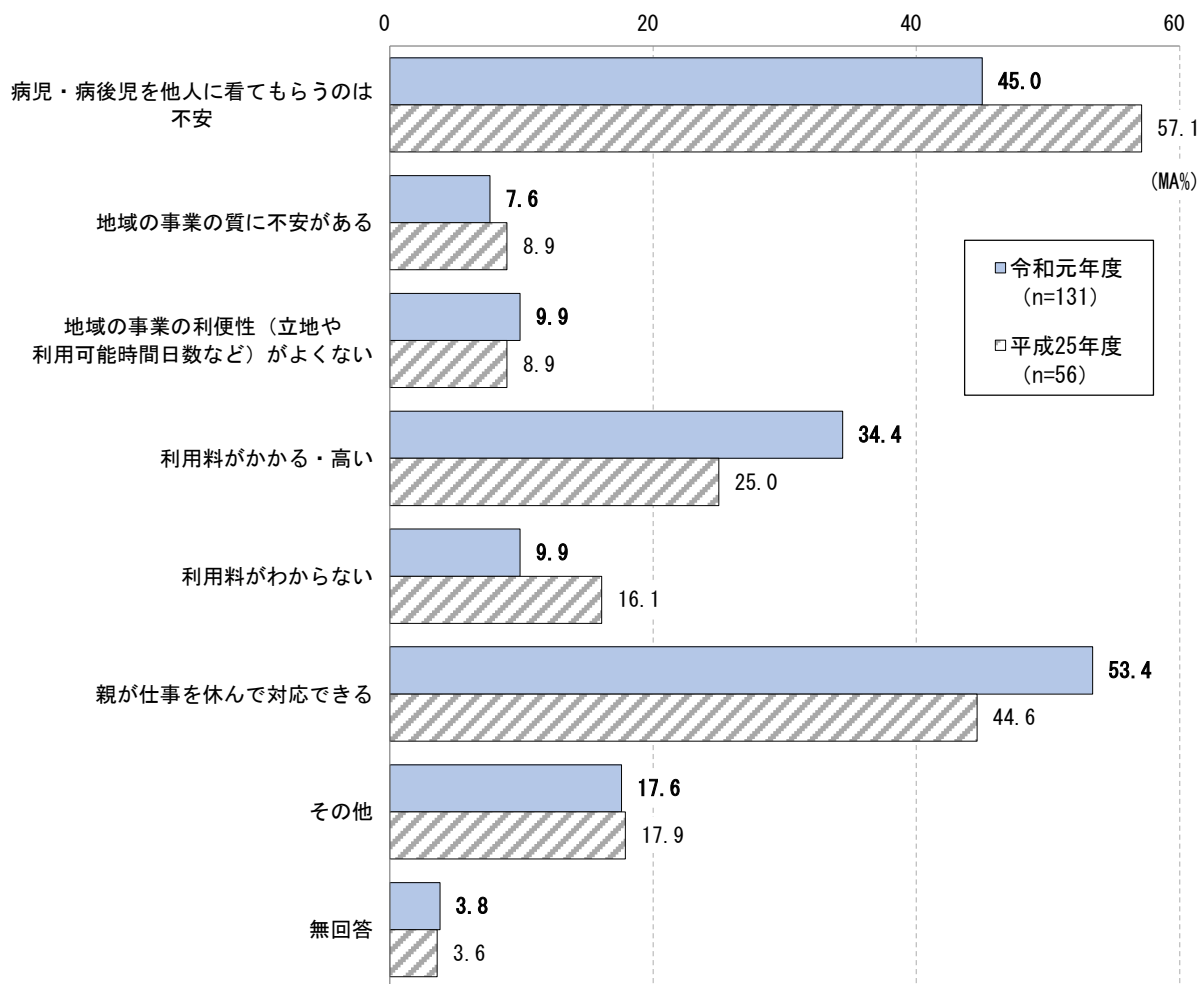


子どもが病気等の際、できれば病児・病後児保育施設等を利用したかったと回答した人の希望する事業形態としては、「幼稚園・保育所(園)・認定こども園などに併設した施設で子どもを保育する事業」が79.7%と最も高く、次いで「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が63.8%となっている。

(5) 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

問 21-2 で「利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。  
 問 21-4 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

【病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由】



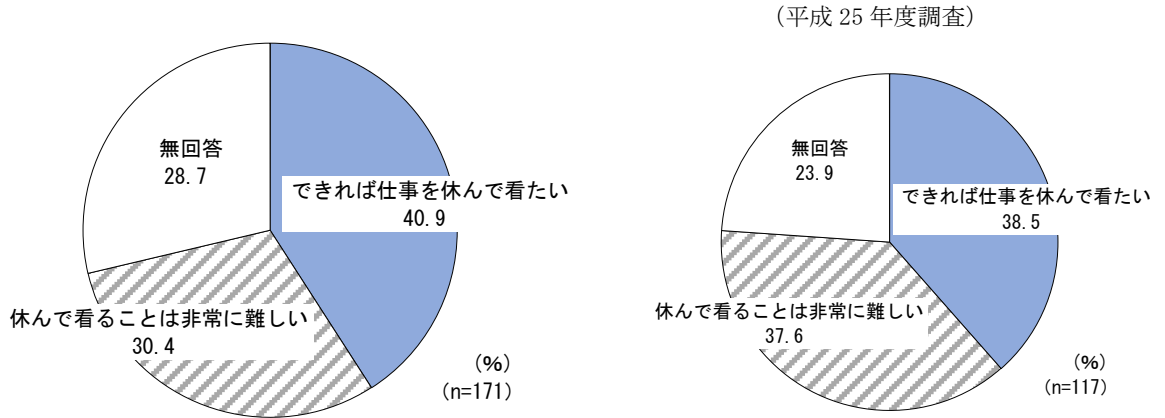
子どもが病気等の際、病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わないと回答した人の理由としては、「親が仕事を休んで対応できる」が5割台（53.4%）と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が45.0%、「利用料がかかる・高い」が34.4%となっている。

(6) 親が仕事を休んで子どもを見ることに対する意向

①親が仕事を休んで見る意向

問 21-1 で「親族・知人に子どもをみてもらった」～「その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。  
 問 21-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(ひとつに○、  
 問 21-1 で回答した日数のうち、仕事を休んで見たかった日数についても数字で記入)

【親が仕事を休んで見る意向】



子どもが病気等の際、親が休む以外の方法で対処したと回答した人のうち、「できれば仕事を休んで看たい」が 40.9%に対し、「休んで看することは非常に難しい」が 30.4%となっている。

②仕事を休んで見たかった日数

【仕事を休んで見たかった日数】

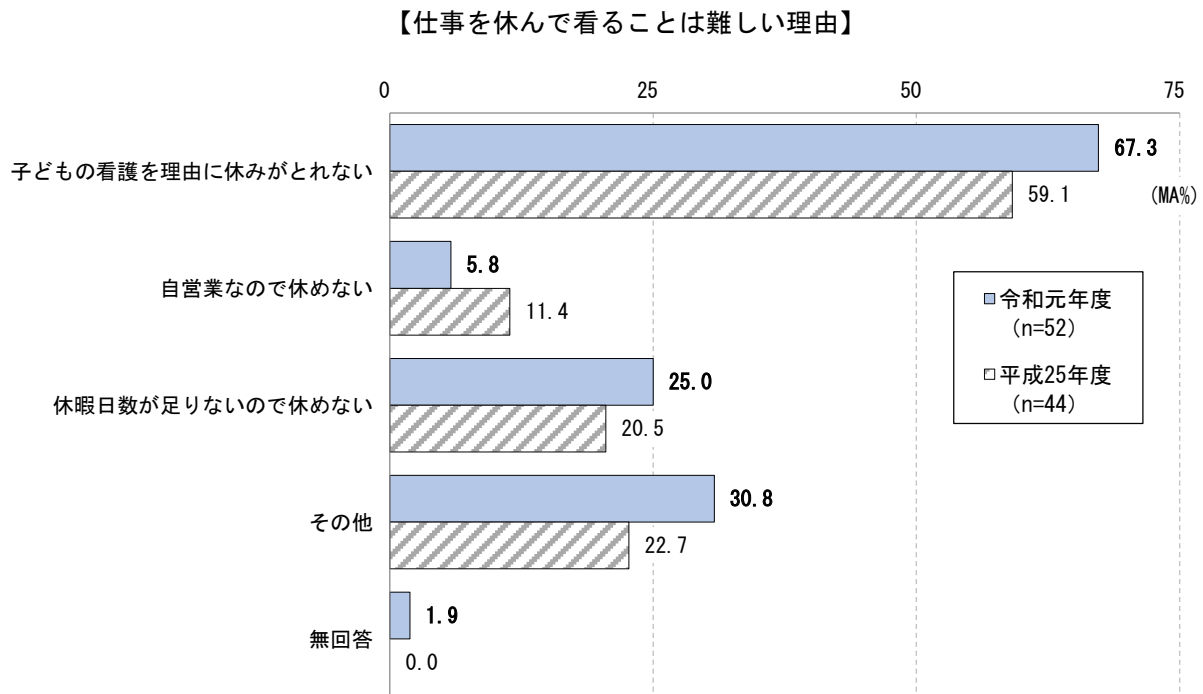
n (人)	日数							平均 (日)
	1 日	2 ～ 3 日	4 ～ 5 日	6 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 日 以 上	無 回 答	
70	17.1	27.1	20.0	7.1	8.6	1.4	18.6	4.4

できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと回答した人の休んで見たかった日数としては、「2～3日」が 27.1%と最も高く、次いで「4～5日」が 20.0%となっている。

(7) 仕事を休んで看することは難しい理由

問 21-5 で「休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 21-6 そう思われる理由はなんですか。(あてはまるすべてに○)



子どもが病気等の際、親が休んで看することは非常に難しいと回答した人の理由としては、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が6割台（67.3%）と最も高くなっている。

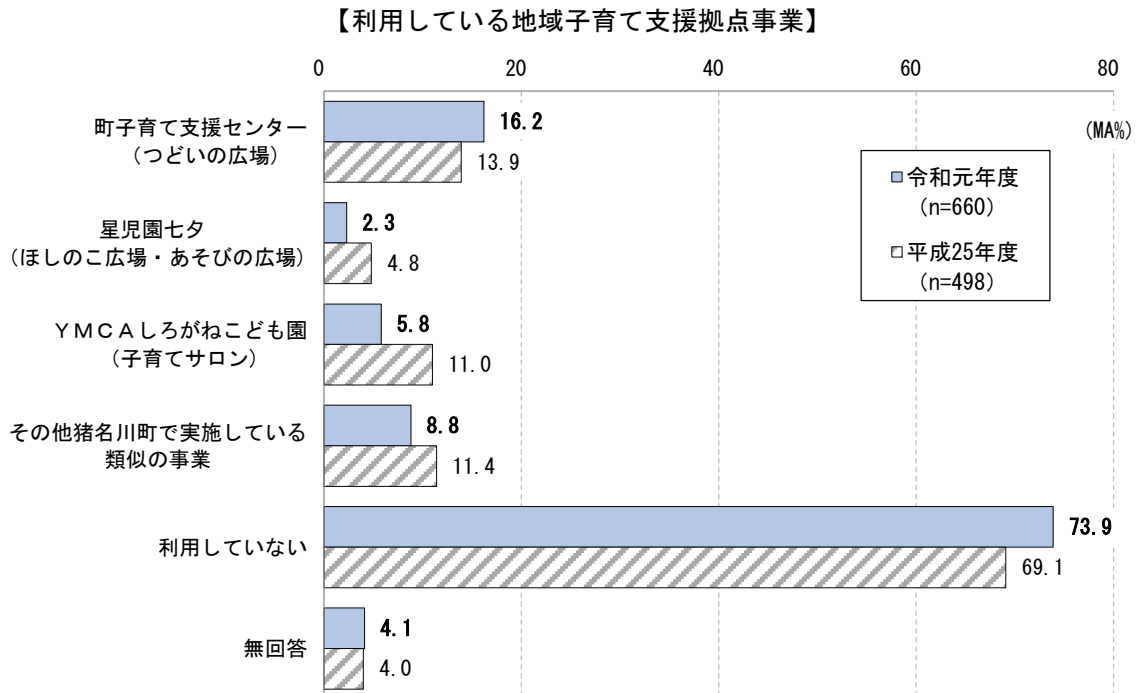


## 7 地域の子育て支援事業の利用状況等について

### (1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

#### ①利用している地域子育て支援拠点事業

問 22 お子さん、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「地域子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。



いずれかの地域子育て支援拠点事業を利用している人の割合は2割台（22.0%）となっており、「町子育て支援センター（つどいの広場）」が16.2%と高くなっている。

#### ②地域子育て支援拠点事業別の1ヶ月当たりの利用回数

【地域子育て支援拠点事業別の1ヶ月当たりの利用頻度】

事業名	n (人)	利用頻度 (%)					無回答 (%)
		1回	2回	3回	4回 (週1回)	5週 2回以上	
①町子育て支援センター	107	54.2	21.5	6.5	11.2	2.8	3.7
②星児園七タ	15	73.3	6.7	0.0	0.0	20.0	0.0
③YMCAしろがねこども園	38	31.6	23.7	7.9	10.5	18.4	7.9
④その他猪名川町で実施している類似の事業	58	56.9	12.1	5.2	1.7	3.4	20.7

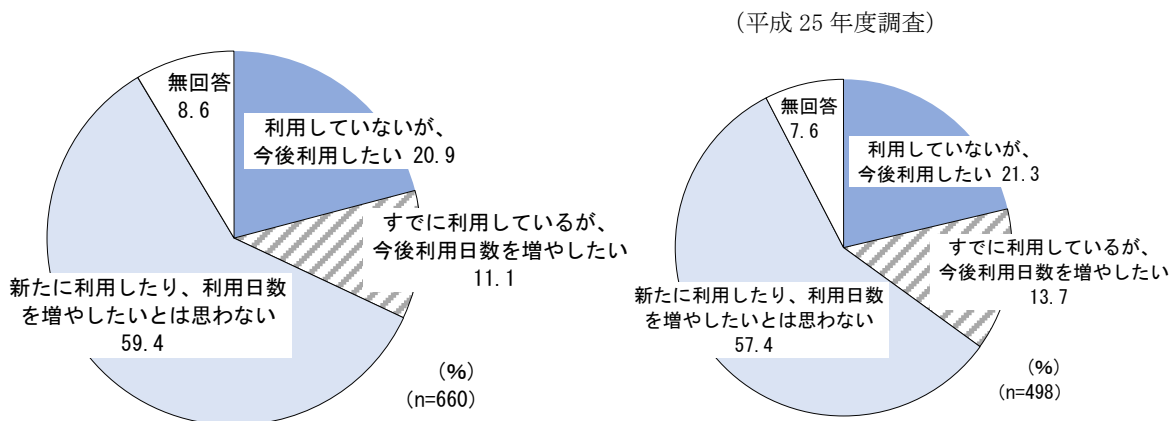
地域子育て支援拠点事業別の1ヶ月当たりの利用回数としては、いずれも「1回」が最も高くなっている。

(2) 地域子育て支援拠点事業の今後の利用に対する意向

①地域子育て支援拠点事業の利用意向

問 23 問 22 のような地域子育て支援拠点事業について、今後の利用意向はありますか。(ひとつに○)  
また、それぞれについて、おおよその利用回数(頻度)をご記入ください。

【地域子育て支援拠点事業の利用意向】



地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向としては、「利用していないが、今後利用したい」が 20.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 11.1%となっている。

②地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たりの利用希望回数

【地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たりの利用希望回数】

	n (人)	1 回	2 回	3 回	4 回 (週 1 回)	5 回 以上 (週 2 回 以上)	無 回 答
未利用者の希望する 1ヶ月当たりの利用回数	138	29.7	19.6	8.0	13.0	8.7	21.0
利用者がさらに増やしたい 1ヶ月当たりの利用回数	73	20.5	27.4	13.7	15.1	15.1	8.2

地域子育て支援拠点事業の1ヶ月当たりの利用回数の希望として、未利用者の希望する利用回数としては、「1回」が 29.7%、利用者がさらに増やしたい利用回数としては「2回」が 27.4%と、それぞれ最も高くなっている。

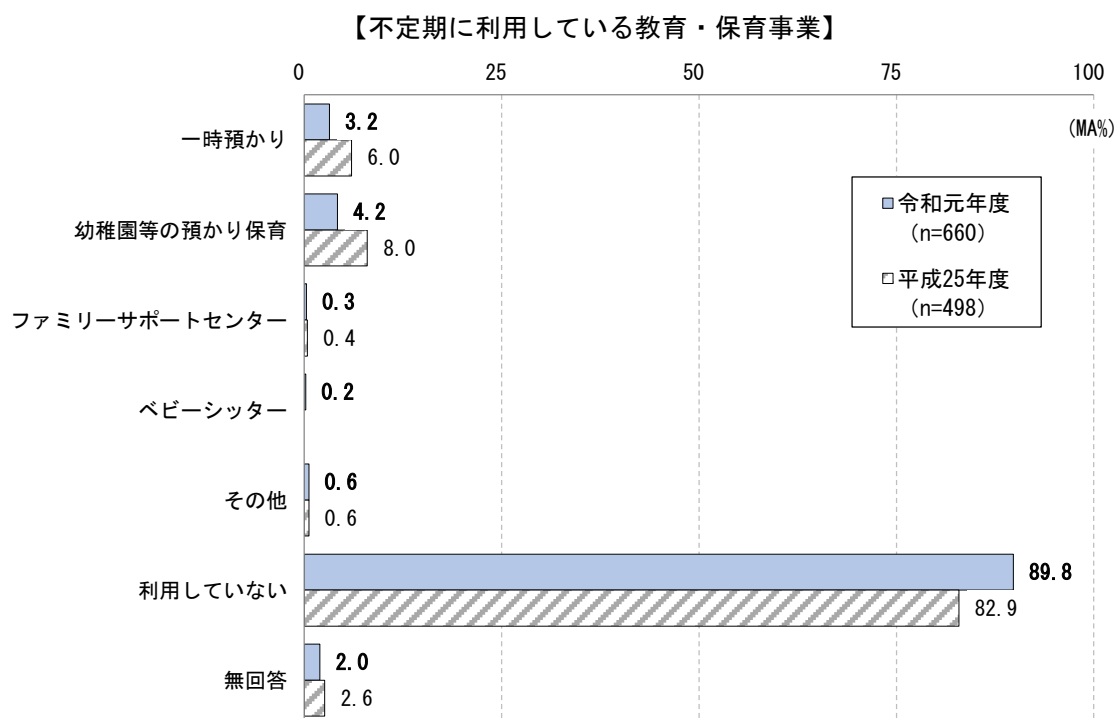
## 8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### (1) 不定期の教育・保育事業の利用状況

#### ①不定期に利用している教育・保育事業

問 24 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。

(あてはまるすべてに○、1年間の利用日数(おおよそ)も数字で記入)



日中の定期的な保育や病気のため以外に、いずれかの不定期に利用している事業がある人は1割未満(8.2%)となっており、「幼稚園等の預かり保育」が4.2%、「一時預かり」が3.2%などとなっている。

#### ②不定期の教育・保育事業別の年間利用日数

**【不定期の教育・保育事業別の年間利用日数】**

	n (人)	年間利用日数 (%)							平均 (日)
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	
①一時預かり	21	19.0	14.3	9.5	9.5	23.8	19.0	4.8	17.1
②幼稚園等の預かり保育	28	14.3	3.6	17.9	0.0	21.4	32.1	10.7	20.9
③ファミリーサポートセンター	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
④ベビーシッター	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0
⑤その他	4	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	27.5

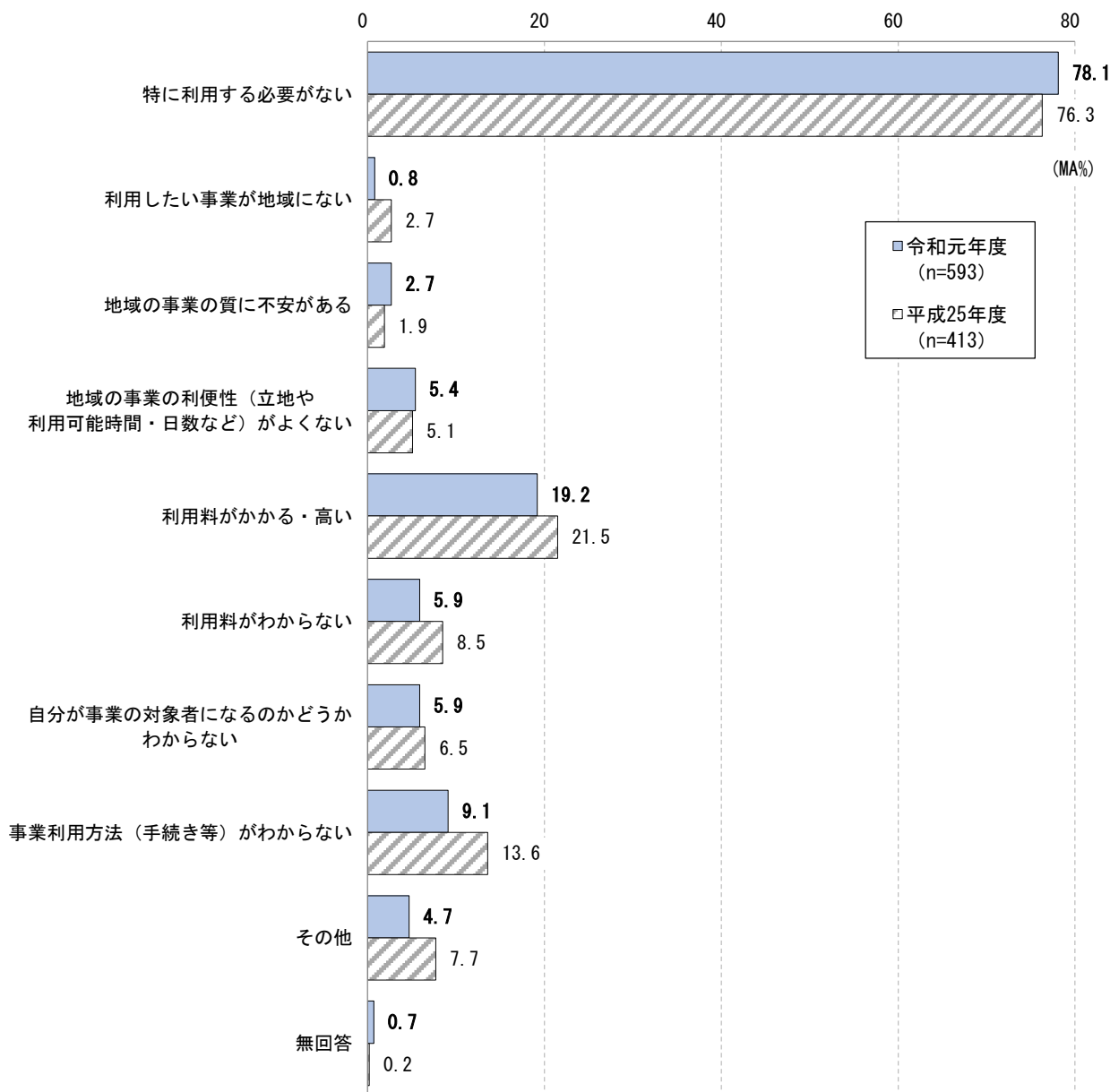
不定期の教育・保育事業別の年間利用日数として、『①一時預かり』では「10～19日」、『②幼稚園等の預かり保育』では「20日以上」が、それぞれ最も高くなっている。

(2) 不定期に利用している教育・保育事業はない理由

問 24 で「利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

【不定期に利用している教育・保育事業はない理由】



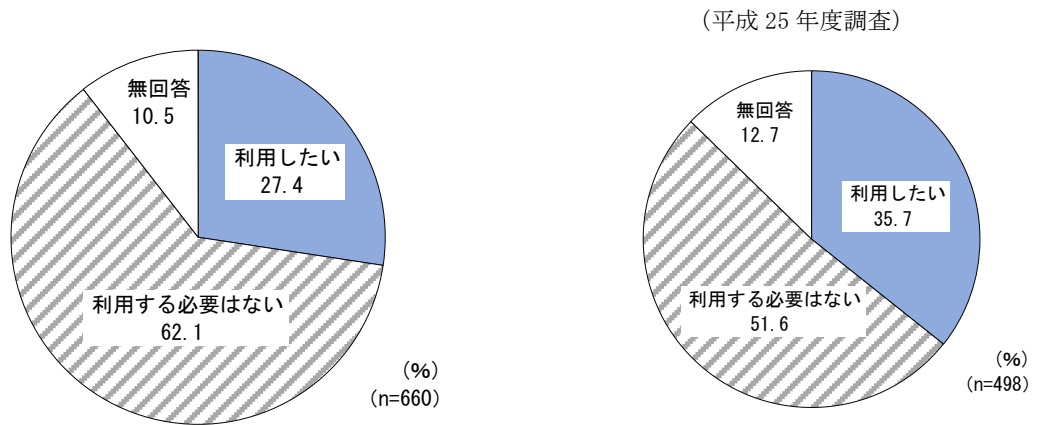
不定期に利用している事業はないと回答した人の理由としては、「特に利用する必要がない」が8割弱（78.1%）と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が19.2%、「事業利用方法（手続き等）がわからない」が9.1%となっている。

(3) 不定期の教育・保育事業の利用に対する希望

①不定期の教育・保育事業の利用希望

問 25 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(利用希望の有無について、あてはまる番号・記号すべてに○、必要な日数を記入、利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字で記入)

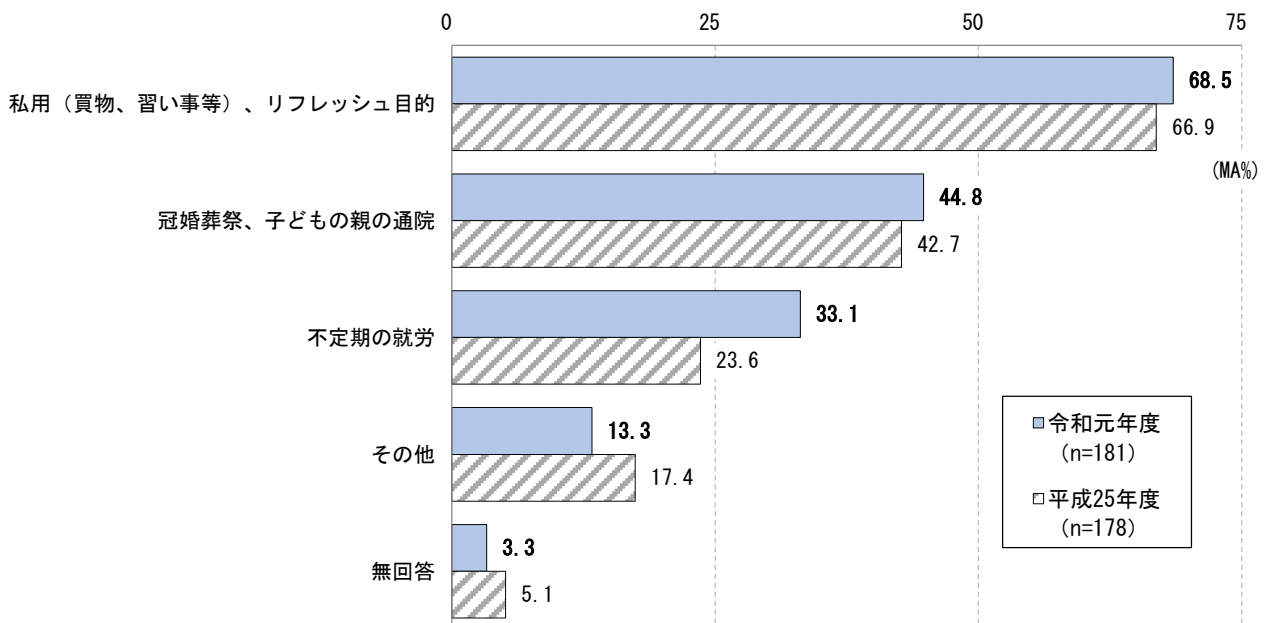
【不定期の教育・保育事業の利用希望】



不定期の教育・保育事業について、「利用したい」は27.4%となっている。

②不定期の教育・保育事業の利用目的

【不定期の教育・保育事業の利用目的】



不定期の教育・保育事業を利用したいと回答した人の利用目的としては、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が7割弱（68.5%）と最も高くなっている。

③不定期の教育・保育事業の年間利用日数

【不定期の教育・保育事業別の年間利用日数】

	n (人)	(%)							平均 (日)
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日以上	
年間合計	181	1.1	6.1	9.4	5.0	34.3	34.3	9.9	24.7
①私用（買物、習い事等）、 リフレッシュ目的	124	6.5	12.1	15.3	9.7	34.7	16.9	4.8	11.4
②冠婚葬祭、子どもの親の通院	81	9.9	25.9	12.3	9.9	30.9	6.2	4.9	7.1
③不定期の就労	60	5.0	10.0	8.3	5.0	21.7	38.3	11.7	33.1
④その他	24	4.2	16.7	16.7	8.3	25.0	20.8	8.3	18.6

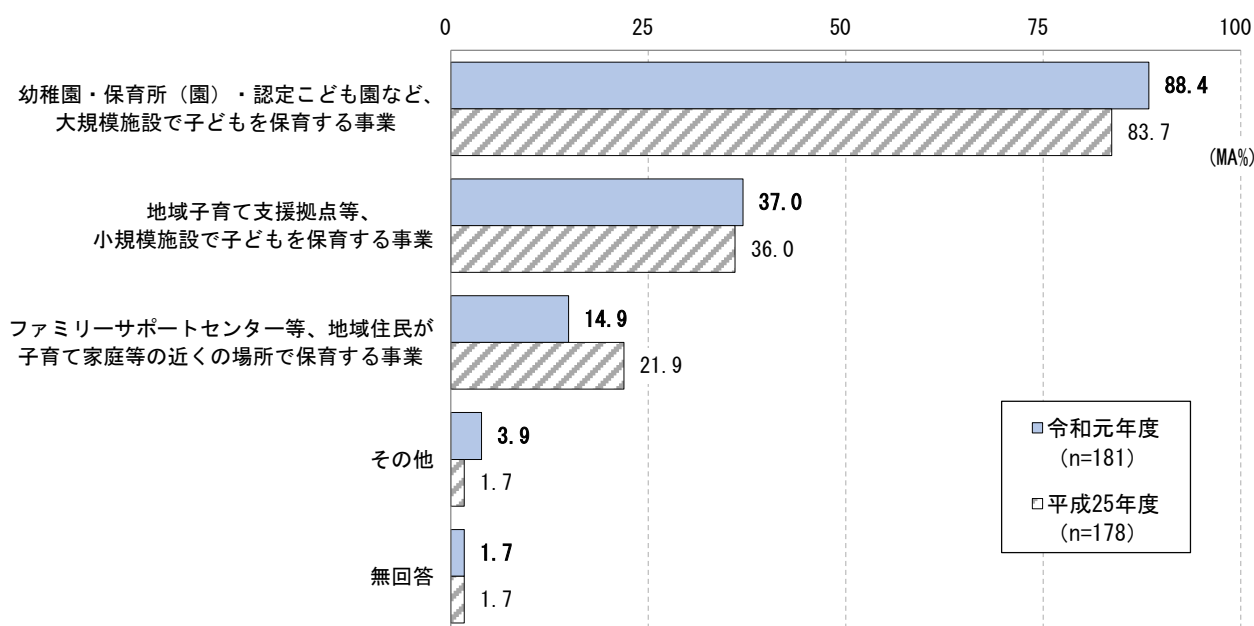
不定期の教育・保育事業別の年間利用日数としては、「10～19日」が、『①私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的』で34.7%、『②冠婚葬祭、子どもの親の通院』で30.9%と、ともに最も高くなっている。これに対し、『③不定期の就労』では「20日以上」が38.3%と最も高い。

(4) 不定期で利用する場合の希望事業形態

問25で「利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問25-1 問25の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。  
(あてはまるすべてに○)

【不定期で利用する場合の希望事業形態】

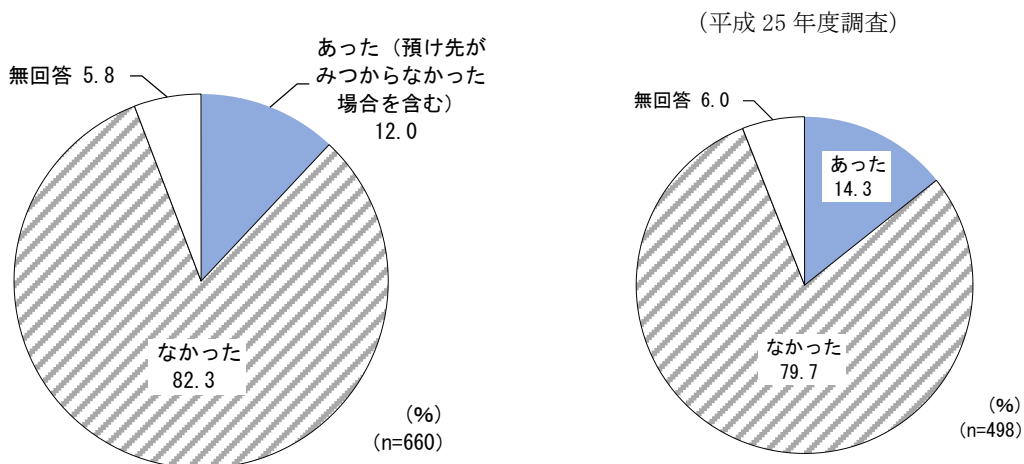


不定期の教育・保育事業を利用したいと回答した人の希望する事業形態としては、「幼稚園・保育所（園）・認定こども園など、大規模施設で子どもを保育する事業」が9割弱（88.4%）と最も高く、「地域子育て支援拠点等、小規模施設で子どもを保育する事業」が37.0%となっている。

(5) 宿泊を伴う一時預かりが必要だったことの有無

問 26 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで預けなければならないことはありましたか。(ひとつに○)

【宿泊を伴う一時預かりが必要だったことの有無】



この1年間に、保護者の用事などで子どもを泊りがけで預けなければならないことが「あった(預け先がみつからなかった場合を含む)」は1割台(12.0%)となっている。

(6) 宿泊を伴う一時預かりが必要だった際の対処

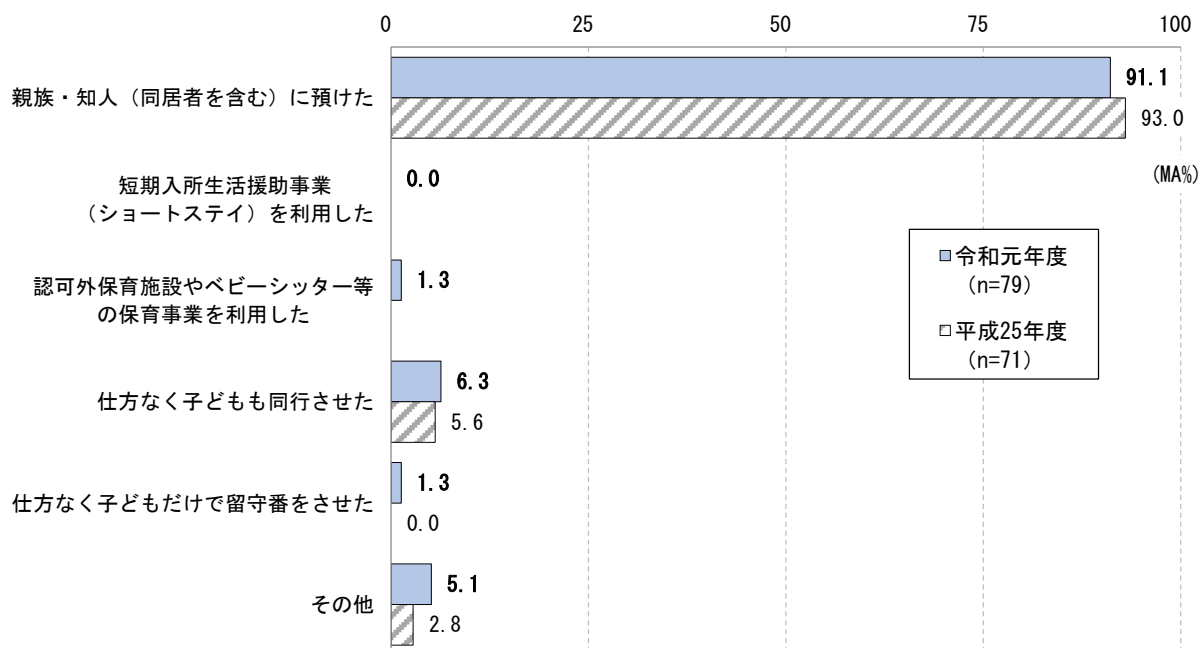
① 宿泊を伴う一時預かりが必要だった際の対処方法

問 26 で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 26-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。

(あてはまるすべてに○、それぞれの日数も数字で記入)

【宿泊を伴う一時預かりが必要だった際の対処方法】



子どもを泊りがけで預けなければならないことがあった際の対処方法としては、「親族・知人(同居者を含む)に預けた」が9割台(91.1%)と最も高く、次いで「仕方なく子どもも同行させた」が6.3%となっている。



②対処方法別の年間泊数

【対処方法別の年間泊数】

	n (人)	(%)							平均 (泊)
		1泊	2 ～ 3泊	4 ～ 5泊	6 ～ 9泊	10 ～ 19泊	20泊 以上	無回答	
①親族・知人（同居者を含む）に預けた	72	38.9	25.0	11.1	2.8	2.8	5.6	13.9	4.5
②短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	0								
③認可外保育施設やベビーシッター等の保育事業を利用した	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	6.0
④仕方なく子どもも同行させた	5	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	1.0
⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5
⑥その他	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	14.3

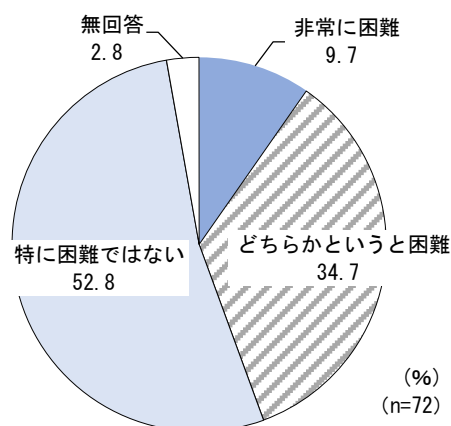
子どもを泊りがけで預けなければならないことがあった際の対処方法別の年間泊数として、『①親族・知人（同居者を含む）に預けた』では、「1泊」が38.9%と最も高く、次いで「2～3泊」が25.0%となっている。

(7) 親族・知人に泊りがけで預けた際の困難度

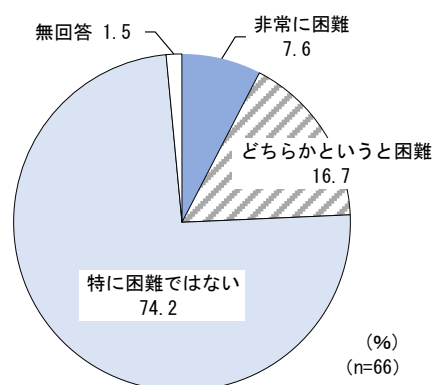
問 26-1 で「親族・知人に預けた」に○をつけた方にうかがいます。

問 26-2 親族・知人に預けた際の困難度はどの程度でしたか。（ひとつに○）

【親族・知人に泊りがけで預けた際の困難度】



(平成 25 年度調査)



子どもを親族・知人に泊りがけで預けたことがあると回答した人のその際の困難度としては、「非常に困難」が9.7%、「どちらかという困難」が34.7%となっており、困難だったという割合は4割台（44.4%）みられる。

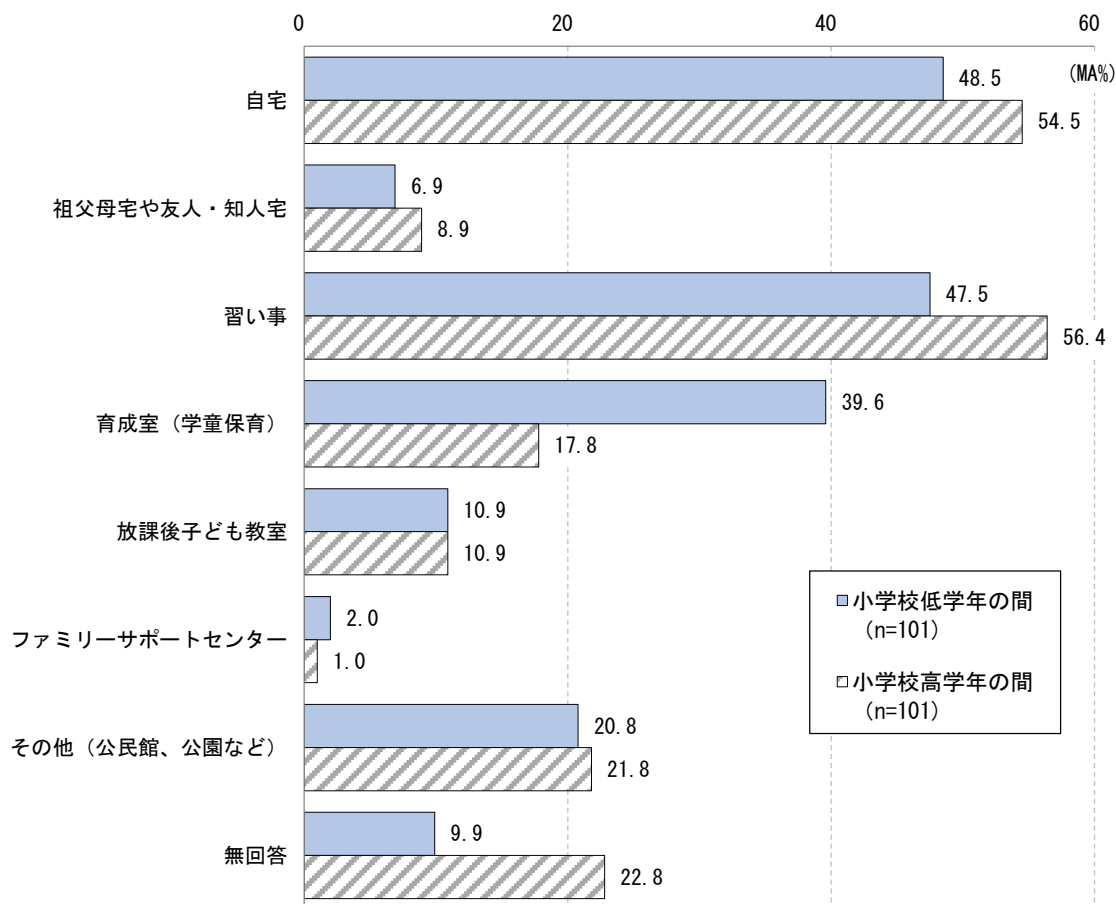
9 小学校就学後の放課後の過ごし方について [子どもが来年度就学予定の場合のみ]

(1) 小学校の放課後を過ごす場所に対する希望

①小学校の放課後を過ごす場所の希望

問 27 お子さんについて、小学生になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年、小学校高学年それぞれの希望をご記入ください。  
 （あてはまるすべてに○、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入）

【小学校の放課後を過ごす場所の希望】



来年度就学予定の子どもについて、小学校での放課後を過ごす場所の希望をたずねたところ、小学校低学年の間では、「自宅」が 48.5%と最も高く、次いで「習い事」が 47.5%、「育成室（学童保育）」が 39.6%となっている。

一方、小学校高学年の間では、「習い事」が 56.4%と最も高く、次いで「自宅」が 54.5%となっている。

②放課後を過ごす場所別の1週当たりの利用希望日数

【放課後を過ごす場所別の1週当たりの利用希望日数】

			(%)								
		n (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答	平均 (日)
(1～3年生)の 小学校低学年の間	①自宅	49	8.2	24.5	24.5	14.3	22.4	0.0	0.0	6.1	3.2
	②祖父母宅や友人・知人宅	7	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
	③習い事	48	41.7	41.7	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	1.7
	④育成室(学童保育)	40	0.0	2.5	7.5	22.5	65.0	0.0	0.0	2.5	4.6
	⑤放課後子ども教室	11	54.5	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	1.7
	⑥ファミリーサポートセンター	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	⑦その他(公民館、公園など)	21	23.8	42.9	4.8	9.5	14.3	0.0	0.0	4.8	2.5
(4～6年生)の 小学校高学年の間	①自宅	55	12.7	18.2	20.0	9.1	29.1	0.0	0.0	10.9	3.3
	②祖父母宅や友人・知人宅	9	33.3	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	2.1
	③習い事	57	21.1	47.4	21.1	1.8	1.8	0.0	0.0	7.0	2.1
	④育成室(学童保育)	18	0.0	16.7	11.1	16.7	55.6	0.0	0.0	0.0	4.1
	⑤放課後子ども教室	11	45.5	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	2.0
	⑥ファミリーサポートセンター	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	⑦その他(公民館、公園など)	22	18.2	36.4	22.7	9.1	9.1	0.0	0.0	4.5	2.6

放課後の過ごし方別の希望する1週当たりの利用日数として、小学校低学年(1～3年生)の間では『④育成室(学童保育)』で「5日」が65.0%、小学校高学年(4～6年生)の間では『③習い事』で「2日」が47.4%と、それぞれ最も高くなっている。

③育成室の利用希望時間(下校時から)

【育成室の利用希望時間】

			(%)							
		n (人)	1 5 時 台	1 6 時 台	1 7 時 台	1 8 時 台	1 9 時 台	2 0 時 以 降	無 回 答	平均 (時)
小学校低学年(1～3年生)の間		40	0.0	0.0	22.5	55.0	20.0	0.0	2.5	18.0
小学校高学年(4～6年生)の間		18	0.0	0.0	33.3	50.0	5.6	0.0	11.1	17.8

放課後の過ごし方として育成室(学童保育)を利用したいと考えている人の下校時からの希望する利用時間として、小学校低学年・高学年ともに「18時台」までが最も高くなっている。

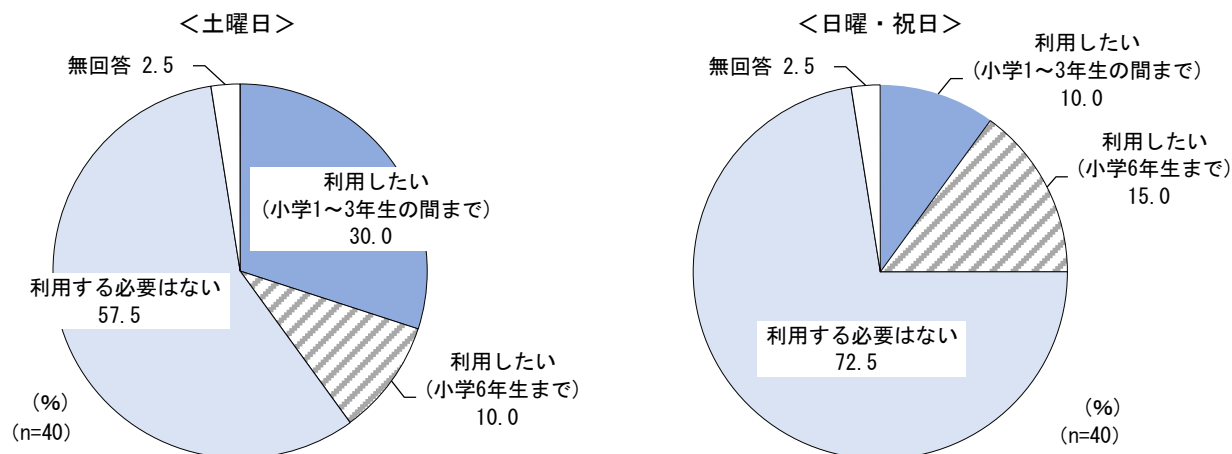
(2) 土曜・休日の育成室の利用に対する希望

①土曜・休日の育成室の利用希望

問 27 で「育成室（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問 27-1 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、育成室（学童保育）の利用希望はありますか。  
（それぞれひとつに○、また利用したい時間帯を記入）

【土曜・休日の育成室の利用希望】



土曜・休日の育成室（学童保育）の利用希望として、土曜日に利用したい割合は4割（40.0%）となっており、小学1～3年生の間までが30.0%、小学6年生までが10.0%となっている。

日曜・祝日に利用したい割合は2割台（25.0%）となっており、小学1～3年生の間までが10.0%、小学6年生までが15.0%となっている。

②土曜・休日の育成室の利用希望時間帯

【土曜・休日の育成室の利用希望開始時間】

	n (人)	開始時間 (%)						平均 (時)
		7時より前	7時台	8時台	9時台	10時以降	無回答	
土曜日	16	0.0	6.3	75.0	12.5	0.0	6.3	8.1
日曜・祝日	10	0.0	10.0	60.0	20.0	0.0	10.0	8.1

【土曜・休日の育成室の利用希望終了時間】

	n (人)	終了時間 (%)								平均 (時)
		15時より前	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答	
土曜日	16	0.0	6.3	0.0	37.5	31.3	18.8	0.0	6.3	17.6
日曜・祝日	10	0.0	10.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	10.0	17.7

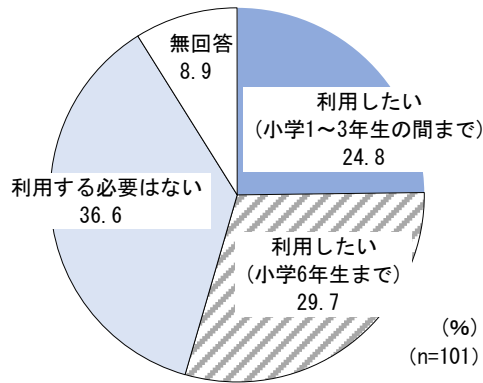
土曜・休日に育成室（学童保育）を利用したいと回答した人の希望する利用開始時間としては、土曜日、日曜・祝日ともに「8時台」が最も高くなっている。利用終了時間としては、土曜日では「17時台」、日曜・祝日では「18時台」が、それぞれ最も高くなっている。

(3) 長期休暇期間中の育成室の利用に対する希望

①長期休暇期間中の育成室の利用希望

問 28 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の育成室（学童保育）の利用希望はありますか。（ひとつに○、利用したい時間帯を記入）

【長期休暇期間中の育成室の利用希望】



長期の休暇期間中に育成室（学童保育）を利用したい割合は5割台（54.5%）となっており、小学1～3年生の間までが24.8%、小学6年生までが29.7%となっている。

②長期休暇期間中の育成室の利用希望時間帯

【長期休暇期間中の育成室の利用希望開始時間】

n (人)	開始時間 (%)							平均 (時)
	7時より前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時以降	無回答	
55	0.0	12.7	63.6	20.0	1.8	0.0	1.8	8.1

【長期休暇期間中の育成室の利用希望終了時間】

n (人)	終了時間 (%)									平均 (時)
	14時より前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答	
55	0.0	1.8	7.3	3.6	23.6	47.3	12.7	1.8	1.8	17.6

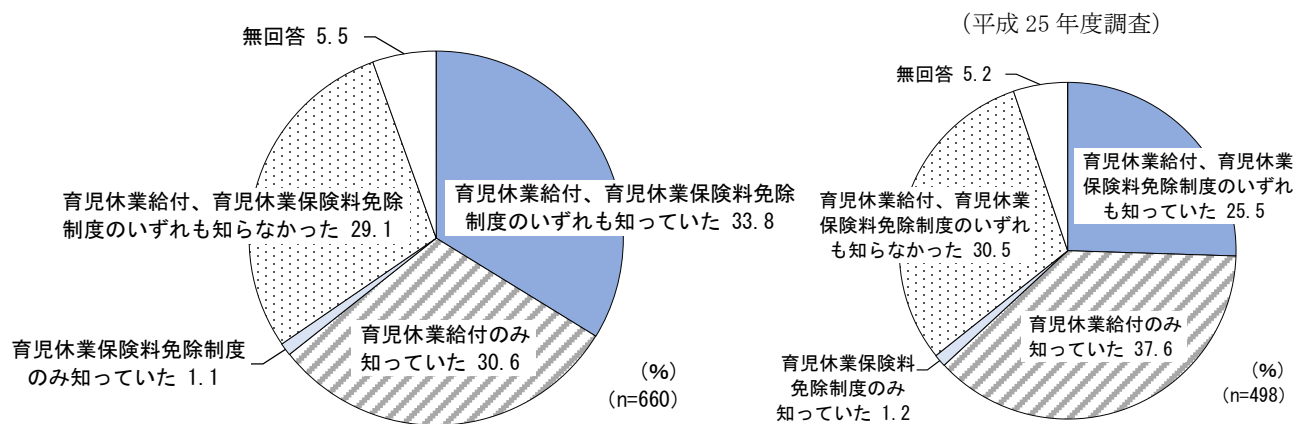
土曜・休日に育成室（学童保育）を利用したいと回答した人の希望する利用開始時間としては「8時台」が63.6%、利用終了時間としては「18時台」が47.3%と、それぞれ最も高くなっている。

## 10 職場の両立支援制度について

### (1) 育児休業給付や育児休業保険料免除制度の認知度

問 29 育児休業給付や育児休業保険料免除制度をご存じですか。(ひとつに○)

【育児休業給付や育児休業保険料免除制度の認知度】



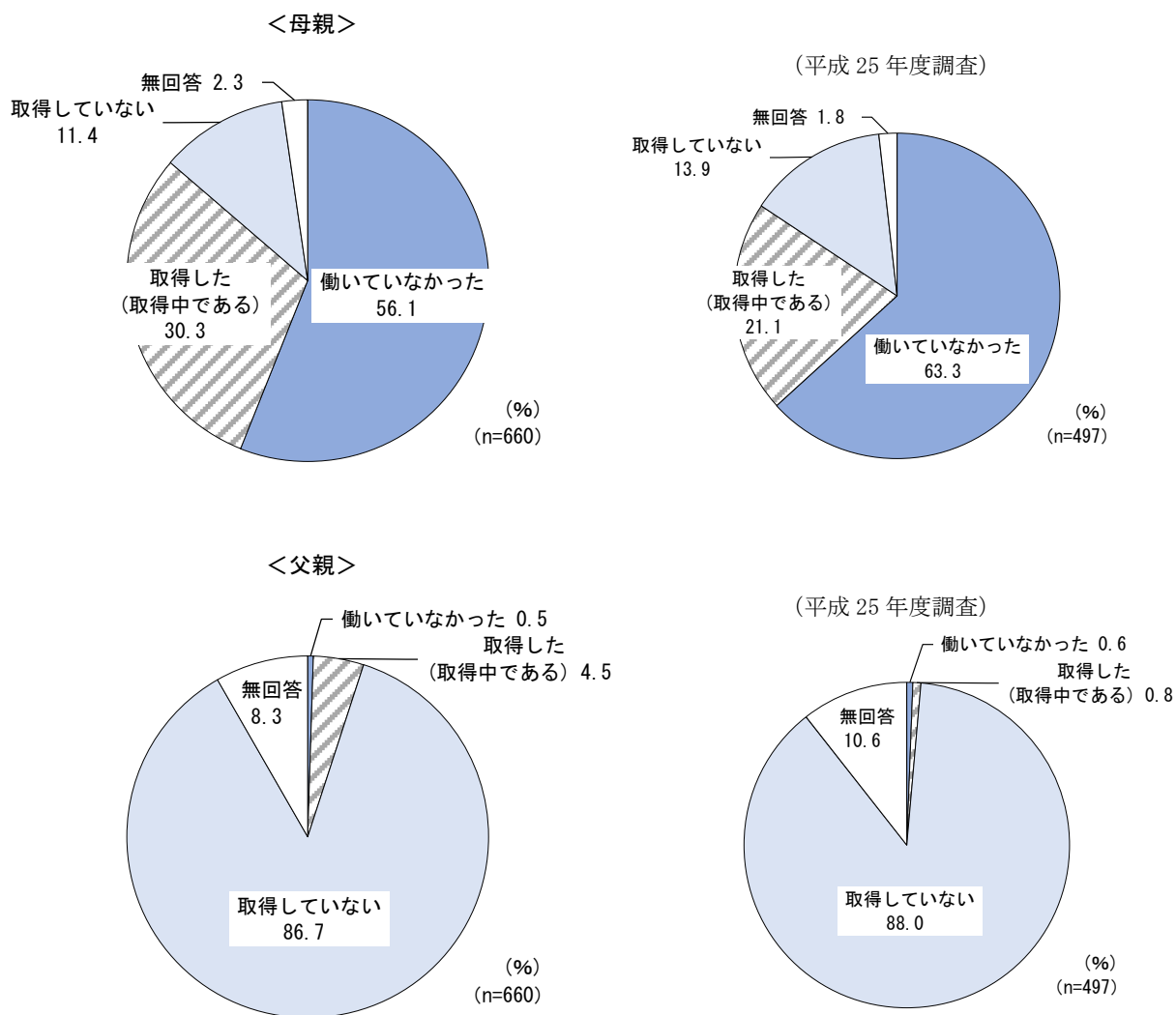
育児休業給付について知っていたという人は6割台 (64.4%)、育児休業保険料免除制度について知っていたという人は3割台 (34.9%) となっており、いずれも知らなかったという人は約3割 (29.1%) みられる。

(2) 育児休業の取得状況の有無

① 育児休業の取得の有無

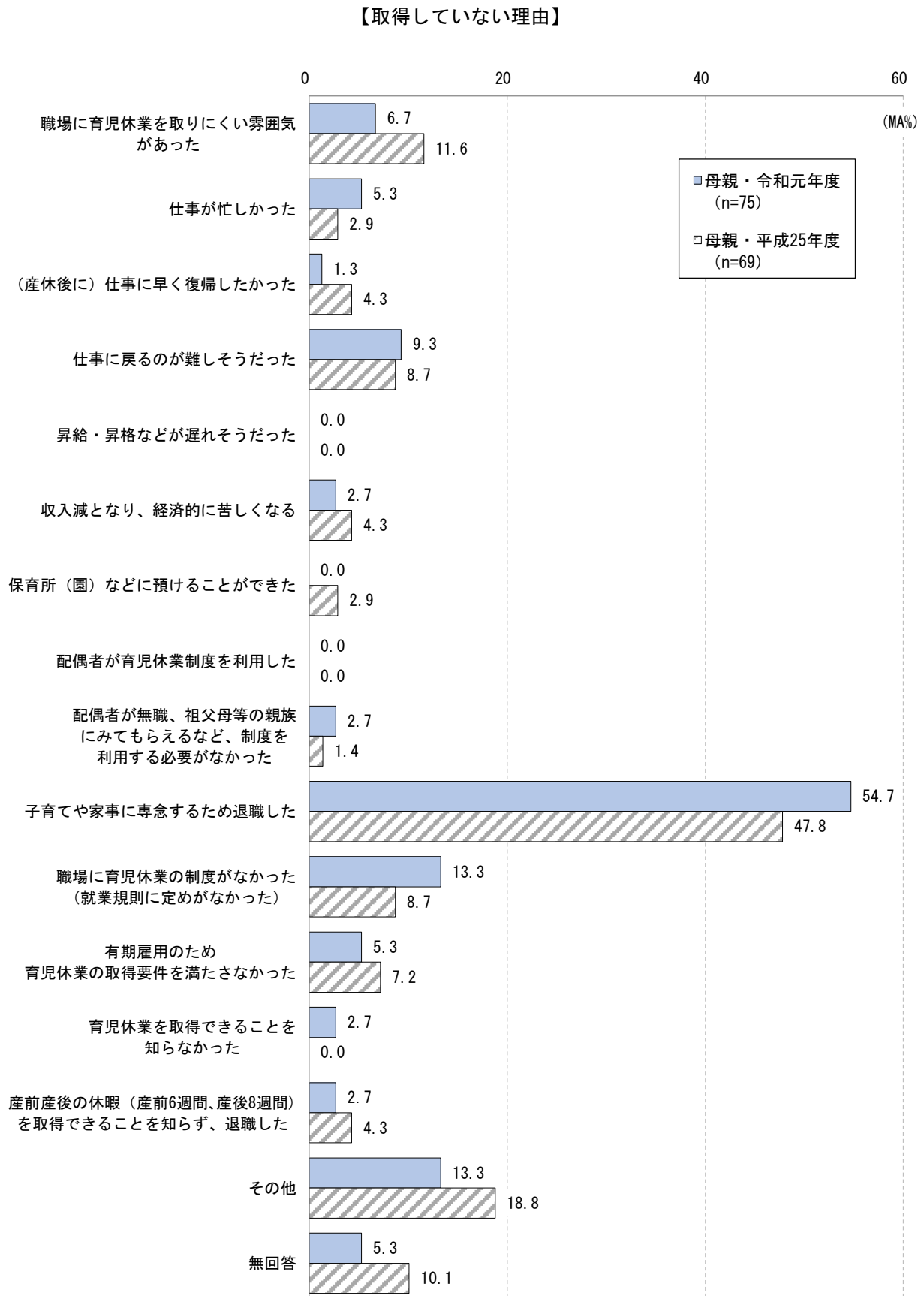
問 30 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
 (母親、父親それぞれひとつに〇、取得していない方はその理由を記入)

【育児休業の取得の有無】

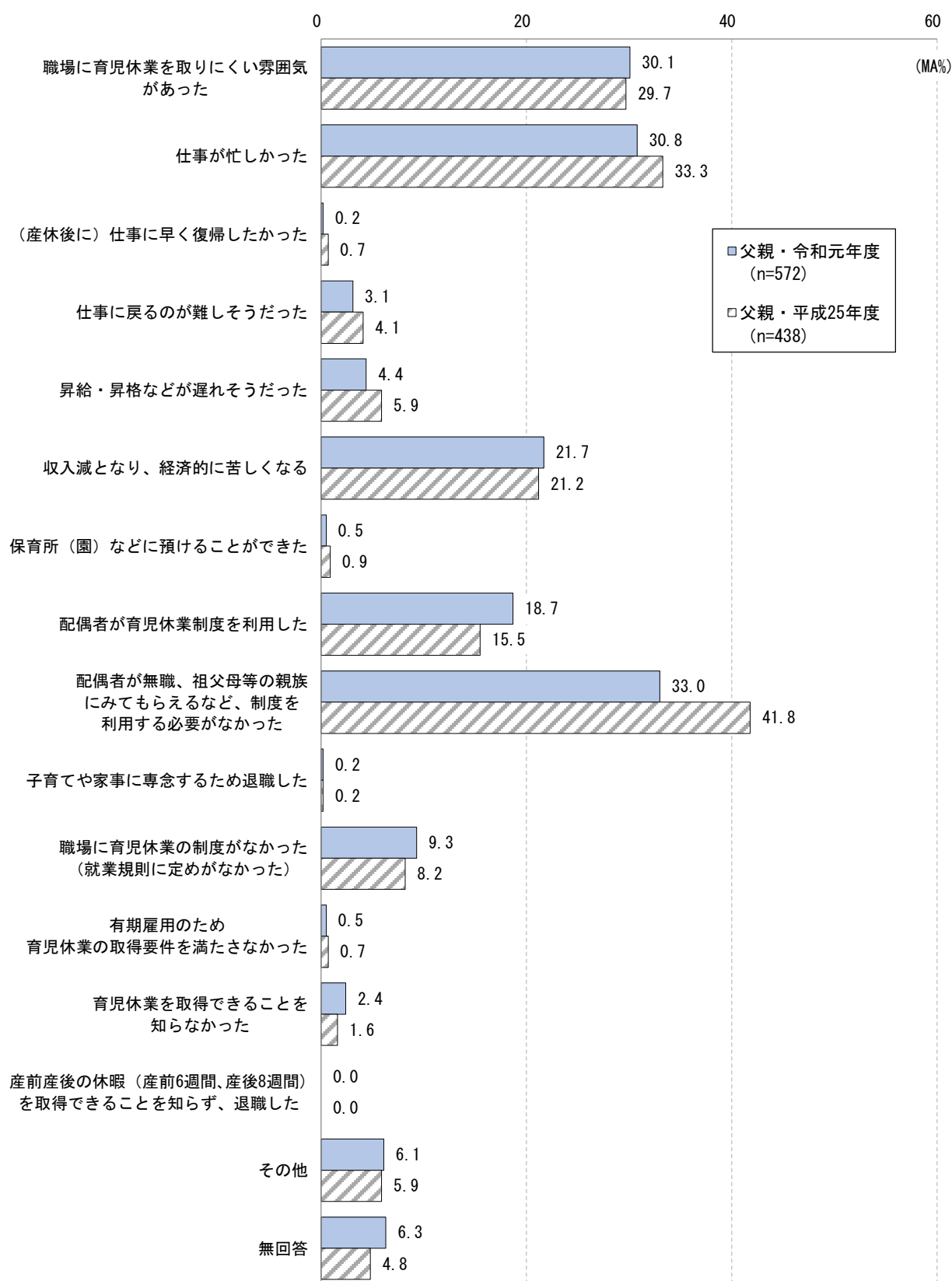


子どもが生まれた時の育児休業の取得状況として、母親では、「働いていなかった」が5割台(56.1%)を占めており、「取得した(取得中である)」が30.3%、「取得していない」が11.4%となっている。一方、父親では、「取得していない」が8割台(86.7%)を占めている。

②取得していない理由







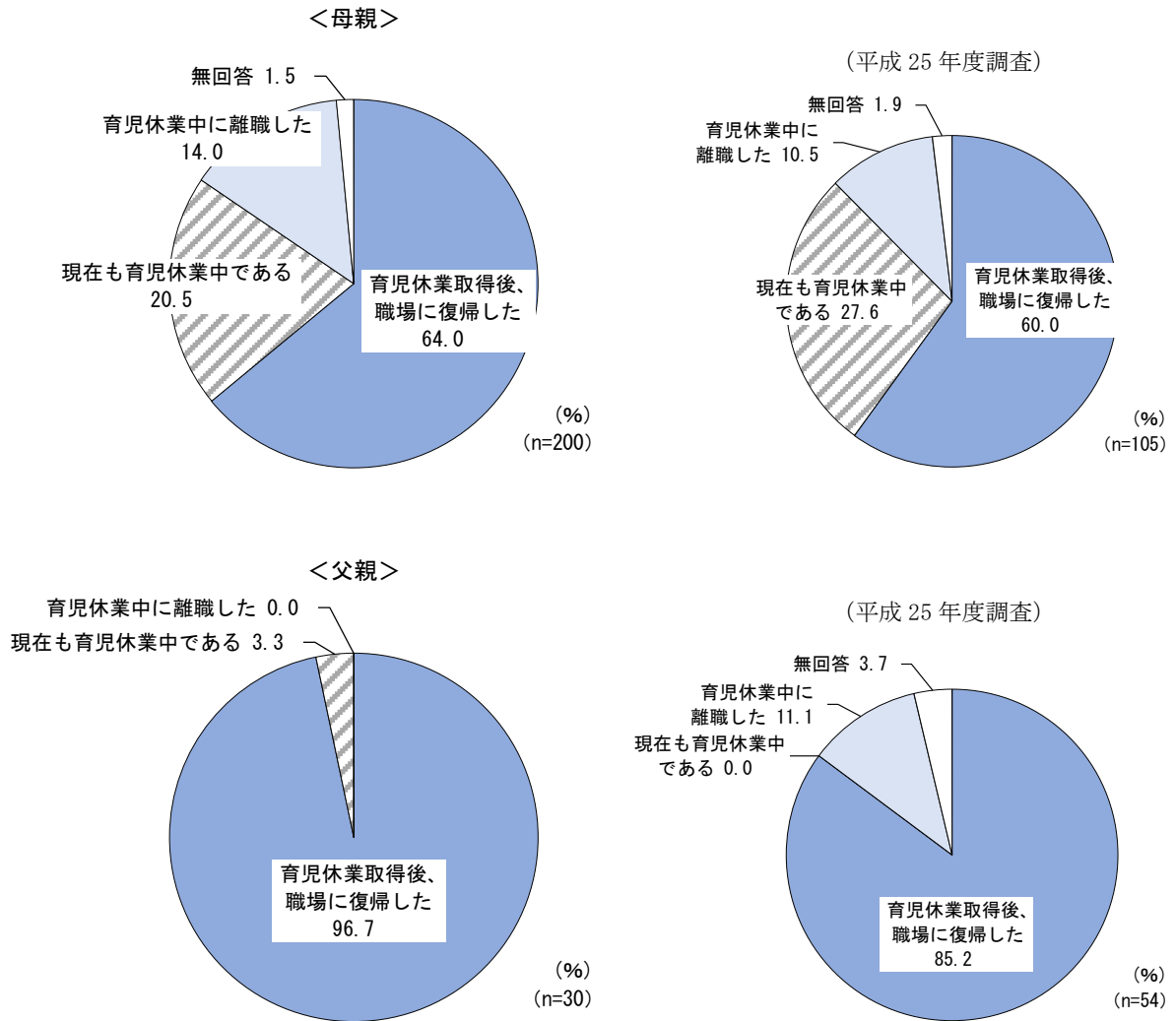
育児休業を取得していないと回答した人の理由として、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が54.7%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が13.3%となっている。一方、父親では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が33.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が30.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が30.1%となっている。

(3) 育児休業取得後の職場復帰の状況

問 30 で「取得した」に○をつけた方にかがいます。

問 30-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(母親、父親それぞれひとつの数字を記入)

【育児休業取得後の職場復帰の状況】



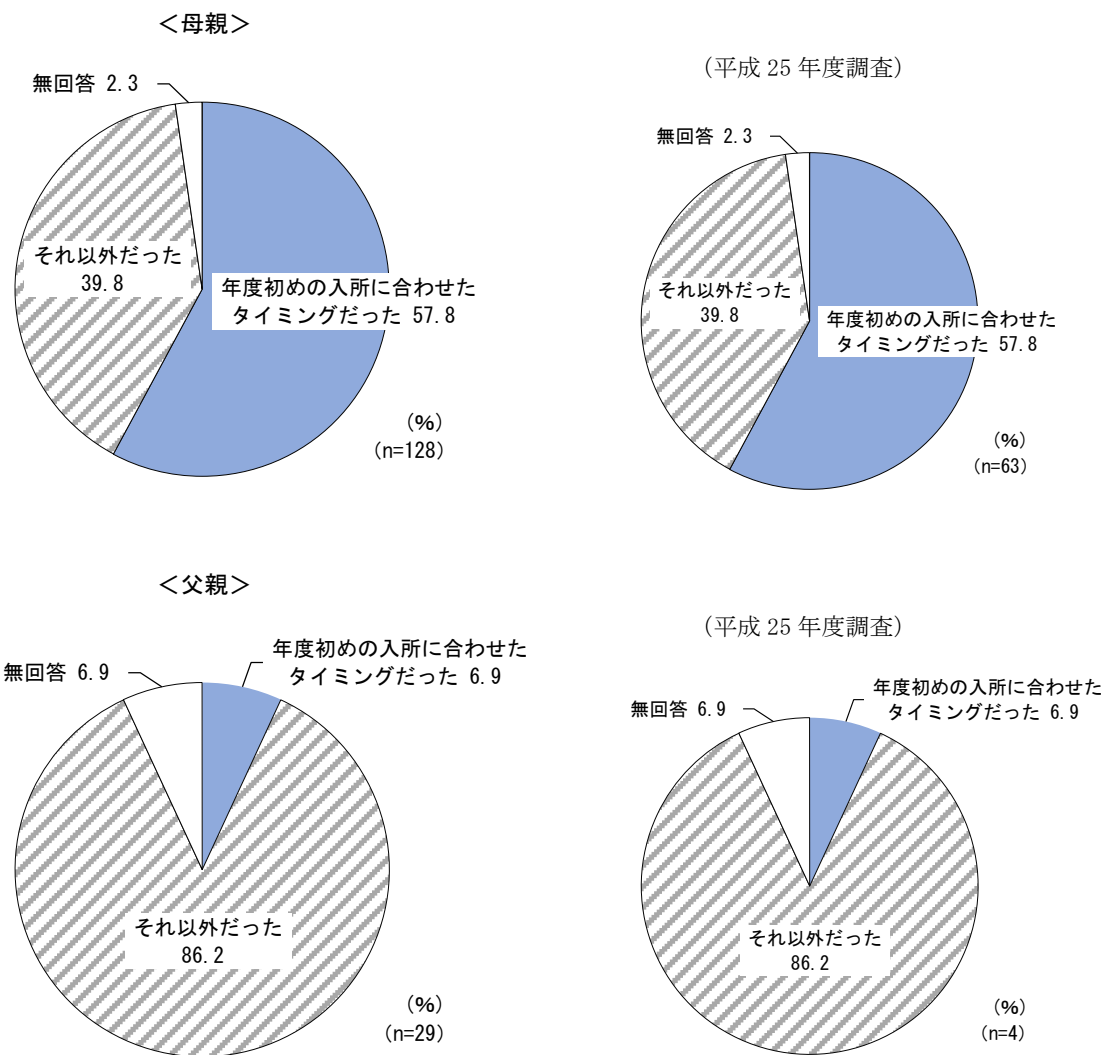
育児休業を取得したと回答した人の職場復帰の状況としては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が母親で6割台(64.0%)、父親で9割台(96.7%)を占めている。一方、母親では「育児休業中に離職した」が1割台(14.0%)みられる。

(4) 職場復帰の時期

問 30-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-2 育児休業から職場に復帰したタイミングはいつでしたか。(母親、父親それぞれひとつの数字を記入)

【職場復帰の時期】



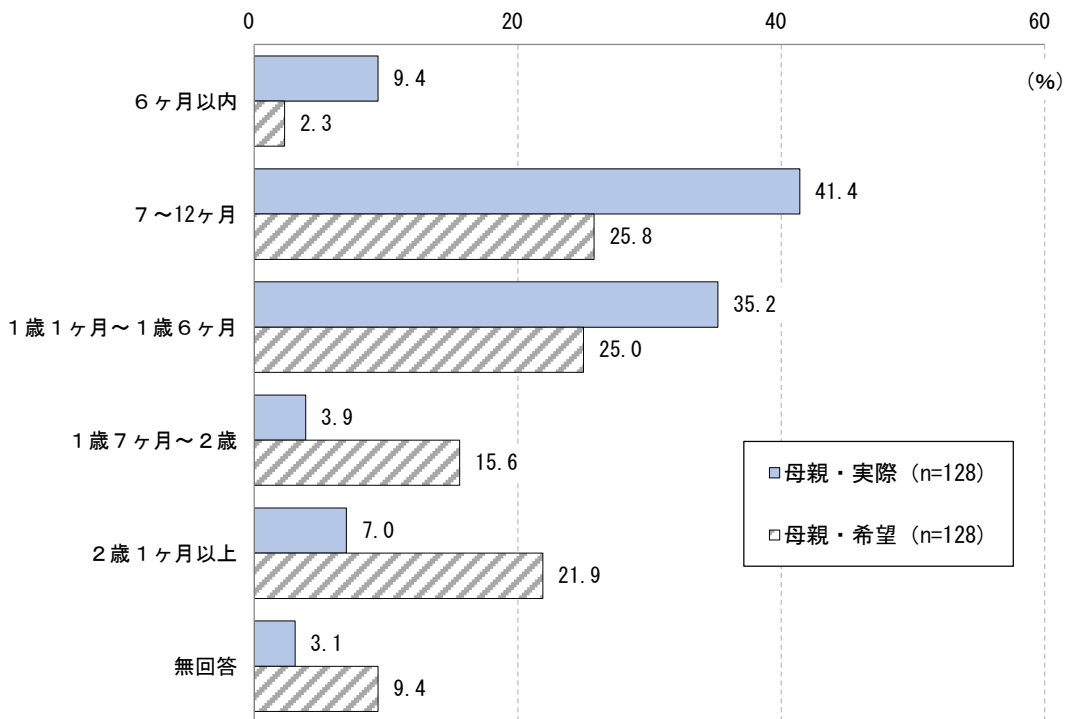
育児休業取得後に職場に復帰したと回答した人のタイミングとして、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 57.8%に対し、父親では「それ以外だった」が 86.2%となっている。

(5) 育児休業の取得期間

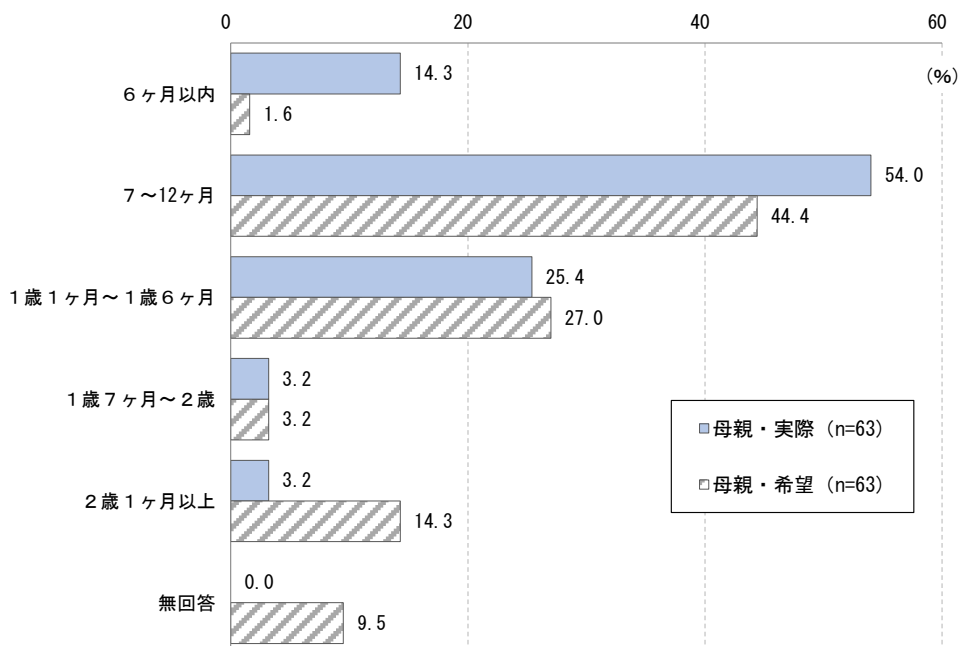
問 30-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。  
 問 30-3 育児休業から「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。  
 また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。  
 (母親、父親それぞれ数字で記入)

【育児休業の取得期間】

<母親(実際・希望)>



(平成 25 年度調査)



<父親（実際・希望）>

(%)

	調査数 (人)	6 ヶ 月 以 内	7 ヶ 月 以 上	6 ヶ 月 以 上	1 歳 以 上	2 歳 以 上	無 回 答
父親・実際	29	51.7	3.4	3.4	3.4	0.0	37.9
父親・希望	29	34.5	20.7	3.4	3.4	0.0	37.9

(平成 25 年度調査)

(%)

	調査数 (人)	6 ヶ 月 以 内	7 ヶ 月 以 上	6 ヶ 月 以 上	1 歳 以 上	2 歳 以 上	無 回 答
父親・実際	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
父親・希望	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0

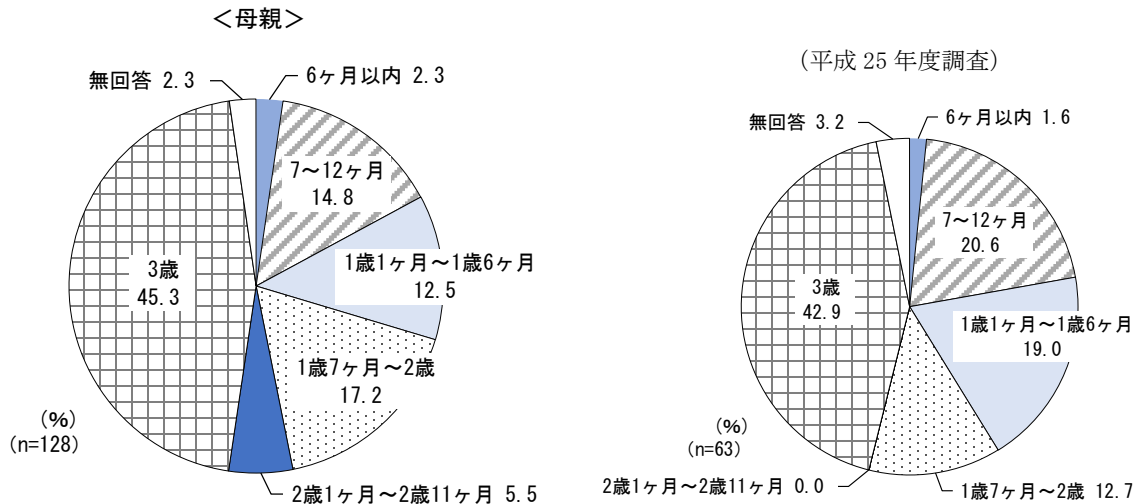
育児休業の取得期間として、母親では、実際の取得期間は 12 ヶ月以下が約 5 割 (50.8%) を占めるのに対し、希望する取得期間は 1 歳 1 ヶ月以上が 6 割台 (62.5%) を占めている。

(6) 3歳まで取得できる場合の育児休業の希望取得期間（子どもの年齢）

問 30-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-4 お勤め先に、子どもが満3歳まで取得できる育児休業制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（母親、父親それぞれ数字で記入）

【3歳まで取得できる場合の育児休業の希望取得期間】



<父親>

(%)

	n (人)	6ヶ月以内	7ヶ月以内	6ヶ月1歳1ヶ月～1歳6ヶ月	1歳7ヶ月～2歳	1歳11ヶ月～2歳	3歳	無回答
令和元年度	29	24.1	24.1	0.0	3.4	0.0	13.8	34.5
平成25年度	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0

子どもが満3歳まで取得できる育児休業制度があった場合の希望する取得期間として、母親では、「3歳」が4割台（45.3%）と最も高く、次いで「1歳7ヶ月～2歳」が17.2%となっている。

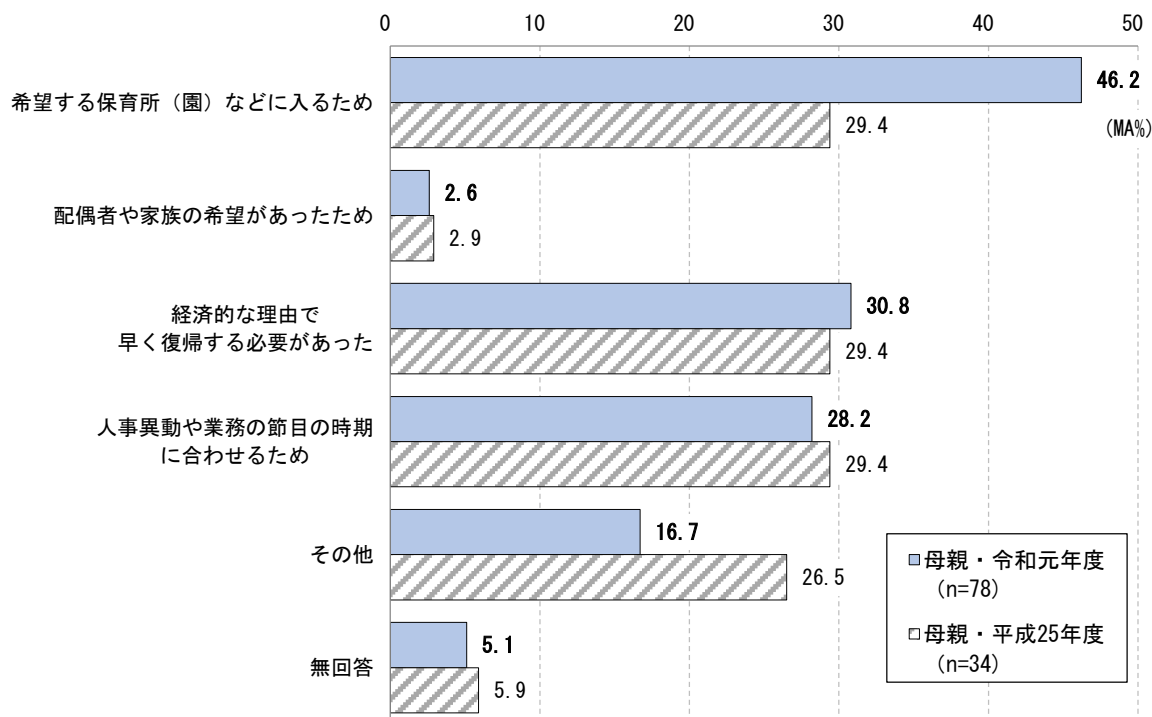
(7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

①希望より早く職場復帰した理由

問 30-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

【希望より早く職場復帰した理由】



(%)

	n (人)	た め （ 園 ） な ど 保 育 所 に 入 る	希 望 す る 保 育 所 に 入 る	望 が あ つ た 家 族 の 希	配 偶 者 や 家 族 の 希	が あ つ た 必 要	早 く 復 帰 す る 理 由 で	経 済 的 な 理 由 で	に 合 わ せ る た め	節 目 の 時 期 に あ わ せ る た め	人 事 異 動 や 業 務 の	そ の 他	無 回 答
父親・令和元年度	9	0.0	11.1	22.2	22.2	33.3	33.3						
父親・平成25年度	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0						

育児休業の取得期間について、希望より早く復帰した人の理由として、母親では、「希望する保育所（園）などに入るため」が46.2%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が30.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が28.2%となっている。

②希望より遅く職場復帰した理由

【希望より遅く職場復帰した理由】

	調査数（人）	な（園）希望する保育所に入れ	な（園）かつたため	自（体）や子どもなど	望（が）あつたため	配（偶）者や家族の希	か（勢）がつたため	職（場）の受け入れ態	た（る）人（が）い（な）か（つ）た	子（ど）も（を）み（な）か（つ）た	そ（の）他	無回答
母親	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
父親	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

(8) 短時間勤務制度の利用状況

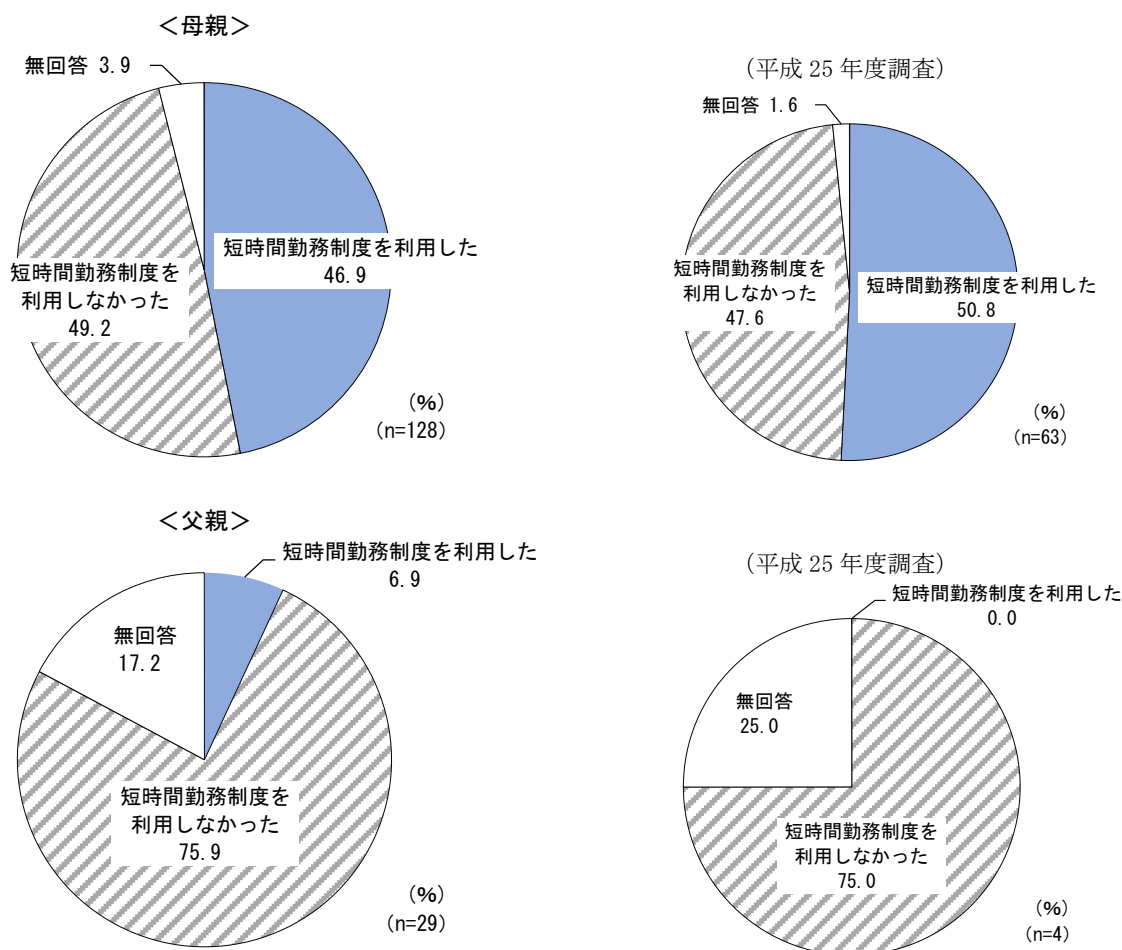
①短時間勤務制度の利用有無

問 30-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(母親、父親それぞれ、ひとつの数字を記入)

【短時間勤務制度の利用有無】



育児休業からの職場復帰時、「短時間勤務制度を利用した」が、母親で4割台（46.9%）に対し、父親では6.9%にとどまっている。



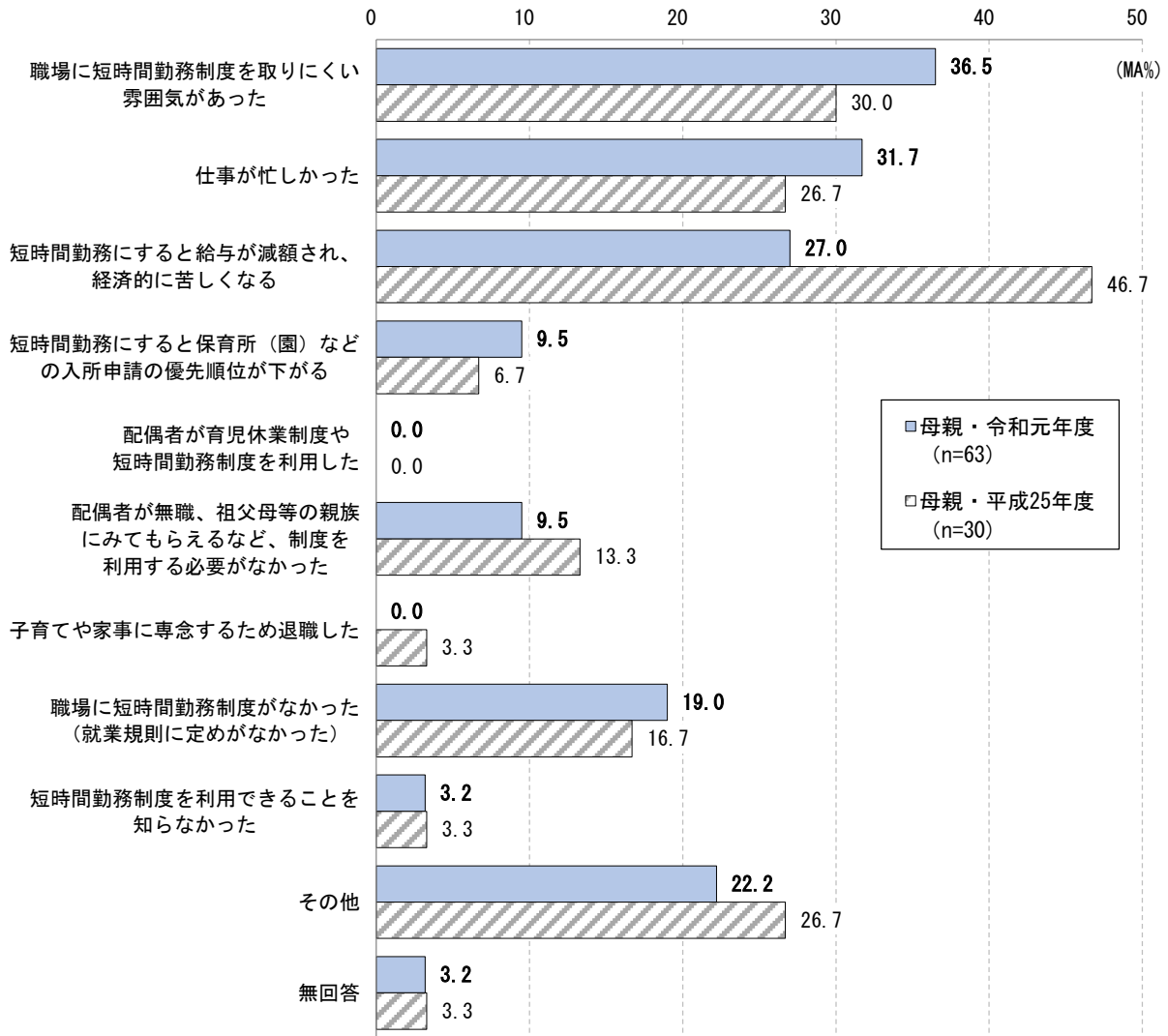
②短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 30-6 で「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。

(母親、父親それぞれ、あてはまるすべての数字を記入)

【短時間勤務制度を利用しなかった理由】



	n (人)	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	短時間勤務にすると保育所(園)などの入所申請の優先順位が下がる	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	子育てや家事に専念するため退職した	職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	その他	無回答
父親・令和元年度	22	13.6	36.4	36.4	0.0	13.6	22.7	0.0	9.1	9.1	4.5	4.5
父親・平成25年度	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかったと回答した人の理由として、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が36.5%、父親では「仕事が忙しかった」、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」がともに36.4%と、それぞれ最も高くなっている。

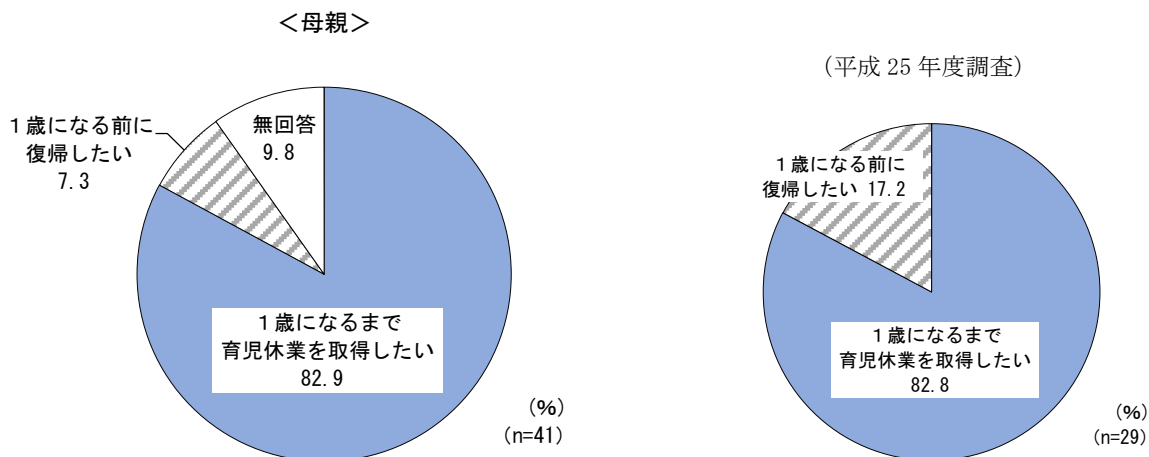
(9) 1歳時に利用できる事業がある場合の育児休業の希望

問 30-1 で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(母親、父親それぞれ、ひとつの数字を記入)

【1歳時に利用できる事業がある場合の育児休業の希望】



<父親>

(平成 25 年度調査)

(%)

調査数 (人)	1歳になるまで取得したいまで育児休業	1歳になる前に復帰した	無回答
1	0.0	100.0	0.0

※該当なし

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得期間の希望として、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が8割台(82.9%)に対し、「1歳になる前に復帰したい」が7.3%となっている。

## 11 猪名川町での子育てや子育て支援サービスについて

### (1) 子育て支援サービス等の利用状況

#### ①子育て支援サービス等の利用有無

問 31 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。  
 利用したことがある人は子育て支援サービスや取り組みごとに、○をつけてください。  
 また、利用したことはない人と知らなかった人はあてはまる番号に○をつけてください。

【子育て支援サービス等の利用有無】

		(%)					(平成25年度調査)				
		調査数 (人)	と利用 がある (参加) したこ	利用 したこ とはな い	知ら なかつ た	無回 答	調査数 (人)	と利用 がある (参加) したこ	利用 したこ とはな い	知ら なかつ た	無回 答
子育て 支援 センター	①地域などで実施している子育てサークル	660	36.1	57.7	2.9	3.3	498	41.8	51.0	2.8	4.4
	②子育て支援センターが実施する行事	660	45.2	49.5	2.3	3.0	498	45.2	48.0	2.4	4.4
	③つどいの広場	660	37.3	53.9	4.7	4.1	498	36.9	50.6	6.6	5.8
保健 センター	④乳幼児健診	660	92.4	5.5	0.5	1.7	498	89.6	6.8	0.0	3.6
	⑤母親学級（両親学級）	660	24.8	67.6	2.7	4.8	498	32.3	58.2	4.0	5.4
	⑥健康相談、電話相談	660	23.0	70.3	2.7	3.9	498	26.7	64.9	2.4	6.0
	⑦新生児訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）	660	67.3	27.7	1.8	3.2	498	67.9	24.1	4.0	4.0
福祉課	⑧民生委員児童委員による相談・支援活動	660	4.2	73.9	17.9	3.9	498	4.6	72.5	17.3	5.6
子ども課	⑨家庭児童相談、母子相談	660	5.3	80.2	10.2	4.4	498	3.4	79.7	11.4	5.4
	⑩子育て支援情報誌等	660	49.5	40.0	6.2	4.2	498	55.8	33.7	5.8	4.6
保育所 (園)・ 幼稚園・ 認定こ ども園	⑪各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による子育て相談	660	21.8	68.9	4.8	4.4	498	23.7	68.1	2.6	5.6
	⑫各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による園庭開放	660	45.9	47.7	2.7	3.6	498	53.8	38.6	2.8	4.8
	⑬私立保育所(園)の保育内容	660	18.8	66.1	9.4	5.8	498	17.9	62.9	11.6	7.6
	⑭公立保育所(園)の保育内容	660	16.4	70.2	8.0	5.5	498	15.3	64.5	12.2	8.0
	⑮私立幼稚園・認定こども園の保育内容	660	34.4	53.2	7.6	4.8	498	25.9	56.8	10.0	7.2
	⑯公立幼稚園の保育内容	660	25.6	63.0	6.2	5.2	498	29.7	53.6	9.6	7.0
図書館	⑰絵本などの読み聞かせ	660	44.7	50.3	2.0	3.0	498	43.6	50.8	2.0	3.6
教育支援 センター	⑱教育相談	660	5.2	79.7	11.1	4.1	498	5.2	73.5	15.7	5.6

子育て支援サービス等（18項目）について、利用したことがある割合でみると、『④乳幼児健診』で92.4%と最も高く、次いで『⑦新生児訪問（こんにちは赤ちゃん訪問）』で67.3%、『⑩子育て支援情報誌等』で49.5%となっている。一方、『⑧民生委員児童委員による相談・支援活動』では4.2%、『⑱教育相談』では5.2%、『⑨家庭児童相談、母子相談』では5.3%にとどまっている。

(各支援サービスについて「利用(参加)したことがある」と回答した人のみ)

②子育て支援サービス等の満足度

【子育て支援サービス等の満足度】

		(%)					(平成25年度調査)				
		調査数 (人)	満足	やや満足	やや不満	不満	調査数 (人)	満足	やや満足	やや不満	不満
子育て支援センター	①地域などで実施している子育てサークル	238	58.4	34.0	6.7	0.8	208	43.8	43.3	9.6	3.4
	②子育て支援センターが実施する行事	298	55.0	39.9	4.4	0.7	225	40.0	44.9	13.8	1.3
	③つどいの広場	246	47.6	40.2	11.0	1.2	184	36.4	44.6	17.4	1.6
保健センター	④乳幼児健診	610	49.2	40.7	8.7	1.5	446	43.3	42.6	11.7	2.5
	⑤母親学級(両親学級)	164	51.8	40.9	6.7	0.6	161	51.6	41.0	5.6	1.9
	⑥健康相談、電話相談	152	49.3	40.8	6.6	3.3	133	51.1	36.1	9.0	3.8
	⑦新生児訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)	444	62.4	32.4	4.3	0.9	338	66.9	28.7	4.1	0.3
福祉課	⑧民生委員児童委員による相談・支援活動	28	32.1	53.6	10.7	3.6	23	43.5	30.4	8.7	17.4
こども課	⑨家庭児童相談、母子相談	35	34.3	45.7	5.7	14.3	17	29.4	29.4	17.6	23.5
	⑩子育て支援情報誌等	327	38.8	57.8	3.1	0.3	278	30.6	62.6	6.1	0.7
保育所(園)・幼稚園・認定こども園	⑪各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による子育て相談	144	47.9	47.9	2.8	1.4	118	44.1	44.9	7.6	3.4
	⑫各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による園庭開放	303	56.8	37.0	5.0	1.3	268	50.4	45.1	2.6	1.9
	⑬私立保育所(園)の保育内容	124	49.2	41.1	7.3	2.4	89	53.9	34.8	7.9	3.4
	⑭公立保育所(園)の保育内容	108	47.2	35.2	14.8	2.8	76	39.5	38.2	17.1	5.3
	⑮私立幼稚園・認定こども園の保育内容	227	52.9	38.8	7.5	0.9	129	57.4	32.6	8.5	1.6
	⑯公立幼稚園の保育内容	169	47.9	34.9	15.4	1.8	148	29.7	48.0	16.9	5.4
図書館	⑰絵本などの読み聞かせ	295	50.5	47.5	1.7	0.3	217	48.4	46.5	4.6	0.5
教育支援センター	⑱教育相談	34	38.2	50.0	5.9	5.9	26	34.6	53.8	7.7	3.8

子育て支援サービス等(18項目)のうち、それぞれ利用したことがあると回答した項目についての満足度をたずねたところ、満足という割合(「満足」「やや満足」の計)が、『⑰絵本などの読み聞かせ』で98.0%と最も高く、次いで『⑩子育て支援情報誌等』で96.6%、『⑪各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による子育て相談』で95.8%となっている。

一方、不満という割合(「やや不満」「不満」の計)が、『⑨家庭児童相談、母子相談』で20.0%と最も高く、次いで『⑭公立保育所(園)の保育内容』で17.6%、『⑯公立幼稚園の保育内容』で17.2%となっている。

(2) 猪名川町が実施する子育て支援サービス等の利用状況

①猪名川町が実施する子育て支援サービス等の認知度

問 32 猪名川町が、子育て支援を推進するために取り組んでいる次のサービスについて知っていたり、これまでに利用したことがありますか。子育て支援サービスや取り組みごとに、認知について・利用について・必要性（重要度）について、あてはまる番号に○をつけてください。

【猪名川町が実施する子育て支援サービス等の認知度】

	調査数	利 知 用 っ し て お こ り、 が あ る	利 知 用 っ し て い る が、 は な い	知 ら な い	無 回 答
①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度	660	81.7	12.7	0.9	4.7
②お誕生メモリアルフォト	660	27.6	26.5	41.2	4.7
③多子誕生祝金（第3子以降）	660	15.8	54.4	24.5	5.3
④子育て支援ホームヘルパー事業	660	4.1	45.9	44.4	5.6
⑤いなっ子絵本配布事業	660	45.9	25.8	23.3	5.0
⑥赤ちゃんの駅	660	30.9	41.2	23.0	4.8
⑦キッズコーナー	660	37.4	27.7	29.4	5.5
⑧いながわキッズフェスティバル	660	26.5	35.2	33.3	5.0
⑨病児・病後児保育	660	3.9	60.8	29.8	5.5
⑩留守家庭児童育成室（学童保育）	660	9.1	62.7	22.9	5.3

猪名川町が実施する子育て支援サービス等（10項目）について、知っているという割合でみると、『①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度』で94.4%と最も高く、次いで『⑥赤ちゃんの駅』で72.1%、『⑩留守家庭児童育成室（学童保育）』で71.8%、『⑤いなっ子絵本配布事業』で71.7%となっているのに対し、『④子育て支援ホームヘルパー事業』（50.0%）、『②お誕生メモリアルフォト』（54.1%）では5割台にとどまっている。

また、「知っており、利用したことがある」でみると、『①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度』で81.7%と最も高く、次いで『⑤いなっ子絵本配布事業』で45.9%、『⑦キッズコーナー』で37.4%となっているのに対し、『⑨病児・病後児保育』（3.9%）、『④子育て支援ホームヘルパー事業』（4.1%）、『⑩留守家庭児童育成室（学童保育）』（9.1%）では1割未満にとどまっている。

②猪名川町が実施する子育て支援サービス等の必要性（重要度）

【猪名川町が実施する子育て支援サービス等の必要性（重要度）】

(%)

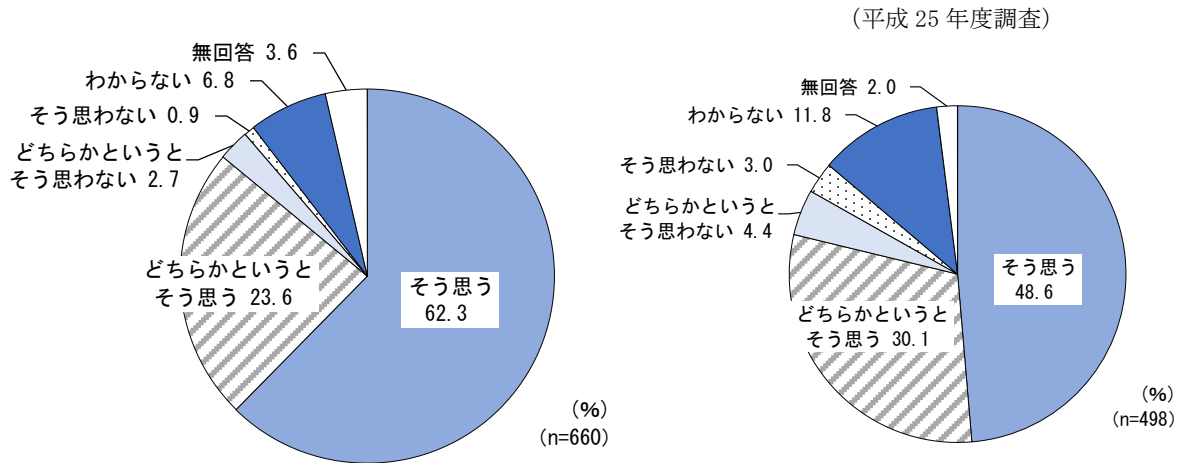
	調査数	特に必要（重要）	必要（重要）	なあまり必要（重要）で	必要（重要）ではない	無回答
①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度	660	87.6	4.2	0.2	0.0	8.0
②お誕生メモリアルフォト	660	7.0	30.5	34.8	7.0	20.8
③多子誕生祝金（第3子以降）	660	39.4	32.7	7.4	2.3	18.2
④子育て支援ホームヘルパー事業	660	15.3	42.3	12.9	2.4	27.1
⑤いなっ子絵本配布事業	660	22.1	38.8	18.2	2.7	18.2
⑥赤ちゃんの駅	660	38.8	33.3	5.9	0.6	21.4
⑦キッズコーナー	660	34.2	38.2	5.5	0.6	21.5
⑧いながわキッズフェスティバル	660	15.8	41.4	15.9	1.2	25.8
⑨病児・病後児保育	660	40.6	32.1	5.2	1.1	21.1
⑩留守家庭児童育成室（学童保育）	660	57.0	19.4	2.3	0.6	20.8

猪名川町が実施する子育て支援サービス等（10項目）について、必要（重要）という割合（「特に必要（重要）」「必要（重要）」の計）でみると、『①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度』で91.8%と最も高く、次いで『⑩留守家庭児童育成室（学童保育）』で76.4%、『⑨病児・病後児保育』で72.7%、『⑦キッズコーナー』で72.4%となっている。

(3) 子どもが猪名川町で育っていくことに対する意向

問 33 あなたは、これからもお子さんに猪名川町で育てほしいと思いますか。(ひとつに○)

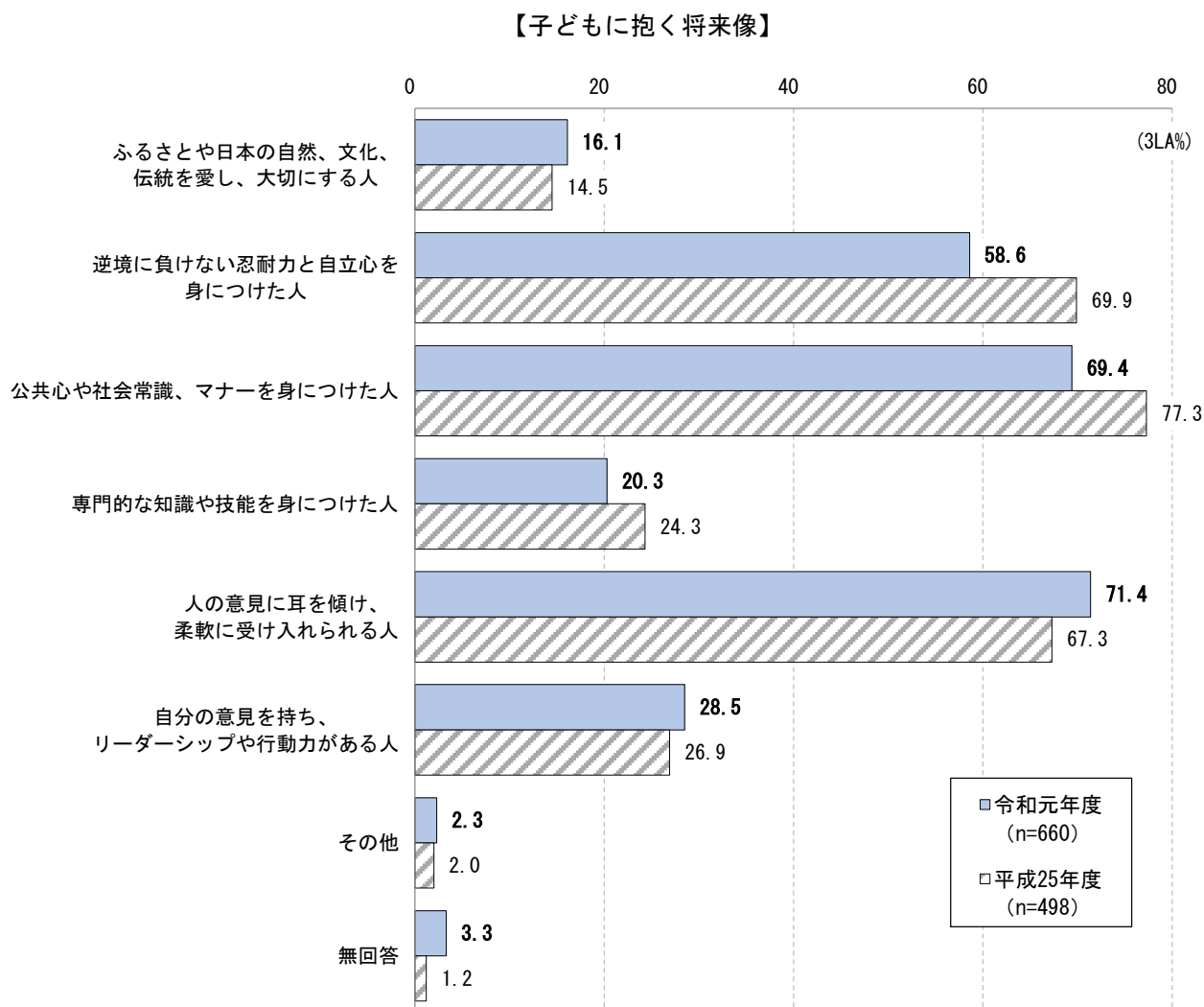
【子どもが猪名川町で育っていくことに対する意向】



これからも子どもが猪名川町で育ってほしいと思うかについて、「思う」が 62.3%、「どちらかというと思う」が 23.6%となっており、合わせると、8割台 (85.9%) を占める。

(4) 子どもに抱く将来像

問 34 将来、お子さんにどのような人に育ってほしいと思いますか。(〇は3つまで)



将来、子どもにどのような人に育ってほしいと思うかたずねたところ、「人の意見に耳を傾け、柔軟に受け入れられる人」が71.4%と最も高く、次いで「公共心や社会常識、マナーを身につけた人」が69.4%、「逆境に負けない忍耐力と自立心を身につけた人」が58.6%となっている。



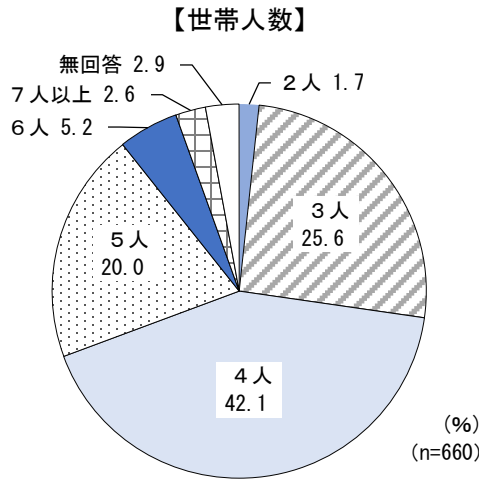
## 12 世帯の状況や経済状況について

### (1) 家計の経済状況

#### ①世帯人数

問 35 あなたの家計の経済状況についておたずねします。

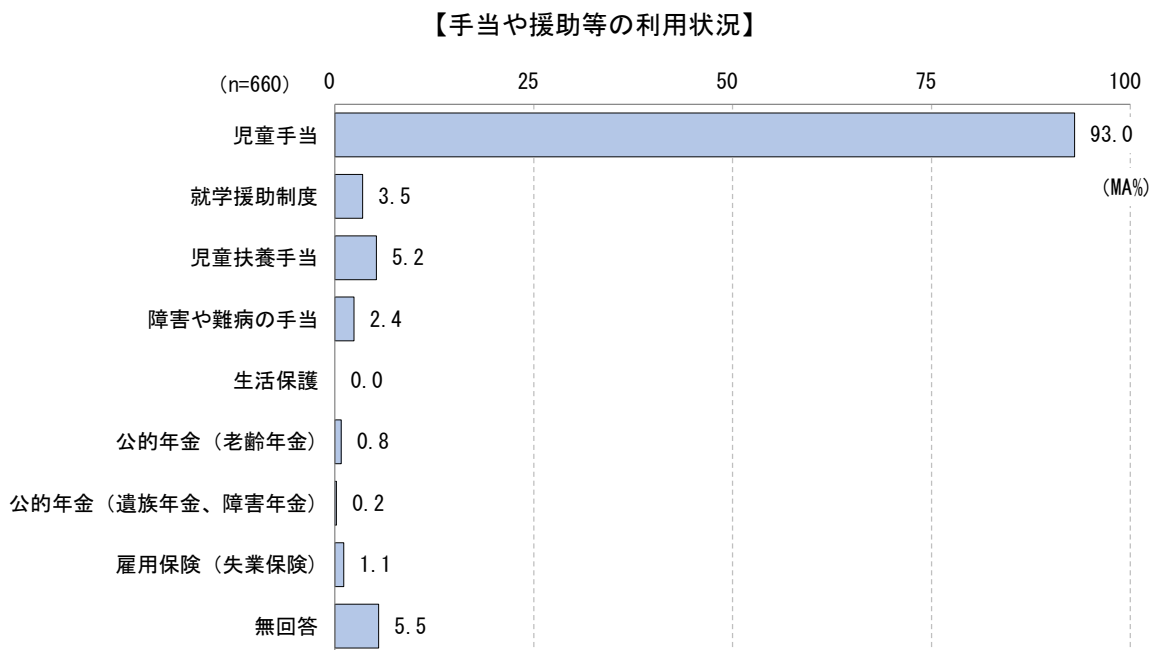
(1) あなたの世帯の人数を教えてください。



世帯の人数としては、「4人」が4割台（42.1%）と最も高く、次いで「3人」が25.6%、「5人」が20.0%となっている。

#### ②手当や援助等の利用状況

(2) あなたの世帯では以下の手当や援助等を利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）

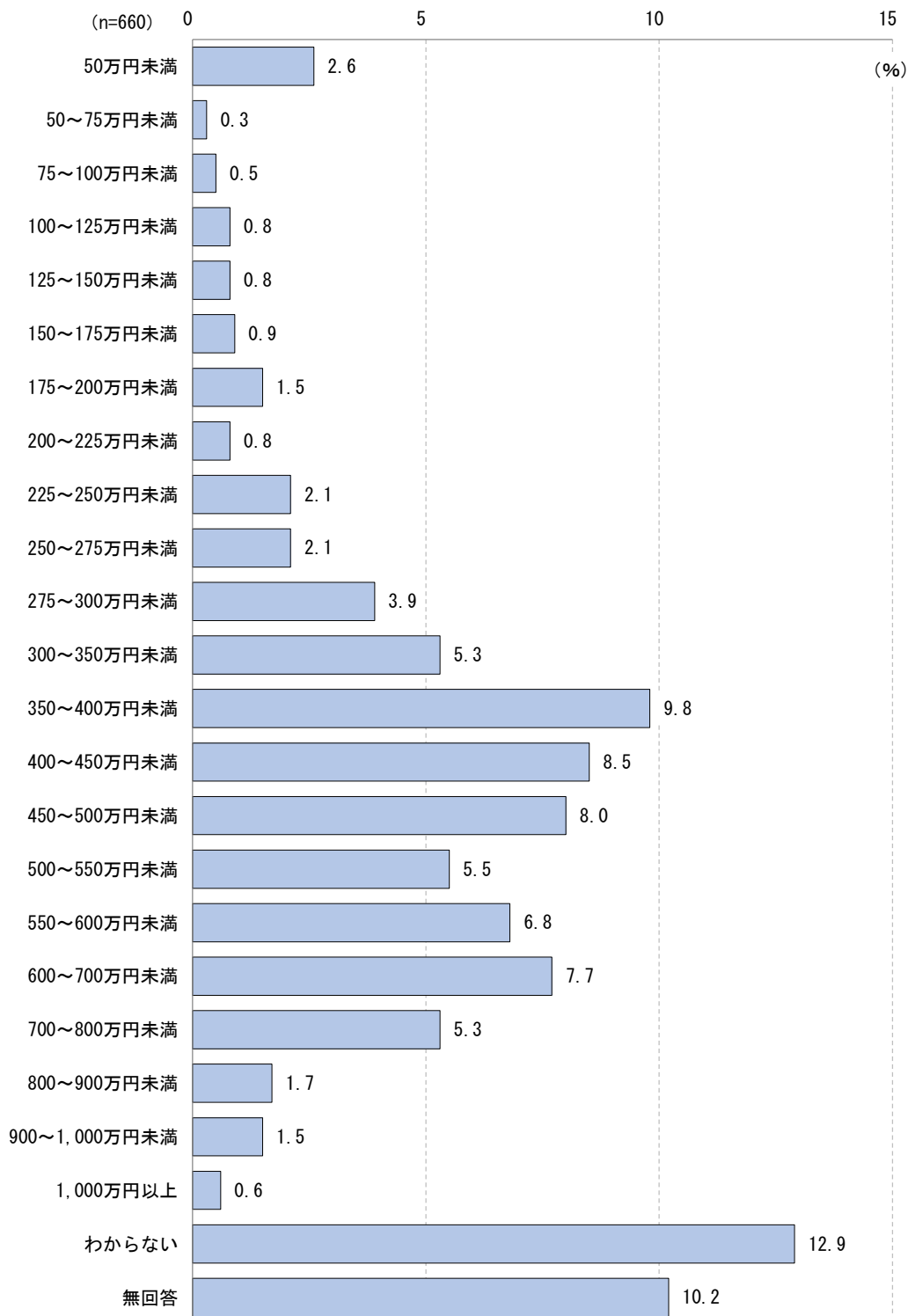


世帯で利用している手当や援助等としては、「児童手当」が9割台（93.0%）と最も高く、次いで「児童扶養手当」が5.2%、「就学援助制度」が3.5%となっている。

③世帯の可処分所得

(3) 前年(平成30年)のあなたの世帯の可処分所得の合計額は、およそいくらでしたか。(〇は1つ)

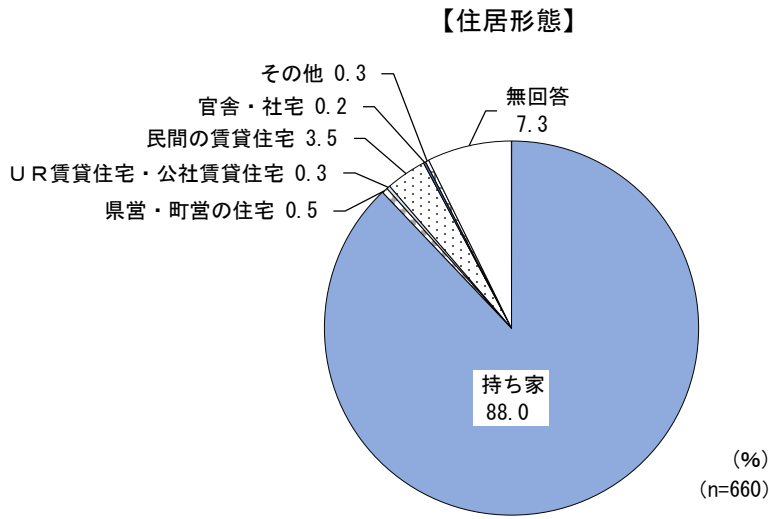
【世帯の可処分所得】



前年(平成30年)の世帯の可処分所得の合計額としては、「350～400万円未満」が9.8%と最も高く、次いで「400～450万円未満」が8.5%、「450～500万円未満」が8.0%、「600～700万円未満」が7.7%となっている。また、300万円未満の割合は1割台(16.3%)となっている。

(2) 住居形態

問 36 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

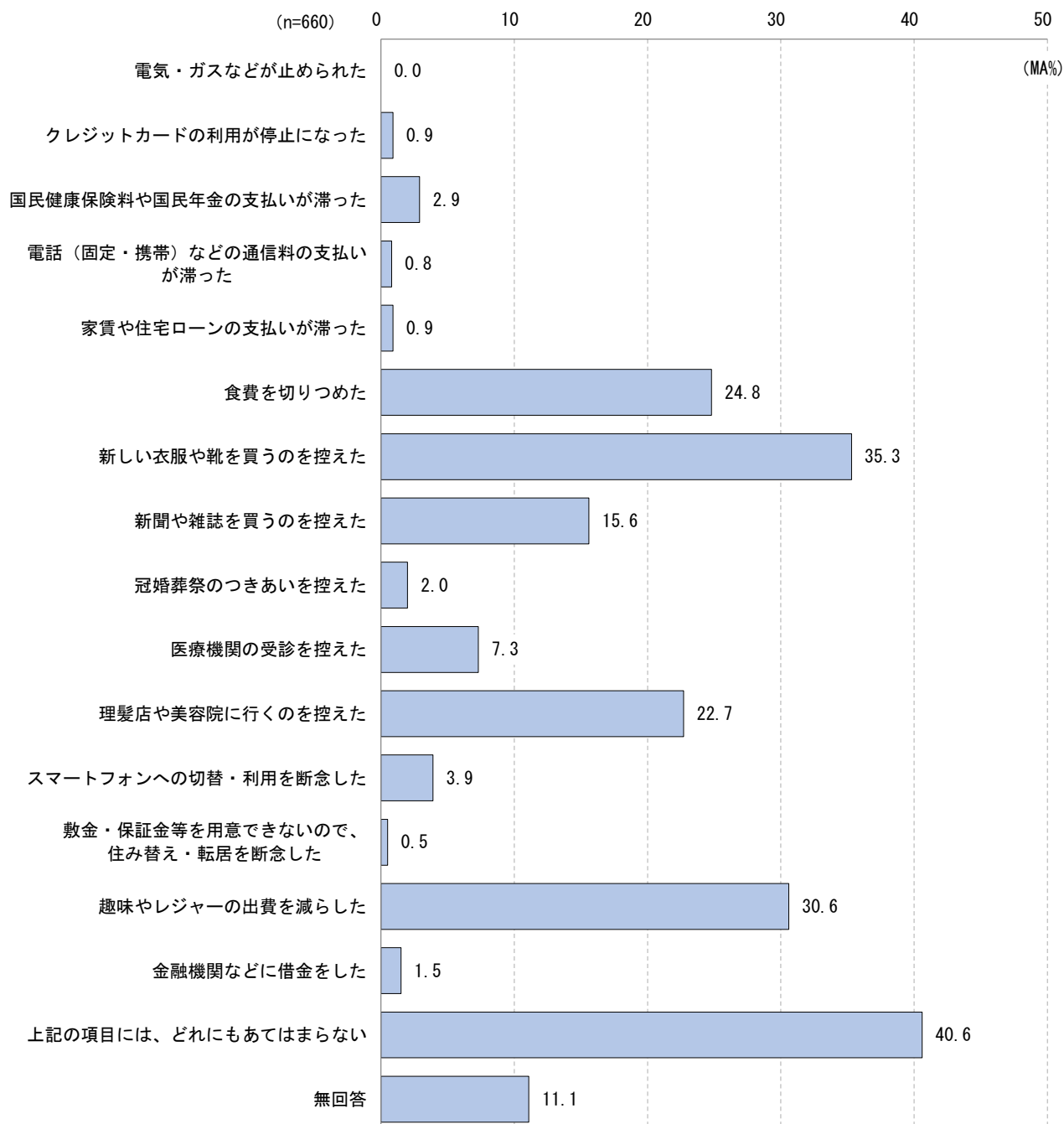


住居形態としては、「持ち家」が9割弱（88.0%）を占めている。

(3) 経済的理由で経験したこと

問 37 あなたの世帯では、おおむね半年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

【経済的理由で経験したこと】

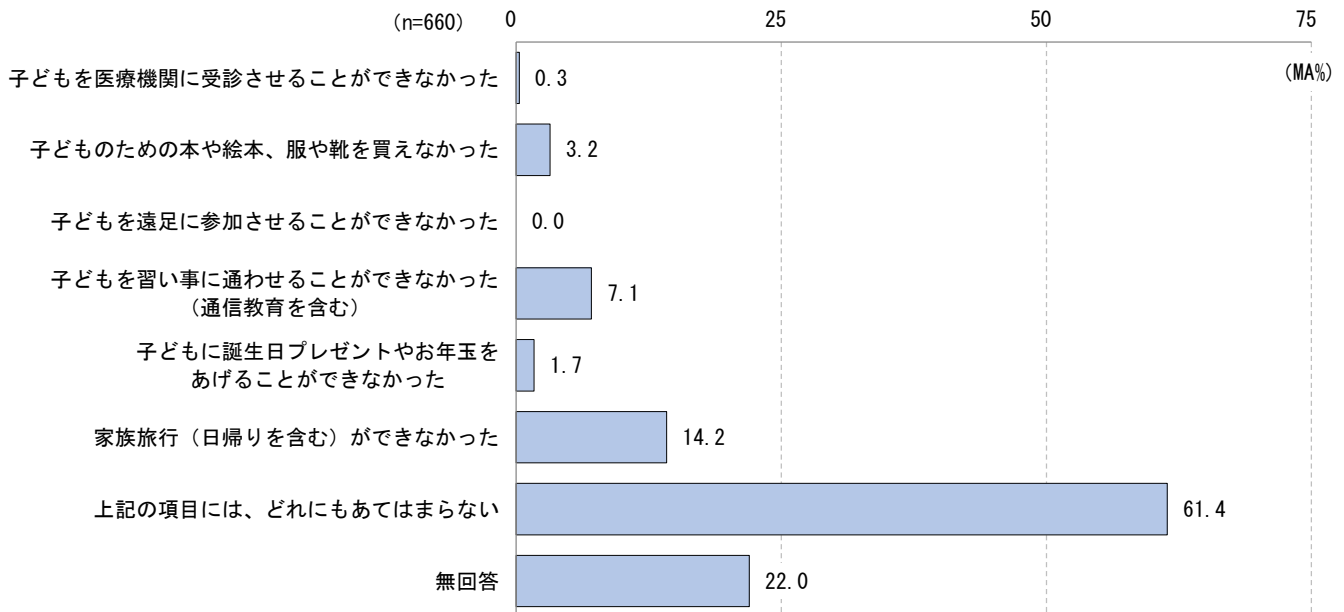


この半年の間に、経済的な理由でいずれかの経験をしたことがある割合は 48.3%となっており、具体的には、「新しい衣服や靴を買うのを控えた」が 35.3%と最も高く、次いで「趣味やレジャーの出費を減らした」が 30.6%、「食費を切りつめた」が 24.8%、「理髪店や美容院に行くのを控えた」が 22.7%となっている。

(4) 経済的理由で子どもに対してできなかったこと

問 38 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

【経済的理由で子どもに対してできなかったこと】



この1年の間に、経済的な理由で子どもに対してできなかったことがある割合は16.6%となっており、具体的には、「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」が14.2%と最も高く、次いで「子どもを習い事に通わせることができなかった(通信教育を含む)」が7.1%となっている。

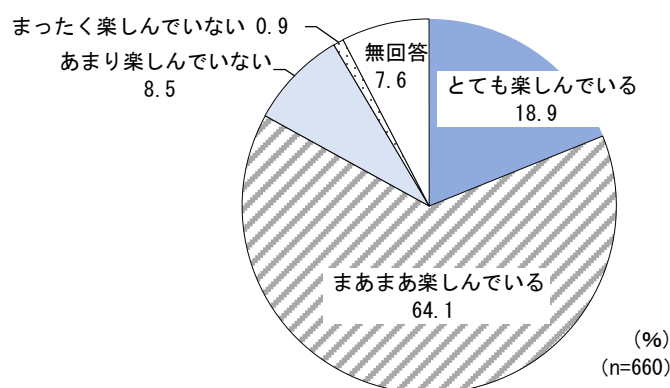
(5) 心身の状態

①日常生活の満足度

問 39 あなたの心身の状態についておたずねします。(それぞれ○は1つ)

(1) 生活を楽しんでいますか(仕事や家事、育児など)。

【日常生活の満足度】

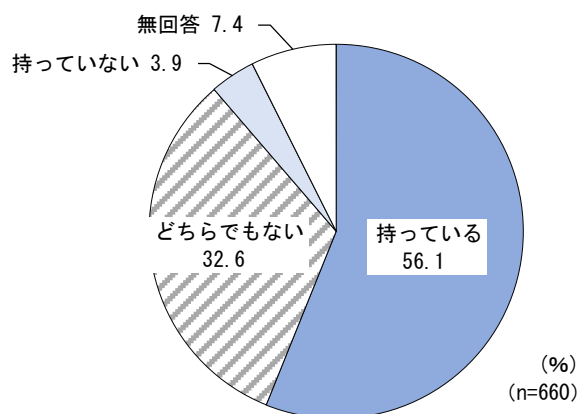


日常生活について、「まあまあ楽しんでいる」が64.1%と最も高く、次いで「とても楽しんでいる」が18.9%となっており、合わせると、楽しんでいるという割合が8割台(83.0%)を占める。

②将来に対する希望の有無

(2) 将来に対して希望を持っていますか。

【将来に対する希望の有無】



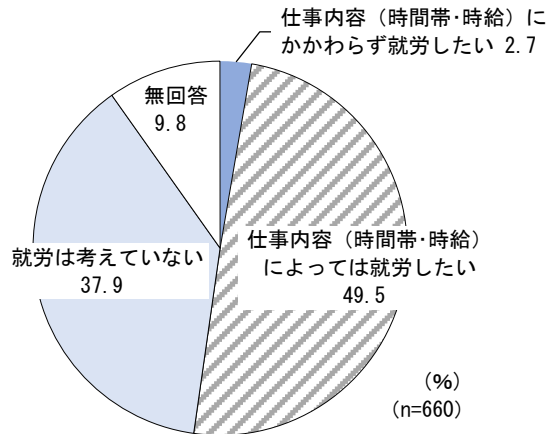
将来に対して希望を「持っている」が5割台(56.1%)に対し、「持っていない」は3.9%となっている。

### 13 猪名川町産業拠点地区での就労意向について

#### (1) 物流センターでの就労意向

問 41 産業拠点地区に「物流センター」が稼働した場合、就労したいと思いますか。

【物流センターでの就労意向】



産業拠点地区に物流センターが稼働した場合の就労意向としては、「仕事内容（時間帯・時給）によっては就労したい」が 49.5%と最も高く、「仕事内容（時間帯・時給）にかかわらず就労したい」（2.7%）を合わせると、就労意向がある割合が半数以上（52.2%）を占める。

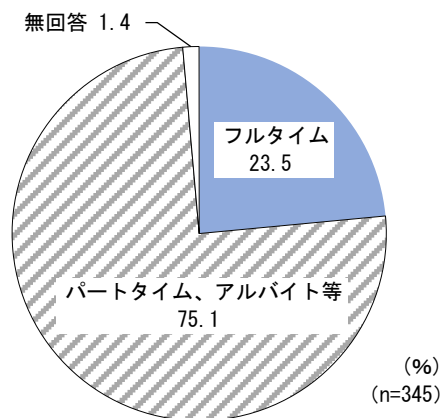
#### (2) 物流センターで希望する就労形態

##### ①希望する就労形態

問 41 で「1. 仕事内容にかかわらず就労したい」または「2. 仕事内容によっては就労したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 41-1 希望する就労形態は何ですか。

【希望する就労形態】



物流センターで就労したいと回答した人の希望する就労形態としては、「フルタイム」が2割台（23.5%）に対し、「パートタイム、アルバイト等」が7割台（75.1%）を占める。

（「パートタイム、アルバイト等」と回答した人のみ）

② 1週当たりの希望就労日数

【1週当たりの希望就労日数】

調査数	1週当たりの希望就労日数 (%)								平均 (日)
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
259	0.0	6.2	52.1	25.5	12.4	0.0	0.0	3.9	3.6

物流センターでの希望する1週当たりの就労日数としては、「3日」が半数以上（52.1%）を占めており、次いで「4日」が25.5%、「5日」が12.4%となっている。

③ 1日当たりの希望就労時間

【1日当たりの希望就労時間】

調査数	1日当たりの希望就労時間 (%)								平均 (時間)
	3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8時間以上	無回答	
259	1.5	8.9	25.9	35.1	15.4	5.0	4.6	3.5	5.0

物流センターでの希望する1日当たりの就労時間としては、「5～6時間未満」が35.1%と最も高く、次いで「4～5時間未満」が25.9%、「6～7時間未満」が15.4%となっている。

④ 時給の希望額

【時給の希望額】

n (人)	時給の希望額 (%)							平均 (円)
	900円未満	900円台	1,000円台	1,100円台	1,200円台	1,300円以上	無回答	
259	6.2	29.7	41.7	3.1	6.6	3.1	9.7	996

物流センターでの希望する時給額としては、「1,000円台」が41.7%と最も高く、次いで「900円台」が29.7%となっている。



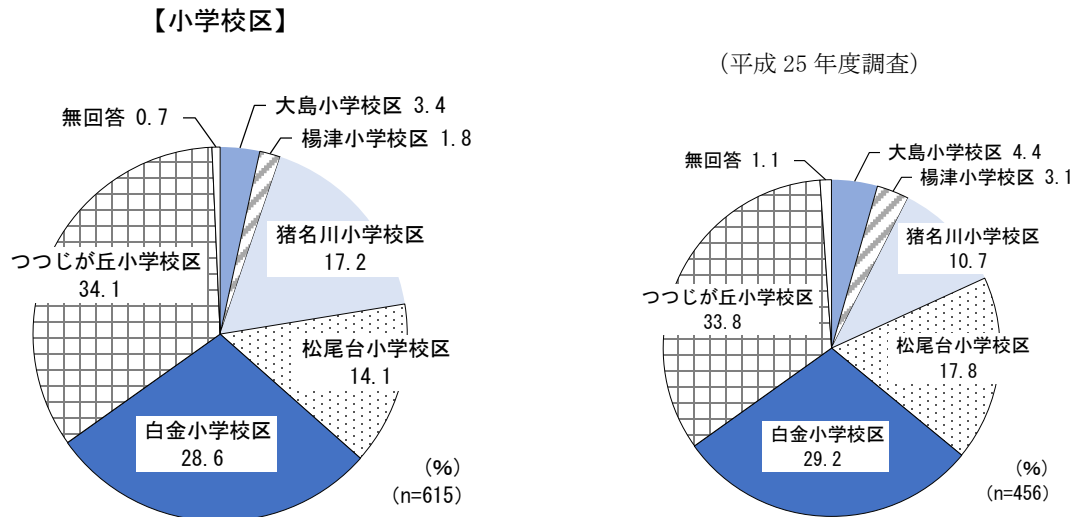
## Ⅱ-2 小学生児童保護者



## 1 居住地域や家族の状況等について

### (1) 小学校区

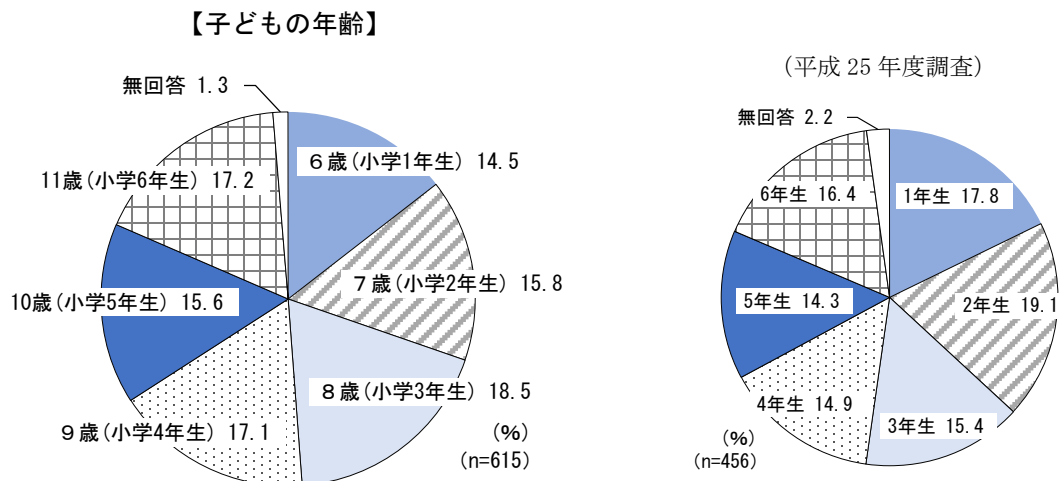
問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(ひとつに○)



小学校区は、「つつじが丘小学校区」が 34.1%と最も高く、次いで「白金小学校区」が 28.6%、となっており、合わせると、6割台 (62.7%) を占めている。

### (2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

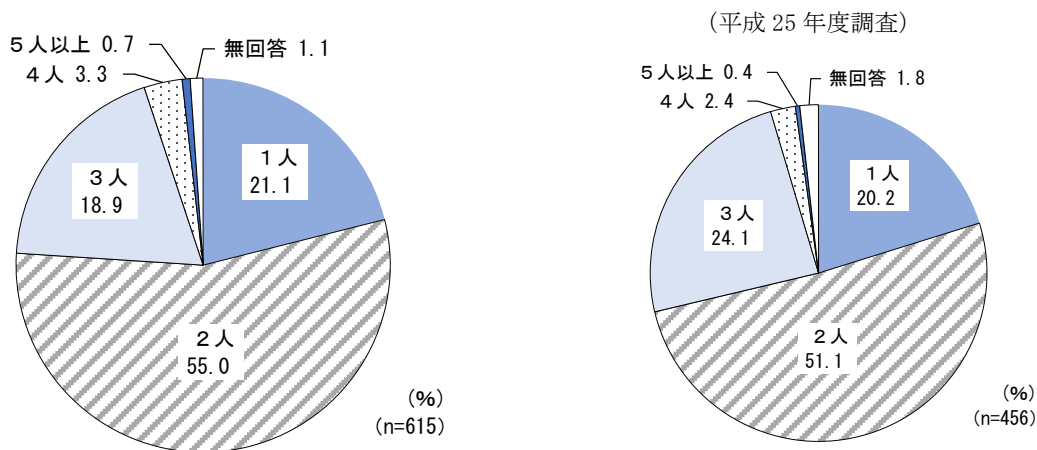


子どもの年齢としては、「8歳 (小学3年生)」が 18.5%と最も高く、次いで「11歳 (小学6年生)」が 17.2%、「9歳 (小学4年生)」が 17.1%となっている。

(3) 子どもの人数

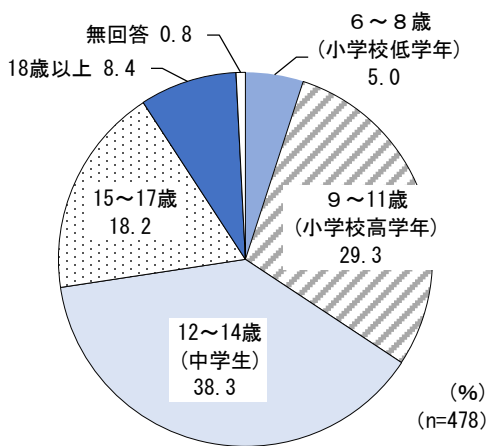
問3 記入者の方の家庭にはお子さんは何人いらっしゃいますか。  
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、第1子の方の生年月をご記入ください。

【子どもの人数】



(子どもが2人以上いる場合)

【第1子の年齢】



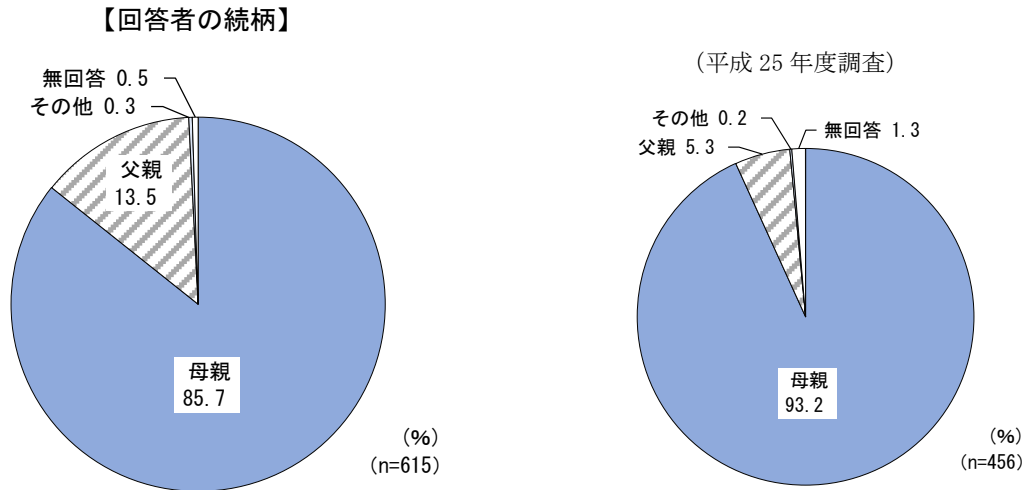
子どもの人数としては、「2人」が5割台（55.0%）を占めており、次いで「1人」が21.1%、「3人」が18.9%となっている。

また、子どもが2人以上いる世帯の第1子の年齢としては、「12～14歳（中学生）」が38.3%と最も高く、次いで「9～11歳（小学校高学年）」が29.3%となっている。

(4) アンケート回答者

①回答者の続柄

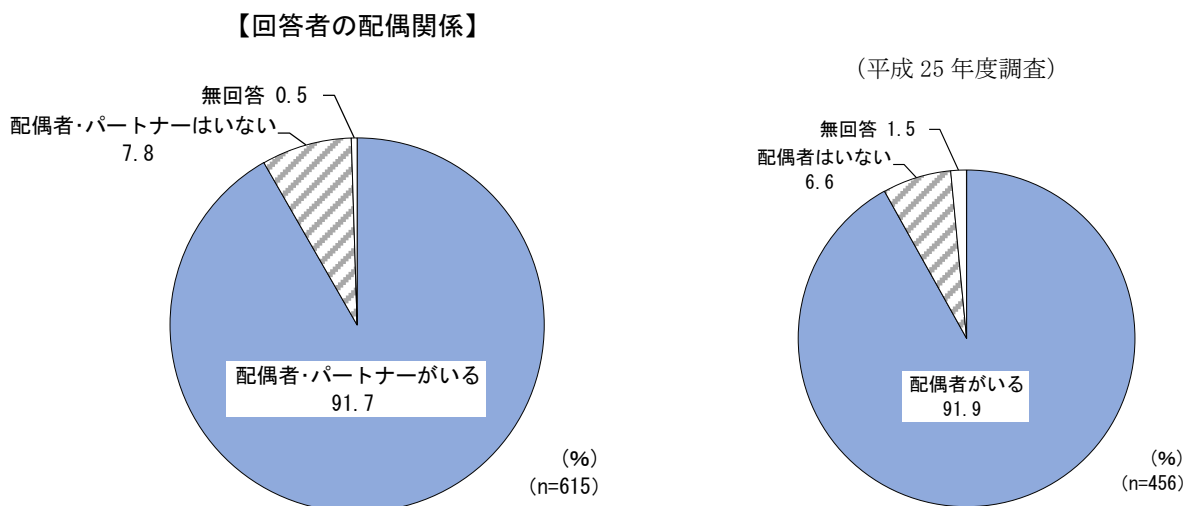
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。  
(ひとつに○)



回答者の子どもからみた関係としては、「母親」が8割台(85.7%)を占めており、「父親」が13.5%となっている。

②回答者の配偶関係

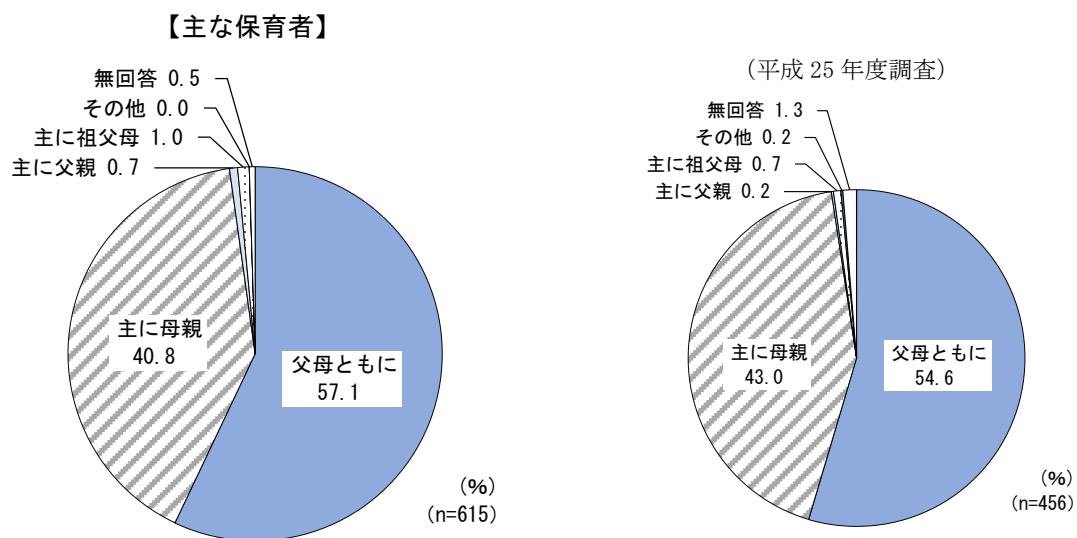
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(ひとつに○)



回答者の配偶関係としては、「配偶者・パートナーがいる」が9割台(91.7%)に対し、「配偶者・パートナーはいない」は7.8%となっている。

(5) 主な保育者

問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（ひとつに○）

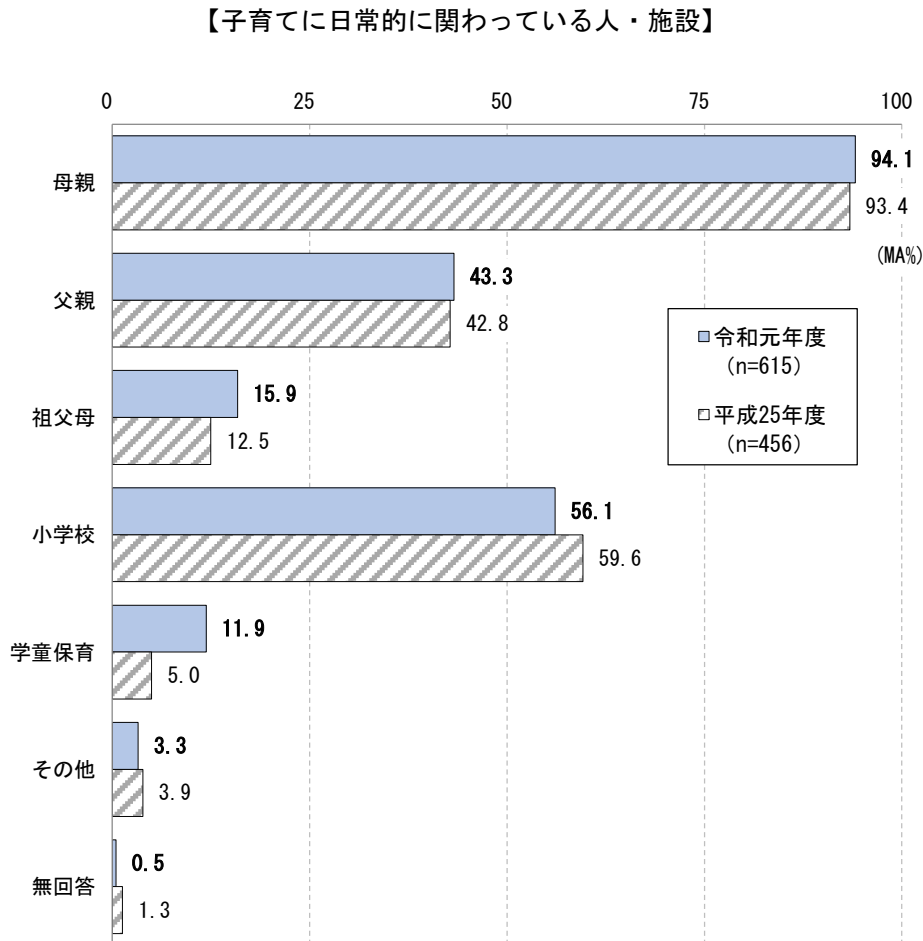


子育てを主に行っている人としては、「父母ともに」が 57.1%と最も高く、次いで「主に母親」が 40.8%となっている。

## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるすべてに○）

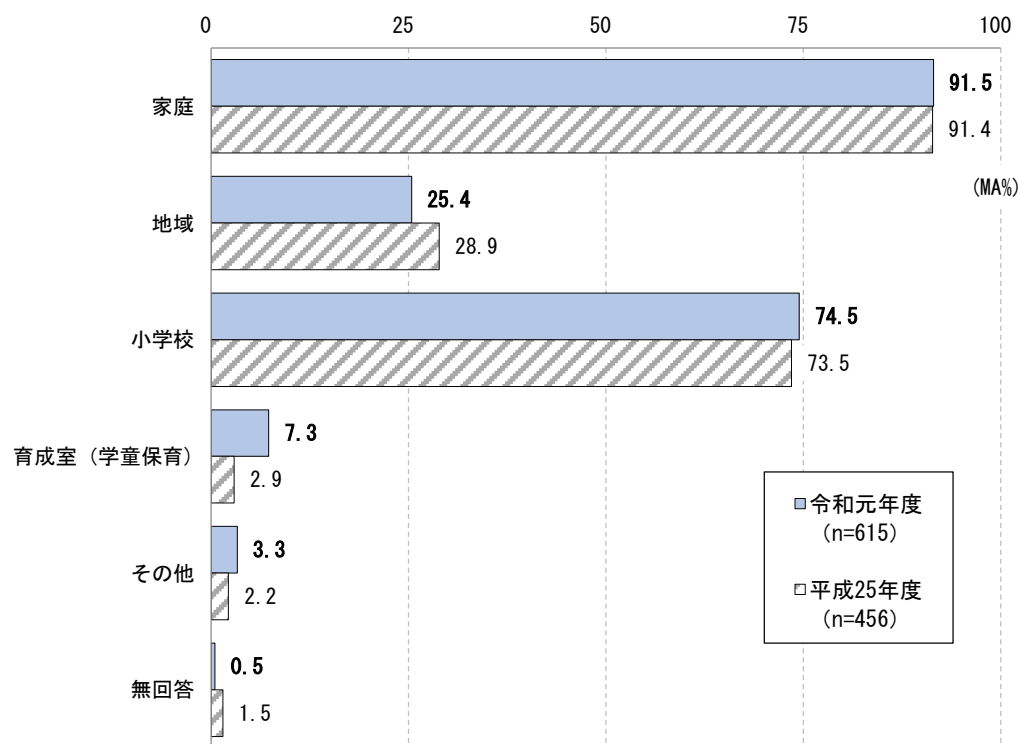


子育てに日常的に関わっている人・施設としては、「母親」が9割台（94.1%）と最も高く、次いで「小学校」が56.1%、「父親」が43.3%となっている。

(2) 子育てに影響すると思う環境

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも大きく影響すると思われる環境はどれですか。  
（あてはまるすべてに○）

【子育てに影響すると思う環境】



子育てに大きく影響すると思う環境としては、「家庭」が9割台（91.5%）と最も高く、次いで「小学校」が74.5%、「地域」が25.4%となっている。

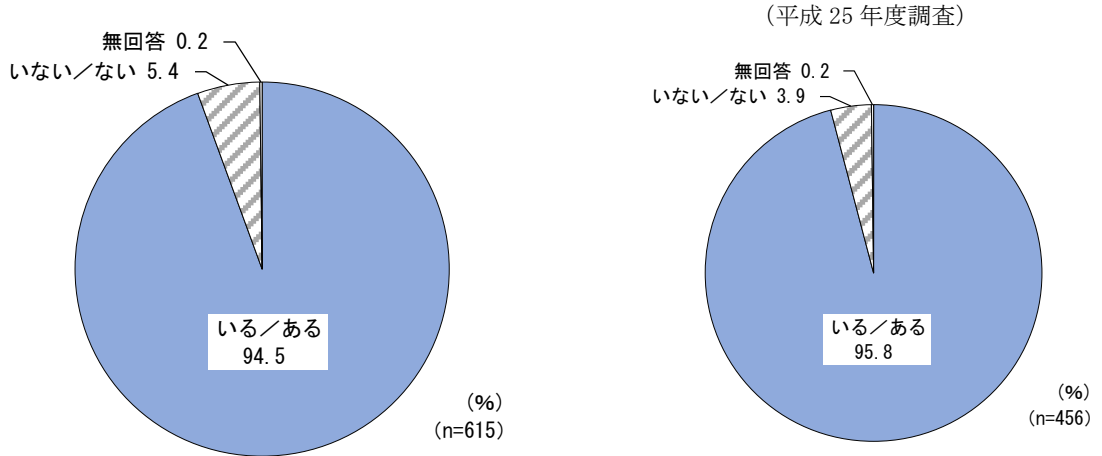


(3) 子育てに関する相談

① 子育てに関する相談先の有無

問9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（ひとつに〇）

【子育てに関する相談先の有無】

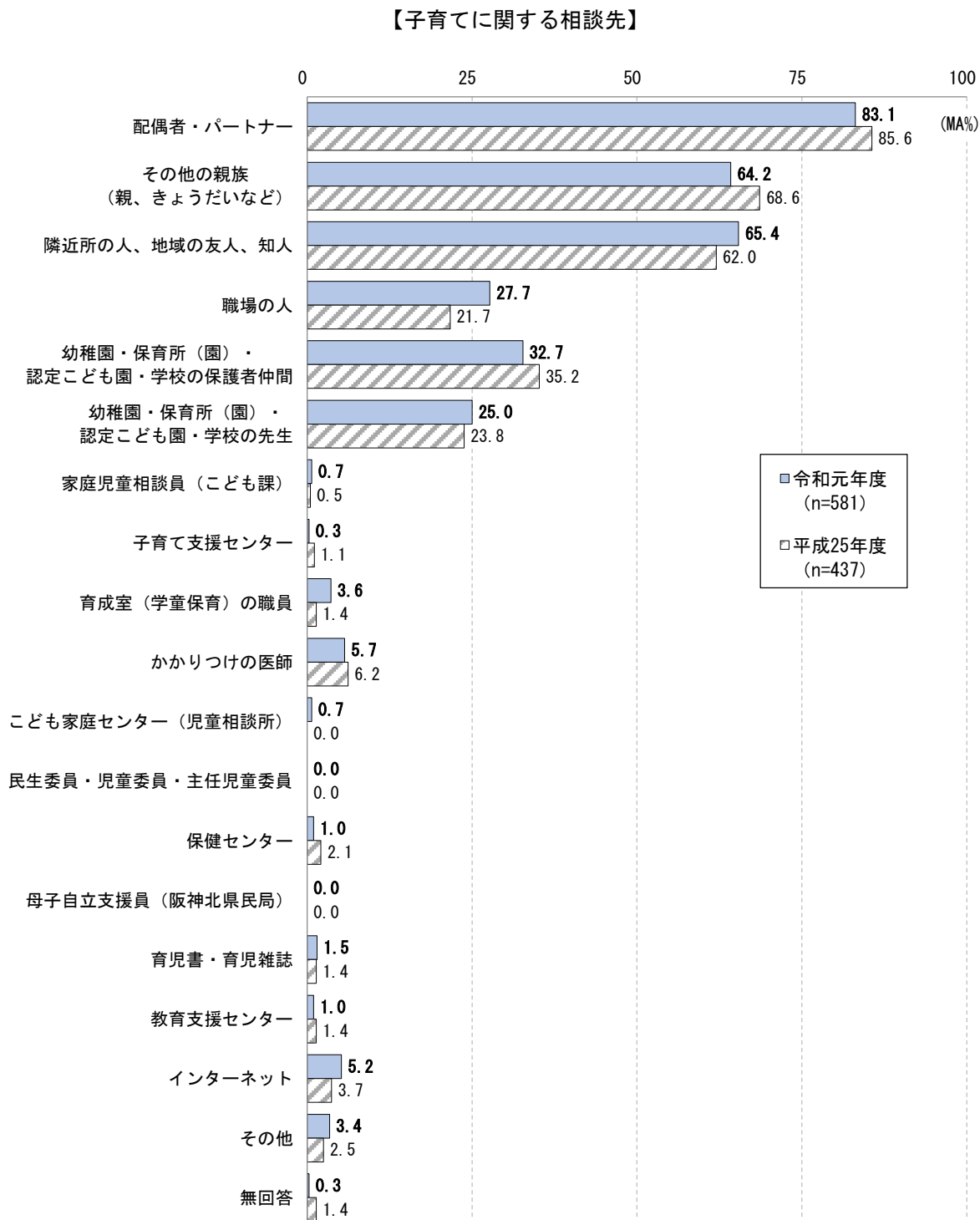


子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）が「いる／ある」は9割台（94.5%）を占めている。

②子育てに関する相談先

問9で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

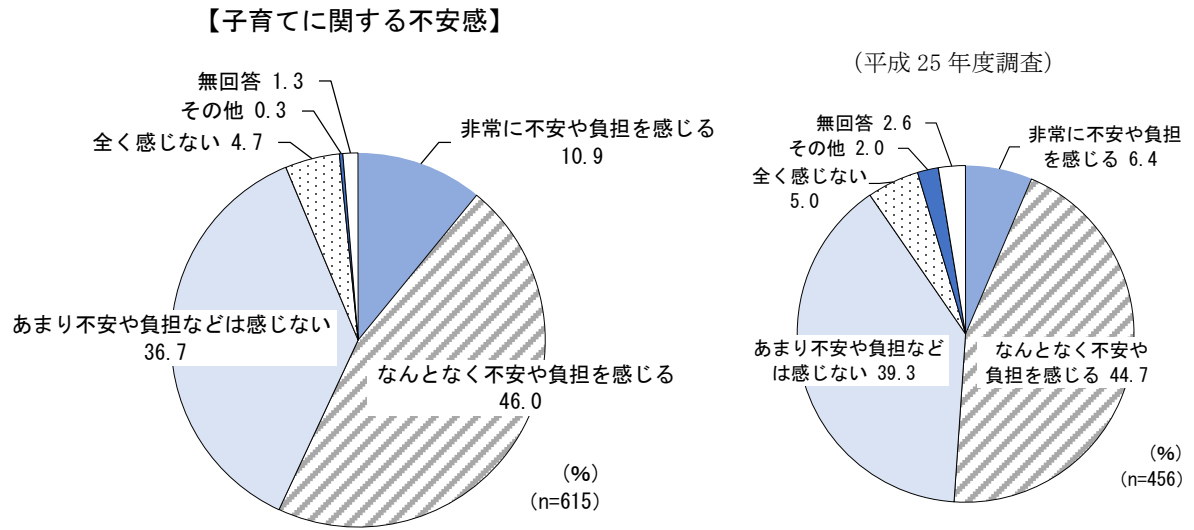
問9-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。  
（あてはまるすべてに○）



子育てをする上で、気軽に相談できる人(場所)がいる(ある)と回答した人の相談先としては、「配偶者・パートナー」が8割台(83.1%)と最も高く、次いで「隣近所の人、地域の友人、知人」が65.4%、「その他の親族(親、きょうだいなど)」が64.2%、「幼稚園・保育所(園)・認定こども園・学校の保護者仲間」が32.7%、「職場の人」が27.7%となっている。

(4) 子育てに関する不安感

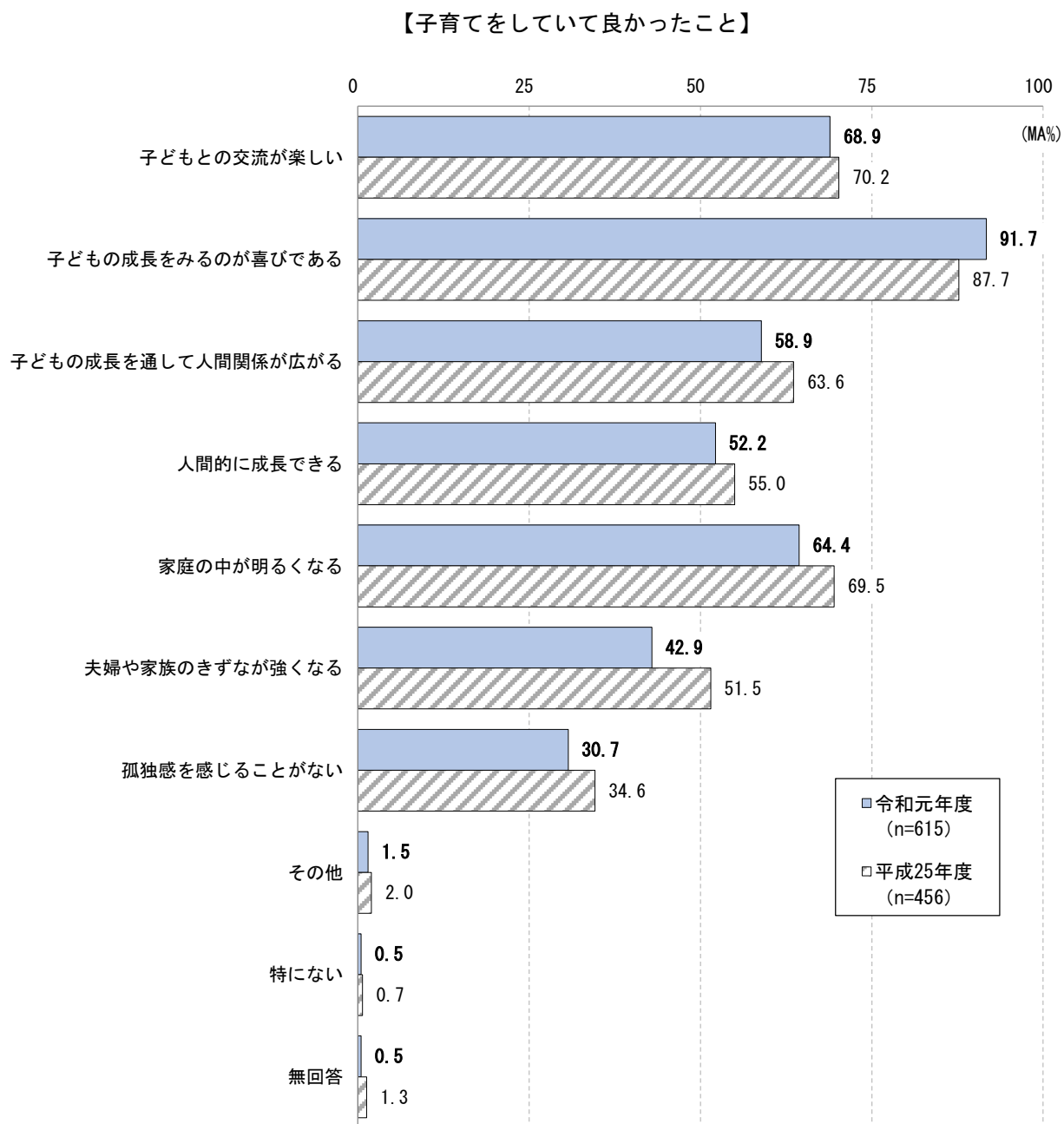
問 11 子育てに関して不安感や負担等はお感じですか。(ひとつに○)



子育てに関しての不安や負担について、「なんとなく不安や負担を感じる」が46.0%と最も高く、「非常に不安や負担を感じる」(10.9%)を合わせると、不安や負担を感じている人が5割台(56.9%)を占めている。

(5) 子育てをしていて良かったこと

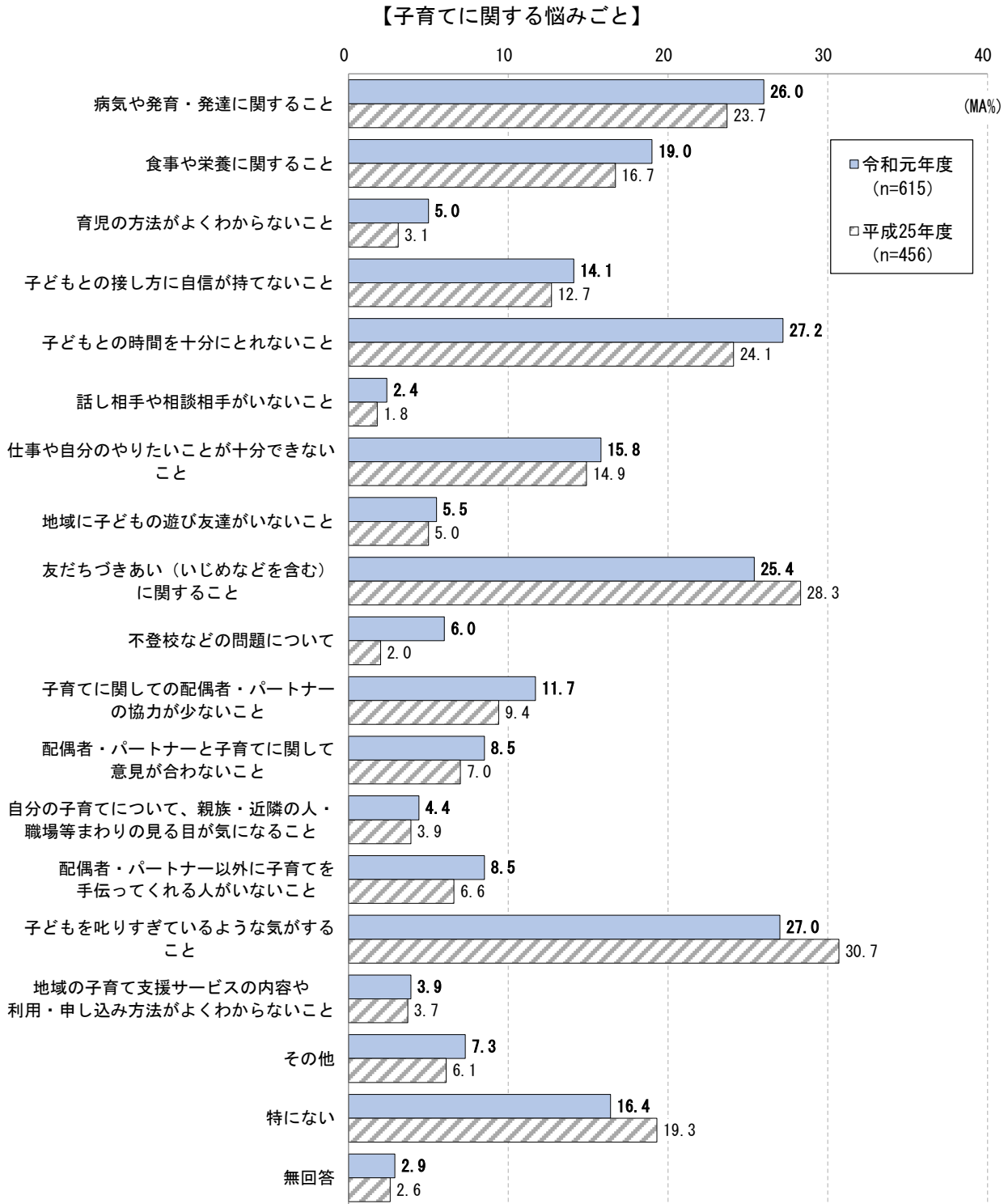
問 12 子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはありますか。(あてはまるすべてに○)



子育てをしていて良かったことや喜びを感じたこととしては、「子どもの成長をみるのが喜びである」が91.7%と最も高く、次いで「子どもとの交流が楽しい」が68.9%、「家庭の中が明るくなる」が64.4%となっている。

(6) 子育てに関する悩みごと

問 13 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。  
(あてはまるすべてに○)

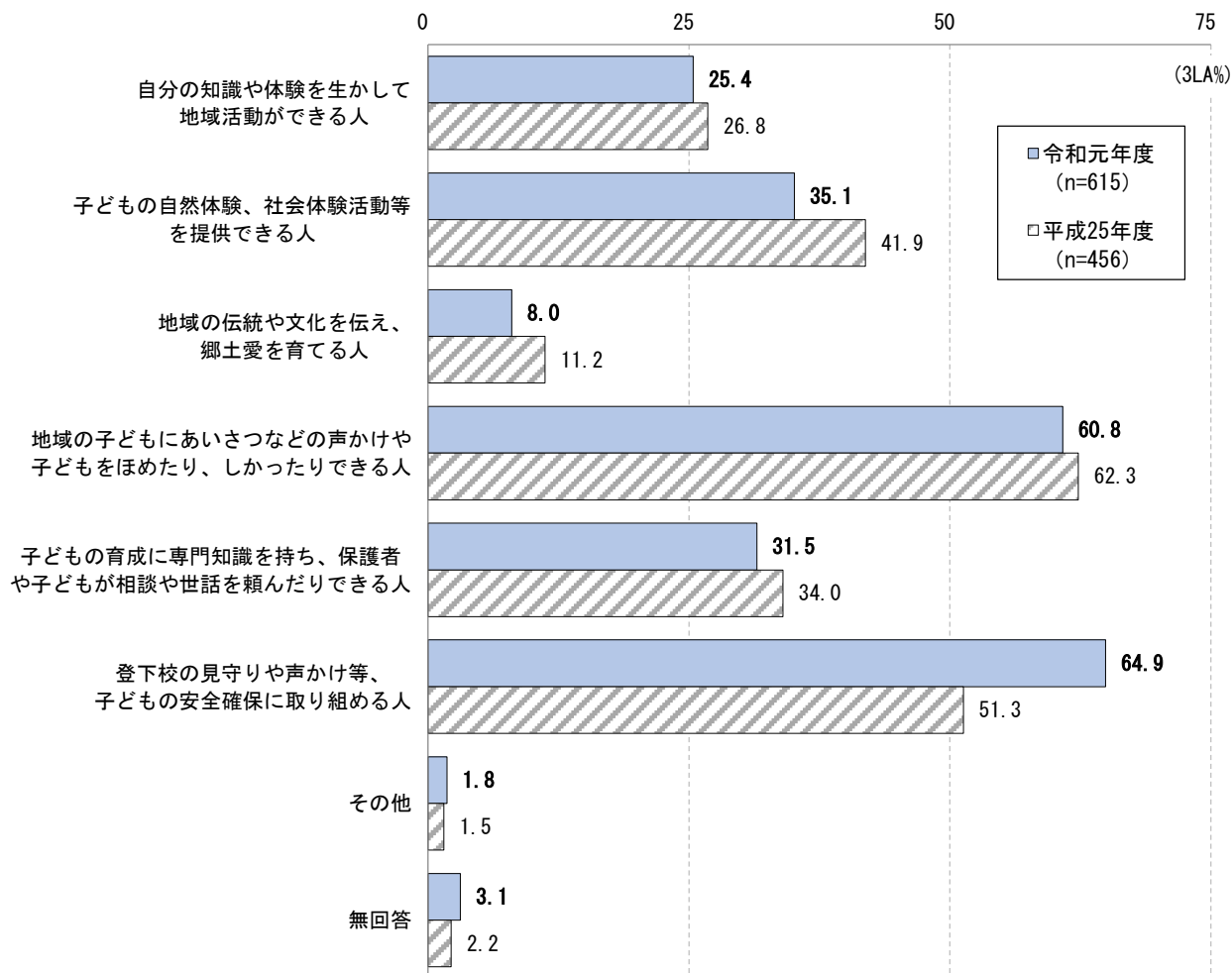


子育てに関して、日頃悩んでいることや気になることとしては、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が27.2%、「子どもを叱りすぎているような気がする」が27.0%と高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が26.0%、「友だちづきあい(いじめなどを含む)に関すること」が25.4%となっている。

(7) 子どもの育成を支援するために地域に必要な人材

問 14 子どもの育成を支援するため、地域では特にどのような人が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【子どもの育成を支援するために地域に必要な人材】



子どもの育成を支援するために、地域で特に必要な人材としては、「登下校の見守りや声かけ等、子どもの安全確保に取り組める人」が64.9%と最も高く、次いで「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる人」が60.8%となっている。

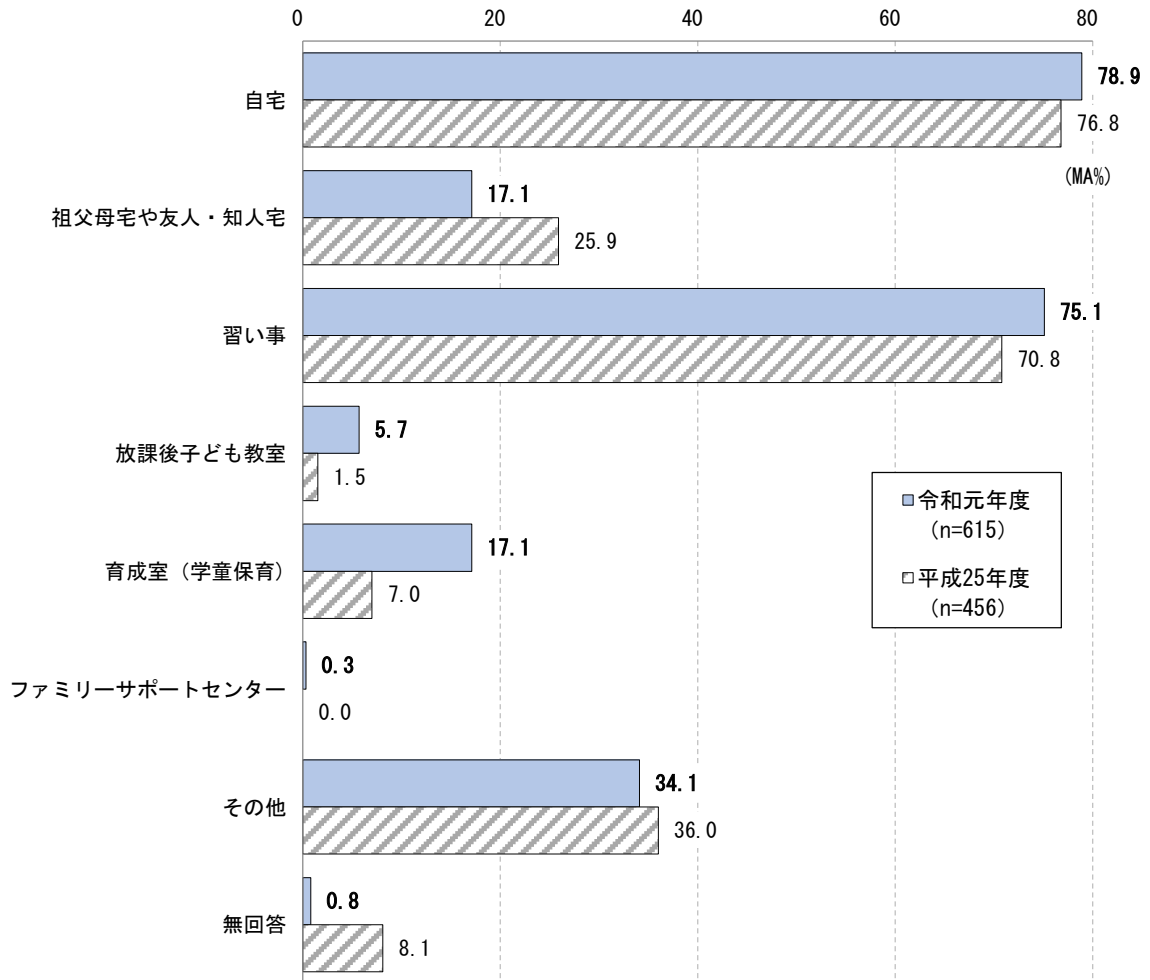
### 3 放課後の過ごし方について

#### (1) 放課後を過ごす場所

##### ①放課後を過ごす場所

問 15 お子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。  
 （あてはまるすべてに○、それぞれ希望する週当たり日数を数字で記入）

【放課後を過ごす場所】



放課後を過ごす場所としては、「自宅」が78.9%、「習い事」が75.1%と高くなっている。

②放課後を過ごす場所別の1週あたりの日数

【放課後を過ごす場所別の1週あたりの日数】

	n (人)	(%)								平均 (日)
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
①自宅	485	19.2	21.9	16.7	10.3	23.9	0.6	3.9	3.5	3.2
②祖父母宅や友人・知人宅	105	53.3	28.6	10.5	1.9	2.9	0.0	1.0	1.9	1.8
③習い事	462	21.0	33.3	25.1	14.7	4.5	0.6	0.2	0.4	2.5
④放課後子ども教室	35	91.4	2.9	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
⑤育成室（学童保育）	105	4.8	8.6	13.3	26.7	44.8	1.0	0.0	1.0	4.1
⑥ファミリーサポートセンター	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	2.0
⑦その他	210	30.5	31.4	22.9	7.1	6.7	0.0	0.5	1.0	2.3

放課後を過ごす場所別の1週あたりの日数として、『③習い事』では「2日」が33.3%、『④放課後子ども教室』では「1日」が91.4%、『⑤育成室（学童保育）』では「5日」が44.8%と、それぞれ最も高くなっている。

③育成室の利用時間（下校時から）

【育成室の利用時間】

n (人)	(%)						平均 (時)
	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答	
105	3.8	24.8	41.0	14.3	1.9	14.3	17.9

『⑤育成室（学童保育）』の下校時からの利用時間としては、「18時台」までが41.0%と最も高く、次いで「17時台」までが24.8%となっている。

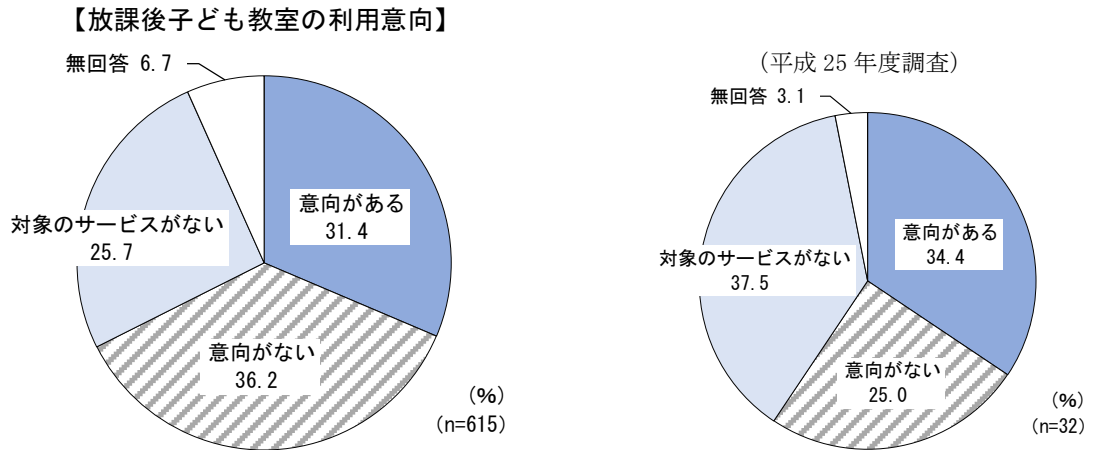


(2) 放課後子ども教室の利用に対する希望

①放課後子ども教室の利用意向

問 15 で「育成室（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 育成室（学童保育）と連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。（それぞれひとつに○。また利用したい時間帯を記入）



放課後子ども教室の利用の「意向がある」は31.4%に対し、「意向がない」は36.2%となっている。

（「意向がある」と回答した人のみ）

②放課後子ども教室の1週あたりの利用希望日数

【放課後子ども教室の1週あたりの利用希望日数】

n (人)	希望する利用日数 (%)								平均 (日)
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
33	27.3	15.2	24.2	3.0	24.2	0.0	0.0	6.1	2.9

放課後子ども教室の1週あたりの希望する利用日数としては、「1日」が27.3%と最も高くなっている。

③放課後子ども教室の利用希望時間（下校時から）

【放課後子ども教室の利用希望時間】

n (人)	希望する時間帯 (%)						平均 (時)
	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答	
33	3.0	39.4	45.5	6.1	3.0	3.0	17.7

希望する下校時からの利用時間としては、「18時台」までが45.5%と最も高くなっている。

(3) 土曜・休日の育成室の利用に対する希望

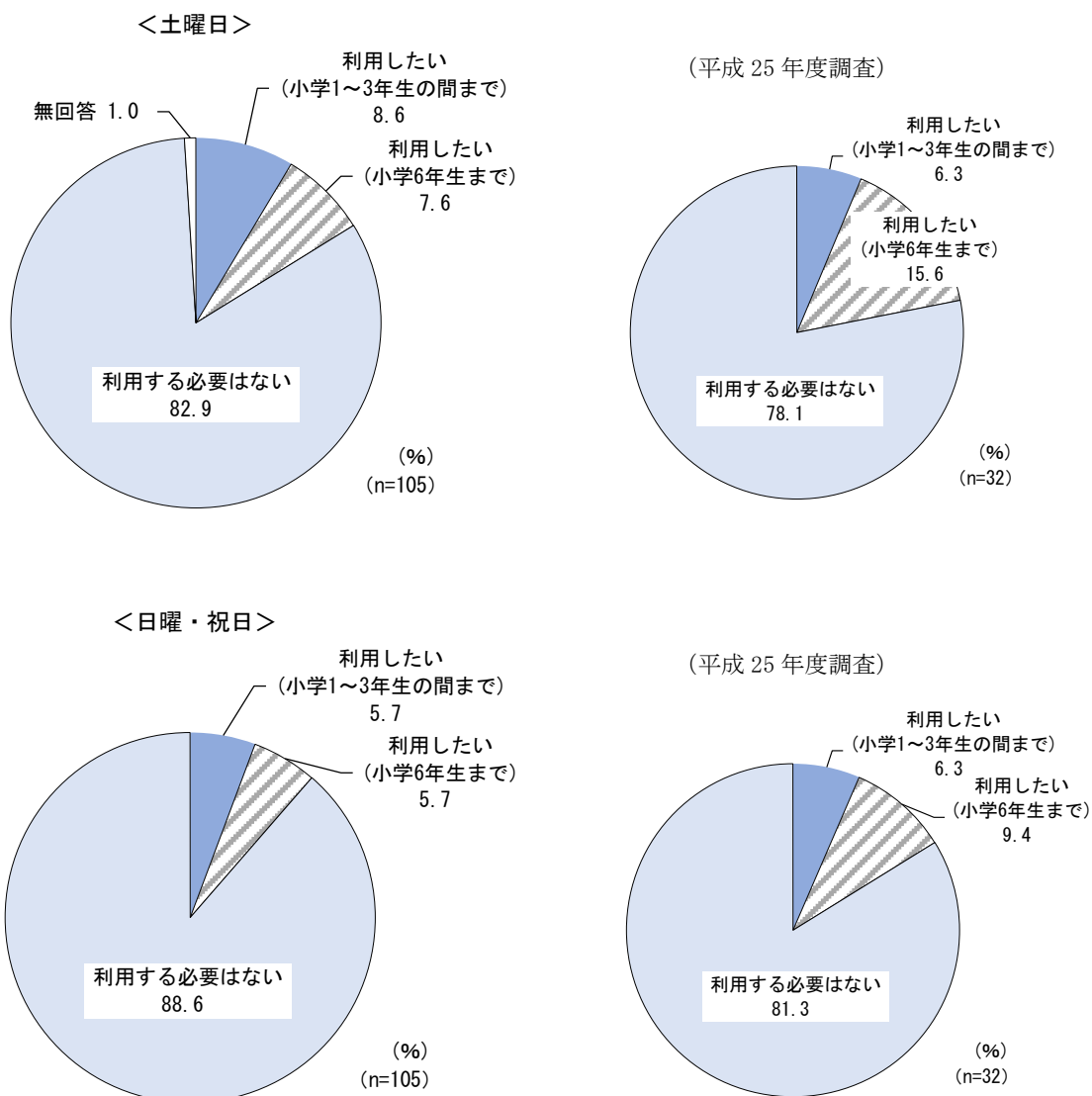
①土曜・休日の育成室の利用希望

問 15 で「育成室（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-2 また、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。

（それぞれひとつに○。また利用したい時間帯を記入）

【土曜・休日の育成室の利用希望】



土曜・休日の育成室（学童保育）の利用希望として、土曜日に利用したい割合は 16.2% となっており、小学 1～3 年生の間までが 8.6%、小学 6 年生までが 7.6% となっている。

一方、日曜日・祝日に利用したい割合は 11.4% となっており、小学 1～3 年生の間まで、小学 6 年生までがともに 5.7% となっている。

②土曜・休日の育成室の利用希望時間帯

【土曜・休日の育成室の利用希望開始時間】

(%)								
	n (人)	7 時 より 前	7 時 台	8 時 台	9 時 台	1 0 時 以 降	無 回 答	平均 (時)
土曜日	17	0.0	17.6	41.2	23.5	0.0	17.6	8.1
日曜・祝日	12	0.0	41.7	41.7	0.0	0.0	16.7	7.6

【土曜・休日の育成室の利用希望終了時間】

(%)												
	n (人)	1 3 時 より 前	1 3 時 台	1 4 時 台	1 5 時 台	1 6 時 台	1 7 時 台	1 8 時 台	1 9 時 台	2 0 時 以 降	無 回 答	平均 (時)
土曜日	17	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	23.5	35.3	11.8	0.0	17.6	17.1
日曜・祝日	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	50.0	25.0	0.0	16.7	18.2

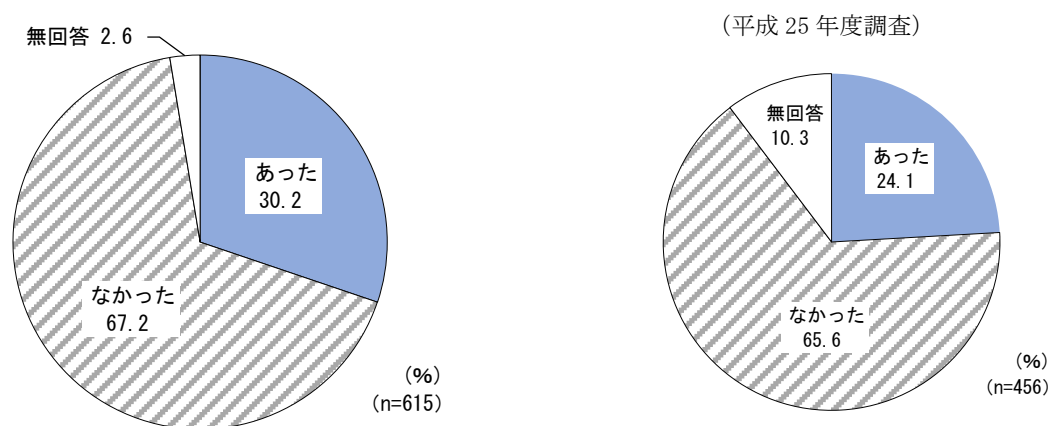
土曜・休日の育成室(学童保育)を利用したいと回答した人の希望する開始時間として、土曜日、日曜・祝日ともに「8時台」が最も高くなっており、日曜・祝日では「7時台」も同率で最も高い。希望する終了時間としては、土曜日、日曜・祝日ともに「18時台」が最も高くなっている。

#### 4 子どもの病気の際の対応について

(1) 子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったことの有無（就学前の期間）

問 16 就学前の期間に、お子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。(ひとつに○)

【子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかったことの有無（就学前の期間）】



就学前の期間に、子どもの病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」は約3割（30.2%）となっている。

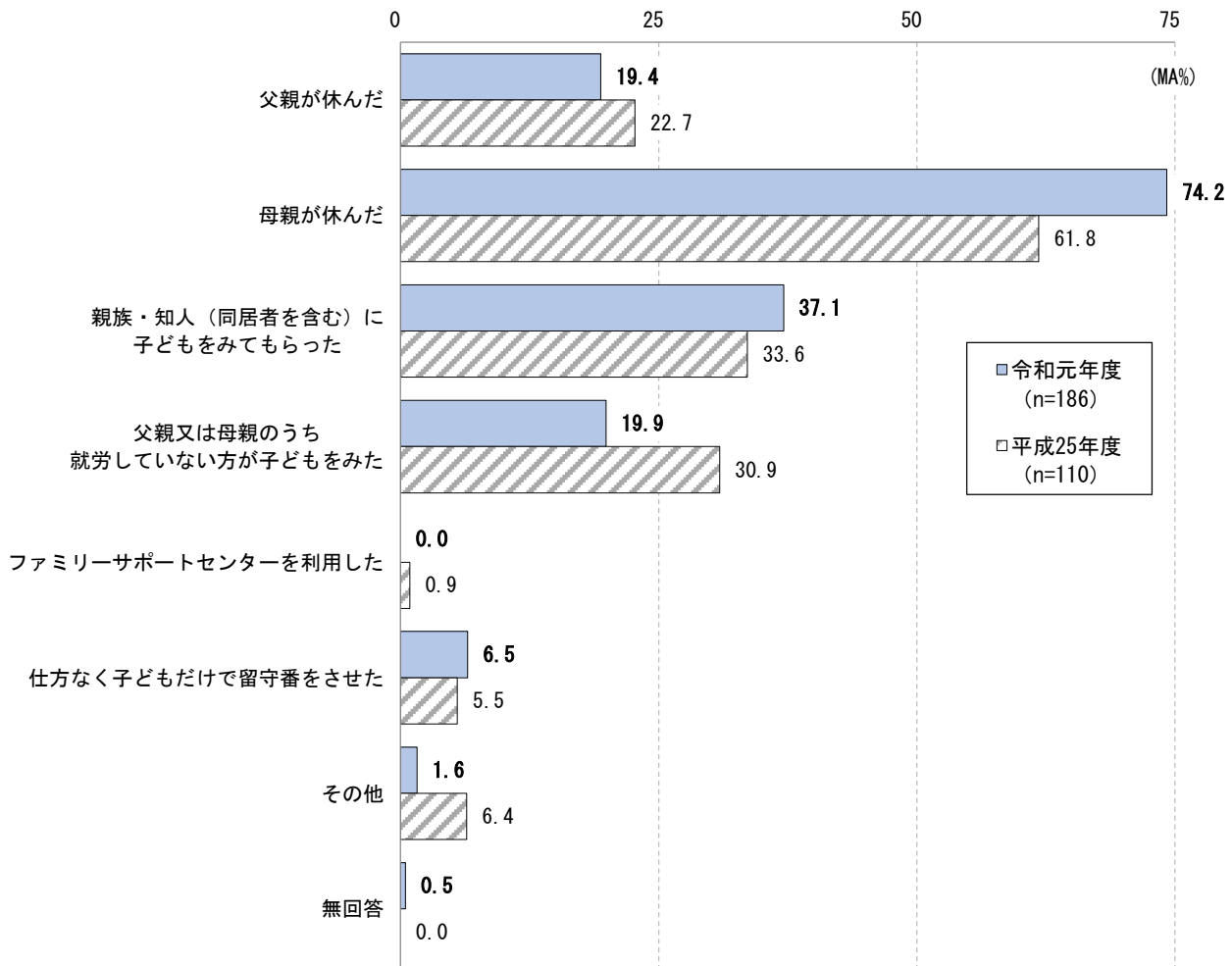
(2) 子どもの病気等で教育・保育事業を利用できなかった際の対処

①子どもの病気等の際の対処方法

問 16 で「あった」に○をつけた方にかがいます。

問 16-1 お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法はどのようなものですか。(あてはまるすべてに○、それぞれの日数も数字で記入)

【子どもの病気等の際の対処方法】



子どもの病気等で教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法としては、「母親が休んだ」が7割台(74.2%)と最も高く、次いで「親族・知人(同居者を含む)に子どもをみてもらった」が37.1%となっている。

②対処方法別の年間日数

【対処方法別の年間日数】

	n (人)	(%)							平均 (日)
		1 日	2 ～ 3 日	4 ～ 5 日	6 ～ 9 日	1 0 ～ 1 9 日	2 0 日 以 上	無 回 答	
①父親が休んだ	36	25.0	44.4	16.7	0.0	5.6	0.0	8.3	3.0
②母親が休んだ	138	10.9	22.5	14.5	14.5	19.6	4.3	13.8	6.6
③親族・知人（同居者を含む） に子どもをみてもらった	69	15.9	24.6	18.8	7.2	10.1	4.3	18.8	5.1
④父親又は母親のうち就労して いない方が子どもをみた	37	5.4	10.8	13.5	10.8	24.3	8.1	27.0	9.0
⑤ファミリーサポートセンター を利用した	0								
⑥仕方なく子どもだけで留守番 をさせた	12	50.0	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	2.6
⑦その他	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0

子どもの病気等で教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法別の年間日数として、『①父親が休んだ』、『②母親が休んだ』、『③親族・知人（同居者を含む）に子どもをみてもらった』ではいずれも「2～3日」が最も高くなっており、『④父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた』では「10～19日」が最も高い。

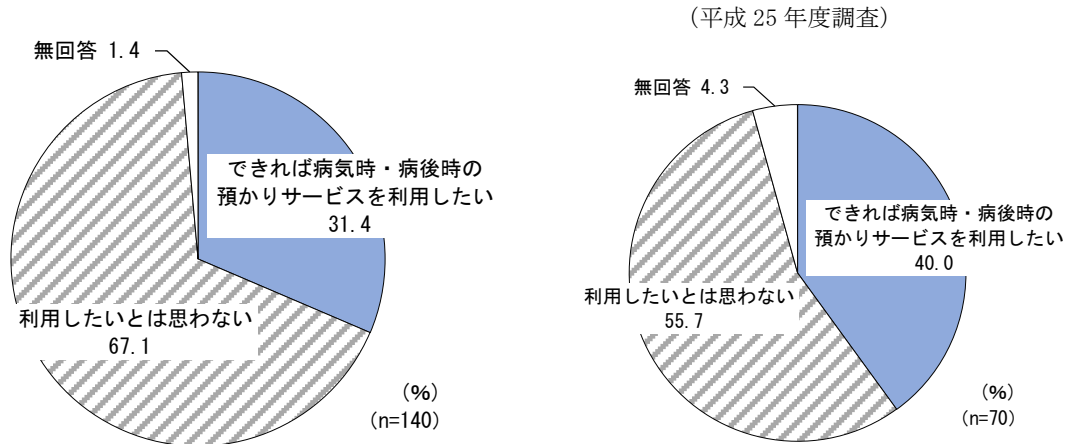
(3) 病気時・病後時の預かりサービスの利用に対する希望

① 病気時・病後時の預かりサービスの利用希望

問 16-1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 16-2 その際、「できれば病気時・病後時の預かりサービスを利用したい」と思われましたか。なお、病気時・病後時の預かりサービスの利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(ひとつに○、利用したい日数についても数字で記入)

【病気時・病後時の預かりサービスの利用希望】



子どもが病気等の際、親が休んだと回答した人のうち、「できれば病気時・病後時の預かりサービスを利用したい」は3割台 (31.4%) となっている。

② 病気時・病後時の預かりサービスの利用希望日数

【病気時・病後時の預かりサービスの利用希望日数】

n (人)	希望する利用日数 (%)							平均 (日)
	1日	2 ～ 3日	4 ～ 5日	6 ～ 9日	1 0 ～ 1 9日	2 0 日 以上	無 回 答	
44	15.9	31.8	20.5	4.5	6.8	0.0	20.5	3.8

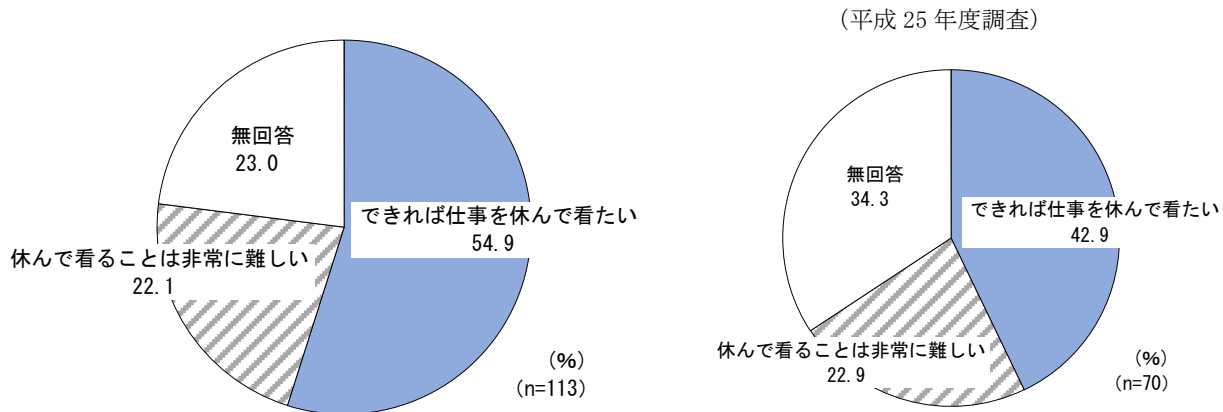
できれば病気時・病後時の預かりサービスを利用したいと回答した人の希望する利用日数としては、「2～3日」が31.8%と最も高く、次いで「4～5日」が20.5%となっている。

(4) 親が仕事を休んで子どもを見ることに対する意向

①親が仕事を休んで見る意向

問 16-1 で「親族・知人に子どもをみてもらった」～「その他」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。  
 問 16-3 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。(ひとつに○、  
 問 16-1 で回答した日数のうち、仕事を休んで見たかった日数についても数字で記入)

【親が仕事を休んで見る意向】



子どもが病気等の際、親が休む以外の方法で対処したと回答した人のうち、「できれば仕事を休んでみたい」が 54.9%に対し、「休んで見ることは非常に難しい」が 22.1%となっている。

②仕事を休んで見たかった日数

【仕事を休んで見たかった日数】

n (人)	日数							平均 (日)
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日以上	
62	17.7	19.4	19.4	19.4	4.8	3.2	0.0	3.5

できれば親が仕事を休んで見たかったと回答した人の休んで見たかった日数としては、「2～3日」、「4～5日」がともに 19.4%と最も高くなっている。

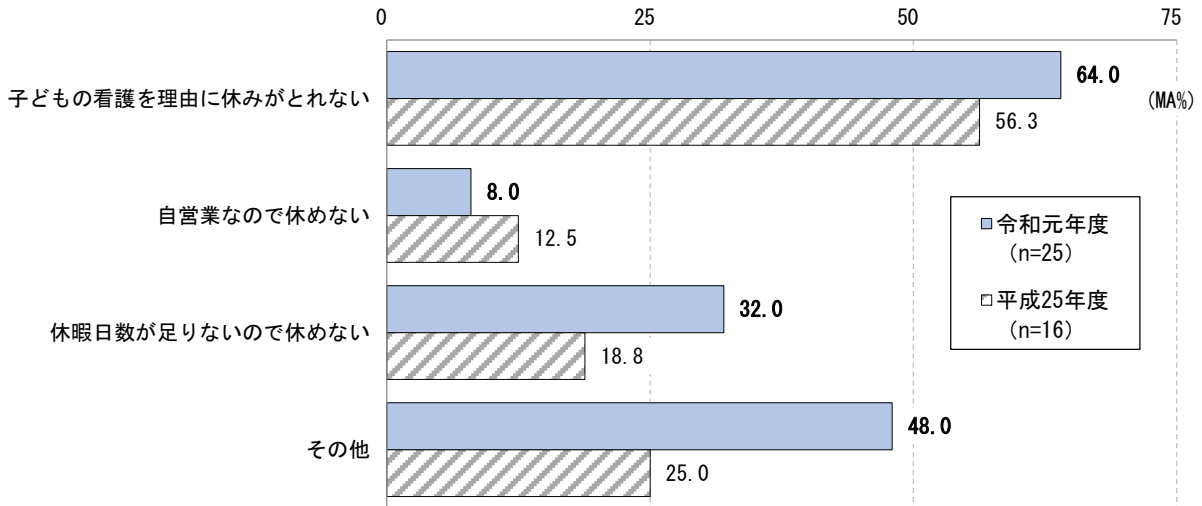


(5) 仕事を休んで看ることは難しい理由

問 16-3 で「休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。

問 16-4 そう思われる理由はなんですか。(あてはまるすべてに○)

【仕事を休んで看ることは難しい理由】



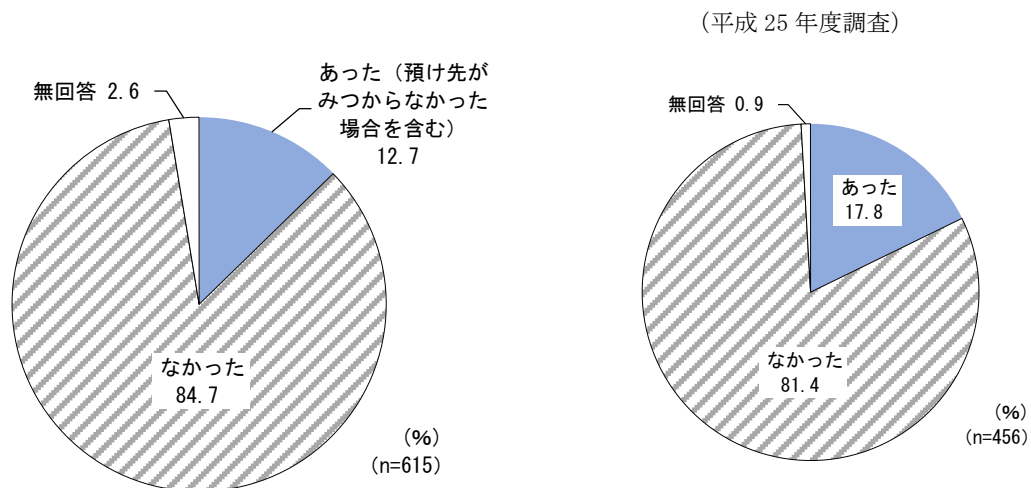
子どもが病気等の際、親が休んで看ることは非常に難しいと回答した人の理由としては、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が6割台（64.0%）と最も高くなっている。

## 5 一時預かり等の利用について

### (1) 宿泊を伴う一時預かりが必要だったことの有無

問 17 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで預けなければならないことはありましたか。(ひとつに○)

【宿泊を伴う一時預かりが必要だったことの有無】



この1年間に、保護者の用事などで子どもを泊りがけで預けなければならないことが「あった(預け先が見つからなかった場合を含む)」は1割台(12.7%)となっている。

(2) 宿泊を伴う一時預かりが必要だった際の対処

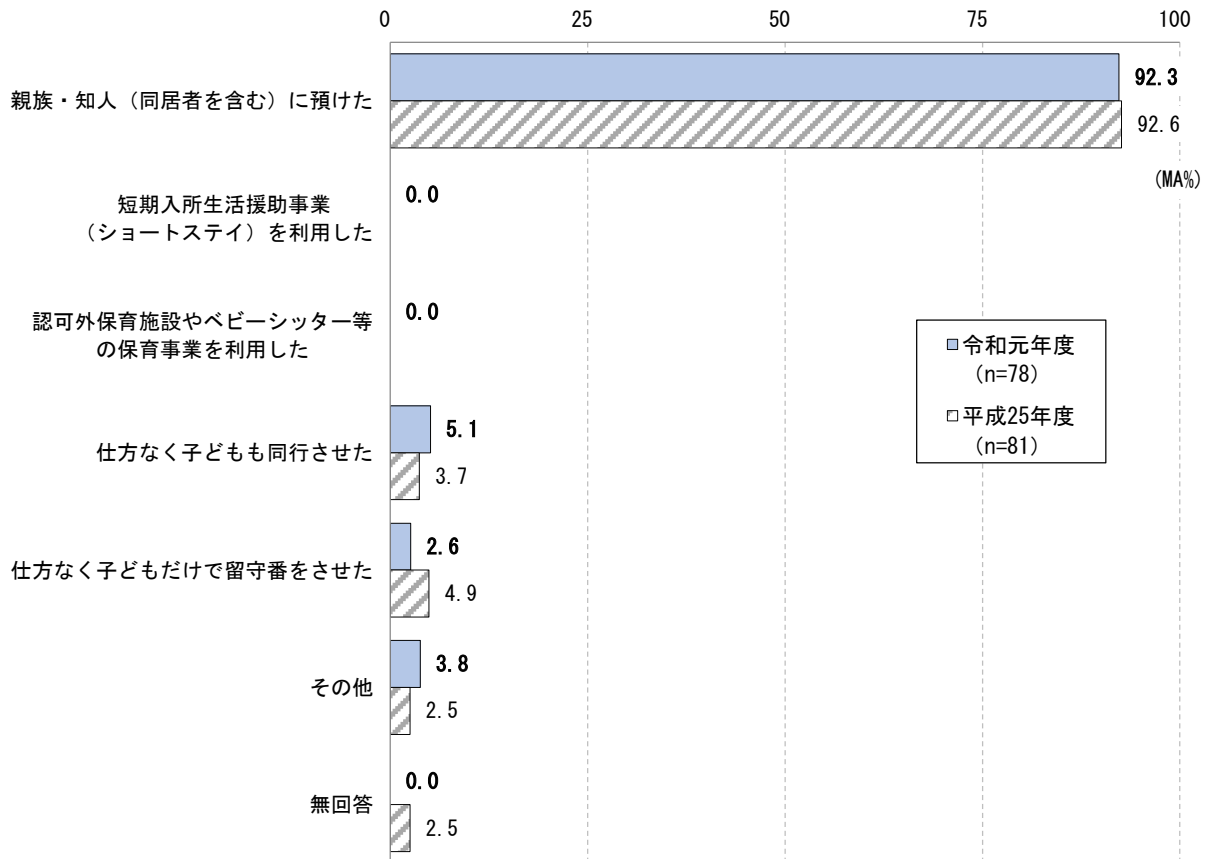
① 宿泊を伴う一時預かりが必要だった際の対処方法

問 17 で「あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 17-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。

(あてはまるすべてに○、それぞれの日数も数字で記入)

【宿泊を伴う一時預かりが必要だった際の対処方法】



子どもを泊りがけで預けなければならないことがあった際の対処方法としては、「親族・知人(同居者を含む)に預けた」が9割台(92.3%)と最も高く、次いで「仕方なく子どもも同行させた」が5.1%となっている。

②対処方法別の年間泊数

【対処方法別の年間泊数】

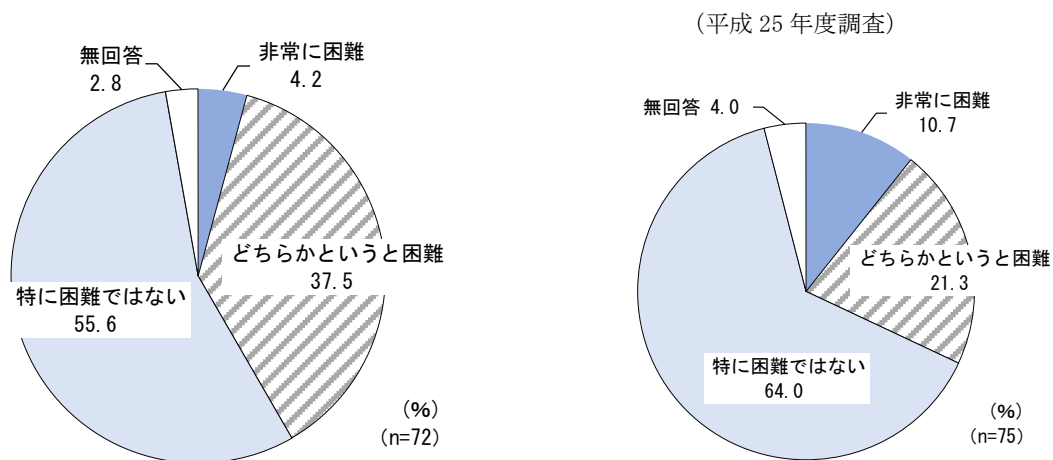
	n (人)	(%)							平均 (泊)
		1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊以上	
①親族・知人（同居者を含む）に預けた	72	44.4	23.6	12.5	4.2	1.4	0.0	13.9	2.4
②短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した	0								
③認可外保育施設やベビーシッター等の保育事業を利用した	0								
④仕方なく子どもも同行させた	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	1.3
⑤仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
⑥その他	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0

子どもを泊りがけで預けなければならないことがあった際の対処方法別の年間泊数として、『①親族・知人（同居者を含む）に預けた』では、「1泊」が44.4%と最も高く、次いで「2～3泊」が23.6%となっている。

(3) 親族・知人に泊りがけで預けた際の困難度

問 17-1 で「親族・知人に預けた」に○をつけた方にうかがいます。  
 問 17-2 親族・知人に預けた際の困難度はどの程度でしたか。(ひとつに○)

【親族・知人に泊りがけで預けた際の困難度】



子どもを親族・知人に泊りがけで預けたことがあると回答した人のその際の困難度としては、「非常に困難」が4.2%、「どちらかという困難」が37.5%となっており、困難だったという割合は4割台(41.7%)みられる。

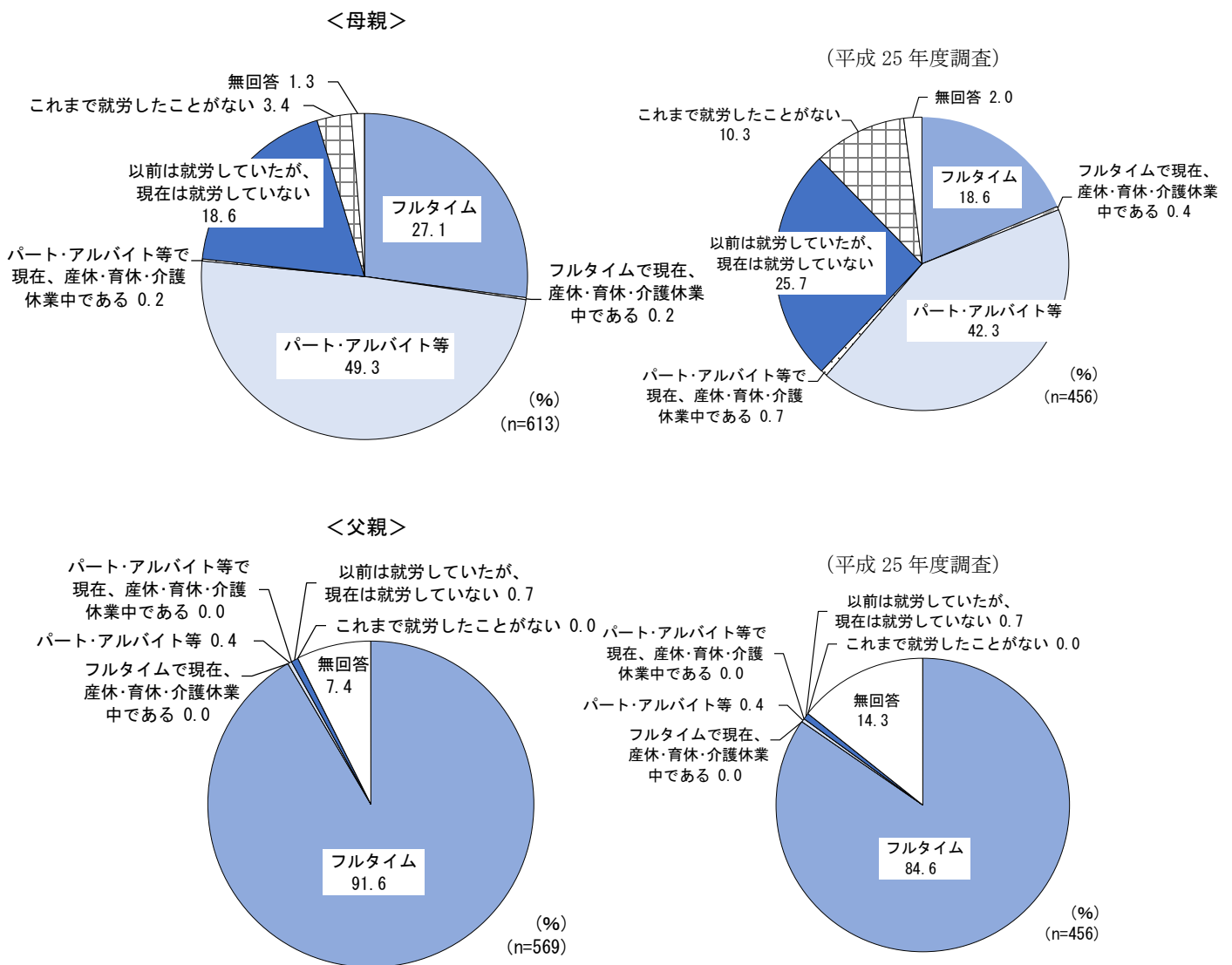
## 6 保護者の就労状況について

### (1) 保護者の就労状況

#### ①就労形態

問 18 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。  
 母親、父親の両方にご回答ください。（父子家庭、母子家庭の場合はいずれかで構いません。）  
 “フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労”（就労している）のいずれかに○をつけた方は、週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」「家を出る時間と帰宅時間」をお答えください。

【就労形態】



保護者の現在の就労形態として、母親では、パート・アルバイト等（産休・育休等含む）が約5割（49.5%）、父親では、フルタイム（育休等含む）が9割台（91.6%）をそれぞれ占めている。

(現在、就労していると回答した人のみ)

② 1週当たりの就労日数

【1週当たりの就労日数】

										(%)		
	n (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無 回 答		平 均 (日)	
母親	470	2.3	5.7	21.1	21.1	39.8	3.8	1.1	5.1		4.2	
父親	523	0.2	0.6	1.0	1.0	66.7	19.1	1.1	10.3		5.2	

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週当たりの就労日数としては、「5日」が母親で39.8%、父親で66.7%と、ともに最も高くなっている。

③ 1日当たりの就労時間

【1日当たりの就労時間】

												(%)		
	n (人)	4 時 間 未 満	4 ～ 5 時 間 未 満	5 ～ 6 時 間 未 満	6 ～ 7 時 間 未 満	7 ～ 8 時 間 未 満	8 ～ 9 時 間 未 満	9 ～ 10 時 間 未 満	10 ～ 11 時 間 未 満	1 時 間 未 満	1 時 間 未 満	1 時 間 未 満	無 回 答	平 均 (時間)
母親	470	5.7	13.8	17.2	12.8	15.3	23.2	3.8	1.1	0.0	0.0	0.9	6.2	6.3
父親	523	0.0	0.0	0.2	0.0	3.6	31.0	12.2	20.3	4.4	11.7	16.6		9.7

1日当たりの就労時間としては、「8～9時間未満」が母親で23.2%、父親で31.0%と、ともに最も高くなっている。これに続くのが、母親では「5～6時間未満」が17.2%、「7～8時間未満」が15.3%、父親では「10～11時間未満」が20.3%、「9～10時間未満」が12.2%となっている。

④家を出る時間及び帰宅時間

【家を出る時間】

		(%)							
	n (人)	6 時 より 前	6 時 台	7 時 台	8 時 台	9 時 台	1 0 時 以 降	無 回 答	平均 (時)
母親	470	1.1	2.6	24.3	46.4	12.3	6.4	7.0	8.2
父親	523	4.4	28.9	32.7	13.6	1.7	1.9	16.8	6.9

【帰宅時間】

		(%)										
	n (人)	1 5 時 よ り 前	1 5 時 台	1 6 時 台	1 7 時 台	1 8 時 台	1 9 時 台	2 0 時 台	2 1 時 台	2 2 時 以 降	無 回 答	平均 (時)
母親	470	20.0	13.0	10.0	16.8	19.4	7.7	2.6	1.1	1.9	7.7	16.5
父親	523	0.4	0.2	0.4	2.1	10.1	15.7	19.3	14.7	20.1	17.0	20.5

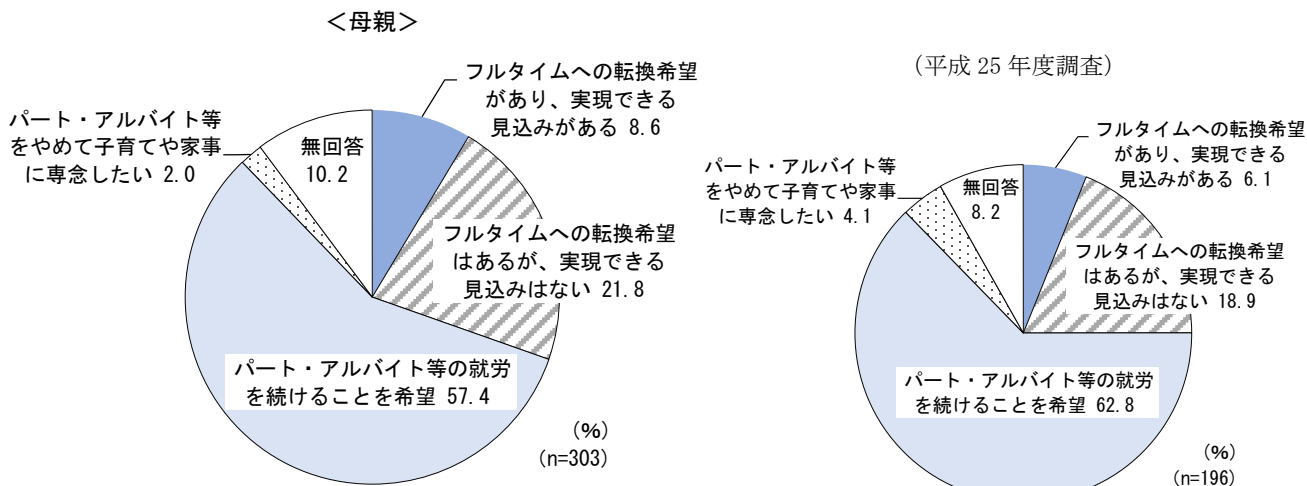
家を出る時間として、母親では「8時台」が46.4%、父親では「7時台」が32.7%と、それぞれ最も高くなっている。

帰宅時間として、母親では、「15時より前」が20.0%と最も高く、次いで「18時台」が19.4%となっている。一方、父親では、「22時以降」が20.1%と最も高く、次いで「20時台」が19.3%となっている。

(2) フルタイムへの転換希望

問 18 の母親または父親で “パート・アルバイト等で就労” のいずれかに○をつけた方にうかがいます。  
 問 18-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(母親、父親それぞれひとつに○)

【フルタイムへの転換希望】



<父親>

(%)

n (人)	見込みがある、実現できる	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できない	フルタイムへの転換希望はない	希望を続けること	パート・アルバイト等を続けること	パート・アルバイト等に専念したい
2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(平成 25 年度調査)

(%)

n (人)	見込みがある、実現できる	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できない	フルタイムへの転換希望はない	希望を続けること	パート・アルバイト等を続けること	パート・アルバイト等に専念したい
2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

現在、パート・アルバイト等で就労している（産休・育休等含む）母親のフルタイムへの転換希望としては、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が5割台（57.4%）を占めている。





（「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」と回答した人のみ）

②就労を希望する時期（末子の年齢）

【就労を希望する時期】

<母親>

n (人)	年齢							平均 (歳)
	7歳以下	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳以上	
27	0.0	7.4	11.1	33.3	3.7	11.1	33.3	11.0

<父親>

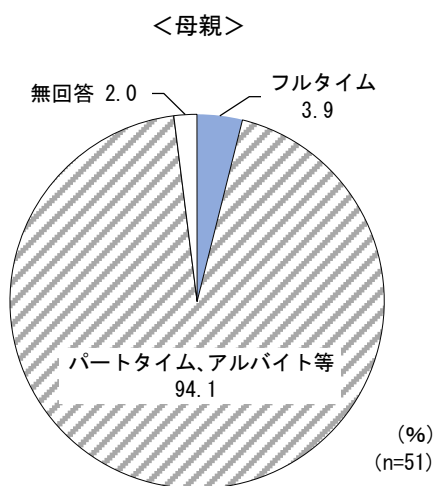
※該当なし

現在就労していないが、1年より先に一番下の子どもが大きくなったところに就労したいと回答した母親の就労を希望する時期（子どもの年齢）としては、「10歳」、「13歳以上」が33.3%と、ともに最も高くなっている。

（「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人のみ）

③希望する就労形態

【希望する就労形態】



<父親>

n (人)	就労形態	
	フルタイム	パートタイム、アルバイト等
1	0.0	100.0

現在就労していないが、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した母親の希望する就労形態としては、「フルタイム」が3.9%に対し、「パートタイム、アルバイト等」が9割台(94.1%)を占めている。

(「パートタイム、アルバイト等」と回答した人のみ)

④希望する就労日数及び就労時間

【1週当たりの希望就労日数】

<母親>

n (人)	1週当たりの希望就労日数 (%)								平均 (日)
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
48	0.0	12.5	52.1	22.9	8.3	0.0	0.0	4.2	3.4

<父親>

「4日」が1人のみ

【1日当たりの希望就労時間】

<母親>

n (人)	1日当たりの希望就労時間 (%)								平均 (時間)
	3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8時間以上	無回答	
48	0.0	10.4	33.3	41.7	6.3	0.0	2.1	6.3	4.6

<父親>

「無回答」が1人のみ

すぐにでも、もしくは1年以内にパート・アルバイト等で働きたいと回答した母親の希望する1週当たりの就労日数としては、「3日」が52.1%と最も高く、次いで「4日」が22.9%となっている。

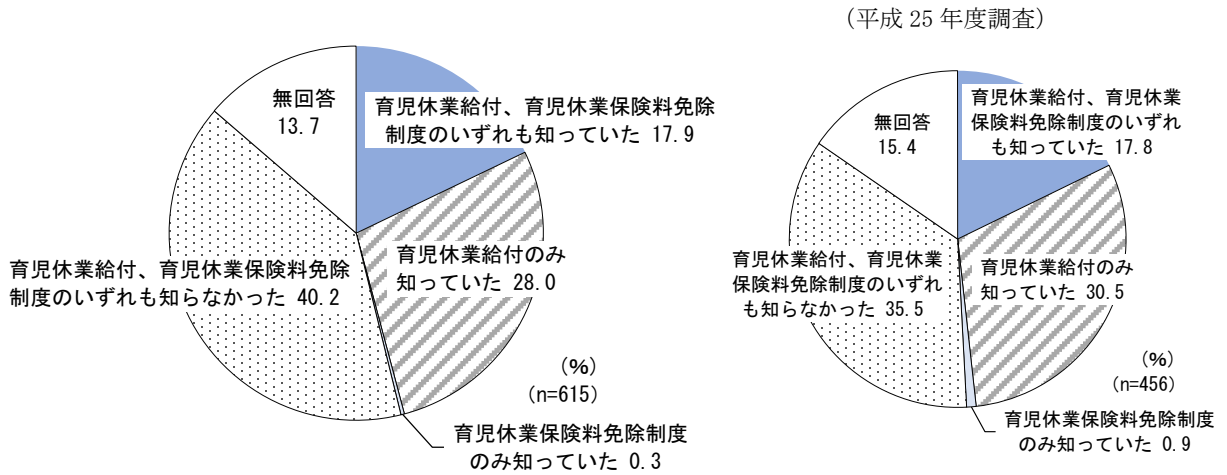
また、1日当たりの就労時間としては、「5～6時間未満」が41.7%と最も高く、次いで「4～5時間未満」が33.3%となっている。

## 7 職場の両立支援制度について

### (1) 育児休業給付や育児休業保険料免除制度の認知度

問 19 育児休業給付や育児休業保険料免除制度をご存じですか。(ひとつに○)

【育児休業給付や育児休業保険料免除制度の認知度】



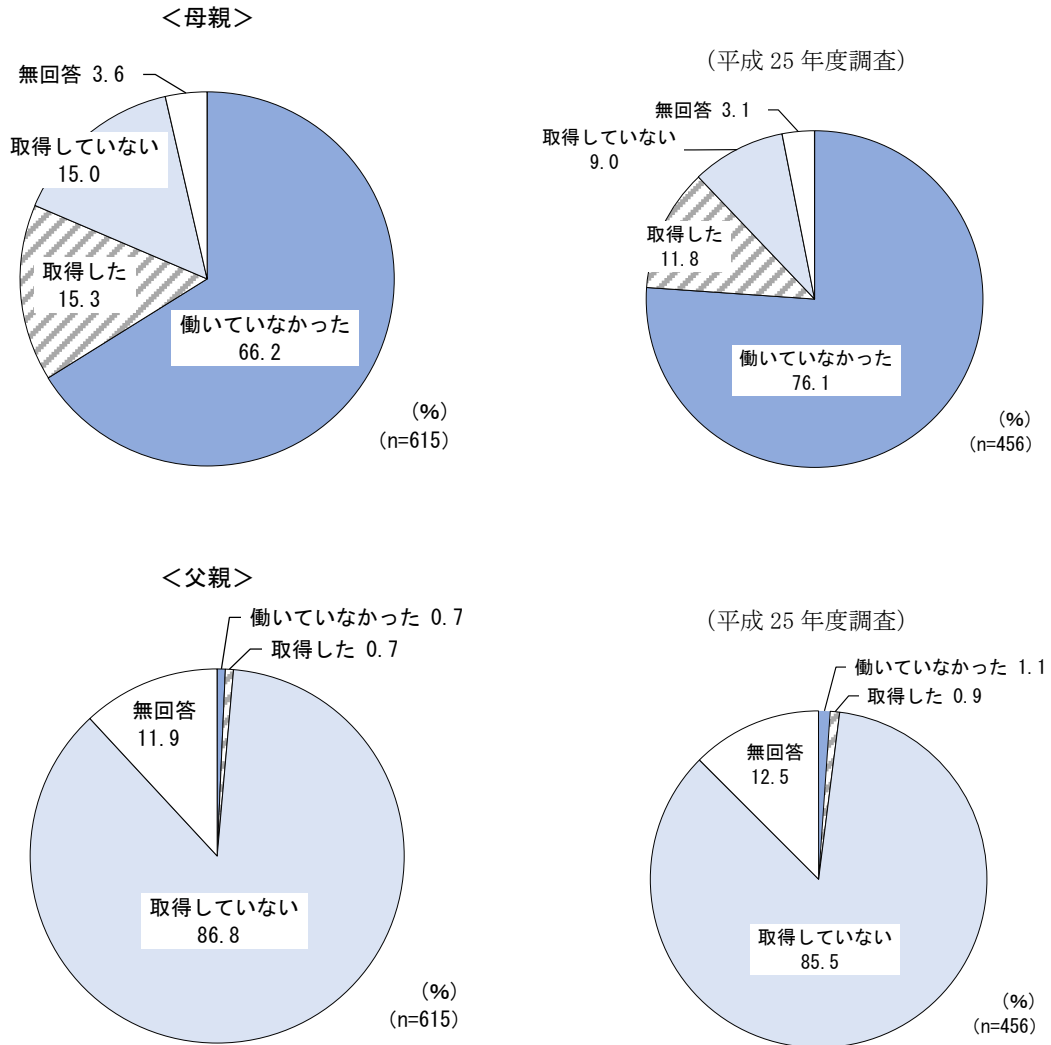
育児休業給付について知っていたという人は4割台（45.9%）、育児休業保険料免除制度について知っていたという人は3割弱（28.3%）となっており、いずれも知らなかったという人は約4割（40.2%）を占める。

(2) 育児休業の取得状況の有無

① 育児休業の取得の有無

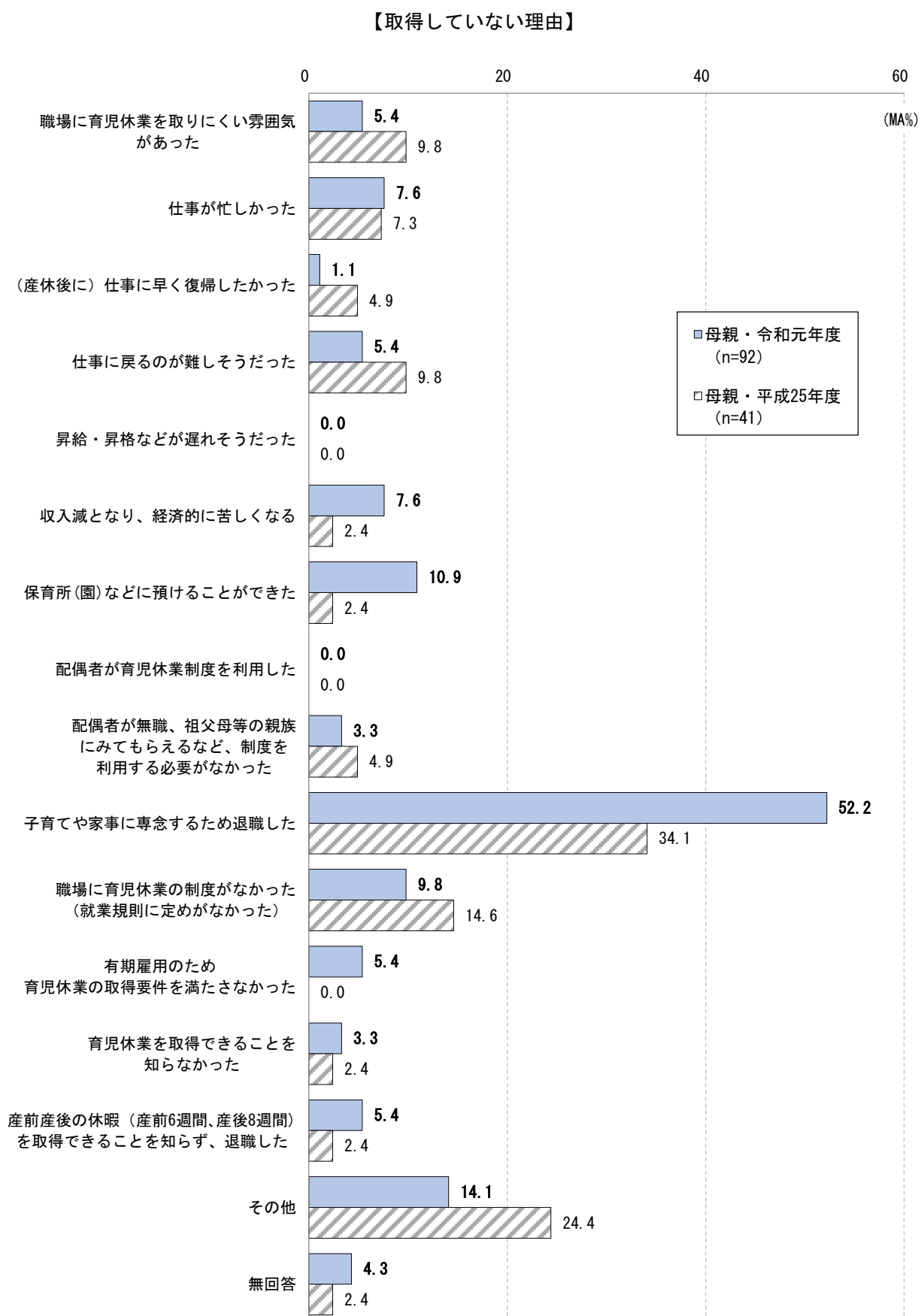
問 20 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
 (母親、父親それぞれひとつに○、取得していない方はその理由を記入)

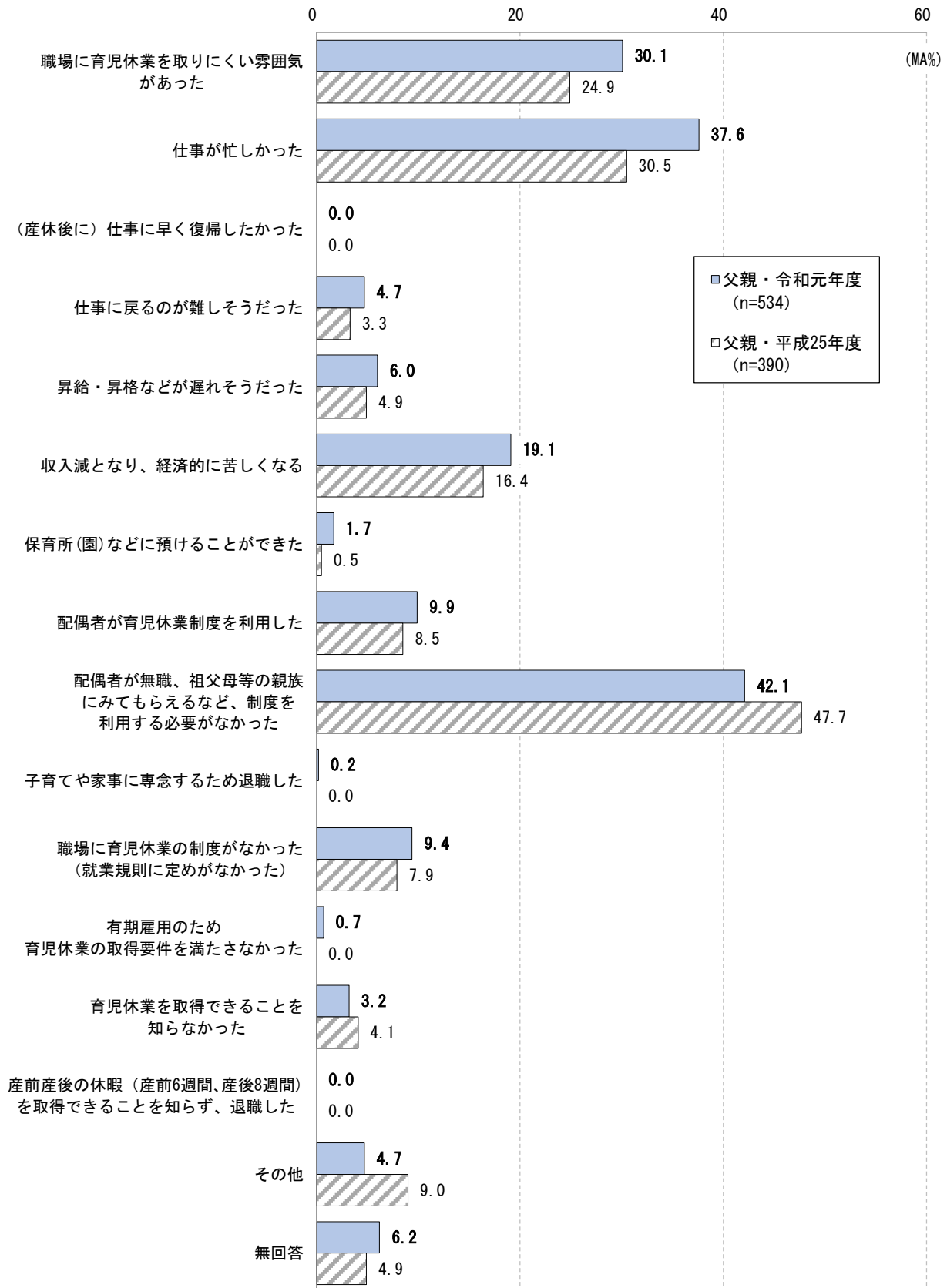
【育児休業の取得の有無】



子どもが生まれた時の育児休業の取得状況として、母親では、「働いていなかった」が6割台(66.2%)を占めており、「取得した」が15.3%、「取得していない」が15.0%となっている。一方、父親では、「取得していない」が8割台(86.8%)を占めている。

②取得していない理由





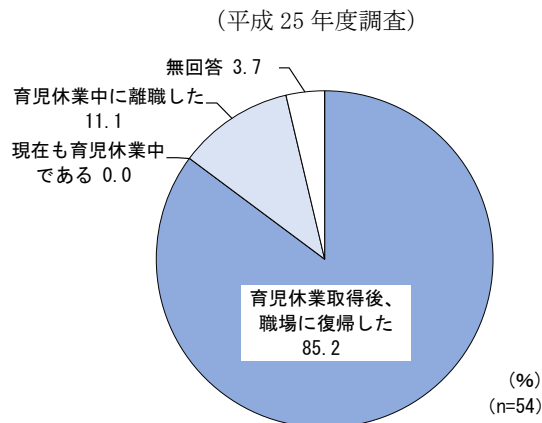
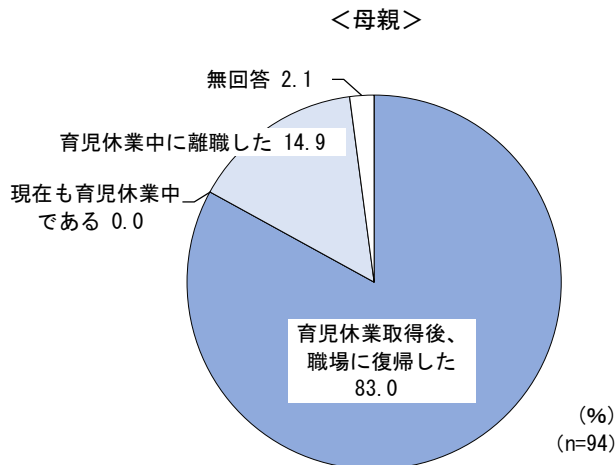
育児休業を取得していないと回答した人の理由として、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が 52.2%と最も高くなっている。一方、父親では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 42.1%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 37.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 30.1%となっている。

(3) 育児休業取得後の職場復帰の状況

問 20 で「取得した」に○をつけた方にかがいます。

問 20-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(母親、父親それぞれひとつの数字を記入)

【育児休業取得後の職場復帰の状況】



<父親>

(%)

n (人)	職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に離職した
4	100.0	0.0	0.0

(平成 25 年度調査)

(%)

n (人)	職場に復帰した	現在も育児休業中である	育児休業中に離職した
4	100.0	0.0	0.0

育児休業を取得したと回答した人の職場復帰の状況として、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が8割台（83.0%）を占めており、「育児休業中に離職した」が1割台（14.9%）みられる。



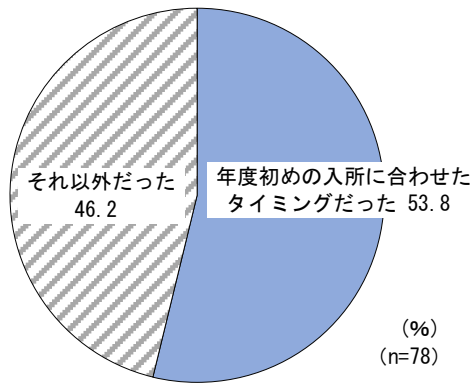
(4) 職場復帰の時期

問 20-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

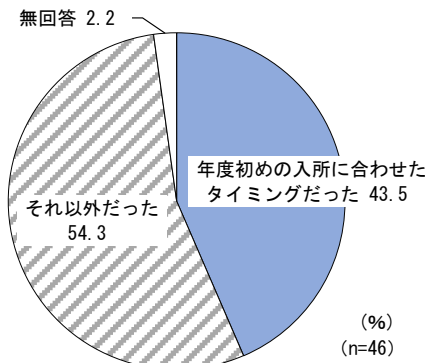
問 20-2 育児休業から職場に復帰したタイミングはいつでしたか。(母親、父親それぞれひとつの数字を記入)

【職場復帰の時期】

<母親>



(平成 25 年度調査)



<父親>

(%)

n (人)	年度初めの入所に合わせたタイミングだった	それ以外だった
4	0.0	100.0

(平成 25 年度調査)

(%)

n (人)	年度初めの入所に合わせたタイミングだった	それ以外だった
4	50.0	50.0

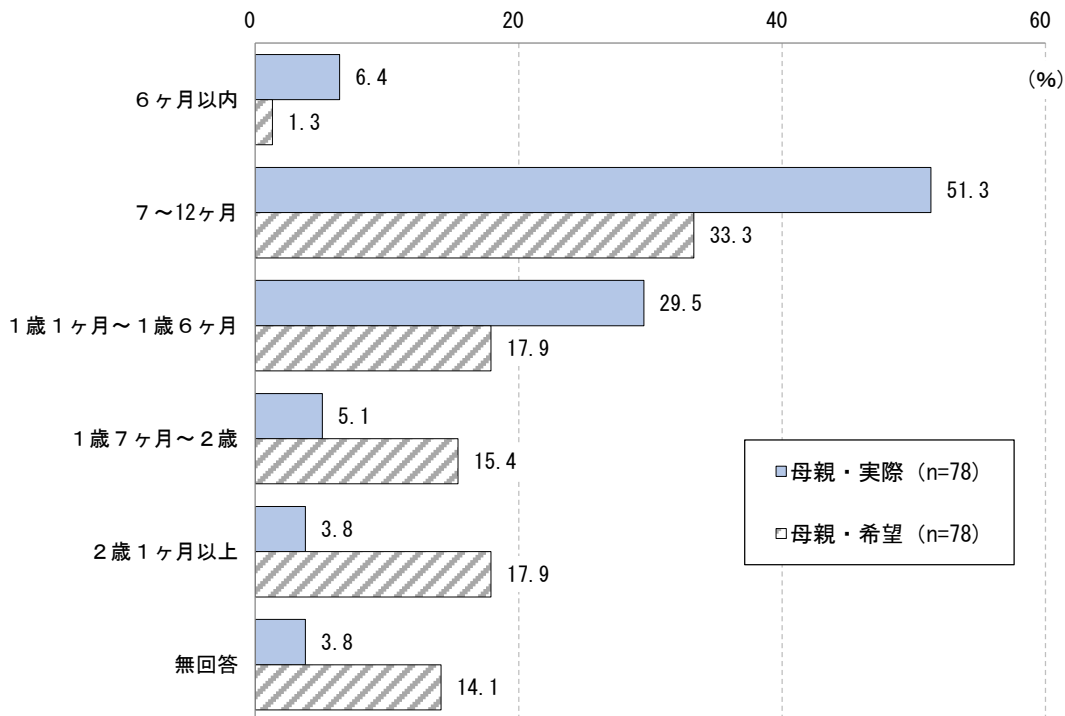
育児休業取得後に職場に復帰したと回答した人のタイミングとして、母親では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 53.8%に対し、「それ以外だった」が 46.2%となっている。

(5) 育児休業の取得期間

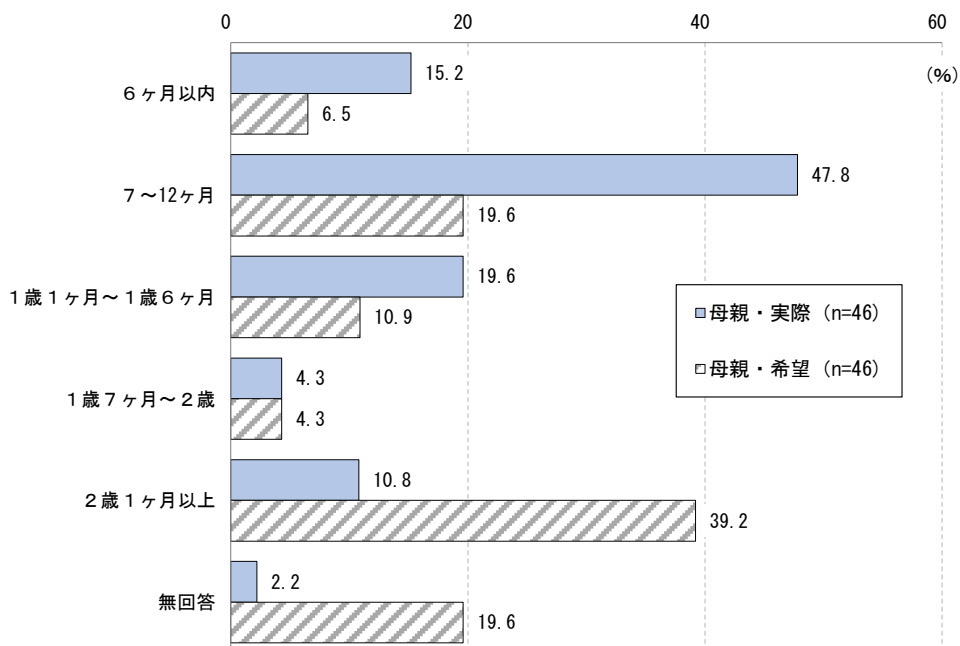
問 20-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。  
 問 20-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。  
 また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。  
 (母親、父親それぞれ数字で記入)

【育児休業の取得期間】

<母親 (実際・希望)>



(平成 25 年度調査)



<父親（実際・希望）>

(%)

	調査数（人）	1 ～ 6 ヶ月	7 ～ 1 2 ヶ月	6 1 ヶ 歳 月 1 ヶ 月 ～ 1 歳	1 歳 7 ヶ 月 ～ 2 歳	2 歳 1 ヶ 月 以上	無 回 答
父親（実際）	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
父親（希望）	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0

(平成 25 年度調査)

(%)

	調査数（人）	6 ヶ 月 以内	7 ～ 1 2 ヶ月	6 1 ヶ 歳 月 1 ヶ 月 ～ 1 歳	1 歳 7 ヶ 月 ～ 2 歳	2 歳 1 ヶ 月 以上	無 回 答
父親・実際	4	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
父親・希望	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0

育児休業の取得期間として、母親では、実際の取得期間は 12 ヶ月以下が 5 割台（57.7%）を占めるのに対し、希望する取得期間は 1 歳 1 ヶ月以上が 6 割台（65.3%）を占めている。

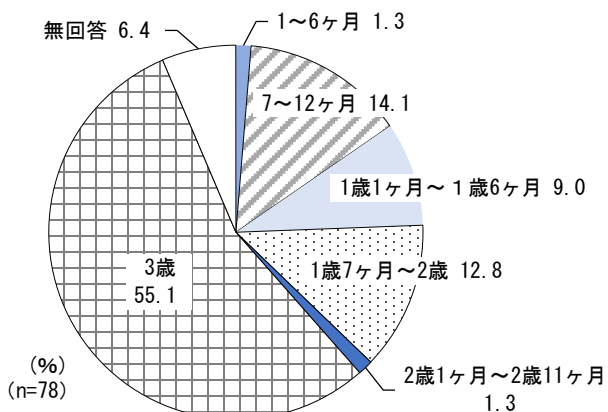
(6) 3歳まで取得できる場合の育児休業の希望取得期間（子どもの年齢）

問 20-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

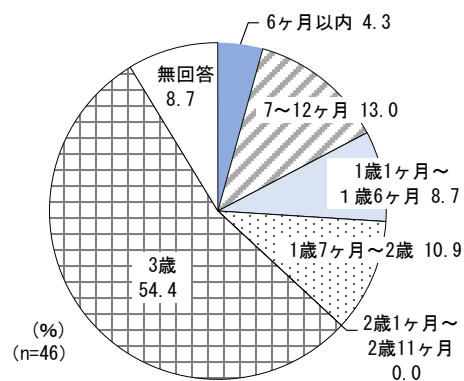
問 20-4 お勤め先に、子どもが満3歳まで取得できる育児休業制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（母親、父親それぞれ数字で記入）

【3歳まで取得できる場合の育児休業の希望取得期間】

<母親>



(平成 25 年度調査)



<父親>

	調査数 (人)	1歳6ヶ月	7歳1ヶ月	6歳1ヶ月～1歳	1歳7ヶ月～2歳	1歳1ヶ月～2歳	2歳1ヶ月～2歳	3歳	無回答 (%)
令和元年度	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
平成25年度	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0

子どもが満3歳まで取得できる育児休業制度があった場合の希望する取得期間として、母親では、「3歳」が5割台（55.1%）と最も高く、次いで「7～12ヶ月」が14.1%となっている。

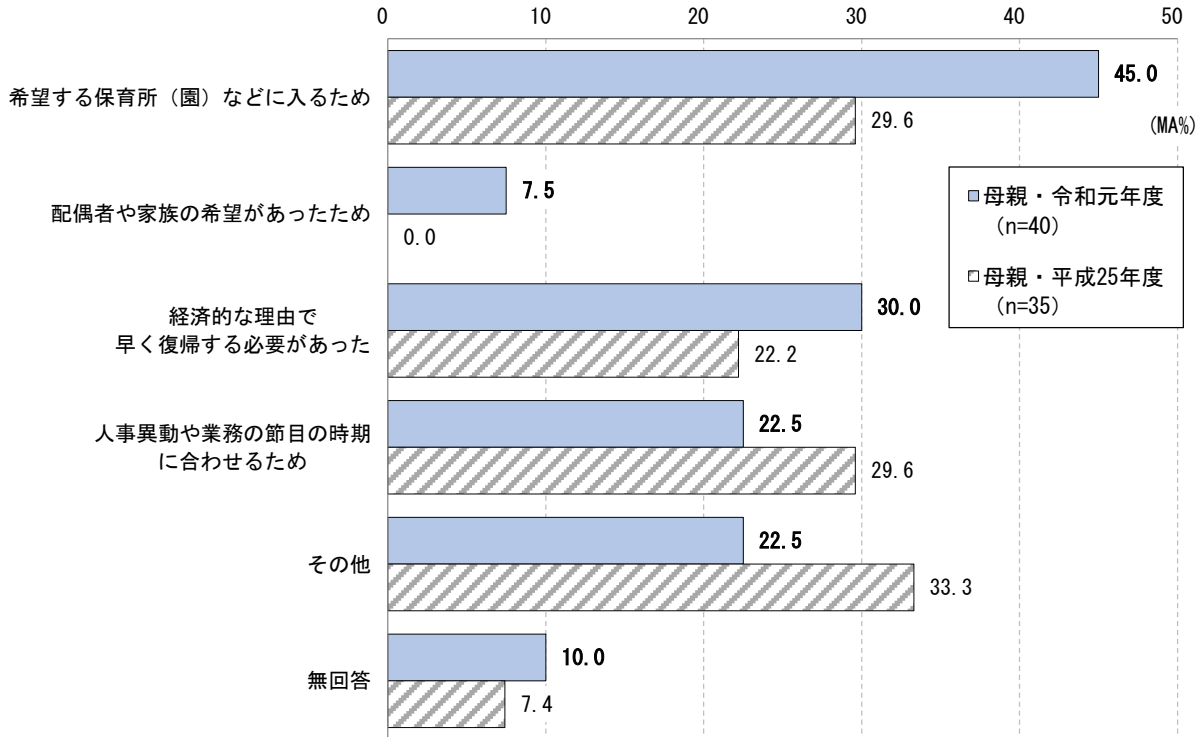
(7) 希望の時期に職場復帰しなかった理由

①希望より早く職場復帰した理由

問 20-3 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 20-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

【希望より早く職場復帰した理由】



(%)

	n (人)	た め ( 園 ) な ど に 保 育 所 入 る	希 望 す る 保 育 所 の 希 望	配 偶 者 や 家 族 の 希 望	が あ つ た	早 く 復 帰 す る 必 要	経 済 的 な 理 由 で 早 く 復 帰 す る 必 要	に 合 わ せ る た め	節 目 の 時 期 に 合 わ せ る た め	人 事 異 動 や 業 務 の 期 間	そ の 他	無 回 答
父親・令和元年度	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
父親・平成25年度	0											

育児休業の取得期間について、希望より早く復帰した人の理由として、母親では、「希望する保育所（園）などに入るため」が45.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が30.0%となっている。



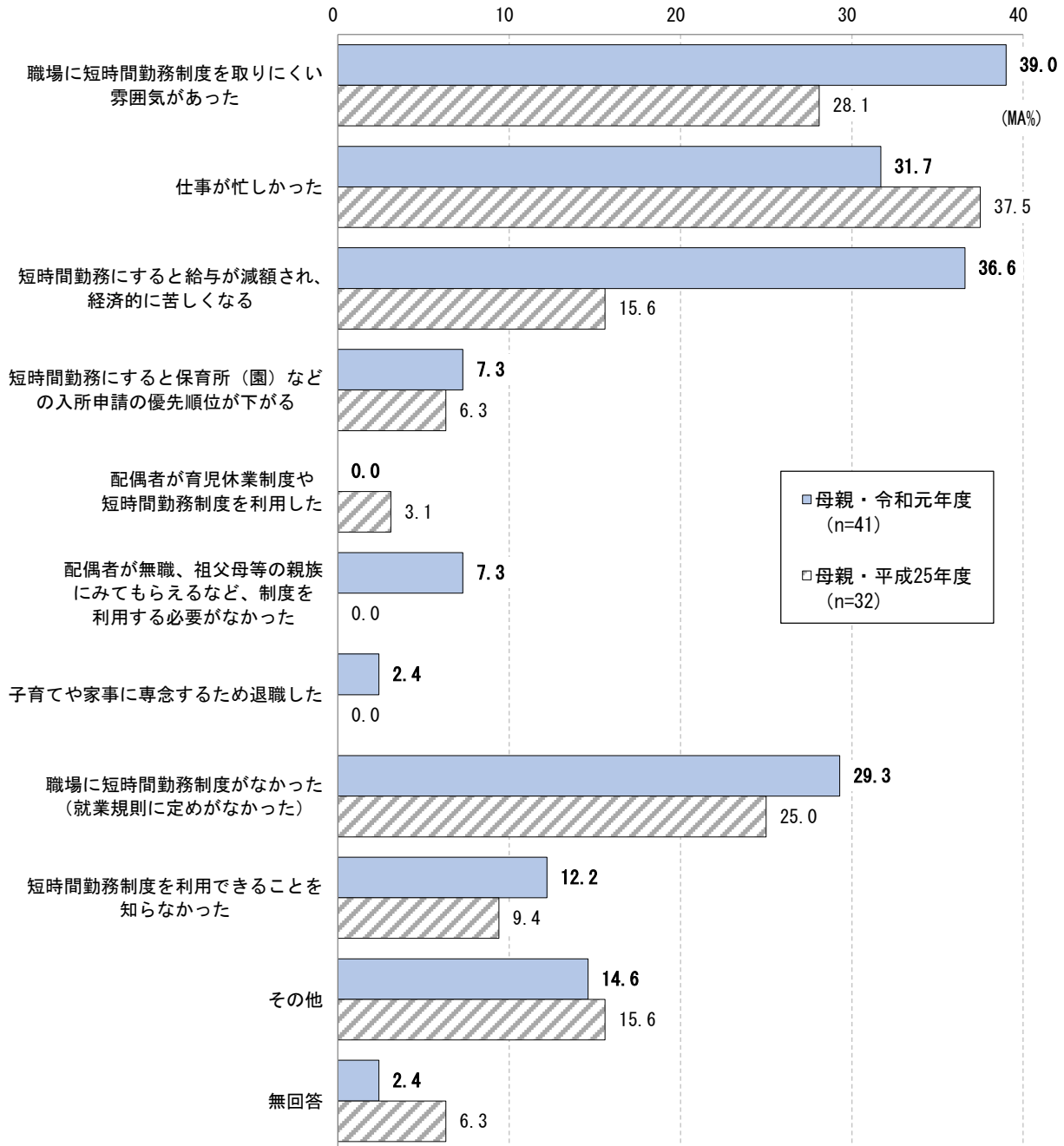
②短時間勤務制度を利用しなかった理由

問 20-6 で「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問 20-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。

(母親、父親それぞれ、あてはまるすべての数字を記入)

【短時間勤務制度を利用しなかった理由】



(%)

	調査数（人）	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	仕事が忙しかった	短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる	順位が下がる	短時間勤務にすると保育所（園）などの入所申請の優先	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	家族にみても必要がなかった	配偶者が無職、祖父母等を利用する必要がなかった	退職した	子育てや家事に専念するため	職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	短時間勤務制度を利用できなかった	その他
父親・令和元年度	3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
父親・平成25年度	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	50.0		

育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用しなかったと回答した人の理由として、母親では、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 39.0%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 36.6%となっている。

（9）1歳時に利用できる事業がある場合の育児休業の希望

問 20-1 で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。  
 問 20-8 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所（園）などのような事業（保育施設）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。（母親、父親それぞれ、ひとつの数字を記入）

※母親、父親ともに該当者（育児休業中の方）なし。

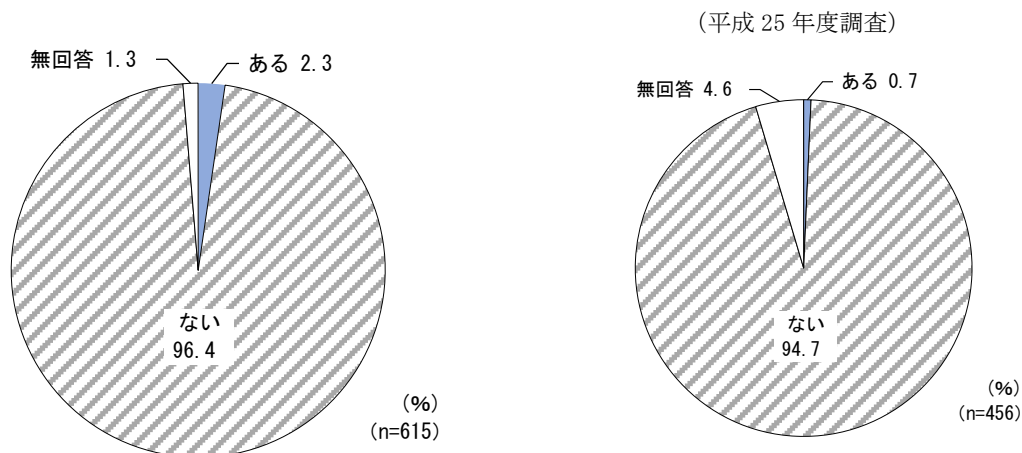


## 8 子どもの安全について

### (1) 子どもがチカン・不審者等の被害にあったことの有無

問 21 あて名のお子さんが、最近1年間のなかでチカン・不審者等の被害にあったことがありますか。  
(ひとつに○)

#### 【子どもがチカン・不審者等の被害にあったことの有無】

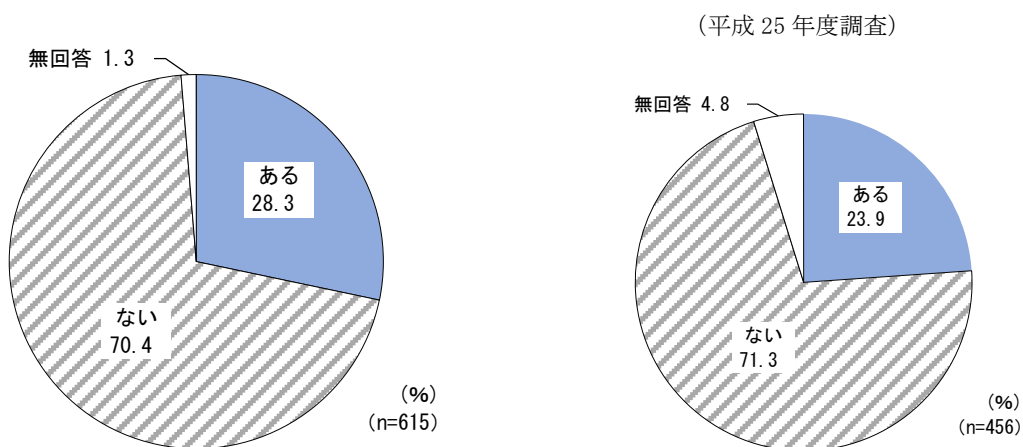


この1年間に、子どもがチカン・不審者等の被害にあったことが「ある」は2.3%となっている。

### (2) チカン・不審者等の被害の話をきいたことの有無

問 22 あなたは、最近1年間の中で知り合いからチカン・不審者等の被害の話をきいたことがありますか。(ひとつに○)

#### 【チカン・不審者等の被害の話をきいたことの有無】

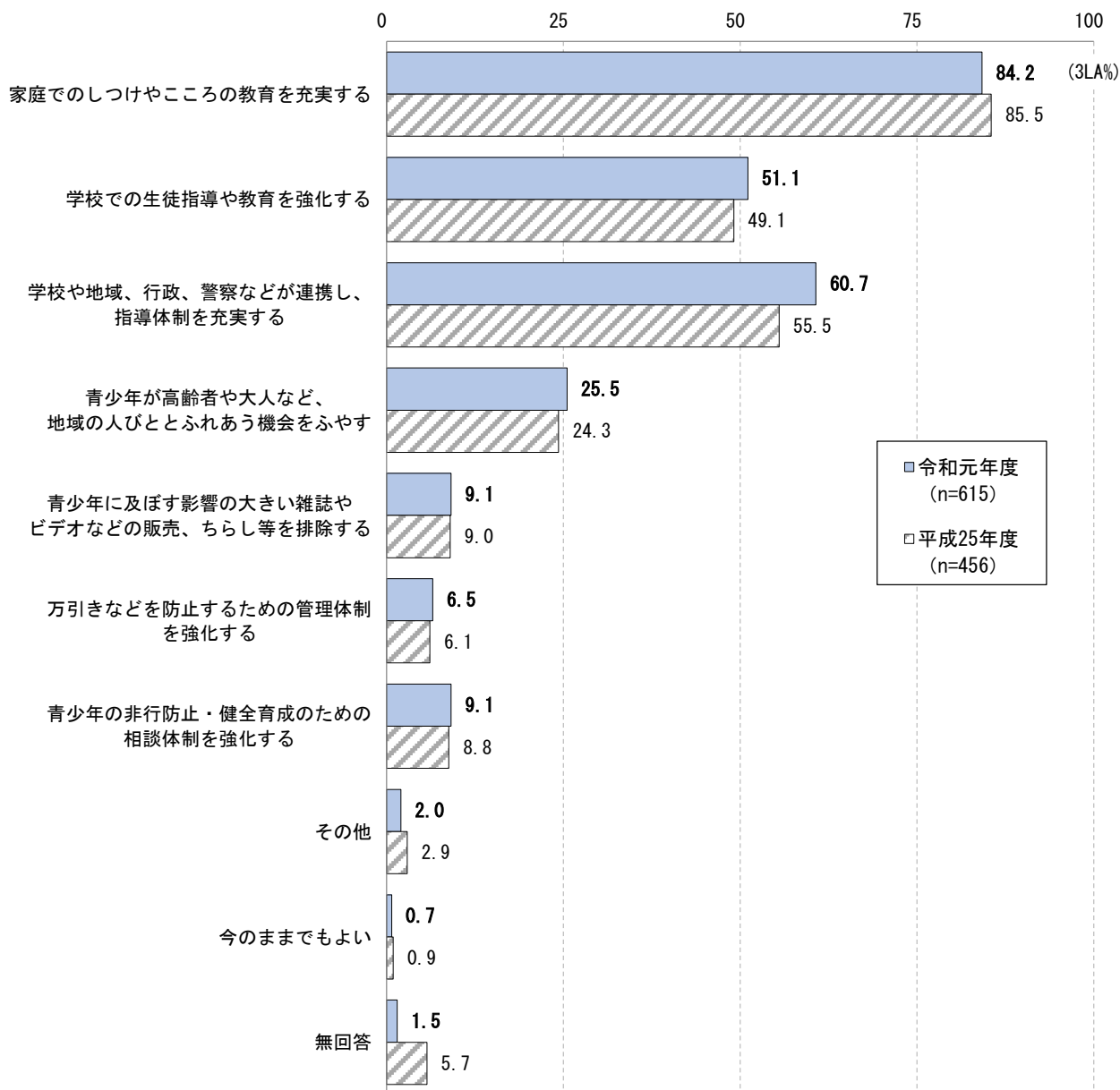


この1年間に、知り合いからチカン・不審者等の被害の話をきいたことが「ある」は3割弱(28.3%)となっている。

(3) 子どもの健全育成や非行防止のために力をいれるべきこと

問 23 子どもの健全育成や非行防止のために、どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。  
(○は3つまで)

【子どもの健全育成や非行防止のために力をいれるべきこと】

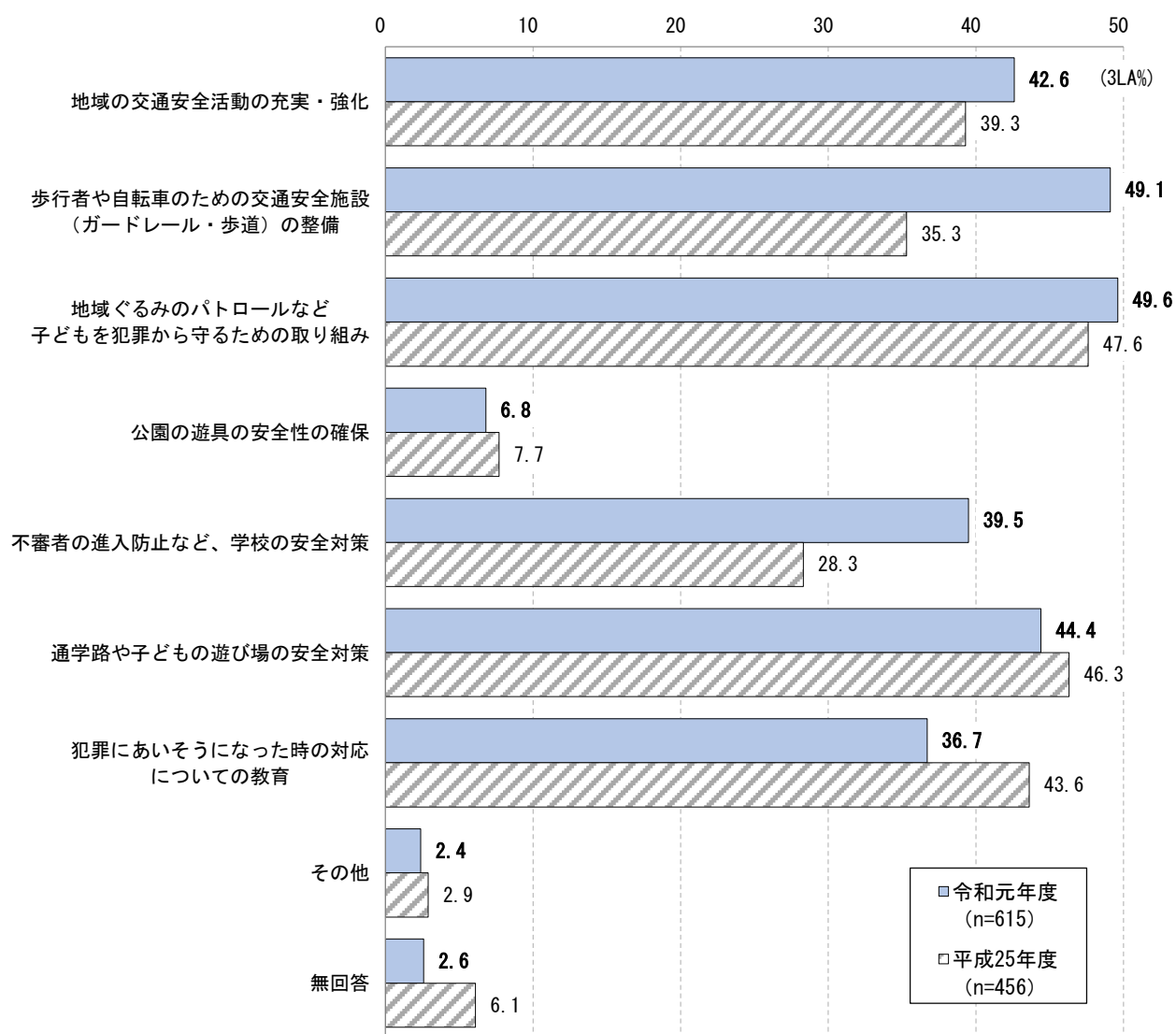


子どもの健全育成や非行防止のために力をいれるべきこととしては、「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」が8割台（84.2%）と最も高く、次いで「学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する」が60.7%、「学校での生徒指導や教育を強化する」が51.1%となっている。

(4) 子どもの安全を守るために重要と思うこと

問 24 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(〇は3つまで)

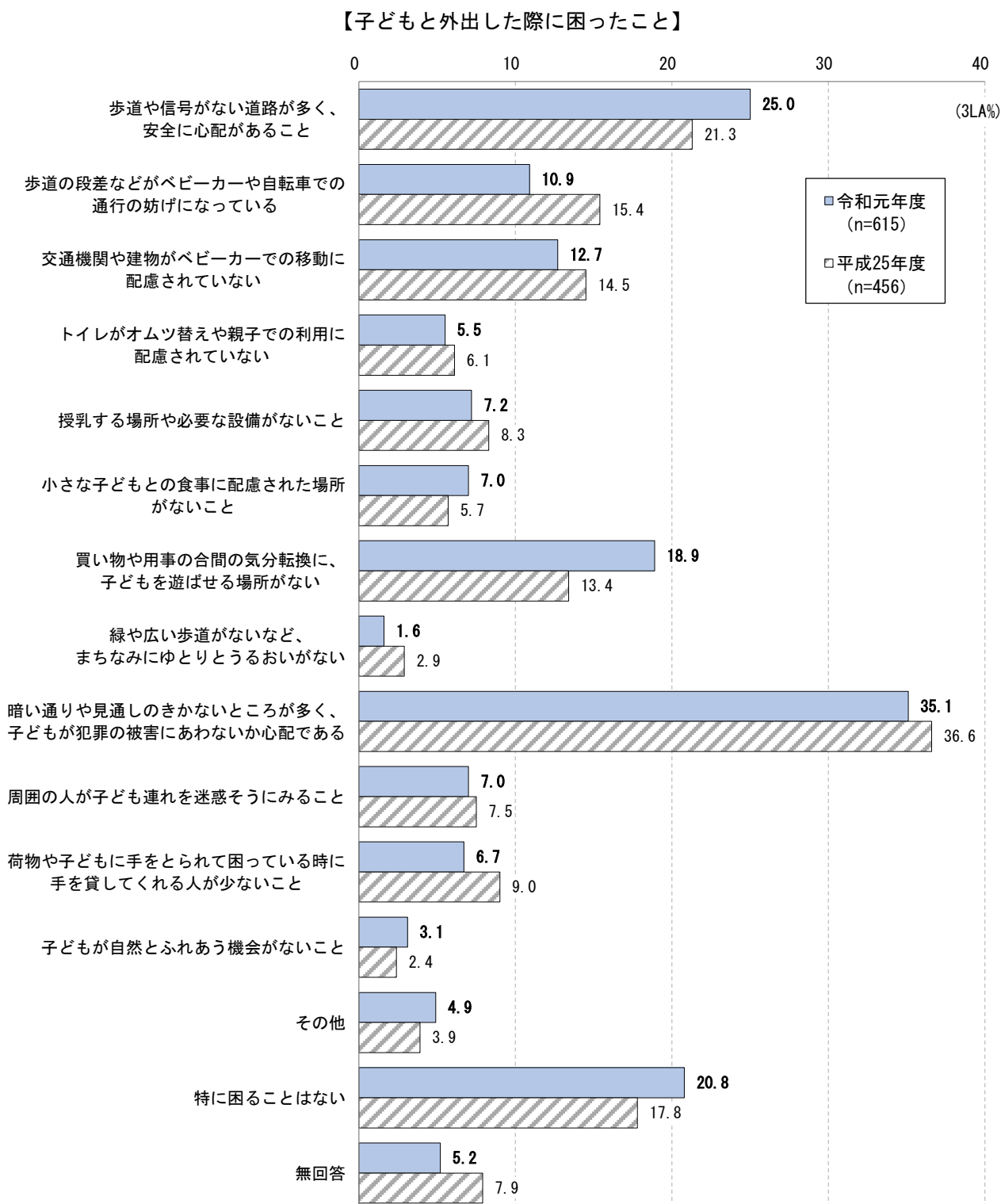
【子どもの安全を守るために重要と思うこと】



子どもの安全を守るために特に重要と思うこととしては、「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取り組み」が 49.6%、「歩行者や自転車のための交通安全施設 (ガードレール・歩道) の整備」が 49.1%と、ともに約5割と高く、次いで「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が 44.4%、「地域の交通安全活動の充実・強化」が 42.6%となっている。

(5) 子どもと外出した際に困ったこと

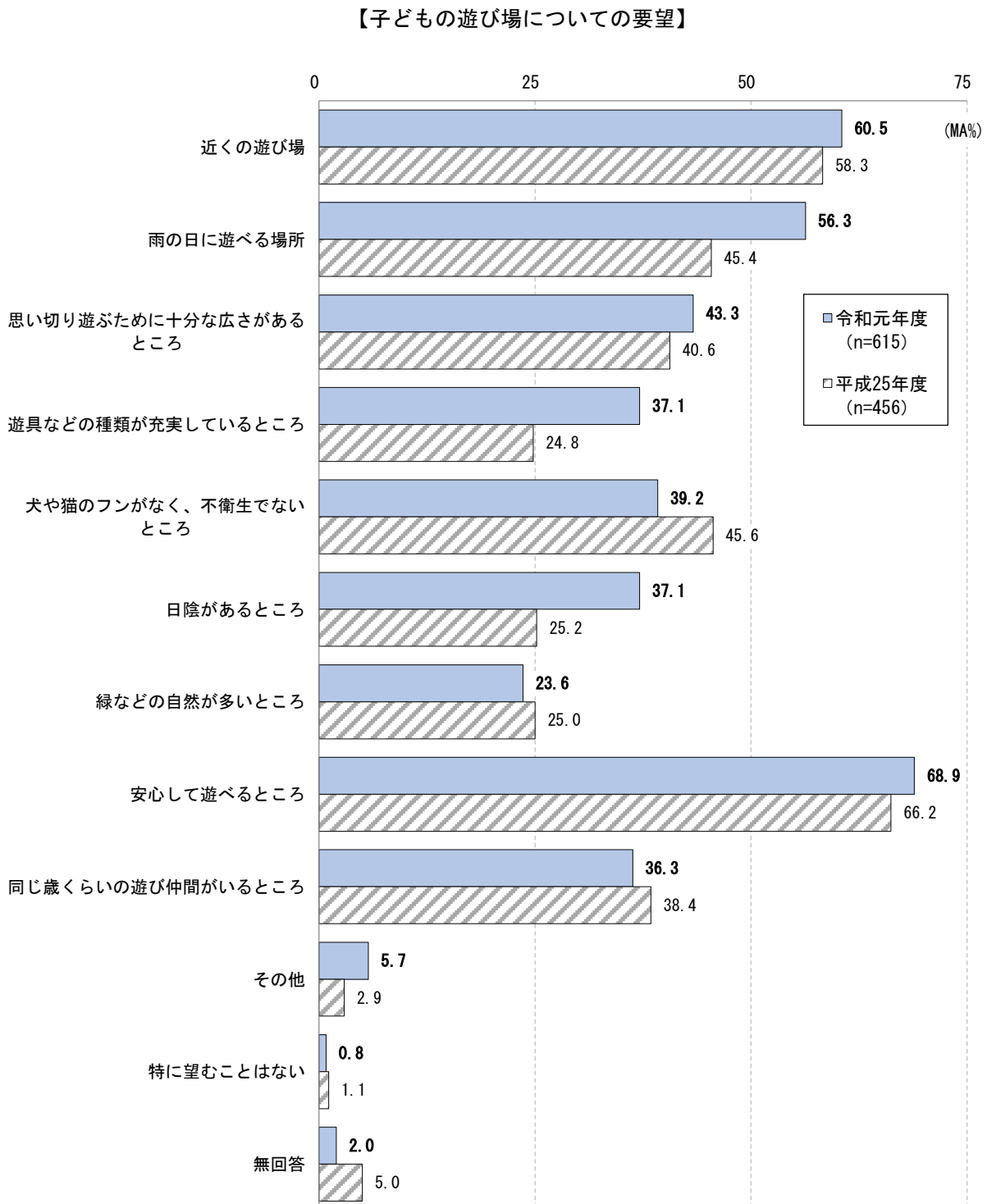
問 25 お子さんとの外出の際、今までに困ったことは何ですか。(〇は3つまで)



子どもとの外出の際、今までに困ったこととしては、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」が3割台（35.1%）と最も高く、次いで「歩道や信号がない道路が多く、安全に心配があること」が25.0%、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がない」が18.9%となっている。

(6) 子どもの遊び場についての要望

問 26 あなたが、子どもの遊び場について望ましいと思うことは何ですか。(すべてに○)



子どもの遊び場について望ましいと思うこととしては、「安心して遊べる場所」が7割弱(68.9%)と最も高く、次いで「近くの遊び場」が60.5%、「雨の日に遊べる場所」が56.3%、「思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ」が43.3%となっている。

## 9 猪名川町での子育てや子育て支援サービスについて

### (1) 子育て支援サービス等の利用状況

#### ① 子育て支援サービス等の利用有無

問 27 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。  
 利用したことがある人は子育て支援サービスや取り組みごとに、○をつけてください。  
 また、利用したことはない人と知らなかった人はあてはまる番号に○をつけてください。

【子育て支援サービス等の利用有無】

		(%)					(平成25年度調査)				
		調査数 (人)	と利用 がある (参加) したこ	利用 したこ とはな い	知ら なかつ た	無回 答	調査数 (人)	と利用 がある (参加) したこ	利用 したこ とはな い	知ら なかつ た	無回 答
子育て 支援 センター	①地域などで実施している子育てサークル	615	44.9	47.2	3.6	4.4	456	36.6	51.5	3.9	7.9
	②子育て支援センターが実施する行事	615	42.1	49.3	4.1	4.6	456	30.0	57.2	4.4	8.3
	③つどいの広場	615	28.5	54.5	11.1	6.0	456	14.7	58.1	17.1	10.1
保健 センター	④乳幼児健診	615	87.6	7.5	1.0	3.9	456	76.5	13.6	1.5	8.3
	⑤母親学級(両親学級)	615	34.3	56.1	4.2	5.4	456	27.4	59.0	4.2	9.4
	⑥健康相談、電話相談	615	24.1	67.8	2.4	5.7	456	16.2	70.8	3.9	9.0
	⑦新生児訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)	615	50.7	38.2	5.2	5.9	456	29.6	53.1	7.2	10.1
福祉課	⑧民生委員児童委員による相談・支援活動	615	6.0	73.5	14.8	5.7	456	3.3	75.2	12.3	9.2
子ども課	⑨家庭児童相談、母子相談	615	8.0	76.1	9.6	6.3	456	3.3	79.4	8.3	9.0
	⑩子育て支援情報誌等	615	40.5	47.8	5.9	5.9	456	46.5	38.4	5.9	9.2
保育所 (園)・ 幼稚園・ 認定こ ども園	⑪各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による子育て相談	615	21.5	66.2	5.0	7.3	456	18.6	67.8	4.6	9.0
	⑫各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による園庭開放	615	52.5	39.0	2.8	5.7	456	44.5	45.0	2.4	8.1
	⑬私立保育所(園)の保育内容	615	24.9	61.8	7.0	6.3	456	10.3	65.6	12.5	11.6
	⑭公立保育所(園)の保育内容	615	18.9	68.1	6.2	6.8	456	14.3	62.9	11.6	11.2
	⑮私立幼稚園・認定こども園の保育内容	615	36.9	49.6	6.5	7.0	456	27.9	50.7	10.3	11.2
	⑯公立幼稚園の保育内容	615	35.6	52.5	4.9	7.0	456	41.2	42.8	6.1	9.9
図書館	⑰絵本などの読み聞かせ	615	50.9	41.3	3.1	4.7	456	44.7	44.7	3.1	7.5
教育支援 センター	⑱教育相談	615	14.6	73.5	6.5	5.4	456	9.6	72.4	9.2	8.8

子育て支援サービス等(18項目)について、利用したことがある割合でみると、『④乳幼児健診』で87.6%と最も高く、次いで『⑫各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による園庭開放』で52.5%、『⑰絵本などの読み聞かせ』で50.9%となっている。一方、『⑧民生委員児童委員による相談・支援活動』では6.0%、『⑨家庭児童相談、母子相談』では8.0%にとどまっている。

(各支援サービスについて「利用(参加)したことがある」と回答した人のみ)

②子育て支援サービス等の満足度

【子育て支援サービス等の満足度】

		(%)					(平成25年度調査)				
		調査数 (人)	満足	やや満足	やや不満	不満	調査数 (人)	満足	やや満足	やや不満	不満
子育て支援センター	①地域などで実施している子育てサークル	276	40.6	52.2	6.5	0.7	167	41.9	50.9	6.6	0.6
	②子育て支援センターが実施する行事	259	39.0	52.5	7.7	0.8	137	32.8	57.7	8.0	1.5
	③つどいの広場	175	38.3	50.9	9.1	1.7	67	29.9	50.7	19.4	0.0
保健センター	④乳幼児健診	539	54.5	40.1	4.8	0.6	349	53.9	35.2	9.5	1.4
	⑤母親学級(両親学級)	211	45.5	47.4	6.2	0.9	125	54.4	38.4	6.4	0.8
	⑥健康相談、電話相談	148	45.3	47.3	5.4	2.0	74	45.9	39.2	13.5	1.4
	⑦新生児訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)	312	59.9	36.9	2.2	1.0	135	54.8	36.3	8.9	0.0
福祉課	⑧民生委員児童委員による相談・支援活動	37	35.1	54.1	2.7	8.1	15	20.0	53.3	20.0	6.7
こども課	⑨家庭児童相談、母子相談	49	28.6	63.3	2.0	6.1	15	26.7	53.3	6.7	13.3
	⑩子育て支援情報誌等	249	30.9	61.4	6.8	0.8	212	26.9	65.6	6.6	0.9
保育所(園)・幼稚園・認定こども園	⑪各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による子育て相談	132	47.0	45.5	7.6	0.0	85	31.8	56.5	8.2	3.5
	⑫各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による園庭開放	323	49.2	46.4	3.7	0.6	203	40.4	55.2	3.9	0.5
	⑬私立保育所(園)の保育内容	153	59.5	34.0	5.9	0.7	47	51.1	36.2	8.5	4.3
	⑭公立保育所(園)の保育内容	116	47.4	41.4	9.5	1.7	65	43.1	35.4	12.3	9.2
	⑮私立幼稚園・認定こども園の保育内容	227	52.4	40.1	7.5	0.0	127	59.8	36.2	2.4	1.6
	⑯公立幼稚園の保育内容	219	42.5	45.7	9.6	2.3	188	25.0	55.3	13.8	5.9
図書館	⑰絵本などの読み聞かせ	313	46.6	50.8	2.6	0.0	204	44.6	52.0	2.9	0.5
教育支援センター	⑱教育相談	90	40.0	47.8	8.9	3.3	44	15.9	56.8	18.2	9.1

子育て支援サービス等(18項目)のうち、それぞれ利用したことがあると回答した項目についての満足度をたずねたところ、満足という割合(「満足」「やや満足」の計)が、『⑰絵本などの読み聞かせ』で97.4%と最も高く、次いで『⑦新生児訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)』で96.8%、『⑫各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による園庭開放』で95.6%となっている。

一方、不満という割合(「やや不満」「不満」の計)が、『⑱教育相談』で12.2%と最も高く、次いで『⑯公立幼稚園の保育内容』で11.9%、『⑭公立保育所(園)の保育内容』で11.2%となっている。

(2) 猪名川町が実施する子育て支援サービス等の利用状況

①猪名川町が実施する子育て支援サービス等の認知度

問 28 猪名川町が、子育て支援を推進するために取り組んでいる次のサービスについて知っていたり、これまでに利用したことがありますか。子育て支援サービスや取り組みごとに、認知について・利用について・必要性（重要度）について、あてはまる番号に○をつけてください。

【猪名川町が実施する子育て支援サービス等の認知度】

	調査数	利 用 し て お り 、 利 用 し た こ と が あ る	利 用 し て い る こ と が 、 は な い	知 ら な い	無 回 答
①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度	615	79.3	14.0	0.8	5.9
②お誕生メモリアルフォト	615	1.1	9.6	82.6	6.7
③多子誕生祝金（第3子以降）	615	1.6	47.6	42.8	8.0
④子育て支援ホームヘルパー事業	615	2.3	32.4	58.2	7.2
⑤いなっ子絵本配布事業	615	4.4	20.5	68.5	6.7
⑥赤ちゃんの駅	615	3.7	32.5	56.9	6.8
⑦キッズコーナー	615	12.2	31.4	48.8	7.6
⑧いながわキッズフェスティバル	615	5.5	28.0	59.2	7.3
⑨病児・病後児保育	615	1.6	44.1	47.5	6.8
⑩留守家庭児童育成室（学童保育）	615	23.7	56.7	12.8	6.7

猪名川町が実施する子育て支援サービス等（10項目）について、知っているという割合でみると、『①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度』で93.3%と最も高く、次いで『⑩留守家庭児童育成室（学童保育）』で80.4%、『③多子誕生祝金（第3子以降）』で49.2%となっているのに対し、『②お誕生メモリアルフォト』では10.7%、『⑤いなっ子絵本配布事業』では24.9%にとどまっている。

また、「知っており、利用したことがある」でみると、『①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度』で79.3%と最も高く、次いで『⑩留守家庭児童育成室（学童保育）』で23.7%、『⑦キッズコーナー』で12.2%となっているのに対し、そのほかのサービス等ではいずれも1割未満にとどまっている。



②猪名川町が実施する子育て支援サービス等の必要性（重要度）

【猪名川町が実施する子育て支援サービス等の必要性（重要度）】

(%)

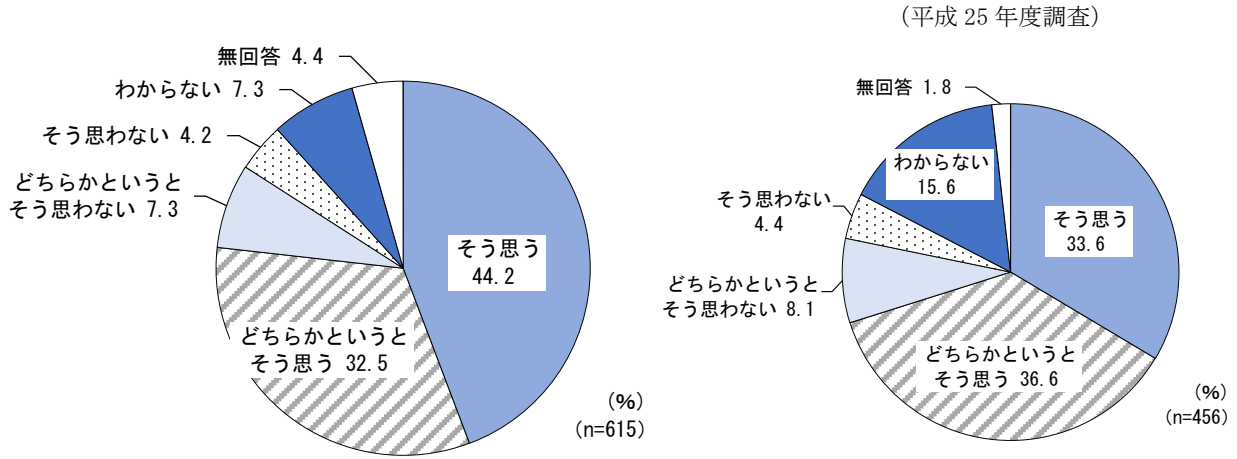
	調査数	特に必要（重要）	必要（重要）	あまり必要（重要）でない	必要（重要）ではない	無回答
①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度	615	84.4	6.8	0.3	0.0	8.5
②お誕生メモリアルフォト	615	1.3	10.1	40.3	15.6	32.7
③多子誕生祝金（第3子以降）	615	17.2	39.0	13.3	3.1	27.3
④子育て支援ホームヘルパー事業	615	10.6	48.5	7.6	1.1	32.2
⑤いripp子絵本配布事業	615	4.1	28.8	29.9	5.0	32.2
⑥赤ちゃんの駅	615	13.3	38.0	12.4	1.5	34.8
⑦キッズコーナー	615	13.2	44.1	10.1	1.0	31.7
⑧いながわキッズフェスティバル	615	3.9	34.0	23.3	2.3	36.6
⑨病児・病後児保育	615	31.1	35.9	3.9	0.5	28.6
⑩留守家庭児童育成室（学童保育）	615	54.6	24.7	1.3	0.3	19.0

猪名川町が実施する子育て支援サービス等（10項目）について、必要（重要）という割合（「特に必要（重要）」「必要（重要）」の計）でみると、『①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度』で91.2%と最も高く、次いで『⑩留守家庭児童育成室（学童保育）』で79.3%、『⑨病児・病後児保育』で67.0%、『④子育て支援ホームヘルパー事業』で59.1%となっている。

(3) 子どもが猪名川町で育っていくことに対する意向

問 29 あなたは、これからもお子さんに猪名川町で育ってほしいと思いますか。(ひとつに○)

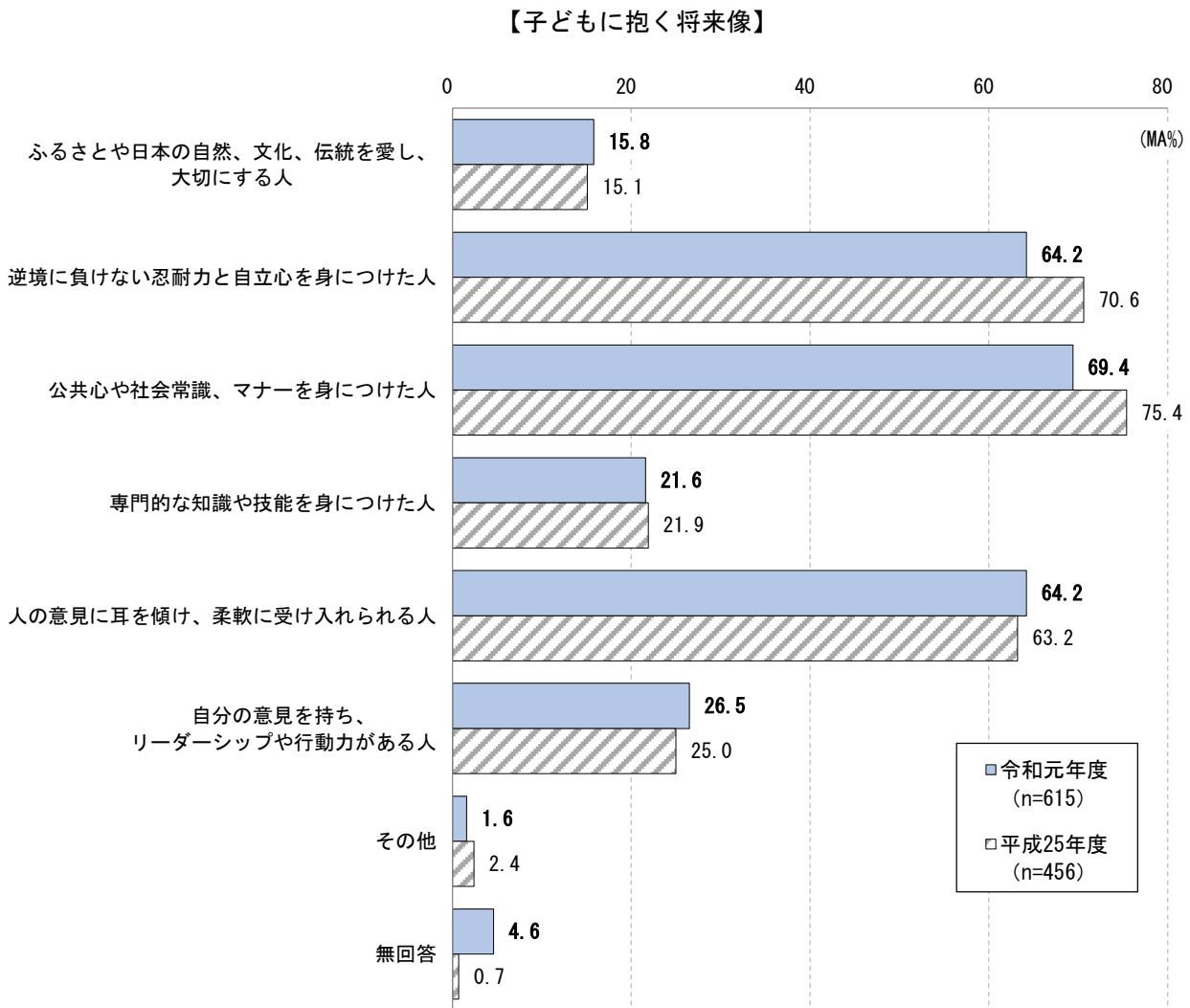
【子どもが猪名川町で育っていくことに対する意向】



これからも子どもが猪名川町で育ってほしいと思うかについて、「そう思う」が 44.2%と最も高く、次いで「どちらかというそう思う」が 32.5%となっており、合わせると、7割台(76.7%)を占める。

(4) 子どもに抱く将来像

問 30 将来、お子さんにどのような人に育ててほしいと思いますか。(〇は3つまで)



将来、子どもにどのような人に育ててほしいと思うかたずねたところ、「公共心や社会常識、マナーを身につけた人」が約7割(69.4%)と最も高く、次いで「逆境に負けない忍耐力と自立心を身につけた人」、「人の意見に耳を傾け、柔軟に受け入れられる人」がともに64.2%となっている。

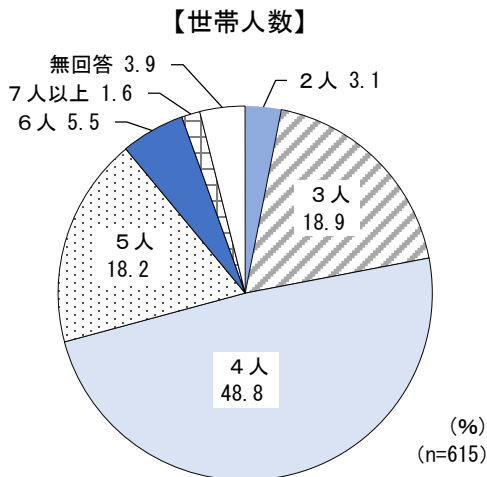
## 10 世帯の状況や経済状況について

### (1) 家計の経済状況

#### ①世帯人数

問 31 あなたの家計の経済状況についておたずねします。

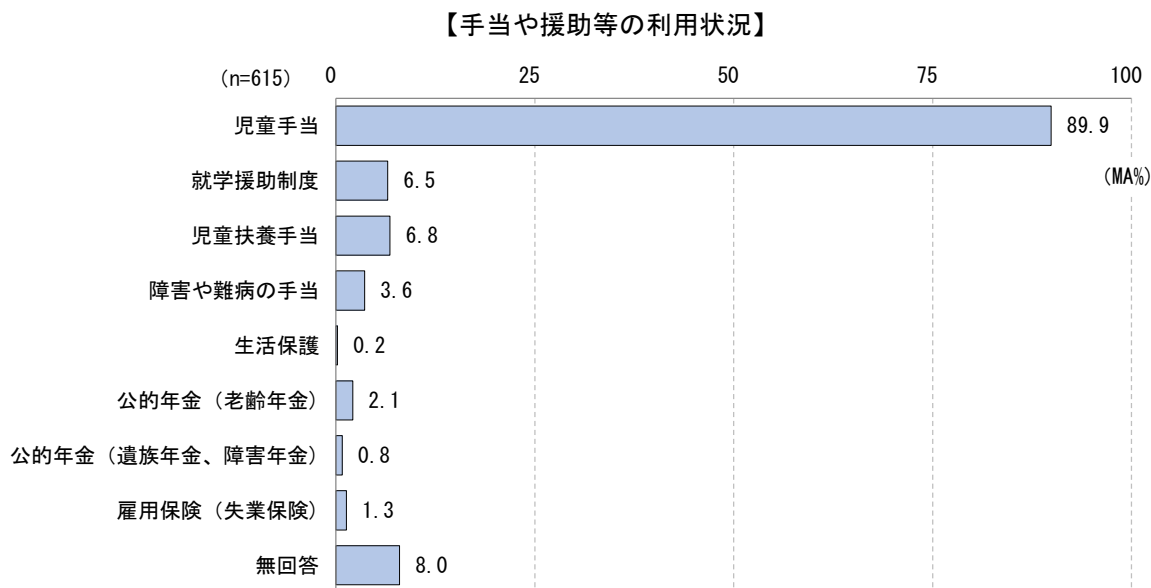
(1) あなたの世帯の人数を教えてください。



世帯の人数としては、「4人」が5割弱（48.8%）と最も高く、次いで「3人」が18.9%、「5人」が18.2%となっている。

#### ②手当や援助等の利用状況

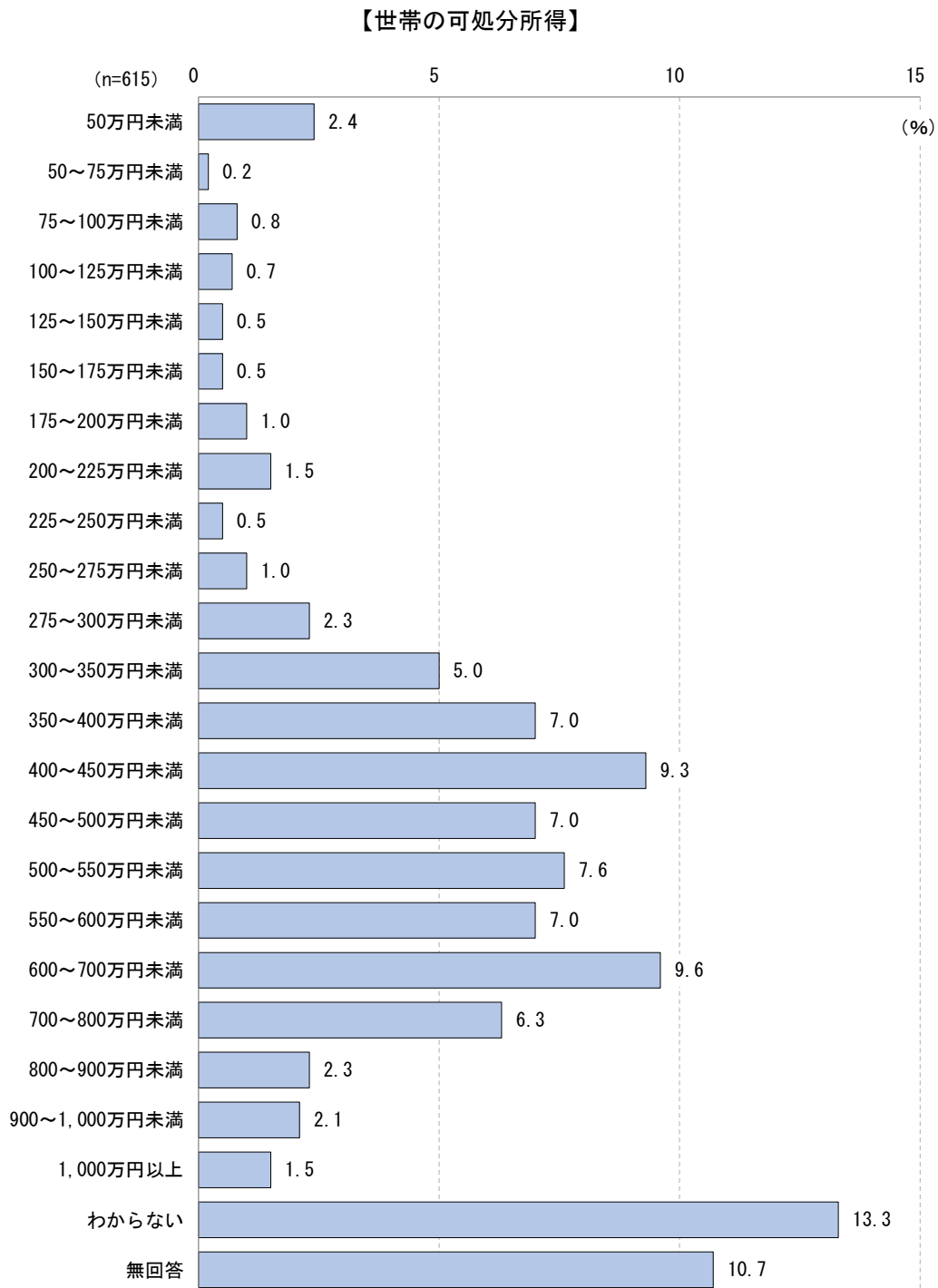
(2) あなたの世帯では以下の手当や援助等を利用していますか。（あてはまる番号すべてに○）



世帯で利用している手当や援助等としては、「児童手当」が約9割（89.9%）と最も高く、次いで「児童扶養手当」が6.8%、「就学援助制度」が6.5%となっている。

③世帯の可処分所得

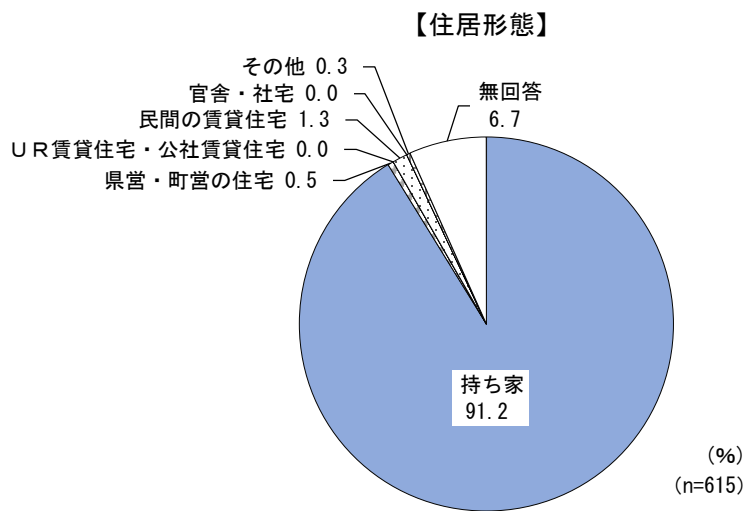
(3) 前年(平成30年)のあなたの世帯の可処分所得の合計額は、およそいくらでしたか。(〇は1つ)



前年(平成30年)の世帯の可処分所得の合計額としては、「600～700万円未満」が9.6%と最も高く、次いで「400～450万円未満」が9.3%、「500～550万円未満」が7.6%となっている。また、300万円未満の割合は1割台(11.4%)となっている。

(2) 住居形態

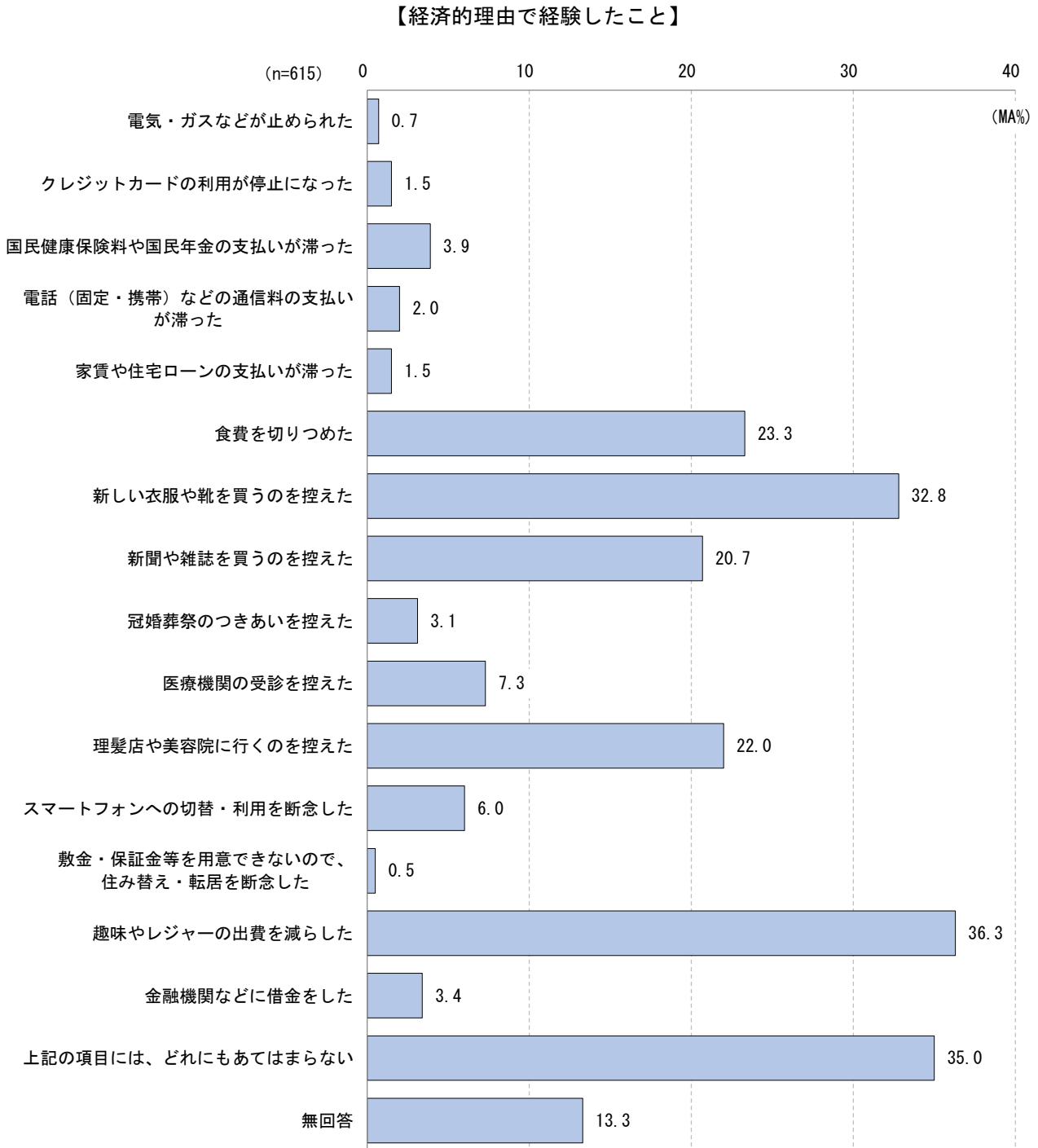
問 32 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)



住居形態としては、「持ち家」が9割台（91.2%）を占めている。

(3) 経済的理由で経験したこと

問 33 あなたの世帯では、おおむね半年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまるすべてに○)

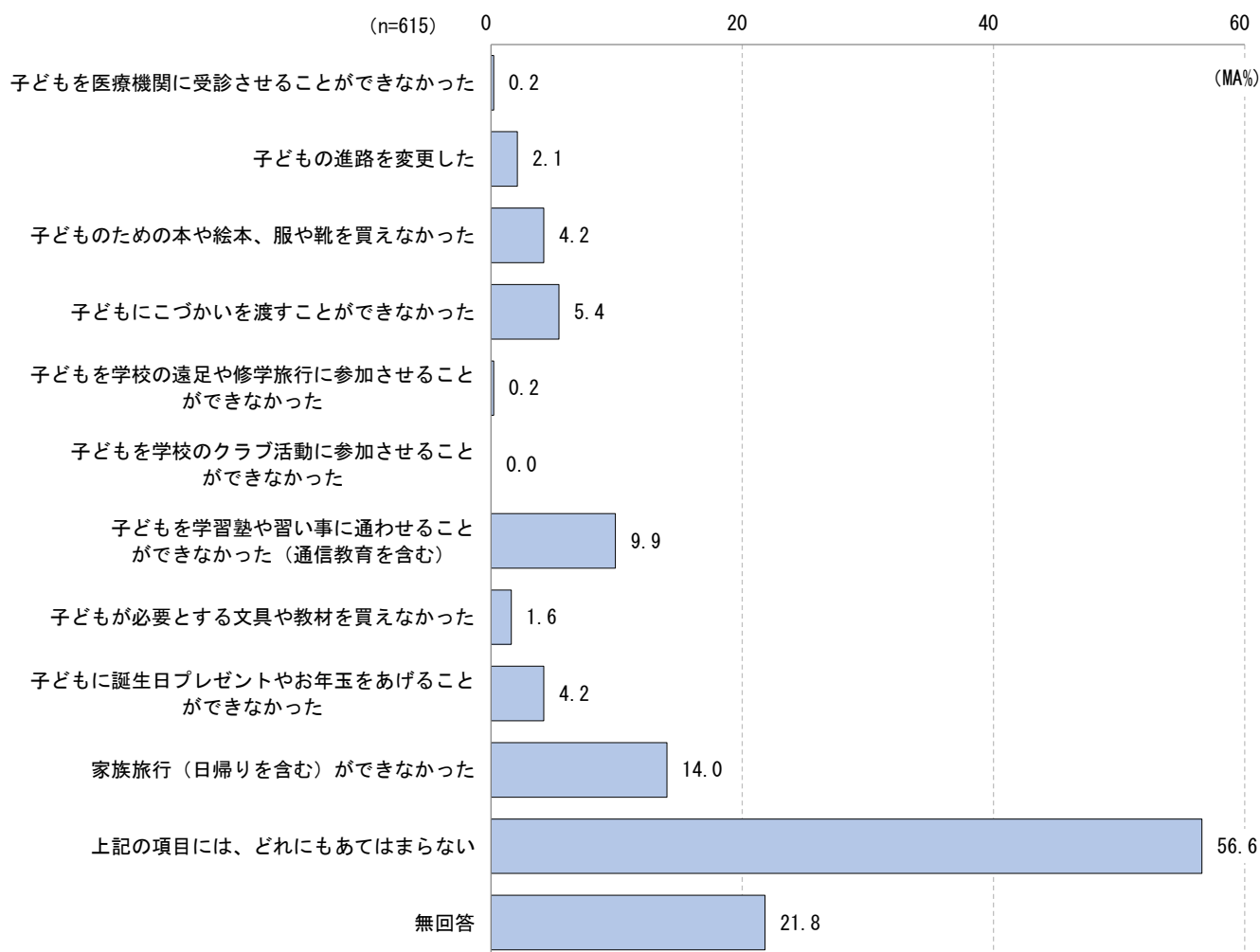


この半年の間に、経済的な理由でいずれかの経験をしたことがある割合は 51.7%となっており、具体的には、「趣味やレジャーの出費を減らした」が 36.3%と最も高く、次いで「新しい衣服や靴を買うのを控えた」が 32.8%、「食費を切りつめた」が 23.3%、「理髪店や美容院に行くのを控えた」が 22.0%となっている。

(4) 経済的理由で子どもに対してできなかったこと

問 34 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまるすべてに○)

【経済的理由で子どもに対してできなかったこと】



この1年の間に、経済的な理由で子どもに対してできなかったことがある割合は21.6%となっており、具体的には、「家族旅行 (日帰りを含む) ができなかった」が14.0%と最も高く、次いで「子どもを習い事に通わせることができなかった (通信教育を含む)」が9.9%となっている。

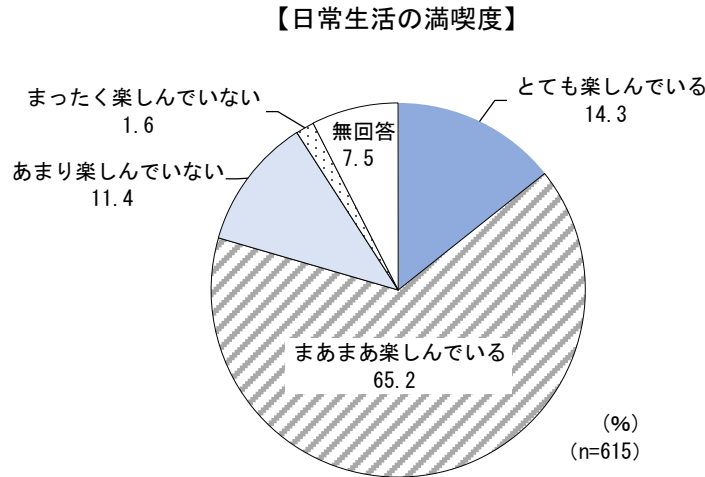


(5) 心身の状態

①日常生活の満足度

問 35 あなたの心身の状態についておたずねします。(それぞれ○は1つ)

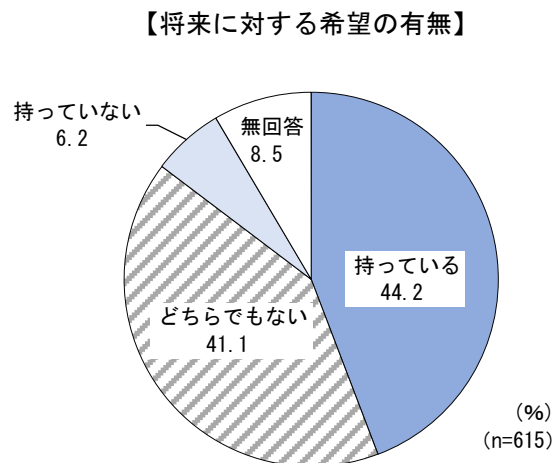
(1) 生活を楽しくしていますか(仕事や家事、育児など)。



日常生活について、「まあまあ楽しんでいる」が 65.2%と最も高く、次いで「とても楽しんでいる」が 14.3%となっており、合わせると、楽しんでいるという割合が約8割(79.5%)を占める。

②将来に対する希望の有無

(2) 将来に対して希望を持っていますか。



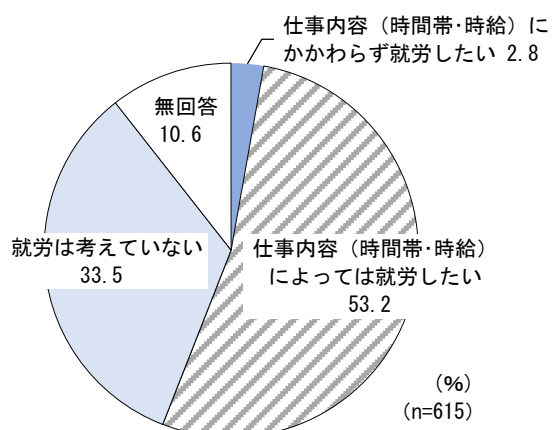
将来に対して希望を「持っている」が4割台(44.2%)に対し、「持っていない」は6.2%となっている。

## 11 猪名川町産業拠点地区での就労意向について

### (1) 物流センターでの就労意向

問 41 産業拠点地区に「物流センター」が稼働した場合、就労したいと思いますか。

【物流センターでの就労意向】



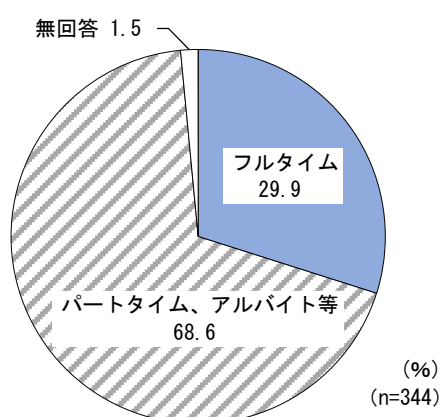
産業拠点地区に物流センターが稼働した場合の就労意向としては、「仕事内容（時間帯・時給）によっては就労したい」が 53.2%と最も高く、「仕事内容（時間帯・時給）にかかわらず就労したい」（2.8%）を合わせると、就労意向がある割合が半数以上（56.0%）を占める。

### (2) 物流センターで希望する就労形態

#### ①希望する就労形態

問 41 で「1. 仕事内容にかかわらず就労したい」または「2. 仕事内容によっては就労したい」に○をつけた方にうかがいます。  
問 41-1 希望する就労形態は何ですか。

【希望する就労形態】



物流センターで就労したいと回答した人の希望する就労形態としては、「フルタイム」が約3割（29.9%）に対し、「パートタイム、アルバイト等」が7割弱（68.6%）を占める。

(「パートタイム、アルバイト等」と回答した人のみ)

② 1週当たりの希望就労日数

【1週当たりの希望就労日数】

調査数	1週当たりの希望就労日数 (%)								平均 (日)
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
236	1.7	9.7	46.2	33.1	5.9	0.0	0.0	3.4	3.4

物流センターでの希望する1週当たりの就労日数としては、「3日」が46.2%と最も高く、次いで「4日」が33.1%となっている。

③ 1日当たりの希望就労時間

【1日当たりの希望就労時間】

調査数	1日当たりの希望就労時間 (%)								平均 (時間)
	3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8時間以上	無回答	
236	0.4	4.2	19.1	40.7	22.5	5.9	3.8	3.4	5.3

物流センターでの希望する1日当たりの就労時間としては、「5～6時間未満」が40.7%と最も高く、次いで「6～7時間未満」が22.5%となっている。

④ 時給の希望額

【時給の希望額】

n (人)	時給の希望額 (%)							平均 (円)
	900円未満	900円台	1,000円台	1,100円台	1,200円台	1,300円以上	無回答	
236	3.0	29.7	47.5	1.3	8.1	3.8	6.8	1,010

物流センターでの希望する時給額としては、「1,000円台」が47.5%と最も高く、次いで「900円台」が29.7%となっている。



## **Ⅱ - 3 中学生生徒保護者**

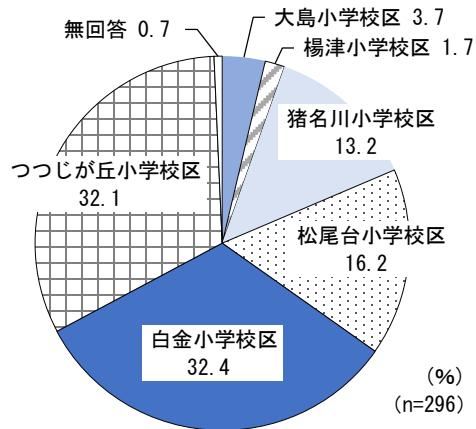


## 1 居住地域や家族の状況等について

### (1) 小学校区

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(ひとつに○)

【小学校区】

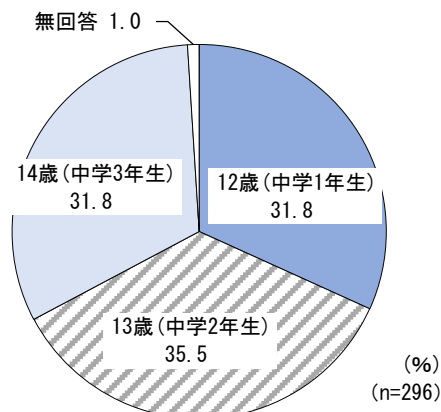


小学校区は、「白金小学校区」が 32.4%、「つつじが丘小学校区」が 32.1%と高く、合わせると、6割台 (64.5%) を占めている。

### (2) 子どもの年齢

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

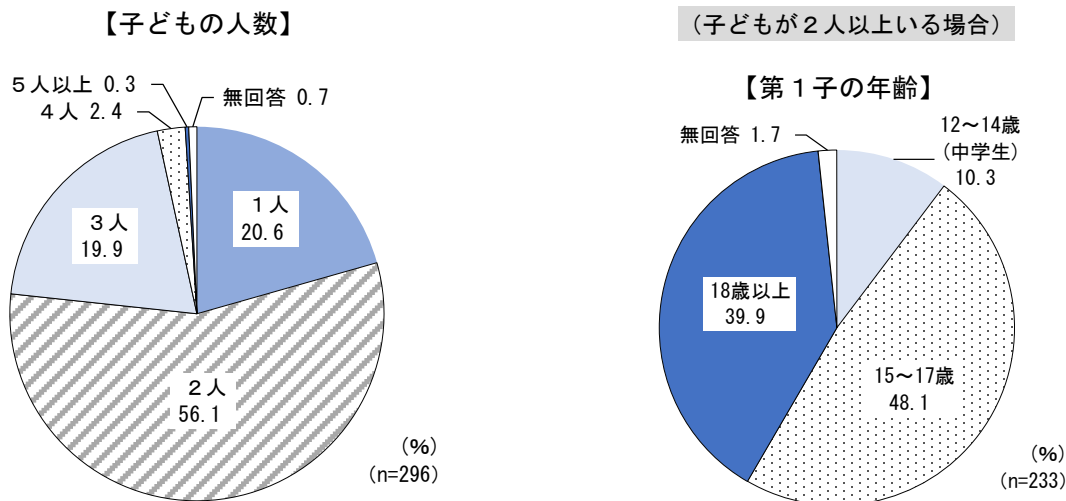
【子どもの年齢】



子どもの年齢としては、いずれの年齢も3割台となっており、「13歳 (中学2年生)」が 35.5% と最も高い。

(3) 子どもの人数

問3 記入者の方の家庭にはお子さんは何人いらっしゃいますか。  
お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、第1子の方の生年月月をご記入ください。



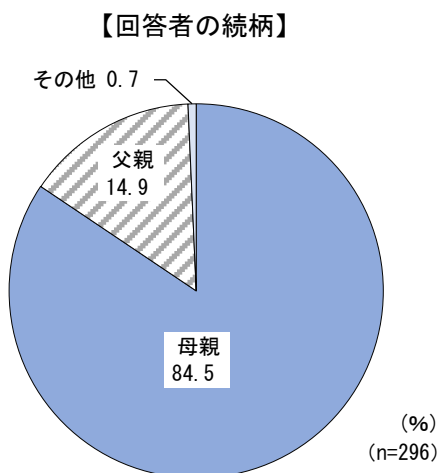
子どもの人数としては、「2人」が5割台 (56.1%) を占めており、次いで「1人」が 20.6%、「3人」が 19.9%となっている。

また、子どもが2人以上いる世帯の第1子の年齢としては、「15～17歳」が 48.1%と最も高く、次いで「18歳以上」が 39.9%となっている。

(4) アンケート回答者

①回答者の続柄

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。  
(ひとつに○)

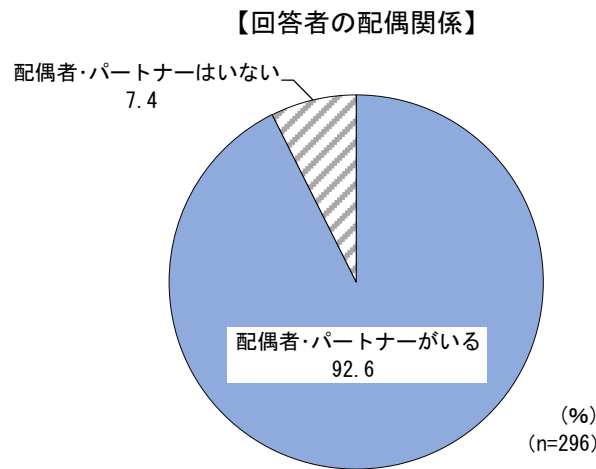


回答者の子どもからみた関係としては、「母親」が8割台 (84.5%) を占めており、「父親」が 14.9%となっている。



②回答者の配偶関係

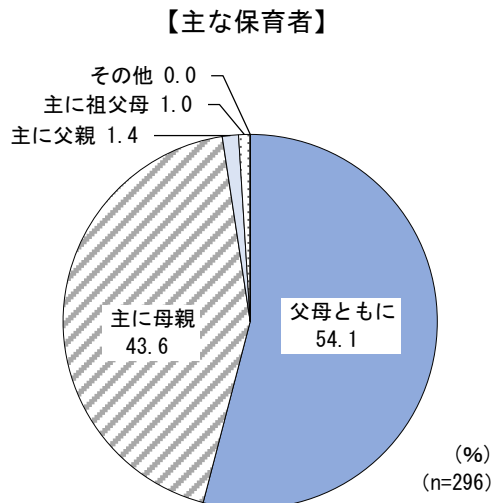
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(ひとつに○)



回答者の配偶関係としては、「配偶者・パートナーがいる」が9割台(92.6%)に対し、「配偶者・パートナーはいない」は7.4%となっている。

(5) 主な保育者

問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(ひとつに○)

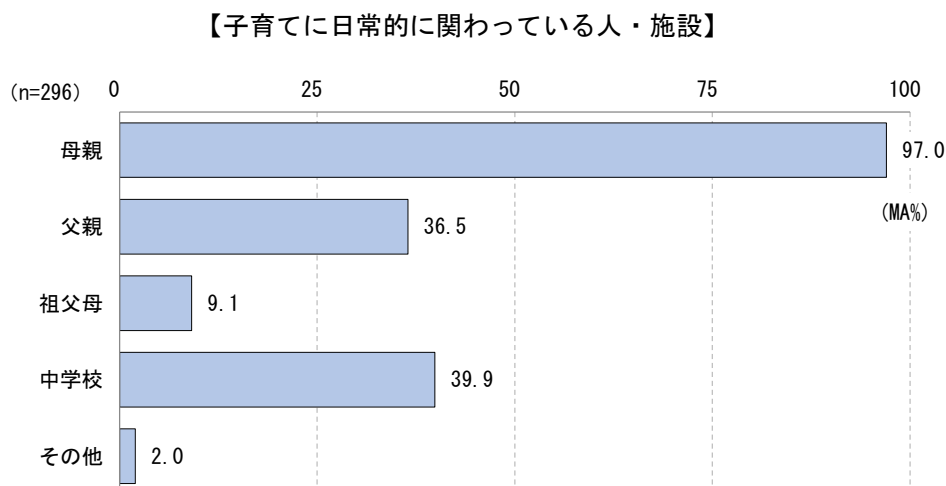


子育てを主に行っている人としては、「父母ともに」が54.1%と最も高く、次いで「主に母親」が43.6%となっている。

## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子育てに日常的に関わっている人・施設

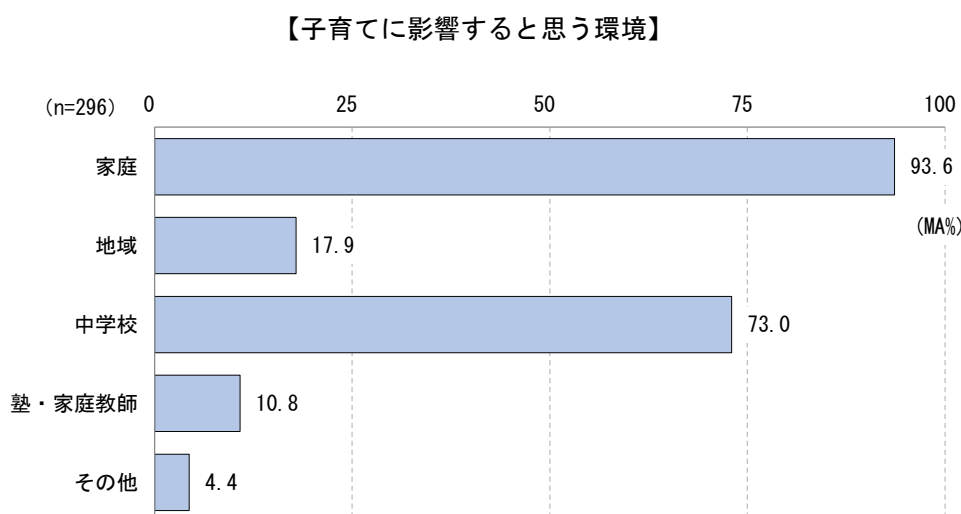
問7 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるすべてに○）



子育てに日常的に関わっている人・施設としては、「母親」が9割台（97.0%）と最も高く、次いで「中学校」が39.9%、「父親」が36.5%となっている。

### (2) 子育てに影響すると思う環境

問8 お子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも大きく影響すると思われる環境はどれですか。（あてはまるすべてに○）



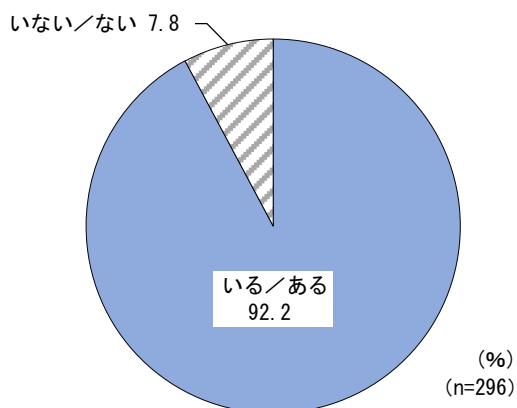
子育てに大きく影響すると思う環境としては、「家庭」が9割台（93.6%）と最も高く、次いで「中学校」が73.0%、「地域」が17.9%となっている。

(3) 子育てに関する相談

① 子育てに関する相談先の有無

問9 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（ひとつに〇）

【子育てに関する相談先の有無】

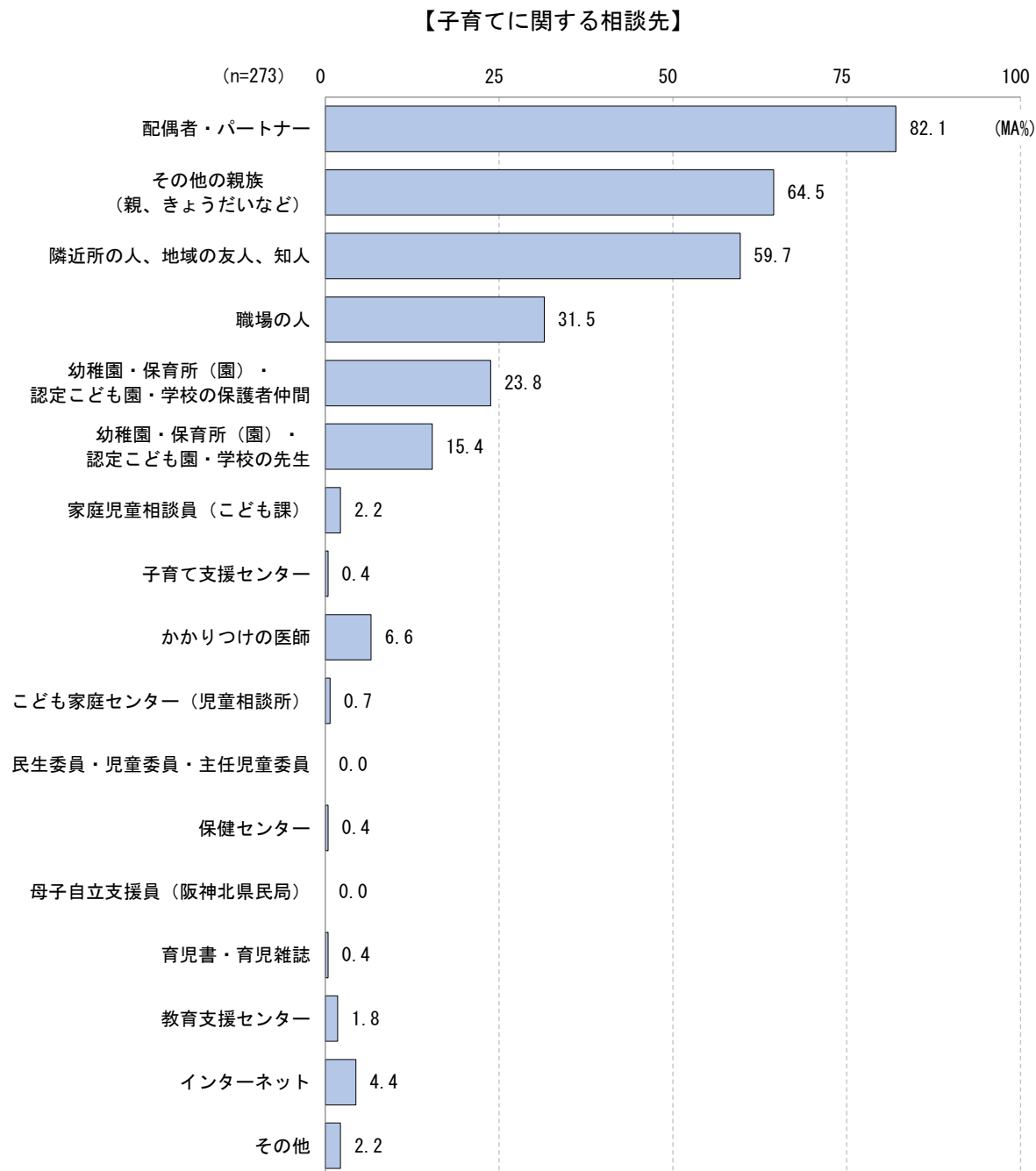


子育てをする上で、気軽に相談できる人（場所）が「いる／ある」は9割台（92.2%）を占めている。

②子育てに関する相談先

問9で「いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

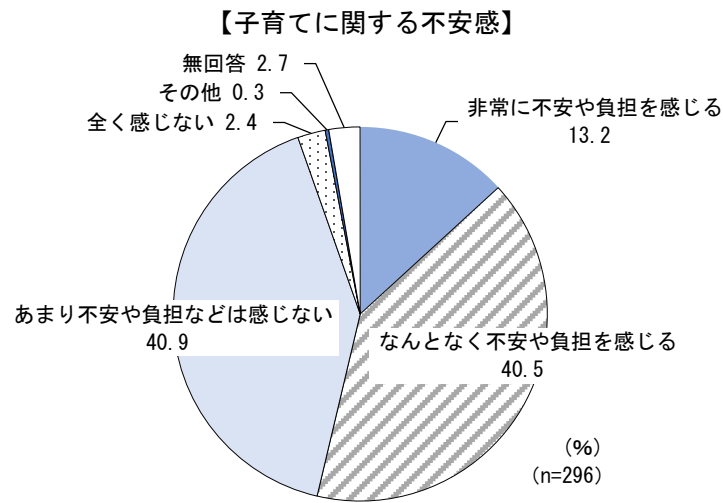
問9-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。  
（あてはまるすべてに○）



子育てをする上で、気軽に相談できる人(場所)がいる(ある)と回答した人の相談先としては、「配偶者・パートナー」が8割台(82.1%)と最も高く、次いで「その他の親族(親、きょうだいなど)」が64.5%、「隣近所の人、地域の友人、知人」が59.7%、「職場の人」が31.5%となっている。

(4) 子育てに関する不安感

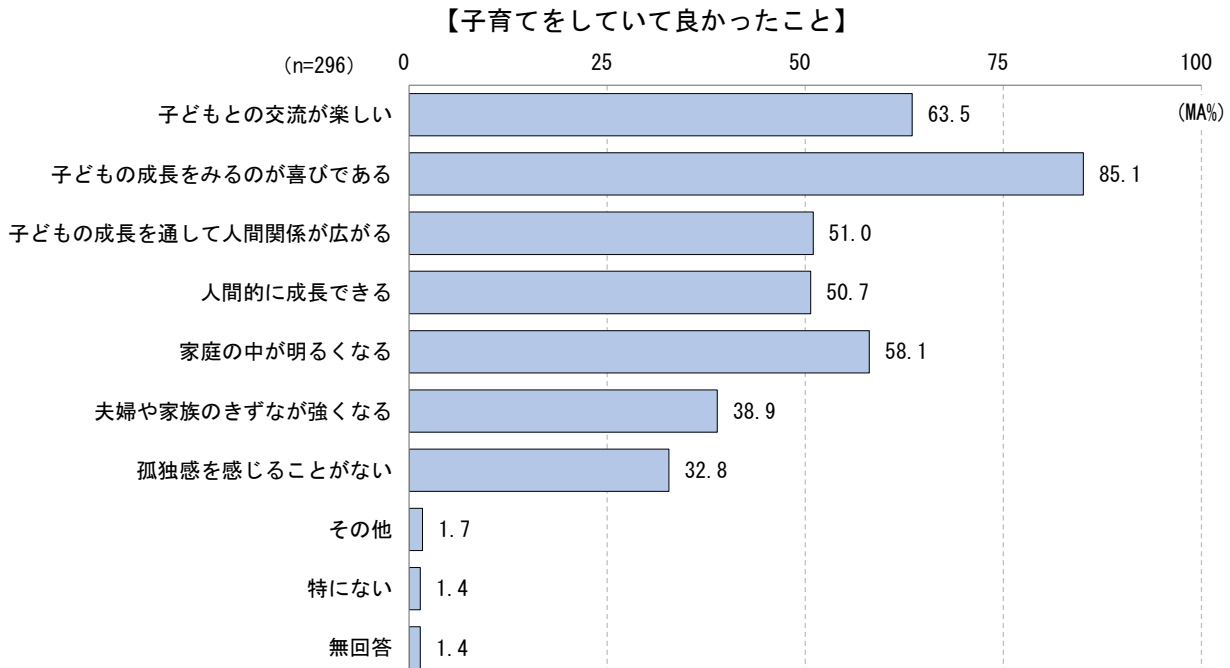
問 11 子育てに関して不安感や負担等はお感じですか。(ひとつに○)



子育てに関しての不安や負担について、「非常に不安や負担を感じる」が13.2%、「なんとなく不安や負担を感じる」が40.5%となっており、合わせると、不安や負担を感じている人が5割台(53.7%)を占める。

(5) 子育てをしていて良かったこと

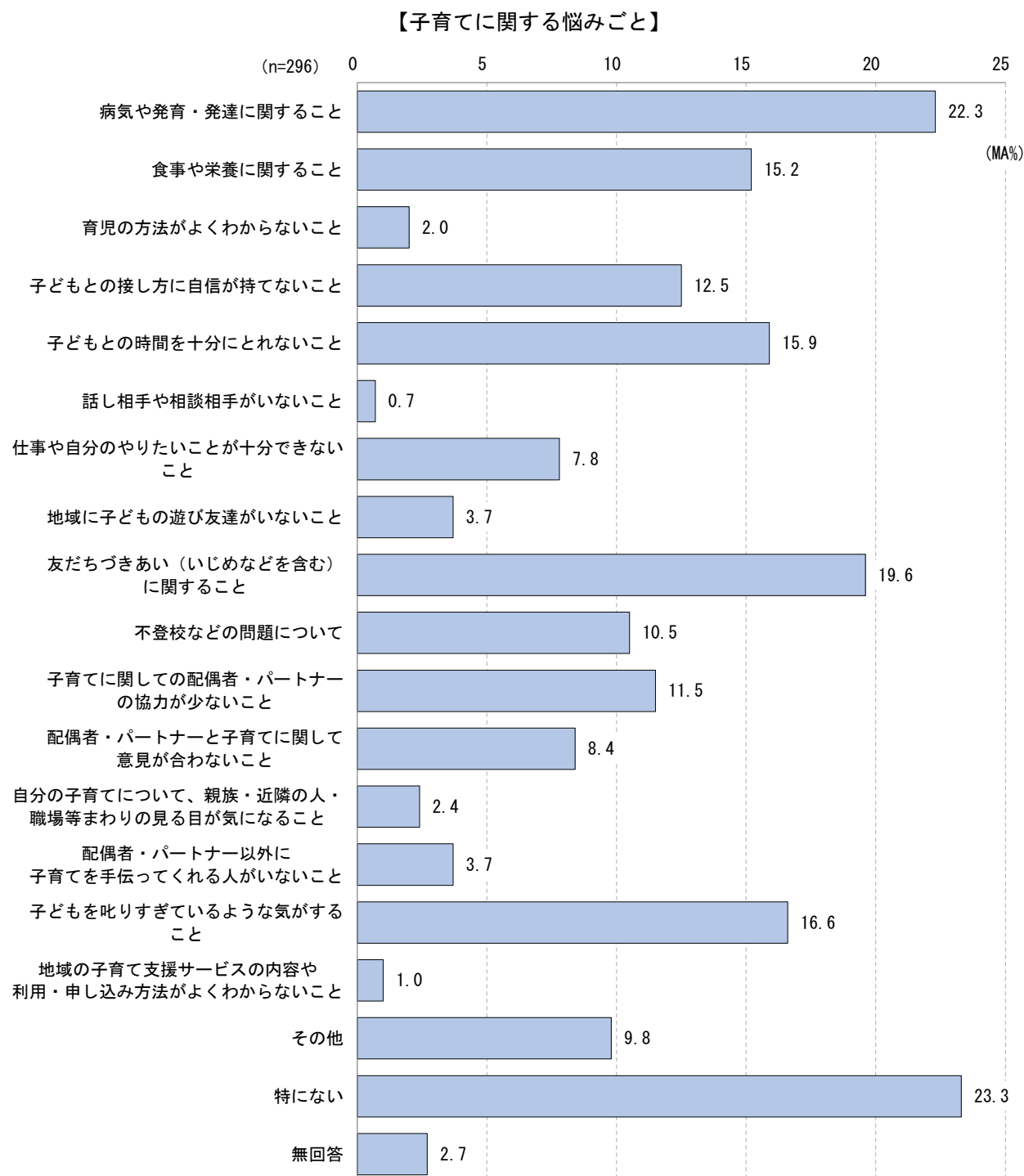
問 12 子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはありますか。(あてはまるすべてに○)



子育てをしていて良かったことや喜びを感じたこととしては、「子どもの成長をみるのが喜びである」が85.1%と最も高く、次いで「子どもとの交流が楽しい」が63.5%、「家庭の中が明るくなる」が58.1%となっている。

(6) 子育てに関する悩みごと

問 13 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。  
(あてはまるすべてに○)

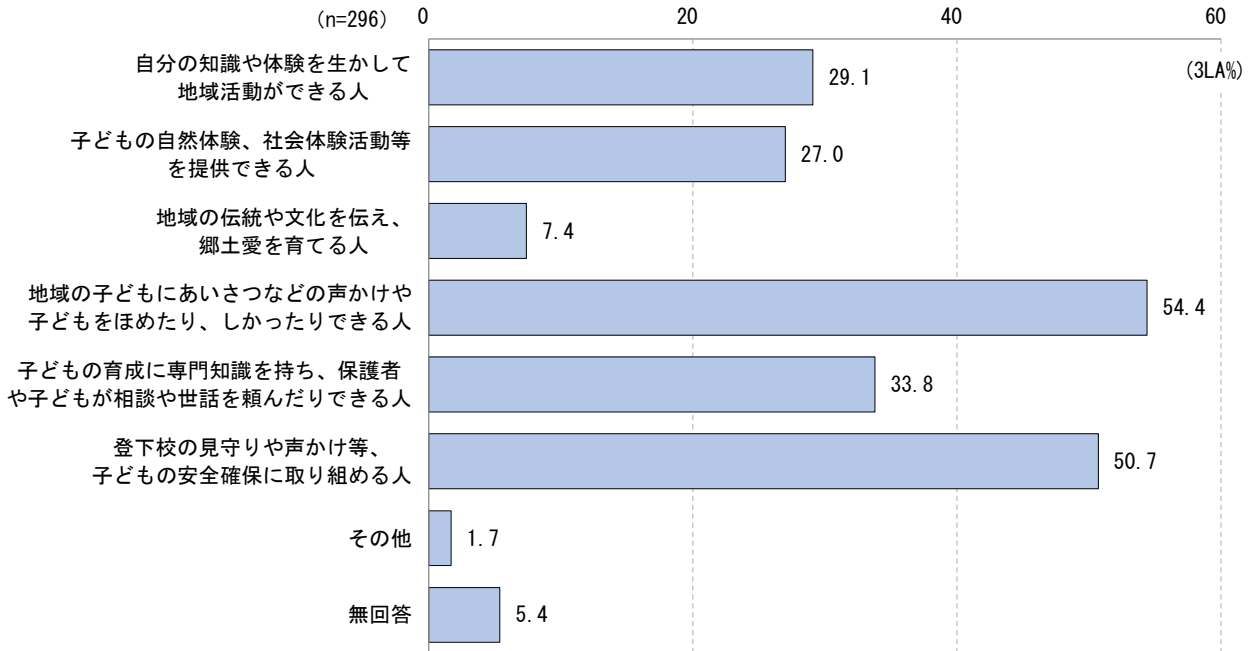


子育てに関して、日頃悩んでいることや気になることとしては、「病気や発育・発達に関するこ  
と」が 22.3%と最も高く、次いで「友だちづきあい(いじめなどを含む)に関するこ  
と」が 19.6%、「子どもを叱りすぎているような気がするこ  
と」が 16.6%、「子どもとの時間を十分にとれないこ  
と」が 15.9%となっている。

(7) 子どもの育成を支援するために地域に必要な人材

問 14 子どもの育成を支援するため、地域では特にどのような人が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【子どもの育成を支援するために地域に必要な人材】



子どもの育成を支援するために、地域で特に必要な人材としては、「地域の子どものあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる人」が54.4%と最も高く、次いで「登下校の見守りや声かけ等、子どもの安全確保に取り組める人」が50.7%となっている。

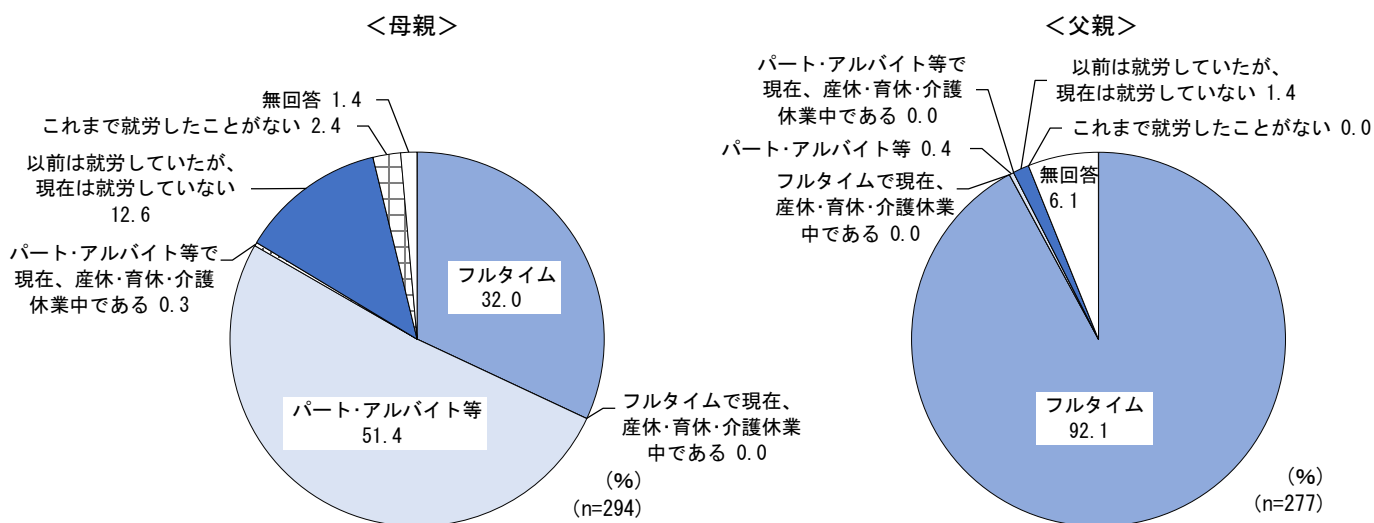
### 3 保護者の就労状況について

#### (1) 保護者の就労状況

##### ①就労形態

問 15 おさんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。  
 母親、父親の両方にご回答ください。（父子家庭、母子家庭の場合はいずれかで構いません。）  
 “フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労”（就労している）のいずれかに○をつけた方は、週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」「家を出る時間と帰宅時間」をお答えください。

【就労形態】



保護者の現在の就労形態として、母親では、パート・アルバイト等（産休・育休中等含む）が5割台（51.7%）、父親では、フルタイム（育休中等含む）が9割台（92.1%）をそれぞれ占めている。

（現在、就労していると回答した人のみ）

##### ② 1週当たりの就労日数

【1週当たりの就労日数】

	n (人)	1週当たりの就労日数 (%)								平均 (日)
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
母親	246	0.8	8.1	16.3	22.0	41.5	4.1	0.0	7.3	4.2
父親	256	0.0	0.4	0.8	0.0	67.6	15.6	1.2	14.5	5.2

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週当たりの就労日数としては、「5日」が母親で41.5%、父親で67.6%と、ともに最も高くなっている。



③ 1日当たりの就労時間

【1日当たりの就労時間】

(%)

	n (人)	4 時間 未 満	4 ～ 5 時 間 未 満	5 ～ 6 時 間 未 満	6 ～ 7 時 間 未 満	7 ～ 8 時 間 未 満	8 ～ 9 時 間 未 満	9 ～ 1 0 時 間 未 満	1 0 ～ 1 1 時 間 未 満	1 1 ～ 1 2 時 間 未 満	1 2 時 間 以 上	無 回 答	平 均 ( 時 間 )
母親	246	4.9	12.2	16.7	12.2	14.2	26.4	2.0	3.3	0.0	0.8	7.3	6.5
父親	256	0.0	0.0	0.4	0.4	2.3	31.3	11.7	17.6	7.0	11.7	17.6	9.7

1日当たりの就労時間としては、「8～9時間未満」が母親で26.4%、父親で31.3%と、ともに最も高くなっている。これに続くのが、母親では「5～6時間未満」が16.7、「7～8時間未満」が14.2%、父親では「10～11時間未満」が17.6、「9～10時間未満」、「12時間以上」がともに11.7%となっている。

④ 家を出る時間及び帰宅時間

【家を出る時間】

(%)

	n (人)	6 時 よ り 前	6 時 台	7 時 台	8 時 台	9 時 台	1 0 時 以 降	無 回 答	平 均 ( 時 )
母親	246	2.4	2.8	23.2	40.2	10.2	11.0	10.2	8.2
父親	256	8.2	26.6	30.9	10.2	2.3	2.3	19.5	6.9

【帰宅時間】

(%)

	n (人)	1 5 時 よ り 前	1 5 時 台	1 6 時 台	1 7 時 台	1 8 時 台	1 9 時 台	2 0 時 台	2 1 時 台	2 2 時 以 降	無 回 答	平 均 ( 時 )
母親	246	16.7	4.1	8.9	16.7	24.0	9.3	4.9	2.4	2.0	11.0	16.9
父親	256	0.4	0.0	1.2	2.3	11.3	15.2	17.6	11.7	20.7	19.5	20.4

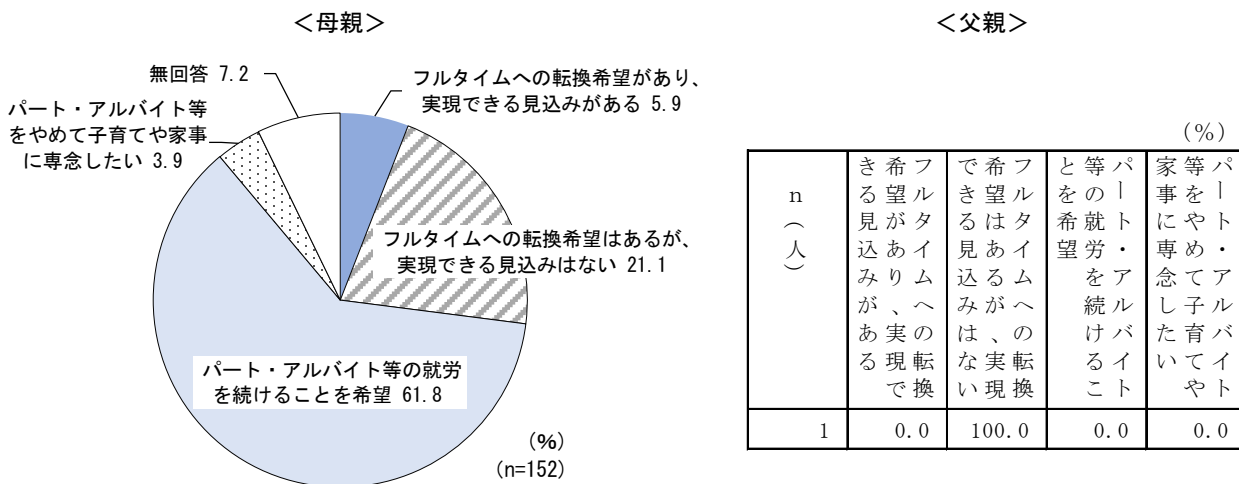
家を出る時間として、母親では「8時台」が40.2%、父親では「7時台」が30.9%と、それぞれ最も高くなっている。

帰宅時間として、母親では、「18時台」が24.0%と最も高く、次いで「15時より前」、「17時台」が16.7%となっている。一方、父親では、「22時以降」が20.7%と最も高く、次いで「20時台」が17.6%、「19時台」が15.2%となっている。

(2) フルタイムへの転換希望

問 15 の母親または父親で“パート・アルバイト等で就労”のいずれかに○をつけた方にうかがいます。  
 問 15-1 フルタイムへの転換希望はありますか。(母親、父親それぞれひとつに○)

【フルタイムへの転換希望】



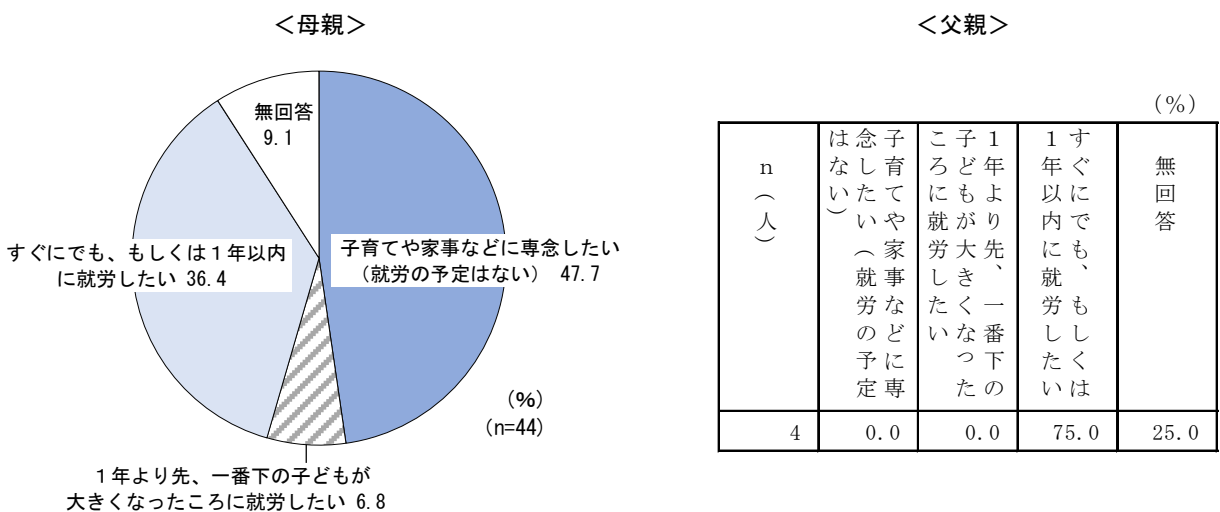
現在、パート・アルバイト等で就労している（産休・育休等含む）母親のフルタイムへの転換希望としては、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が6割台（61.8%）を占めている。

(3) 未就労者の就労希望

① 就労希望

問 15 の母親または父親で“就労していないまたは就労したことがない”に○をつけた方にうかがいます。  
 問 15-2 就労したいという希望はありますか。(母親、父親それぞれひとつに○)

【就労希望】



現在就労していない母親の就労希望としては、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が47.7%と最も高くなっている。

（「1年より先、一番下の子どもが大きくなったところに就労したい」と回答した人のみ）

※父親：該当者なし

②就労を希望する時期（末子の年齢）

【就労を希望する時期】

						(%)
	n (人)	1 5 歳 以下	1 6 歳	1 7 歳 以上	無 回 答	(平均 歳)
母親	3	0.0	66.7	0.0	33.3	16.0

現在就労していないが、1年より先に一番下の子どもが大きくなったところに就労したいと回答した母親の就労を希望する時期（子どもの年齢）としては、「16歳」が66.7%となっている。

（「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人のみ）

③希望する就労形態

【希望する就労形態】

					(%)
	n (人)	フル タ イ ム	イ ム パ ー ト 、 ア ル バ イ ト 等	無 回 答	
母親	16	0.0	93.8	6.3	
父親	3	100.0	0.0	0.0	

現在就労していないが、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した母親の希望する就労形態としては、「パートタイム、アルバイト等」が93.8%となっている。

（「パートタイム、アルバイト等」と回答した人のみ）

※父親：該当者なし

④希望する就労日数及び就労時間

【1週当たりの希望就労日数】

								(%)
	n (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日 以上	(平均 日)
母親	15	0.0	6.7	80.0	6.7	6.7	0.0	3.4

【1日当たりの希望就労時間】

								(%)
	n (人)	4 時 間 未 満	未 4 時 間 未 満 5 時 間	未 5 時 間 未 満 6 時 間	未 6 時 間 未 満 7 時 間	未 7 時 間 未 満 8 時 間	8 時 間 以上	(平均 時間)
母親	15	0.0	26.7	46.7	20.0	6.7	0.0	5.2

すぐにでも、もしくは1年以内にパート・アルバイト等で働きたいと回答した母親の希望する1週当たりの就労日数としては、「3日」が80.0%と最も高くなっている。

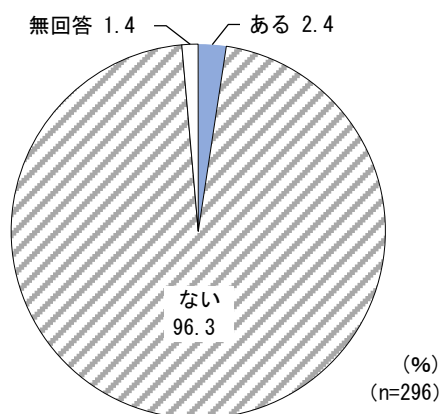
また、1日当たりの就労時間としては、「5～6時間未満」が46.7%と最も高くなっている。

## 4 子どもの安全について

### (1) 子どもがチカン・不審者等の被害にあったことの有無

問 16 あて名のお子さんが、最近1年間のなかでチカン・不審者等の被害にあったことがありますか。  
(ひとつに○)

【子どもがチカン・不審者等の被害にあったことの有無】

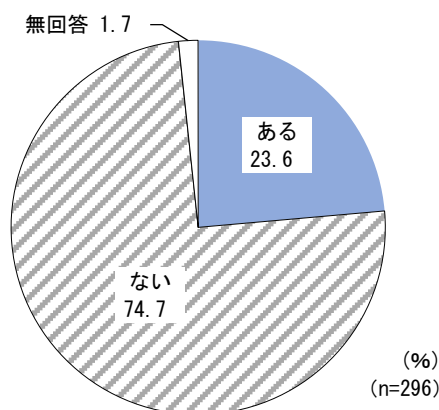


この1年間に、子どもがチカン・不審者等の被害にあったことが「ある」は2.4%となっている。

### (2) チカン・不審者等の被害の話をきいたことの有無

問 17 あなたは、最近1年間の中で知り合いからチカン・不審者等の被害の話をきいたことがありますか。(ひとつに○)

【チカン・不審者等の被害の話をきいたことの有無】

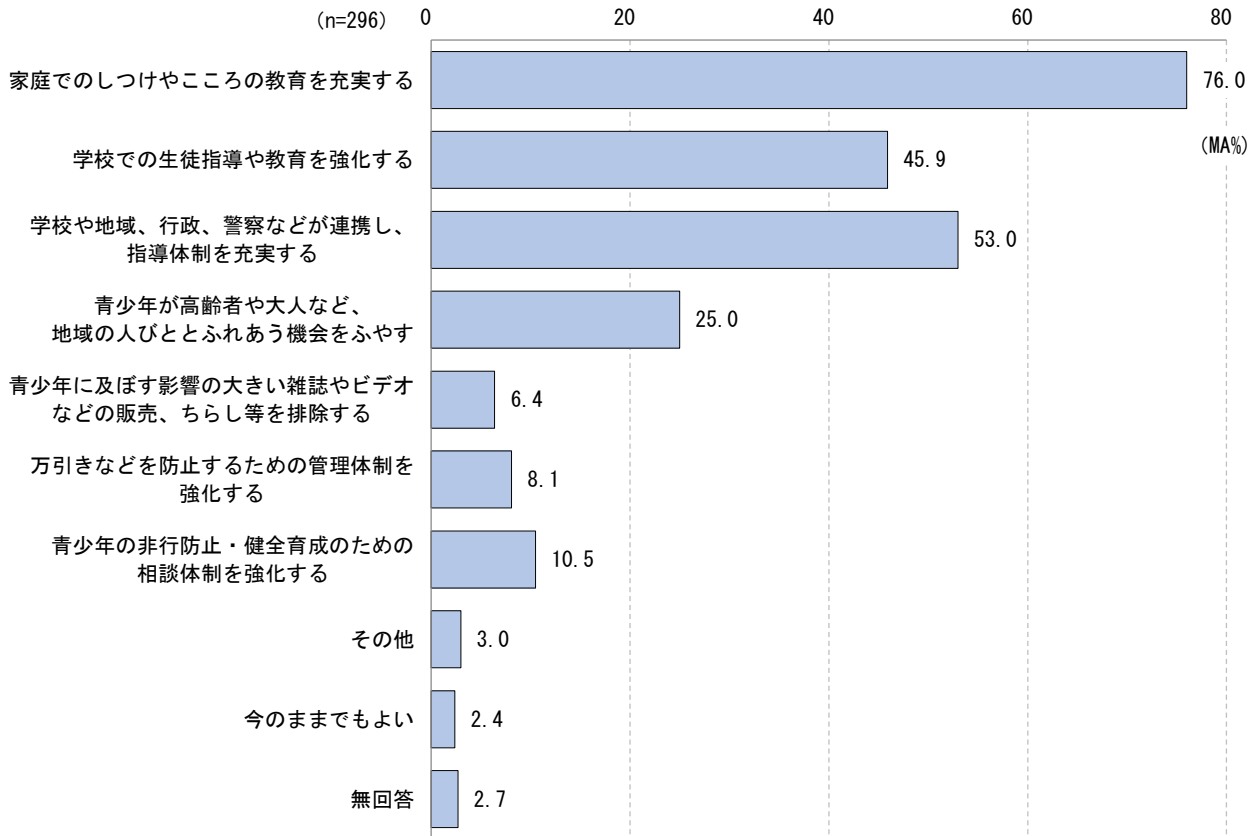


この1年間に、知り合いからチカン・不審者等の被害の話をきいたことが「ある」は2割台(23.6%)となっている。

(3) 子どもの健全育成や非行防止のために力をいれるべきこと

問 18 子どもの健全育成や非行防止のために、どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。  
(○は3つまで)

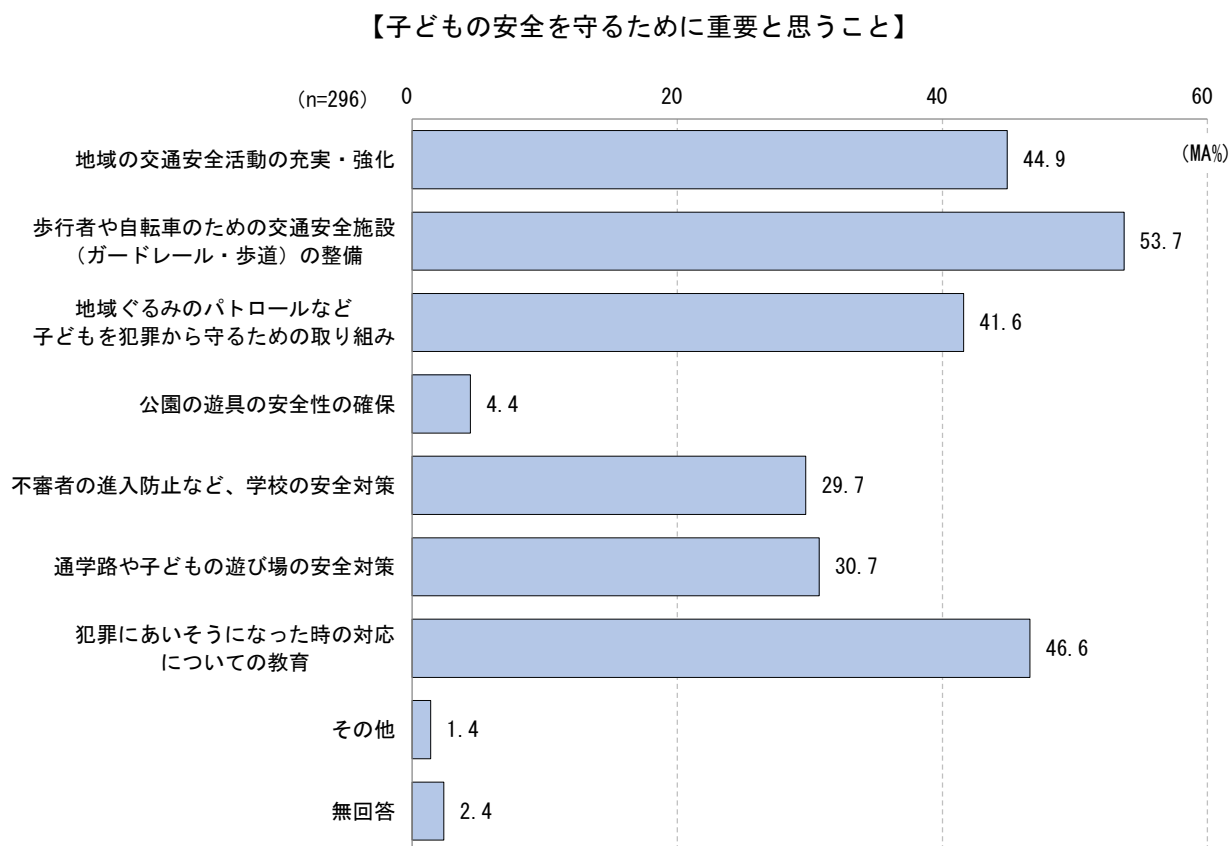
【子どもの健全育成や非行防止のために力をいれるべきこと】



子どもの健全育成や非行防止のために力をいれるべきこととしては、「家庭でのしつけやこころの教育を充実する」が7割台（76.0%）と最も高く、次いで「学校や地域、行政、警察などが連携し、指導體制を充実する」が53.0%、「学校での生徒指導や教育を強化する」が45.9%となっている。

(4) 子どもの安全を守るために重要と思うこと

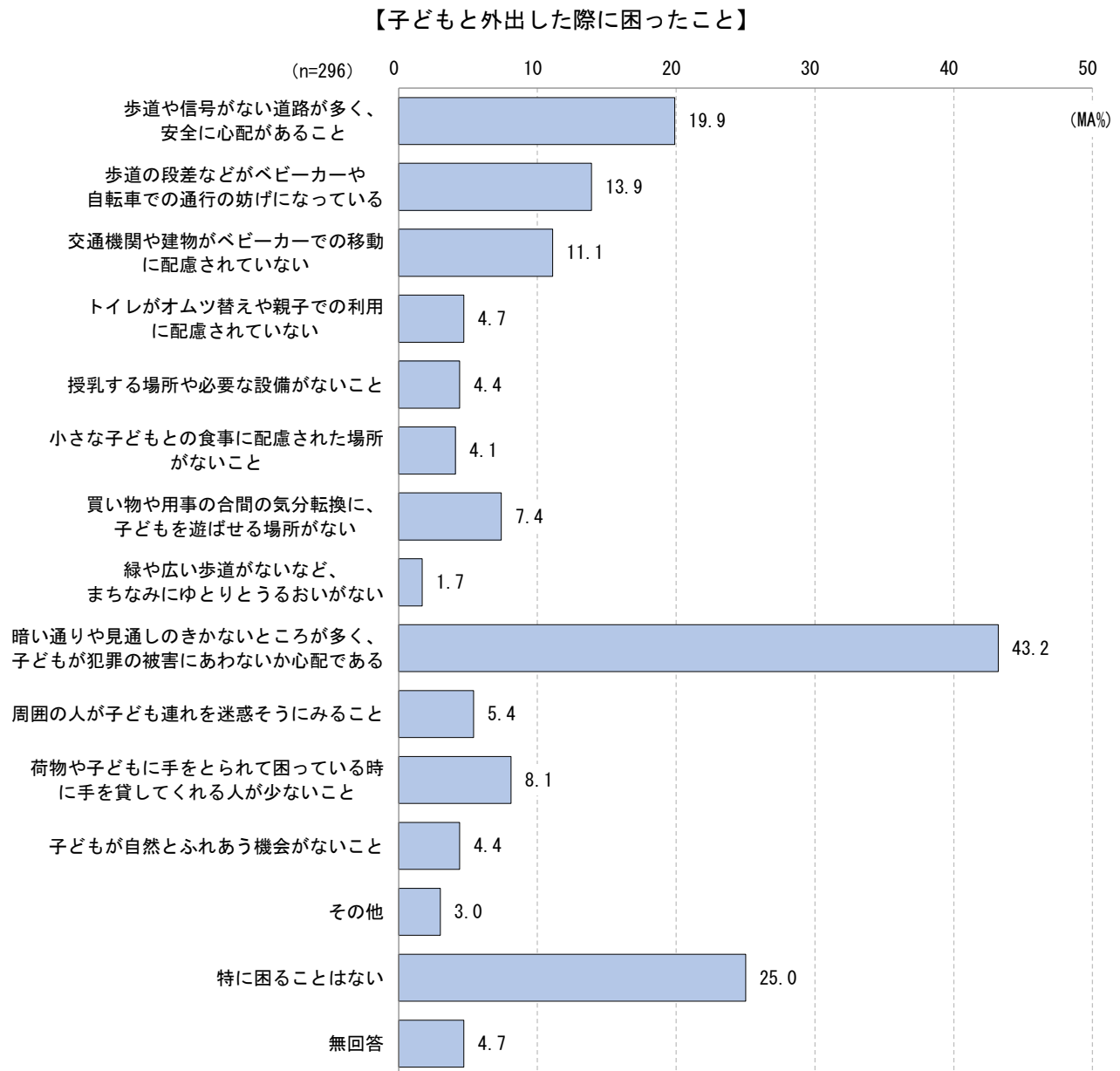
問 19 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(〇は3つまで)



子どもの安全を守るために特に重要と思うこととしては、「歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール・歩道）の整備」が5割台（53.7%）と最も高く、次いで「犯罪にあいそうになった時の対応についての教育」が46.6%、「地域の交通安全活動の充実・強化」が44.9%となっている。

(5) 子どもと外出した際に困ったこと

問 20 お子さんとの外出の際、今までに困ったことは何ですか。(〇は3つまで)

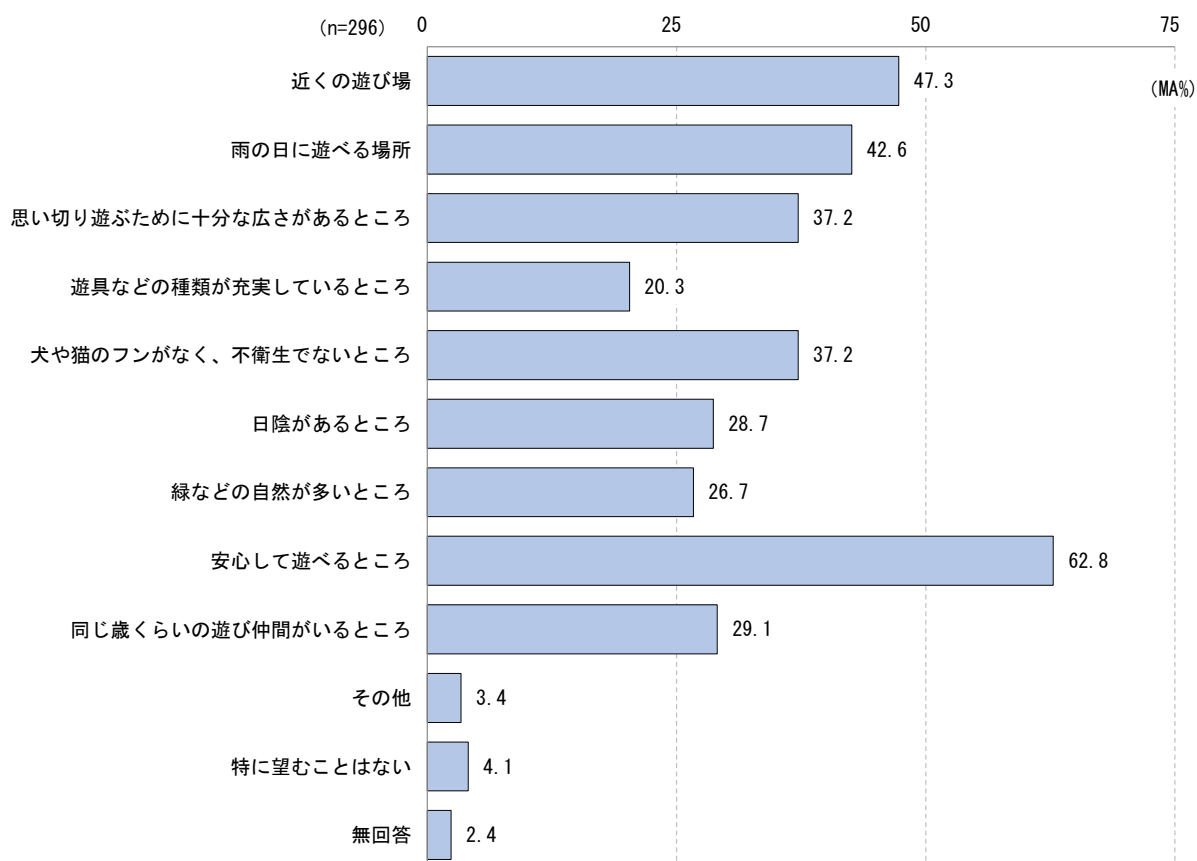


子どもとの外出の際、今までに困ったこととしては、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」が4割台（43.2%）と最も高く、次いで「歩道や信号がない道路が多く、安全に心配があること」が19.9%、「歩道の段差などがベビーカーや自転車での通行の妨げになっている」が13.9%となっている。

(6) 子どもの遊び場についての要望

問 21 あなたが、子どもの遊び場について望ましいと思うことは何ですか。(すべてに○)

【子どもの遊び場についての要望】



子どもの遊び場について望ましいと思うこととしては、「安心して遊べるところ」が6割台(62.8%)と最も高く、次いで「近く遊び場」が47.3%、「雨の日に遊べる場所」が42.6%、「思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ」、「犬や猫のフンがなく、不衛生でないところ」がともに37.2%となっている。



## 5 猪名川町での子育てや子育て支援サービスについて

### (1) 子育て支援サービス等の利用状況

#### ① 子育て支援サービス等の利用有無

問 22 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。  
 利用したことがある人は子育て支援サービスや取り組みごとに、○をつけてください。  
 また、利用したことはない人と知らなかった人はあてはまる番号に○をつけてください。

【子育て支援サービス等の利用有無】

(%)

		調査数 (人)	と利用 がある (参加) したこ	利用 したこ とはな い	知ら なかつ た	無 回 答
子育て支援 センター	①地域などで実施している子育てサークル	296	39.9	54.7	3.0	2.4
	②子育て支援センターが実施する行事	296	32.1	60.1	5.4	2.4
	③つどいの広場	296	15.5	69.9	12.2	2.4
保健センター	④乳幼児健診	296	78.7	16.6	1.4	3.4
	⑤母親学級(両親学級)	296	23.6	67.6	6.1	2.7
	⑥健康相談、電話相談	296	18.6	73.6	4.7	3.0
	⑦新生児訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)	296	24.7	60.5	10.8	4.1
福祉課	⑧民生委員児童委員による相談・支援活動	296	5.4	80.4	11.1	3.0
こども課	⑨家庭児童相談、母子相談	296	7.8	78.0	9.8	4.4
	⑩子育て支援情報誌等	296	34.8	54.7	6.4	4.1
保育所(園)・ 幼稚園・ 認定こども園	⑪各保育所(園)・幼稚園・認定こども園 による子育て相談	296	13.5	75.3	7.4	3.7
	⑫各保育所(園)・幼稚園・認定こども園 による園庭開放	296	37.2	55.4	4.7	2.7
	⑬私立保育所(園)の保育内容	296	18.9	67.9	9.8	3.4
	⑭公立保育所(園)の保育内容	296	18.6	69.6	8.1	3.7
	⑮私立幼稚園・認定こども園の保育内容	296	23.6	63.5	9.1	3.7
	⑯公立幼稚園の保育内容	296	40.2	50.0	5.7	4.1
図書館	⑰絵本などの読み聞かせ	296	44.3	48.6	3.0	4.1
教育支援 センター	⑱教育相談	296	16.6	73.3	5.7	4.4

子育て支援サービス等(18項目)について、利用したことがある割合でみると、『④乳幼児健診』で78.7%と最も高く、次いで『⑰絵本などの読み聞かせ』で44.3%、『⑯公立幼稚園の保育内容』で40.2%となっている。一方、『⑧民生委員児童委員による相談・支援活動』では5.4%、『⑨家庭児童相談、母子相談』では7.8%にとどまっている。

(各支援サービスについて「利用(参加)したことがある」と回答した人のみ)

②子育て支援サービス等の満足度

【子育て支援サービス等の満足度】

		調査数 (人)	満足	やや満足	やや不満	不満
子育て支援センター	①地域などで実施している子育てサークル	118	41.5	50.8	7.6	0.0
	②子育て支援センターが実施する行事	95	38.9	55.8	5.3	0.0
	③つどいの広場	46	37.0	58.7	4.3	0.0
保健センター	④乳幼児健診	233	54.5	40.8	3.9	0.9
	⑤母親学級(両親学級)	70	74.3	22.9	2.9	0.0
	⑥健康相談、電話相談	55	43.6	45.5	7.3	3.6
	⑦新生児訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)	73	64.4	34.2	1.4	0.0
福祉課	⑧民生委員児童委員による相談・支援活動	16	43.8	31.3	18.8	6.3
こども課	⑨家庭児童相談、母子相談	23	30.4	56.5	4.3	8.7
	⑩子育て支援情報誌等	103	31.1	63.1	5.8	0.0
保育所(園)・幼稚園・認定こども園	⑪各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による子育て相談	40	37.5	62.5	0.0	0.0
	⑫各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による園庭開放	110	48.2	50.0	1.8	0.0
	⑬私立保育所(園)の保育内容	56	55.4	35.7	5.4	3.6
	⑭公立保育所(園)の保育内容	55	45.5	50.9	1.8	1.8
	⑮私立幼稚園・認定こども園の保育内容	70	57.1	38.6	4.3	0.0
	⑯公立幼稚園の保育内容	119	37.0	50.4	9.2	3.4
図書館	⑰絵本などの読み聞かせ	131	47.3	51.1	1.5	0.0
教育支援センター	⑱教育相談	49	34.7	46.9	16.3	2.0

子育て支援サービス等(18項目)のうち、それぞれ利用したことがあると回答した項目についての満足度をたずねたところ、満足という割合(「満足」「やや満足」の計)が、『⑪各保育所(園)・幼稚園・認定こども園による子育て相談』で100.0%と最も高く、次いで『⑦新生児訪問(こんにちは赤ちゃん訪問)』で98.6%、『⑰絵本などの読み聞かせ』で98.4%となっている。

一方、不満という割合(「やや不満」「不満」の計)が、『⑧民生委員児童委員による相談・支援活動』で25.1%と最も高く、次いで『⑱教育相談』で18.3%、『⑨家庭児童相談、母子相談』で13.0%となっている。

(2) 猪名川町が実施する子育て支援サービス等の利用状況

①猪名川町が実施する子育て支援サービス等の認知度

問 23 猪名川町が、子育て支援を推進するために取り組んでいる次のサービスについて知っていたり、これまでに利用したことがありますか。子育て支援サービスや取り組みごとに、認知について・利用について・必要性（重要度）について、あてはまる番号に○をつけてください。

【猪名川町が実施する子育て支援サービス等の認知度】

(%)

	調査数	利 知 用 っ つ て お り 、 利 用 し た こ と が あ る	利 知 用 っ つ て い る こ と が 、 は な い	知 ら な い	無 回 答
①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度	296	81.4	13.2	1.4	4.1
②お誕生メモリアルフォト	296	2.4	8.4	85.5	3.7
③多子誕生祝金（第3子以降）	296	3.4	34.8	57.4	4.4
④子育て支援ホームヘルパー事業	296	1.7	26.4	67.6	4.4
⑤いなっ子絵本配布事業	296	2.4	9.1	83.8	4.7
⑥赤ちゃんの駅	296	1.4	19.3	76.0	3.4
⑦キッズコーナー	296	3.7	19.6	72.3	4.4
⑧いながわキッズフェスティバル	296	3.0	20.9	72.6	3.4
⑨病児・病後児保育	296	1.0	28.7	64.9	5.4
⑩留守家庭児童育成室（学童保育）	296	23.3	54.7	16.9	5.1

猪名川町が実施する子育て支援サービス等（10項目）について、知っているという割合でみると、『①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度』で94.6%と最も高く、次いで『⑩留守家庭児童育成室（学童保育）』で78.0%、『③多子誕生祝金（第3子以降）』で38.2%となっているのに対し、『②お誕生メモリアルフォト』では10.8%、『⑤いなっ子絵本配布事業』では11.5%にとどまっている。

また、「知っており、利用したことがある」でみると、『①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度』で81.4%と最も高く、次いで『⑩留守家庭児童育成室（学童保育）』で23.3%となっているのに対し、そのほかのサービス等ではいずれも5%未満にとどまっている。

②猪名川町が実施する子育て支援サービス等の必要性（重要度）

【猪名川町が実施する子育て支援サービス等の必要性（重要度）】

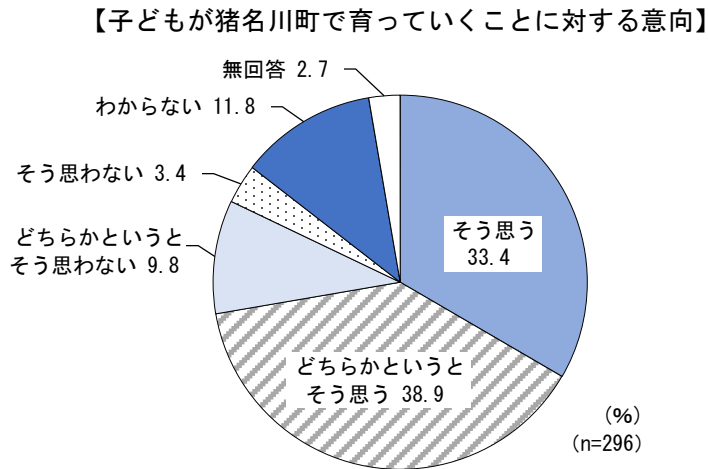
(%)

	調査数	特に必要（重要）	必要（重要）	な あ い ま り 必 要 （ 重 要 ） で	必要（重要）ではない	無回答
①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度	296	81.1	10.1	0.7	0.0	8.1
②お誕生メモリアルフォト	296	0.3	14.2	40.2	10.5	34.8
③多子誕生祝金（第3子以降）	296	17.2	41.6	10.8	2.0	28.4
④子育て支援ホームヘルパー事業	296	10.8	48.6	5.7	0.3	34.5
⑤いなっ子絵本配布事業	296	3.7	27.7	26.4	4.7	37.5
⑥赤ちゃんの駅	296	6.8	34.8	13.2	4.1	41.2
⑦キッズコーナー	296	5.7	38.9	12.8	2.7	39.9
⑧いながわキッズフェスティバル	296	2.7	31.1	23.3	2.4	40.5
⑨病児・病後児保育	296	35.1	30.4	3.0	0.0	31.4
⑩留守家庭児童育成室（学童保育）	296	54.4	25.3	1.4	0.0	18.9

猪名川町が実施する子育て支援サービス等（10項目）について、必要（重要）という割合（「特に必要（重要）」「必要（重要）」の計）でみると、『①乳幼児等医療費助成制度・こども医療費助成制度』で91.2%と最も高く、次いで『⑩留守家庭児童育成室（学童保育）』で79.7%、『⑨病児・病後児保育』で65.5%となっている。

(3) 子どもが猪名川町で育っていくことに対する意向

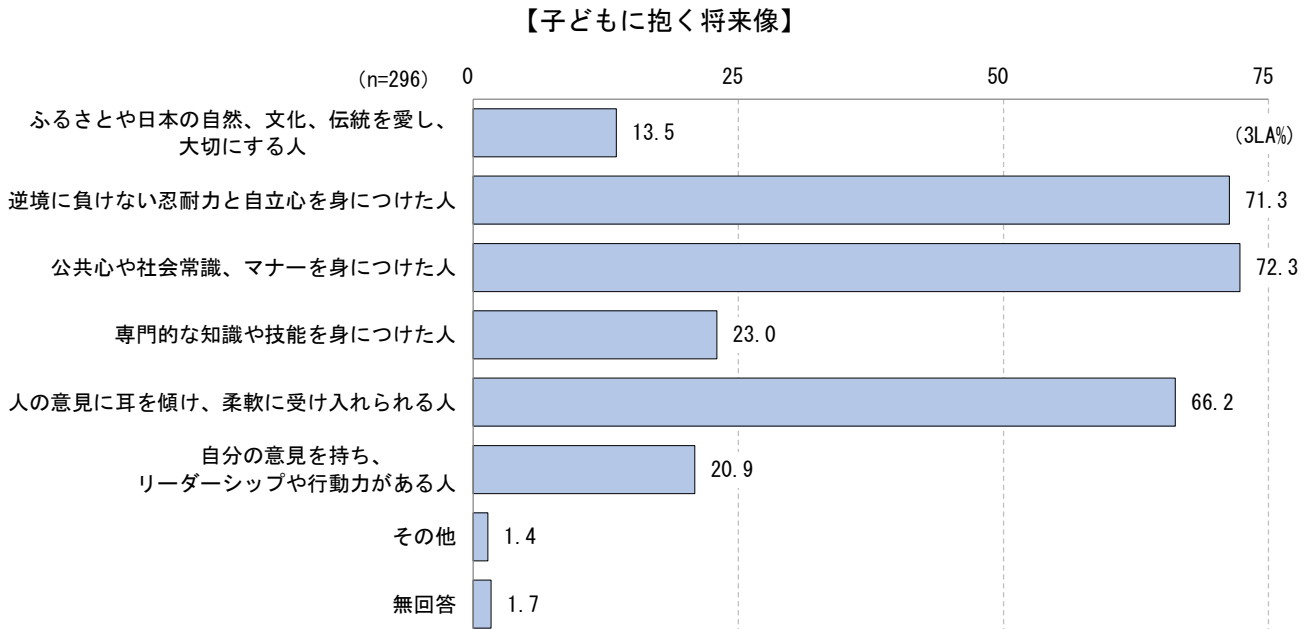
問 24 あなたは、これからもお子さんに猪名川町で育ってほしいと思いますか。(ひとつに○)



これからも子どもが猪名川町で育ってほしいと思うかについて、「どちらかというと思う」が38.9%と最も高く、次いで「そう思う」が33.4%となっており、合わせると、7割台(72.3%)を占める。

(4) 子どもに抱く将来像

問 25 将来、お子さんにどのような人に育ってほしいと思いますか。(○は3つまで)



将来、子どもにどのような人に育ってほしいと思うかたずねたところ、「公共心や社会常識、マナーを身につけた人」(72.3%)、「逆境に負けない忍耐力と自立心を身につけた人」(71.3%)がともに7割台と高く、次いで「人の意見に耳を傾け、柔軟に受け入れられる人」が66.2%となっている。

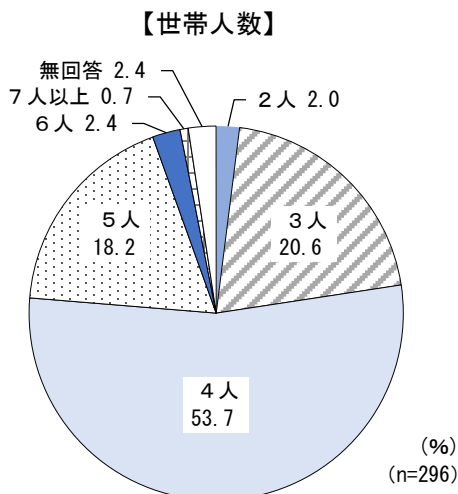
## 6 世帯の状況や経済状況について

### (1) 家計の経済状況

#### ①世帯人数

問 26 あなたの家計の経済状況についておたずねします。

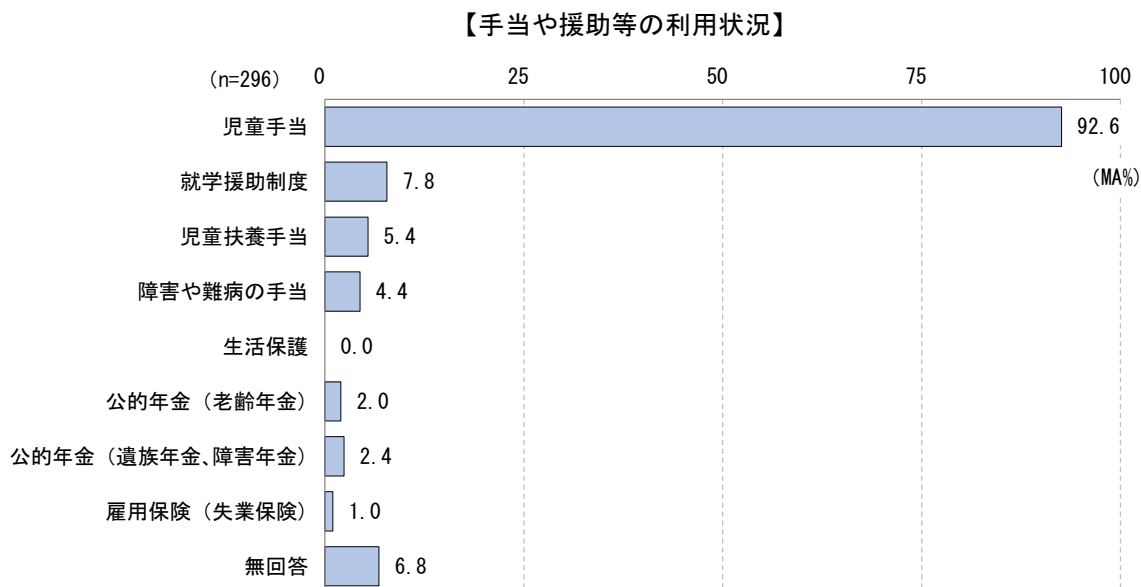
(1) あなたの世帯の人数を教えてください。



世帯の人数としては、「4人」が半数以上（53.7%）を占めており、次いで「3人」が 20.6%、「5人」が 18.2%となっている。

#### ②手当や援助等の利用状況

(2) あなたの世帯では以下の手当や援助等を利用していますか。(あてはまる番号すべてに○)

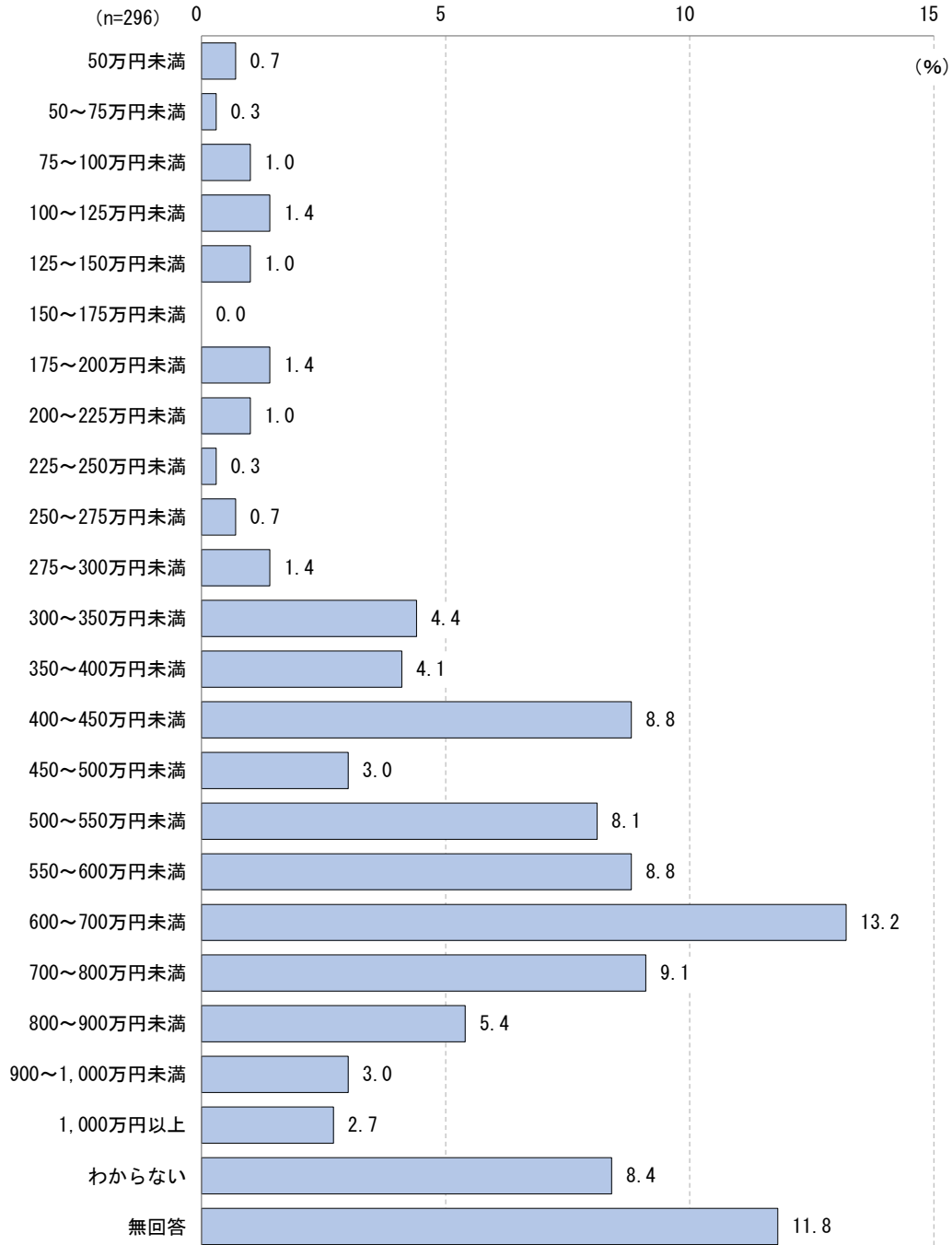


世帯で利用している手当や援助等としては、「児童手当」が9割台（92.6%）と最も高く、次いで「就学援助制度」が 7.8%、「児童扶養手当」が 5.4%となっている。

③世帯の可処分所得

(3) 前年(平成30年)のあなたの世帯の可処分所得の合計額は、およそいくらでしたか。(〇は1つ)

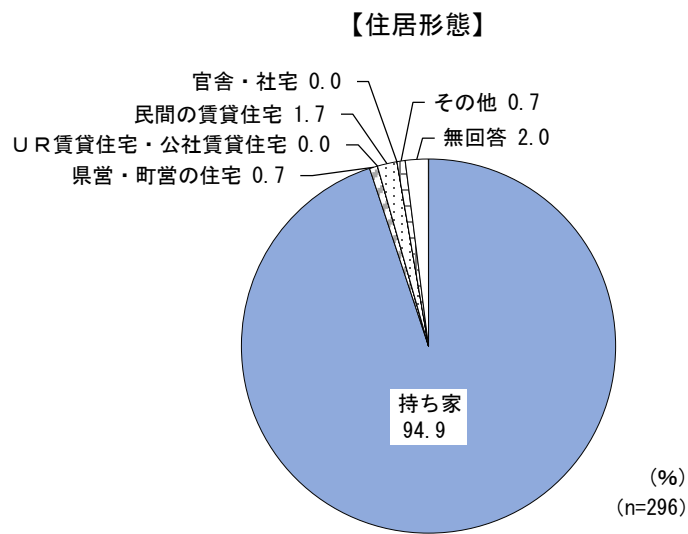
【世帯の可処分所得】



前年(平成30年)の世帯の可処分所得の合計額としては、「600～700万円未満」が13.2%と最も高く、次いで「700～800万円」が9.1%、「400～450万円未満」、「550～600万円未満」がともに8.8%となっている。また、300万円未満の割合は約1割(9.2%)となっている。

(2) 住居形態

問 27 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)



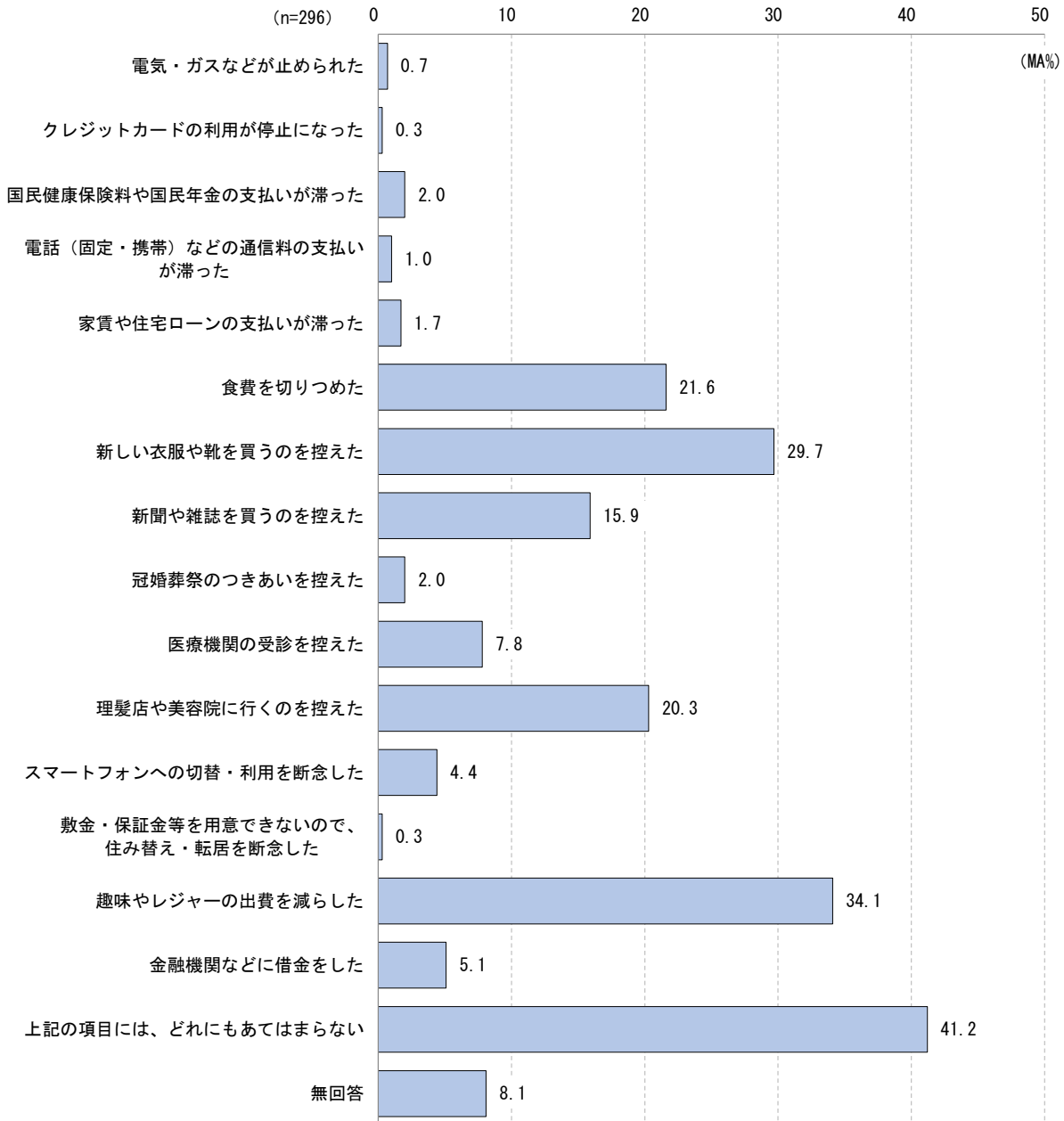
住居形態としては、「持ち家」が9割台（94.9%）を占めている。



(3) 経済的理由で経験したこと

問 28 あなたの世帯では、おおむね半年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

【経済的理由で経験したこと】

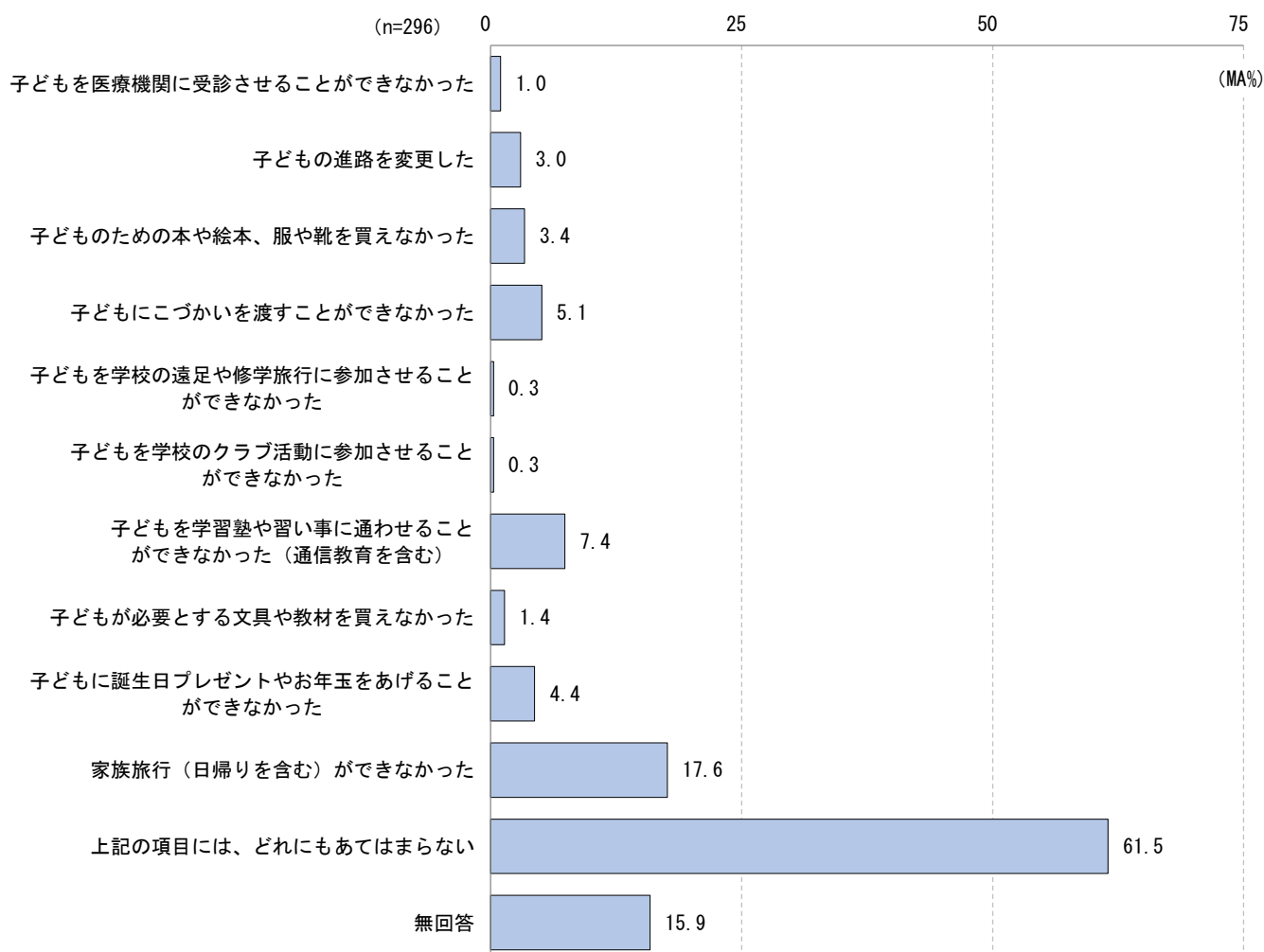


この半年の間に、経済的な理由でいずれかの経験をしたことがある割合は 50.7%となっており、具体的には、「趣味やレジャーの出費を減らした」が 34.1%と最も高く、次いで「新しい衣服や靴を買うのを控えた」が 29.7%、「食費を切りつめた」が 21.6%、「理髪店や美容院に行くのを控えた」が 20.3%となっている。

(4) 経済的理由で子どもに対してできなかったこと

問 29 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

【経済的理由で子どもに対してできなかったこと】



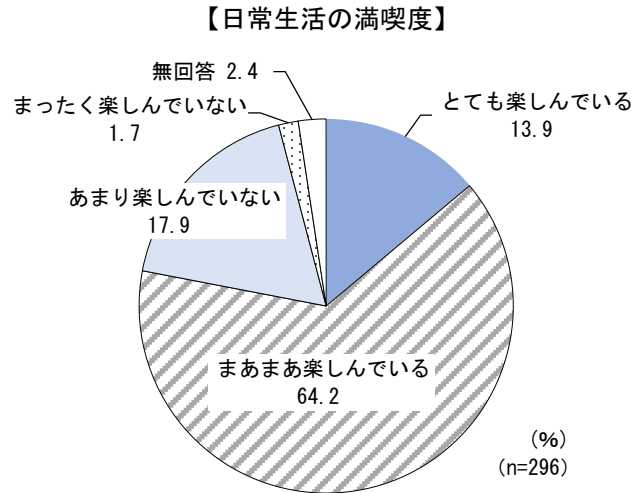
この1年の間に、経済的な理由で子どもに対してできなかったことがある割合は22.6%となっており、具体的には、「家族旅行 (日帰りを含む) ができなかった」が17.6%と最も高く、次いで「子どもを習い事に通わせることができなかった (通信教育を含む)」が7.4%となっている。

(5) 心身の状態

① 日常生活の満足度

問 30 あなたの心身の状態についておたずねします。(それぞれ○は1つ)

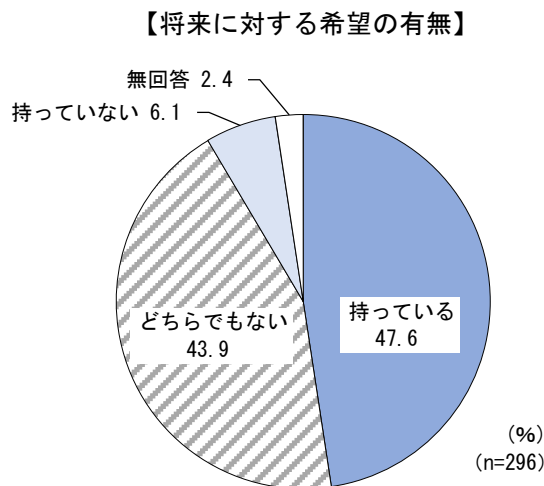
(1) 生活を楽しくしていますか(仕事や家事、育児など)。



日常生活について、「まあまあ楽しんでいる」が64.2%と最も高く、次いで「とても楽しんでいる」が13.9%となっており、合わせると、楽しんでいるという割合が8割弱(78.1%)を占める。

② 将来に対する希望の有無

(2) 将来に対して希望を持っていますか。



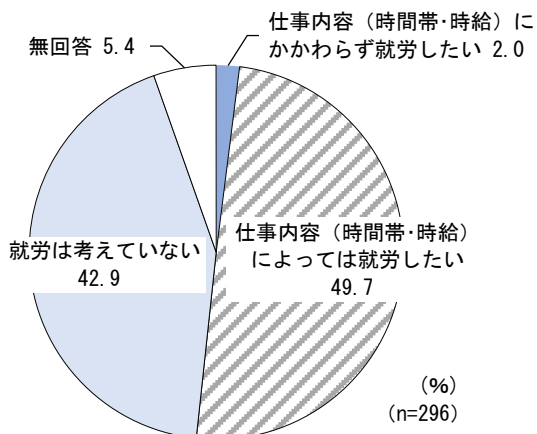
将来に対して希望を「持っている」が4割台(47.6%)に対し、「持っていない」は6.1%となっている。

## 7 猪名川町産業拠点地区での就労意向について

### (1) 物流センターでの就労意向

問 41 産業拠点地区に「物流センター」が稼働した場合、就労したいと思いますか。

【物流センターでの就労意向】



産業拠点地区に物流センターが稼働した場合の就労意向としては、「仕事内容（時間帯・時給）によっては就労したい」が 49.7%と最も高く、「仕事内容（時間帯・時給）にかかわらず就労したい」（2.0%）を合わせると、就労意向がある割合が半数以上（51.7%）を占める。

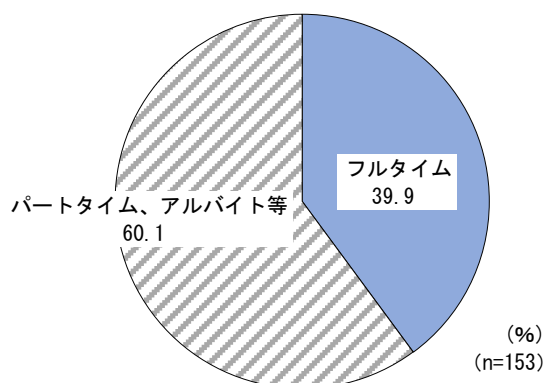
### (2) 物流センターで希望する就労形態

#### ①希望する就労形態

問 41 で「1. 仕事内容にかかわらず就労したい」または「2. 仕事内容によっては就労したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 41-1 希望する就労形態は何ですか。

【希望する就労形態】



物流センターで就労したいと回答した人の希望する就労形態としては、「フルタイム」が約4割（39.9%）に対し、「パートタイム、アルバイト等」が約6割（60.1%）を占める。

(「パートタイム、アルバイト等」と回答した人のみ)

② 1週当たりの希望就労日数

【1週当たりの希望就労日数】

調査数	1週当たりの希望就労日数 (%)								平均 (日)
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
92	2.2	5.4	44.6	38.0	8.7	0.0	0.0	1.1	3.5

物流センターでの希望する1週当たりの就労日数としては、「3日」が半数以上(52.1%)を占めており、次いで「4日」が25.5%、「5日」が12.4%となっている。

③ 1日当たりの希望就労時間

【1日当たりの希望就労時間】

調査数	1日当たりの希望就労時間 (%)								平均 (時間)
	3時間未満	3～4時間未満	4～5時間未満	5～6時間未満	6～7時間未満	7～8時間未満	8時間以上	無回答	
92	0.0	1.1	20.7	33.7	23.9	8.7	10.9	1.1	5.6

物流センターでの希望する1日当たりの就労時間としては、「5～6時間未満」が35.1%と最も高く、次いで「4～5時間未満」が25.9%、「6～7時間未満」が15.4%となっている。

④ 時給の希望額

【時給の希望額】

n (人)	時給の希望額 (%)							平均 (円)
	900円未満	900円台	1,000円台	1,100円台	1,200円台	1,300円以上	無回答	
92	3.3	32.6	42.4	5.4	7.6	5.4	3.3	1,016

物流センターでの希望する時給額としては、「1,000円台」が41.7%と最も高く、次いで「900円台」が29.7%となっている。



## Ⅱ-4 小学生児童・中学生生徒



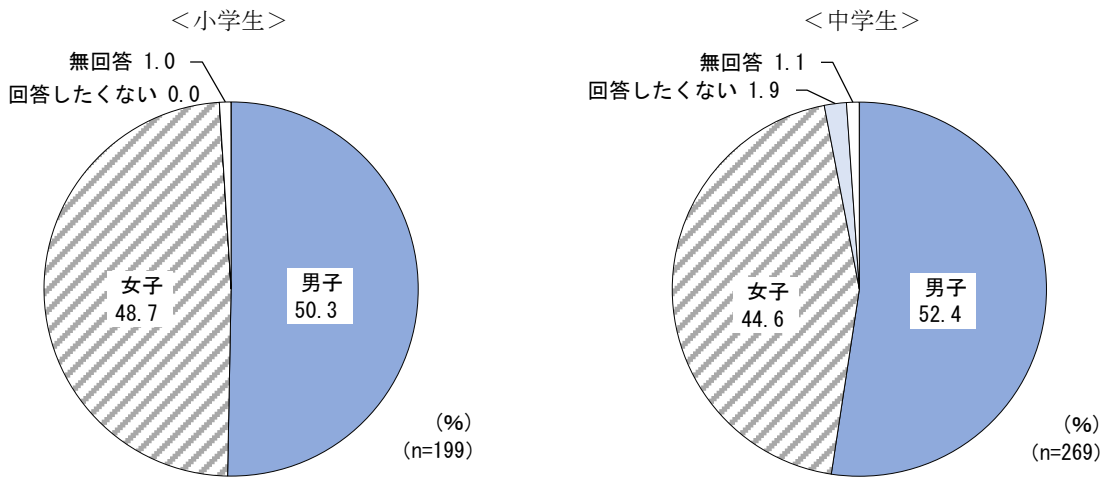


## 1 児童・生徒自身について

### (1) 性別

問1 あなたの性別をお聞かせください。(ひとつに○)

【性別】

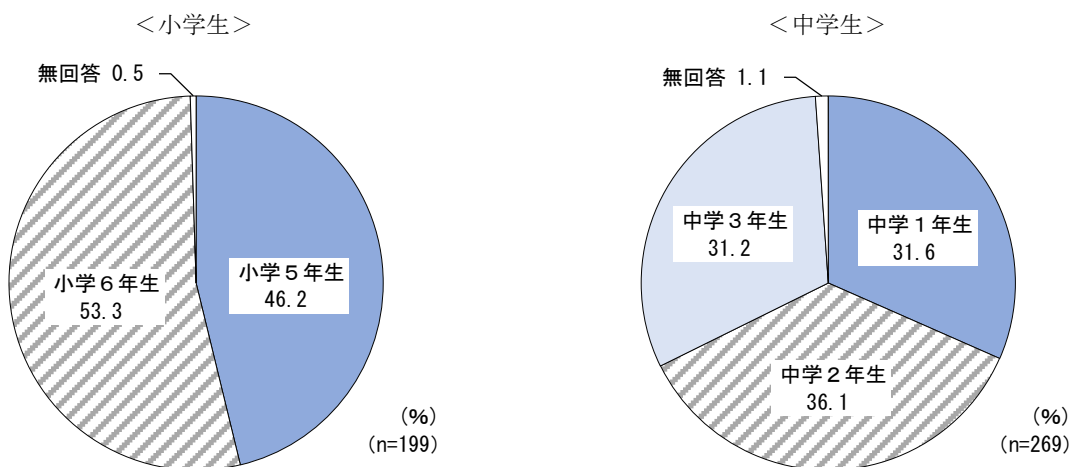


性別は、小学生では「男子」が50.3%に対し、「女子」が48.7%、中学生では「男子」が52.4%に対し、「女子」が44.6%となっている。

### (2) 学年

問2 あなたの学年をお聞かせください。(ひとつに○)

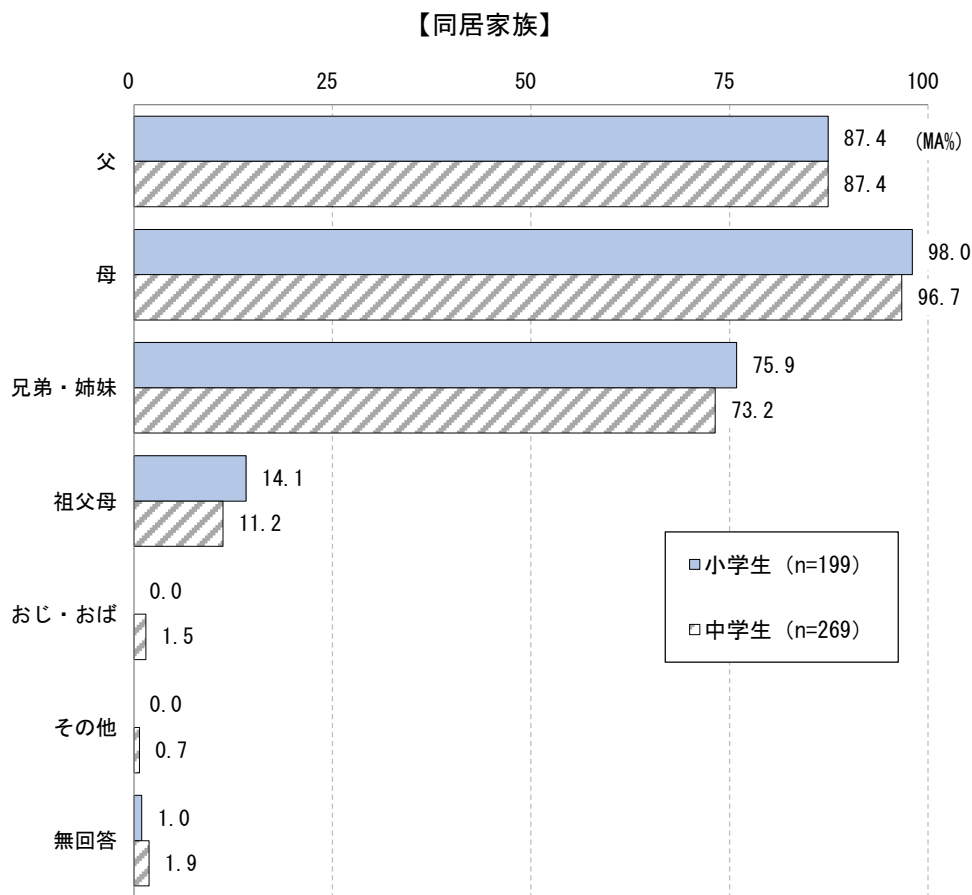
【学年】



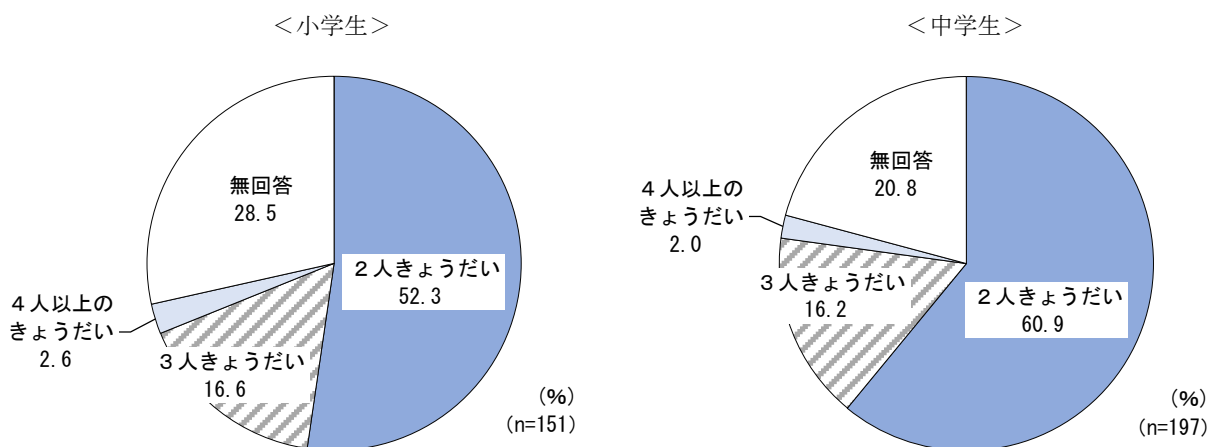
学年は、小学生では、「小学5年生」が46.2%に対し、「小学6年生」が53.3%となっている。中学生では、いずれの学年も3割台となっている。

(3) 同居家族

問3 あなたと一緒に住んでいる家族をお答えください。(あてはまるすべてに○)



**【兄弟・姉妹の人数 (本人含む)】**



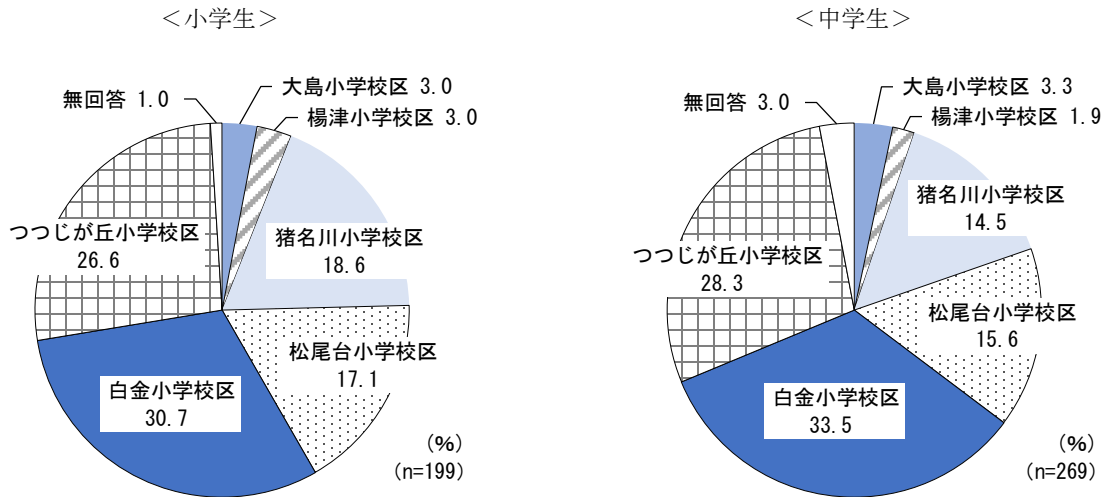
一緒に住んでいる家族は、小学生・中学生ともに、「母」が9割台と最も高く、次いで「父」が8割台、「兄弟・姉妹」が7割台となっている。また、「祖父母」と同居は、小学生で14.1%、中学生で11.2%となっている。

兄弟・姉妹の人数 (本人含む) としては、小学生・中学生ともに「2人きょうだい」が過半数を占めている。

(4) 小学校区

問4 お住まいの小学校区はどちらですか。(ひとつに〇)

【小学校区】



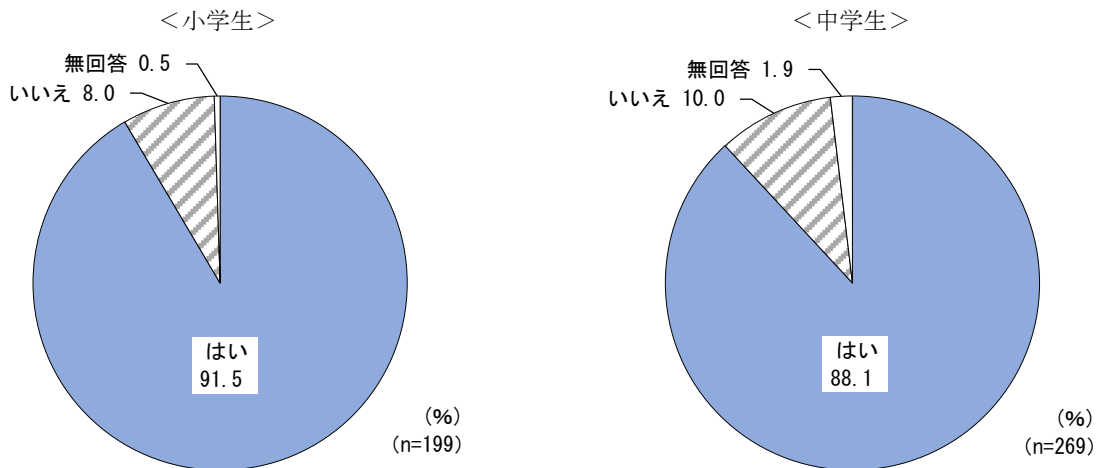
住まいの小学校区は、小学生・中学生ともに「白金小学校区」が3割台と最も高く、次いで「つつじが丘小学校区」が2割台となっている。これに続くのが、「猪名川小学校区」または「松尾台小学校区」となっている。

## 2 日常生活の様子やふだん思っていることについて

### (1) 学校生活の満足度

問5 学校は楽しいですか。(ひとつに○)

【学校生活の満足度】

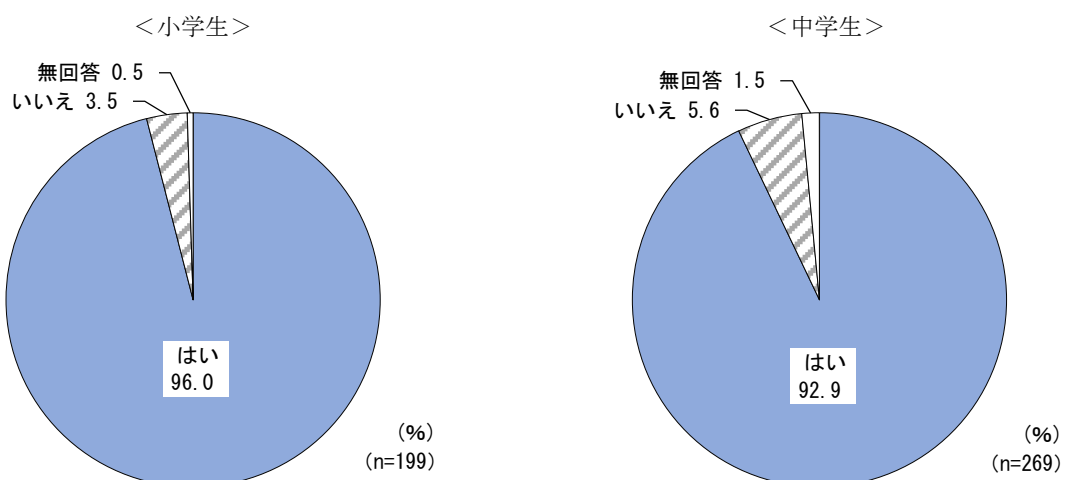


学校は楽しい（「はい」）という割合は、小学生で 91.5%、中学生で 88.1%と、ともに9割前後を占めている。

### (2) 親友の有無

問6 親友と言える友だちがいますか。(ひとつに○)

【親友の有無】



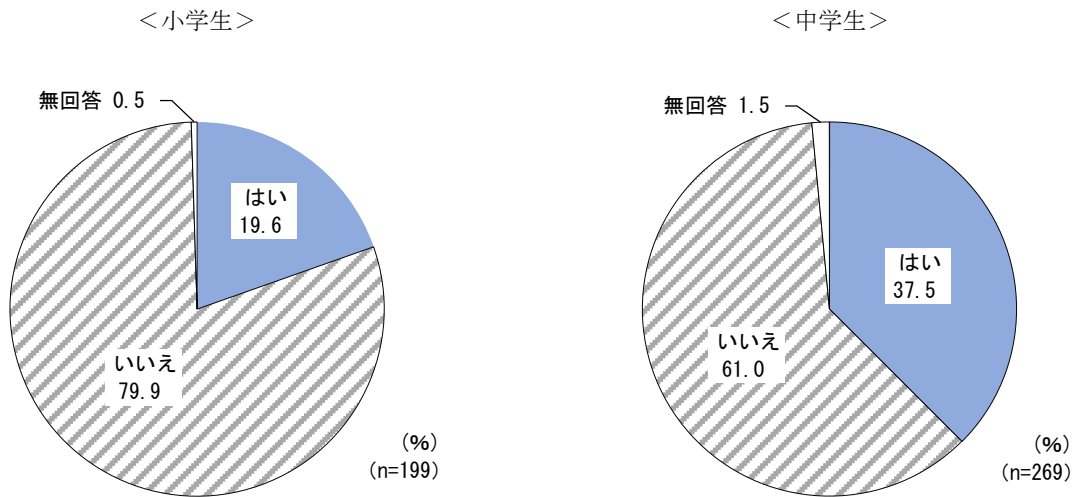
親友と言える友だちがいる（「はい」）という割合は、小学生で 96.0%、中学生で 92.9%と、ともに9割台を占めている。

(3) 悩みごと

①悩みごとの有無

問7 あなたは今、悩んでいることがありますか。(ひとつに○)

【悩みごとの有無】

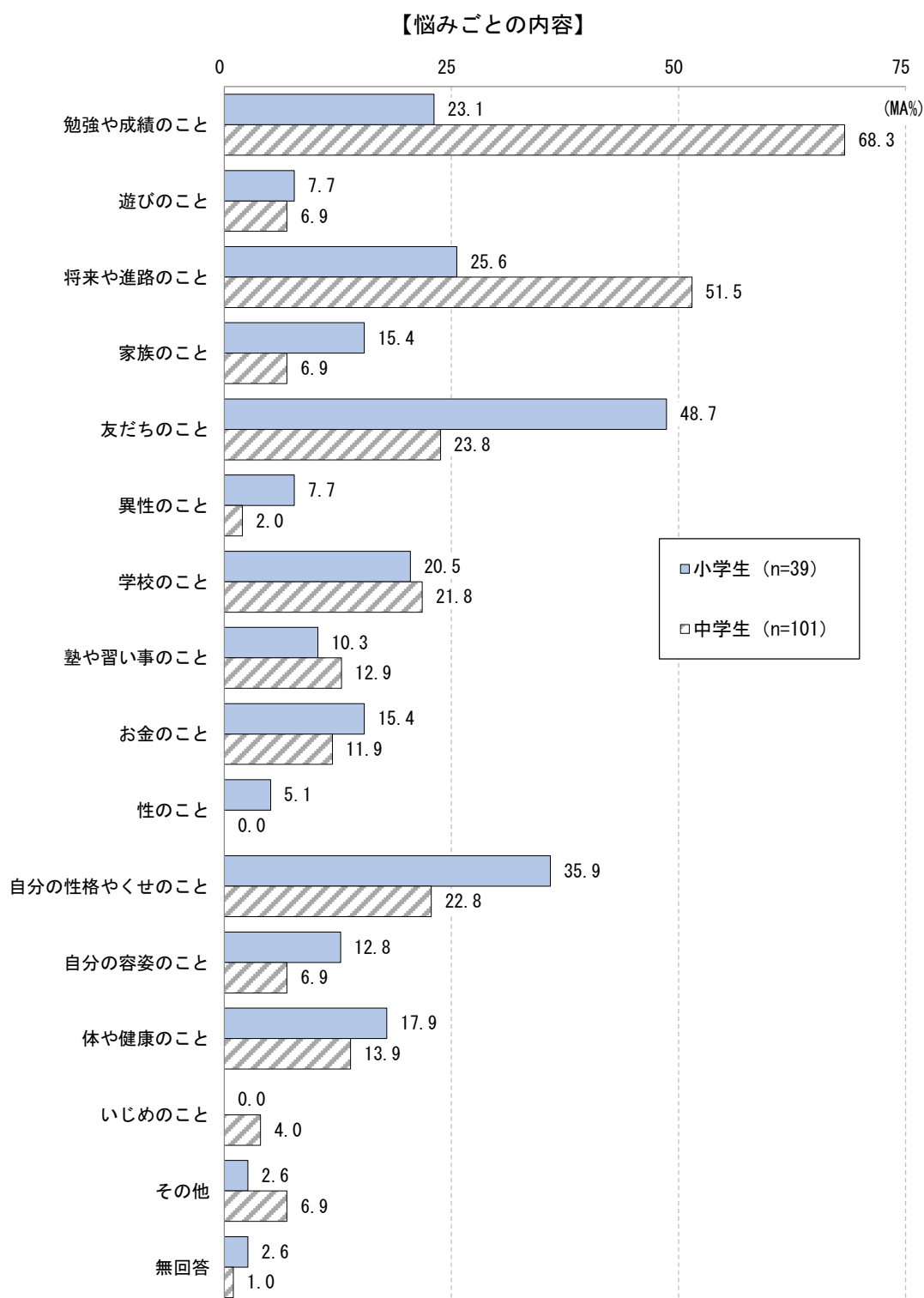


今、悩んでいることが「ある」という割合は、小学生で19.6%、中学生で37.5%となっている。

②悩みごとの内容

問7で「ある」に○をつけた方にうかがいます。

問7-1 どのような悩みですか。(あてはまるすべてに○)



悩んでいることがあると回答した児童・生徒の具体的な内容としては、小学生では、「友だちのこと」が48.7%と最も高く、次いで「自分の性格やくせのこと」が35.9%となっている。

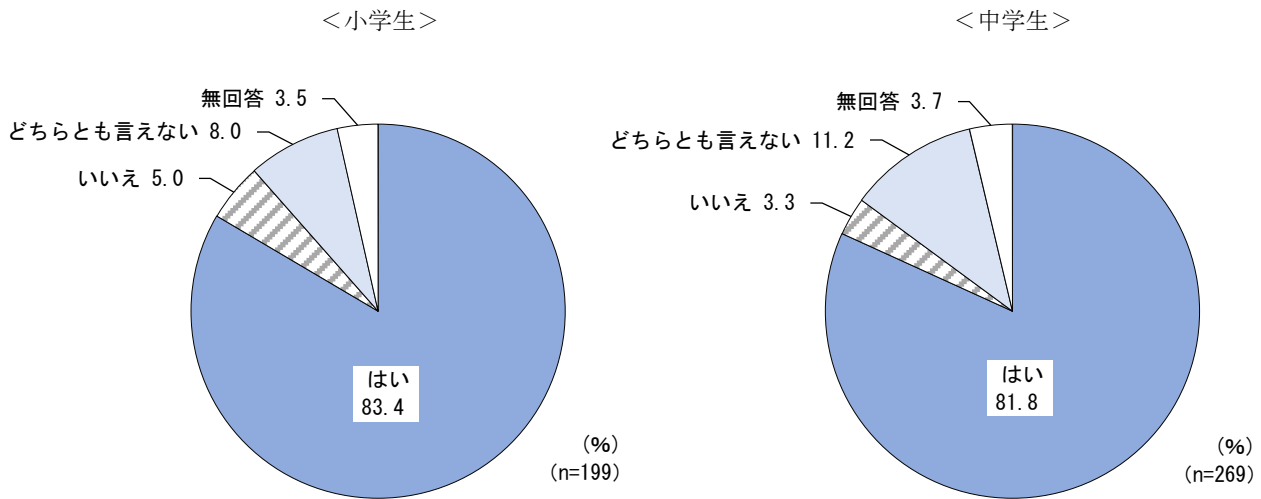
中学生では、「勉強や成績のこと」が68.3%と最も高く、次いで「将来や進路のこと」が51.5%となっている。

(4) 悩みごとの相談先

①悩みごとの相談先の有無

問8 自分の悩んでいることを相談できる相手はいますか。(ひとつに○)

【悩みごとの相談先の有無】

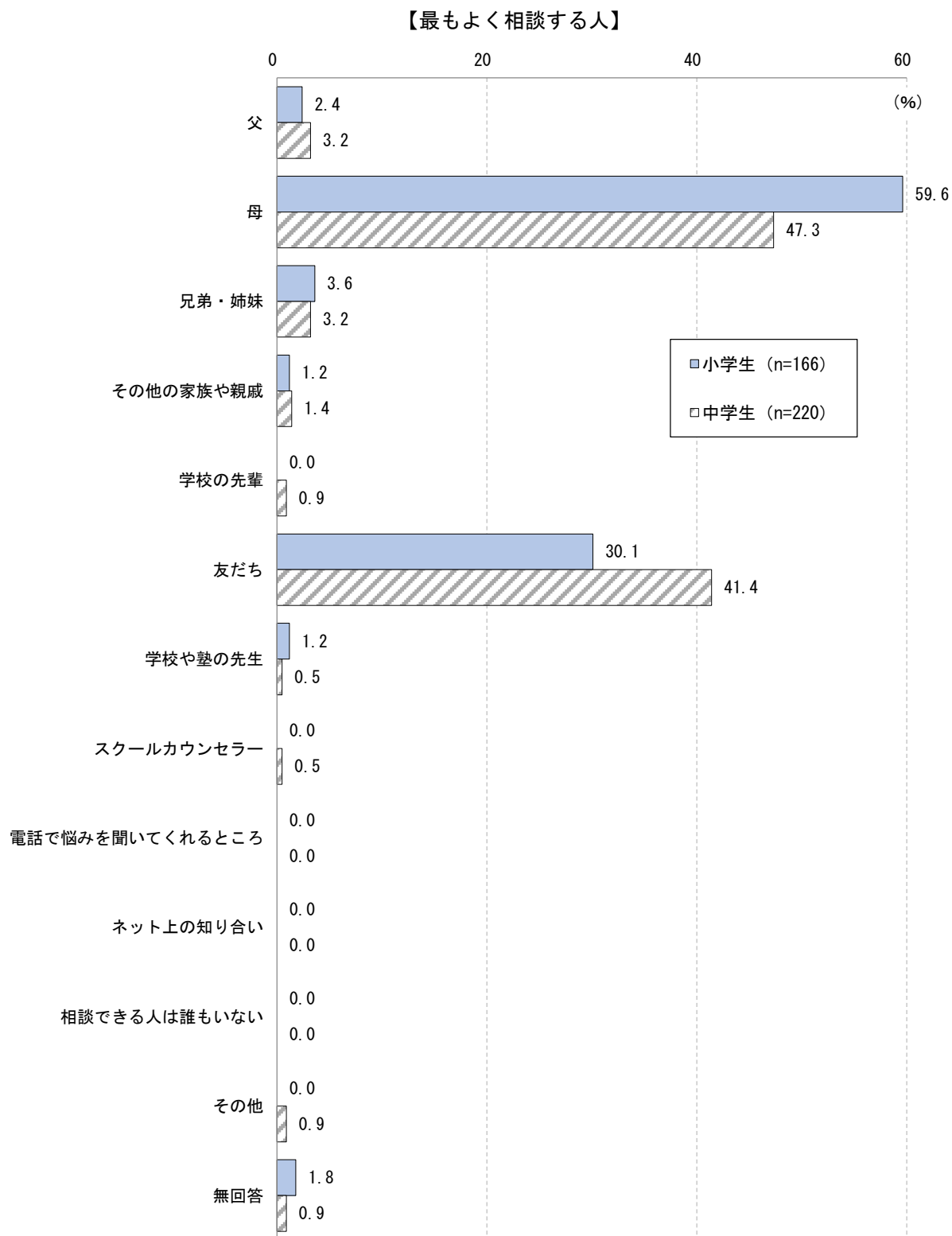


悩んでいることを相談できる相手がいる（「はい」）という割合は、小学生で 83.4%、中学生で 81.8%と、ともに8割台を占めている。

②最もよく相談する人

問8で「はい」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 一番よく相談する人は誰ですか。(ひとつに○)

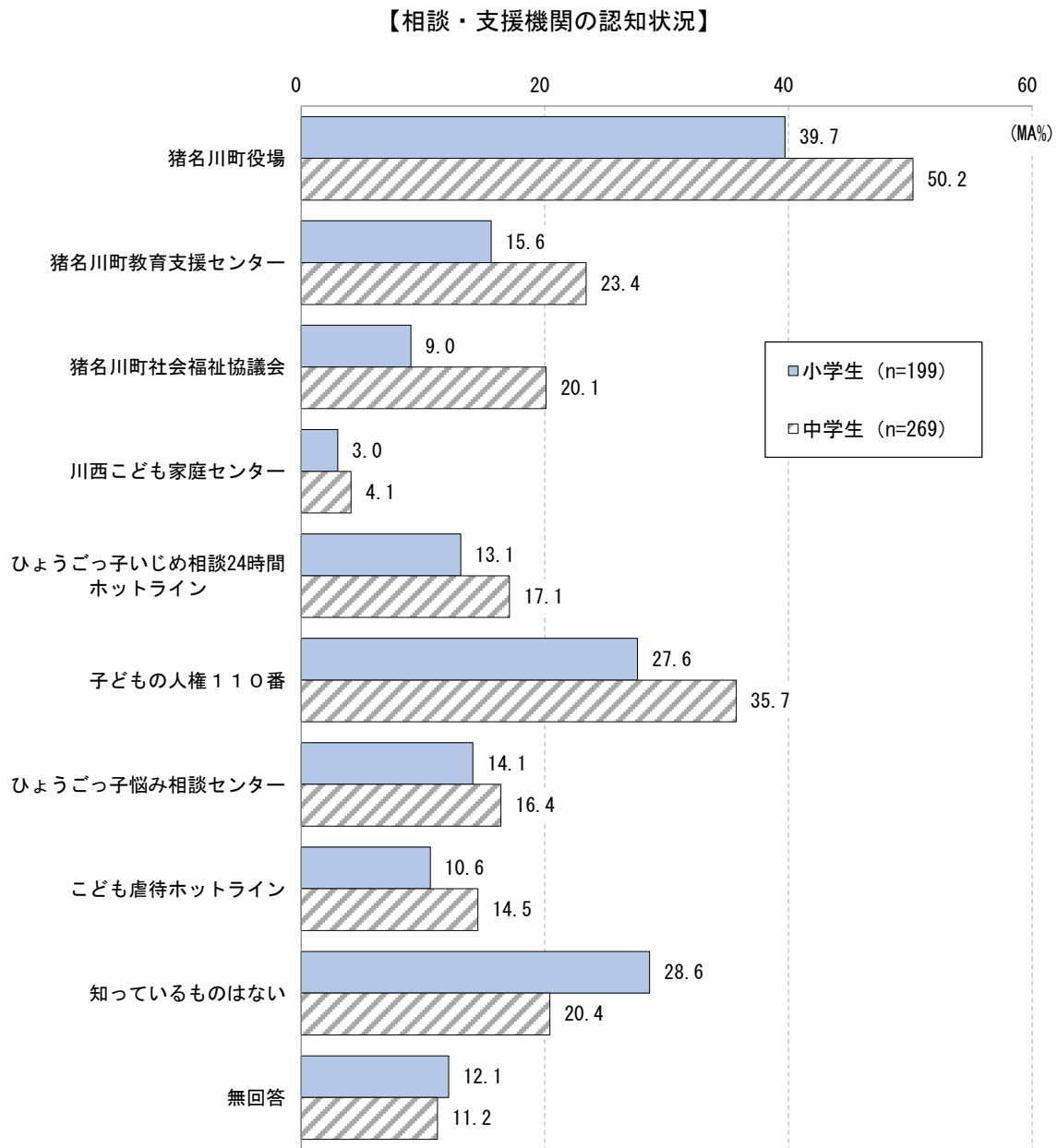


悩みごとを相談できる相手がいると回答した児童・生徒の一番よく相談する人としては、小学生・中学生ともに、「母」（小学生 59.6%、中学生 47.3%）が最も高く、次いで「友だち」（小学生 30.1%、中学生 41.4%）となっている。



(5) 相談・支援機関の認知状況

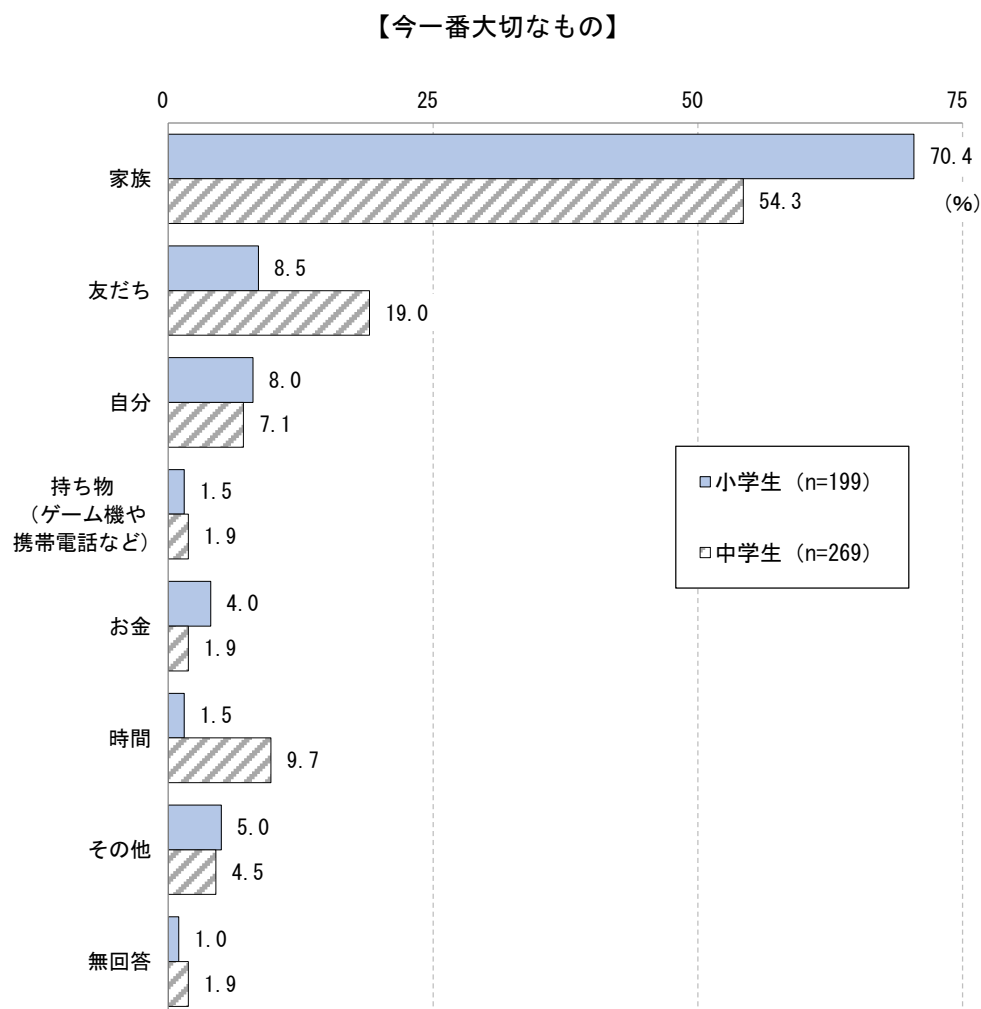
問9 次にあげる相談・支援機関の中で知っているものはありますか。(あてはまるすべてに○)



相談・支援機関の中で知っているものとしては、小学生・中学生ともに、「猪名川町役場」(小学生39.7%、中学生50.2%)が最も高く、次いで「子どもの人権110番」(小学生27.6%、中学生35.7%)、「猪名川町教育支援センター」(小学生15.6%、中学生23.4%)となっている。一方、「知っているものはない」は、小学生で28.6%、中学生で20.4%みられる。

(6) 今一番大切なもの

問 10 あなたが、今一番大切だと思っているのは次のうちどれですか。(ひとつに○)



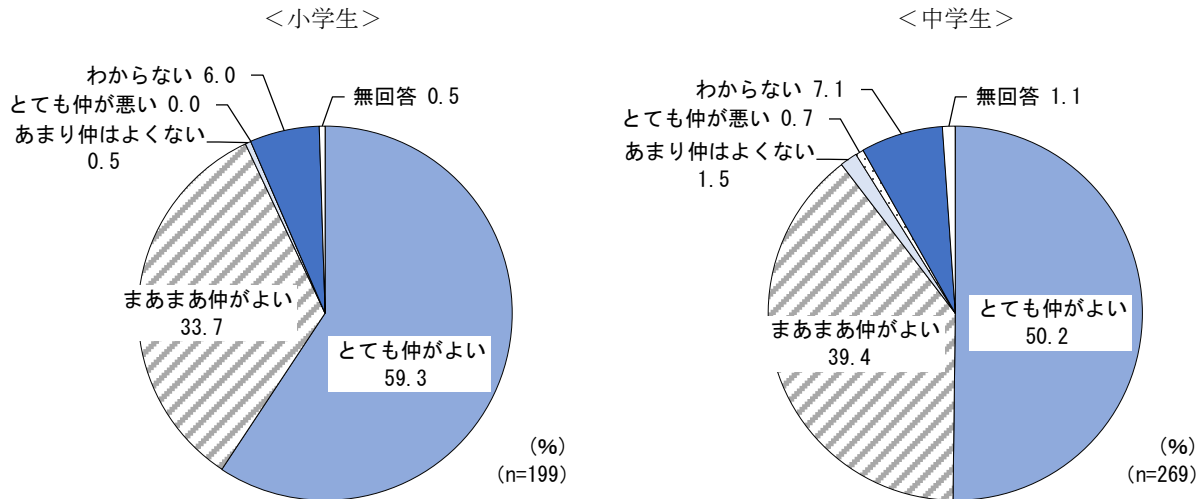
今一番大切だと思っているものとしては、小学生・中学生ともに、「家族」(小学生 70.4%、中学生 54.3%) が最も高く、次いで「友だち」(小学生 8.5%、中学生 19.0%) となっている。また、これに続くのが、小学生では「自分」(8.0%)、中学生では「時間」(9.7%) となっている。

(7) 家族との関係

①家族との関係性

問 11 あなたと家族との関係についてどう思いますか。(ひとつに○)

【家族との関係性】



家族との関係について、「とても仲がよい」が、小学生で約6割(59.3%)、中学生で約5割(50.2%)を占めている。また、「まあまあ仲がよい」を合わせた、仲がよいという割合は、小学生で93.0%、中学生で89.6%となっている。

②家族との関係性に対する理由

問 11-1 そう思う理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

【家族との関係性に対する理由(「家族との関係性」別)】

<小学生>

関係性	調査数(人)	理由 (MA%)							
		し自分 てく れ て い る を よ く 理 解	あ子 育 て ・ 教 育 に 熱 心 で	れ気 軽 に 相 談 に 乗 っ て く	てよ い こ と を し た ら ほ め	し家 族 と の 時 間 を 大 切 に	接 す る 機 会 が 少 な い	そ の 他	無 回 答
とても仲がよい	118	67.8	25.4	46.6	48.3	33.9	0.8	4.2	0.8
まあまあ仲がよい	67	44.8	10.4	23.9	50.7	14.9	6.0	9.0	3.0
あまり仲はよくない	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
とても仲が悪い	0								
わからない	12	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	25.0	41.7	8.3

<中学生>

(MA%)

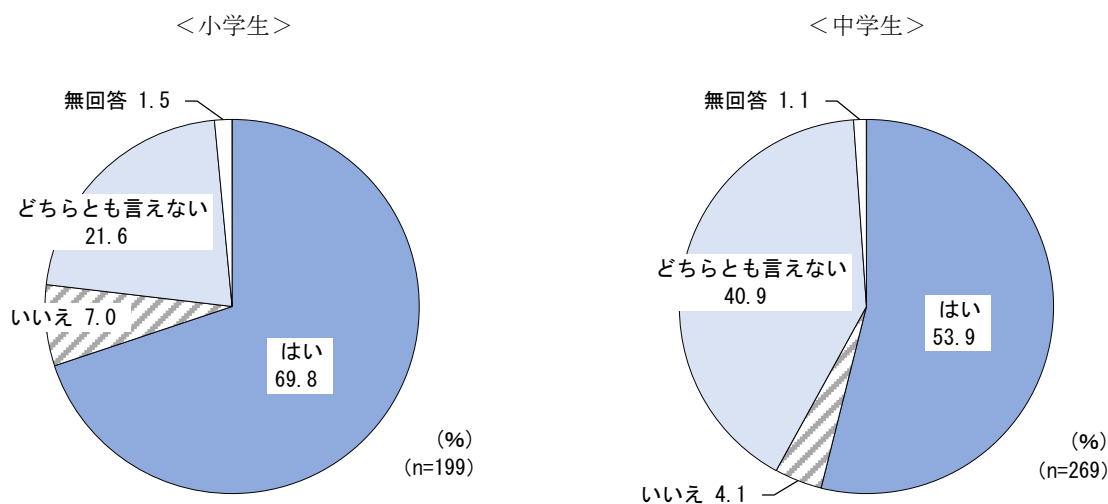
	調査数 (人)	自分のことをよく理解 してくれている	子育て・教育に熱心で ある	気軽に相談に乗ってく れる	よいことをしたらほめ てくれる	家族との時間を大切に している	接する機会が少ない	その他	無回答
とても仲がよい	135	74.8	33.3	50.4	49.6	47.4	1.5	3.0	0.7
まあまあ仲がよい	106	38.7	20.8	32.1	39.6	27.4	2.8	2.8	0.9
あまり仲はよくない	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0
とても仲が悪い	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
わからない	19	10.5	5.3	5.3	10.5	10.5	26.3	21.1	15.8

家族との関係性の回答別に、その理由をみると、小学生・中学生ともに、『とても仲がよい』では「自分のことをよく理解してくれている」、『まあまあ仲がよい』では「よいことをしたらほめてくれる」が、それぞれ最も高くなっている。

(8) いじめに対する声かけの可否

問 12 友だちがいじめられていたら、声をかけてあげることができますか。(ひとつに○)

【いじめに対する声かけの可否】



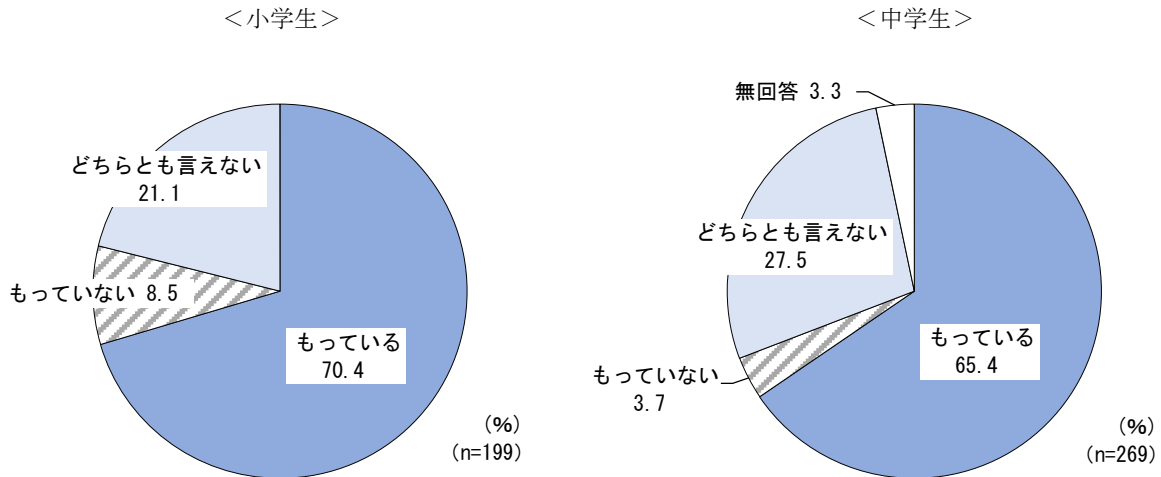
友だちがいじめられていたら、声をかけてあげることができる（「はい」）という割合は、小学生で69.8%、中学生で53.9%となっている。

(9) 自分らしさの発揮状況

①自分らしさの有無

問 13 あなたは“自分らしさ”をもっていると思いますか。(ひとつに○)

【自分らしさの有無】



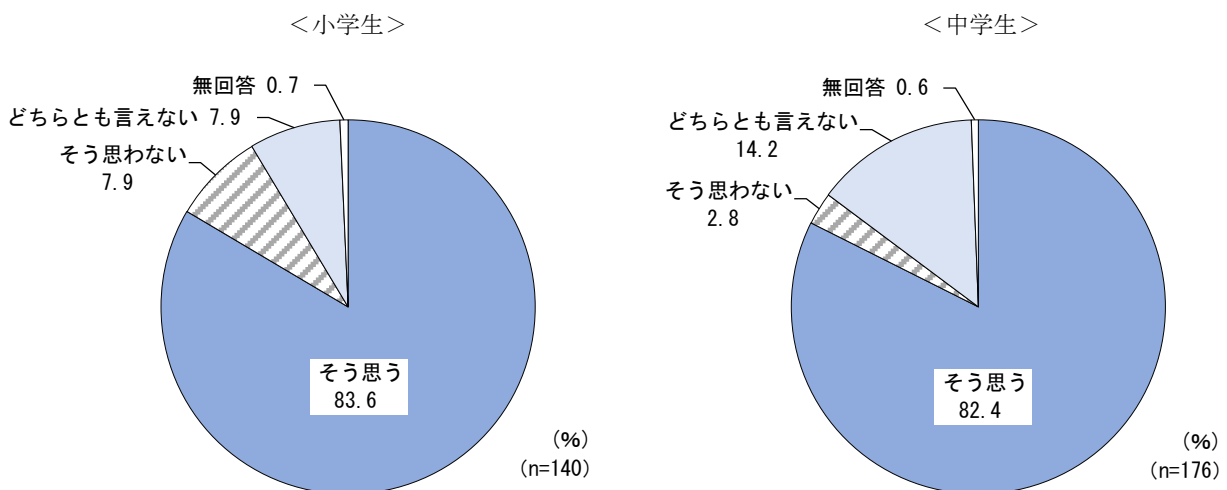
自分らしさを「もっている」という割合は、小学生で70.4%、中学生で65.4%となっている。

②自分らしさの発揮の可否

問 13で「もっている」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-1 学校や家庭などで“自分らしさ”を出せたり、知ってもらえたりしていますか。(ひとつに○)

【自分らしさの発揮の可否】



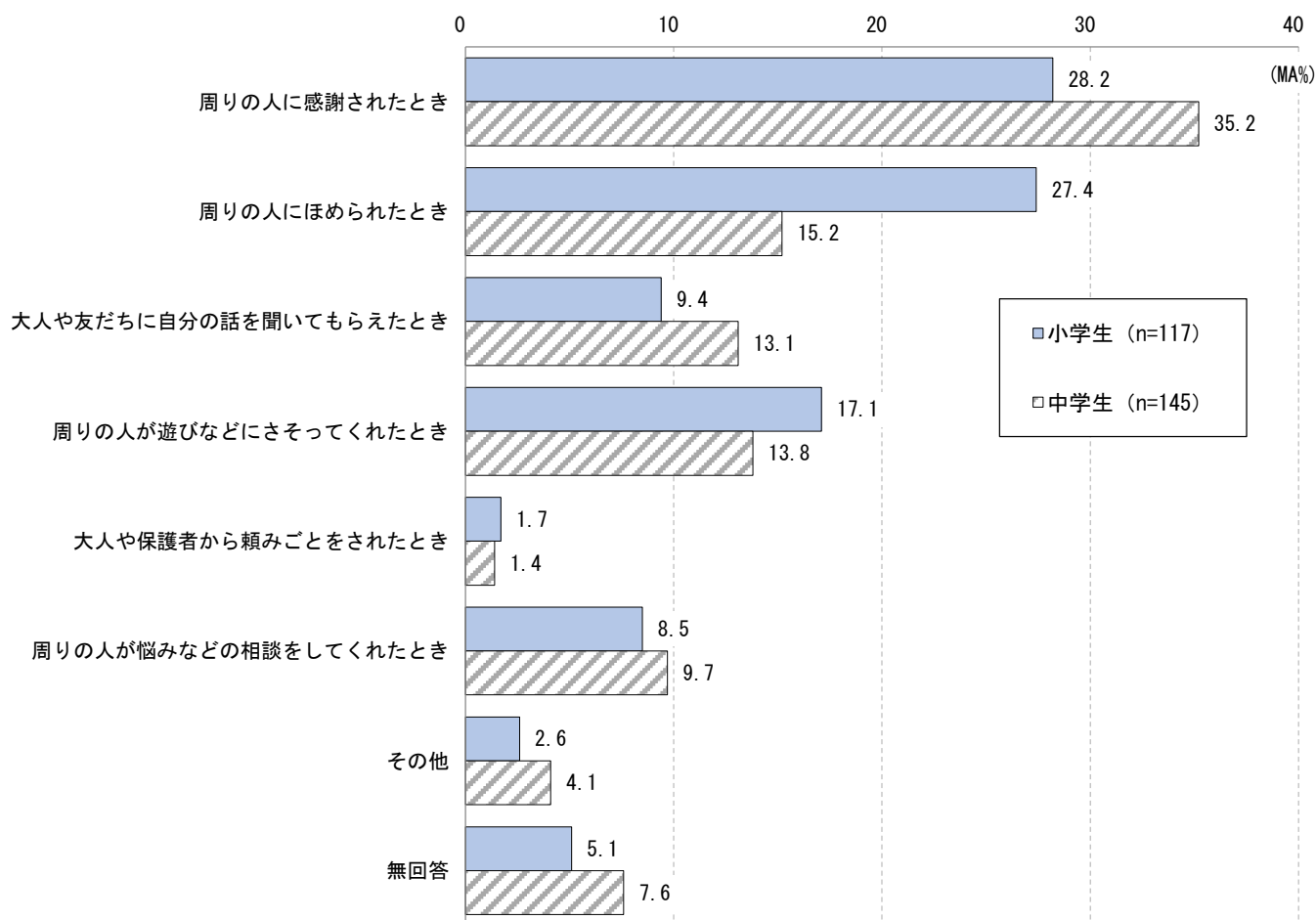
自分らしさをもっていると回答した児童・生徒のうち、学校や家庭などで自分らしさを出せたり、知ってもらえたりしていると思う(「そう思う」という割合は、小学生で83.6%、中学生で82.4%と、ともに8割台を占めている。

③自分らしさを出せたと感じる場面

問 13-1 で「そう思う」に○をつけた方にうかがいます。

問 13-2 “自分らしさ”を出せたり、知ってもらえたと感じるのはどんなときですか。(ひとつに○)

【自分らしさを出せたと感じる場面】



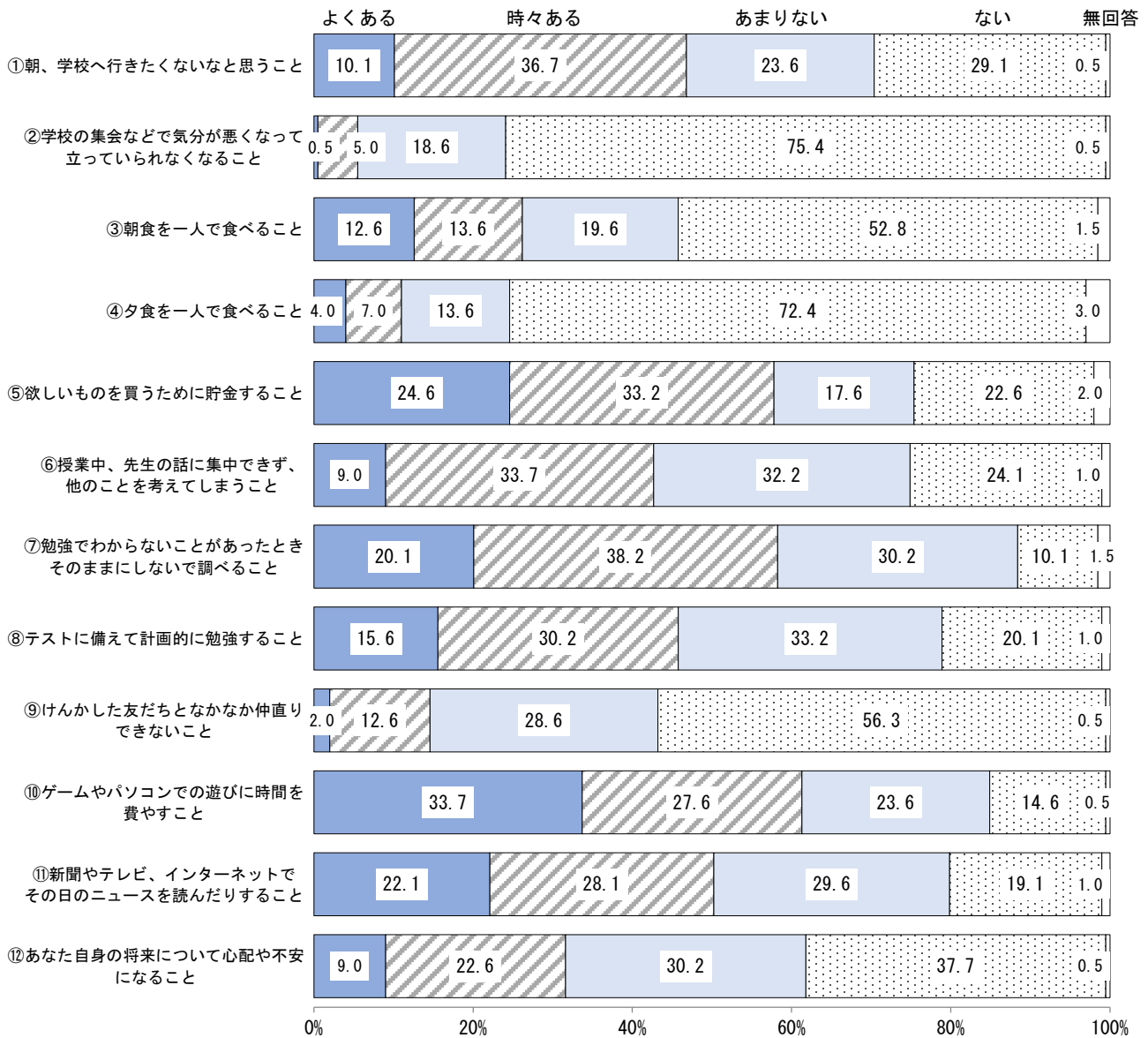
自分らしさを出せたり、知ってもらえたりしていると思うと回答した児童・生徒がそう感じる場面としては、小学生・中学生ともに「周りの人に感謝されたとき」が最も高く、小学生で 28.2%、中学生で 35.2%となっている。また、小学生では、「周りの人にほめられたとき」も 27.4%と高い。

(10) 生活の中での活動内容の頻度

問 14 あなたはふだんの生活の中で次のようなことがどのくらいありますか。  
 (①～⑫それぞれひとつに○)

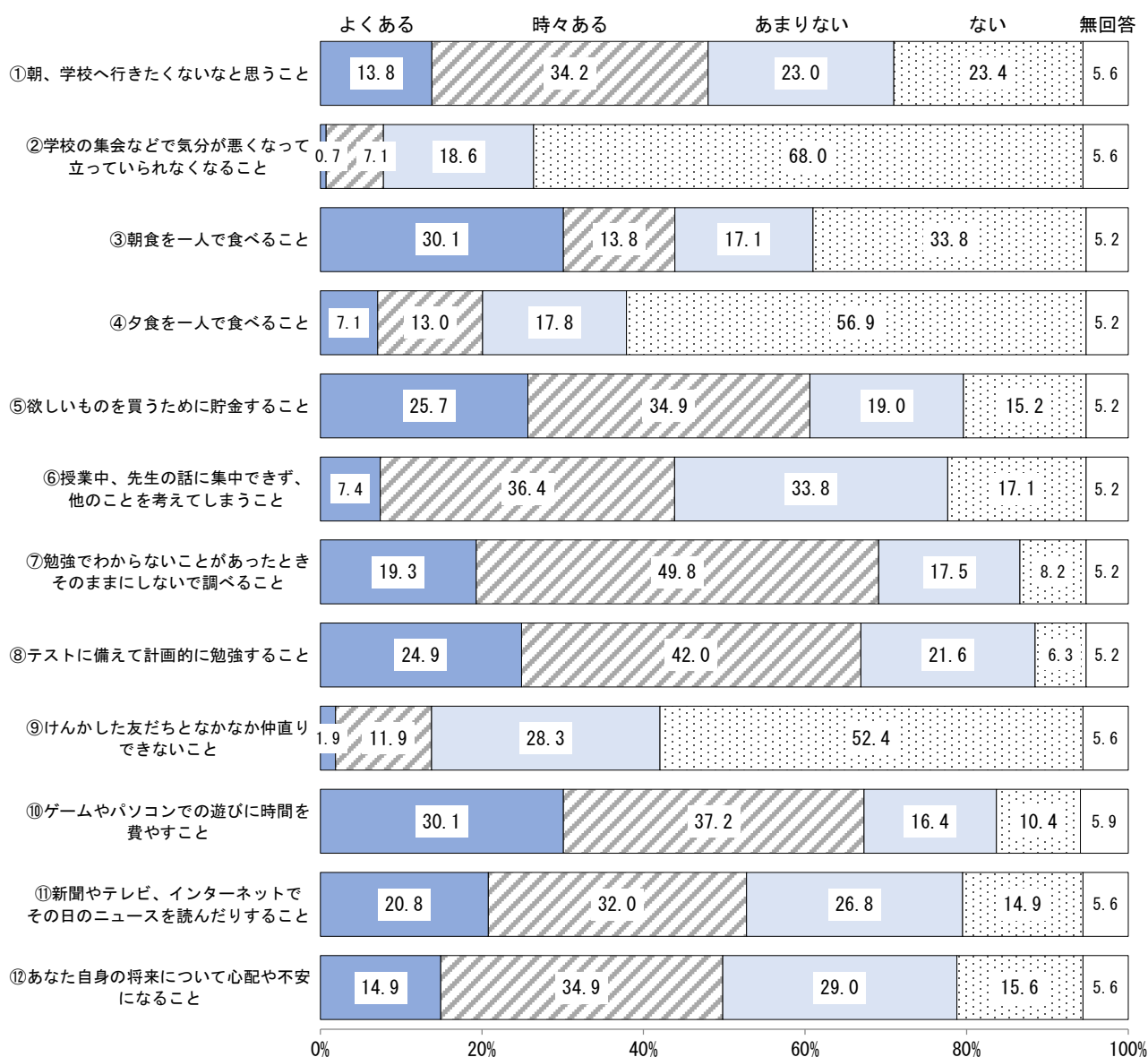
【生活の中での活動内容の頻度】

<小学生>



ふだんの生活の中での活動内容（12項目）について、「よくある」または「時々ある」と回答した割合でみると、小学生では、『⑩ゲームやパソコンでの遊びに時間を費やすこと』で61.3%と最も高く、次いで『⑦勉強でわからないことがあったときそのままにしないで調べること』で58.3%、『⑤欲しいものを買うために貯金すること』で57.8%、『⑪新聞やテレビ、インターネットでその日のニュースを読んだりすること』で50.2%となっている。

<中学生>

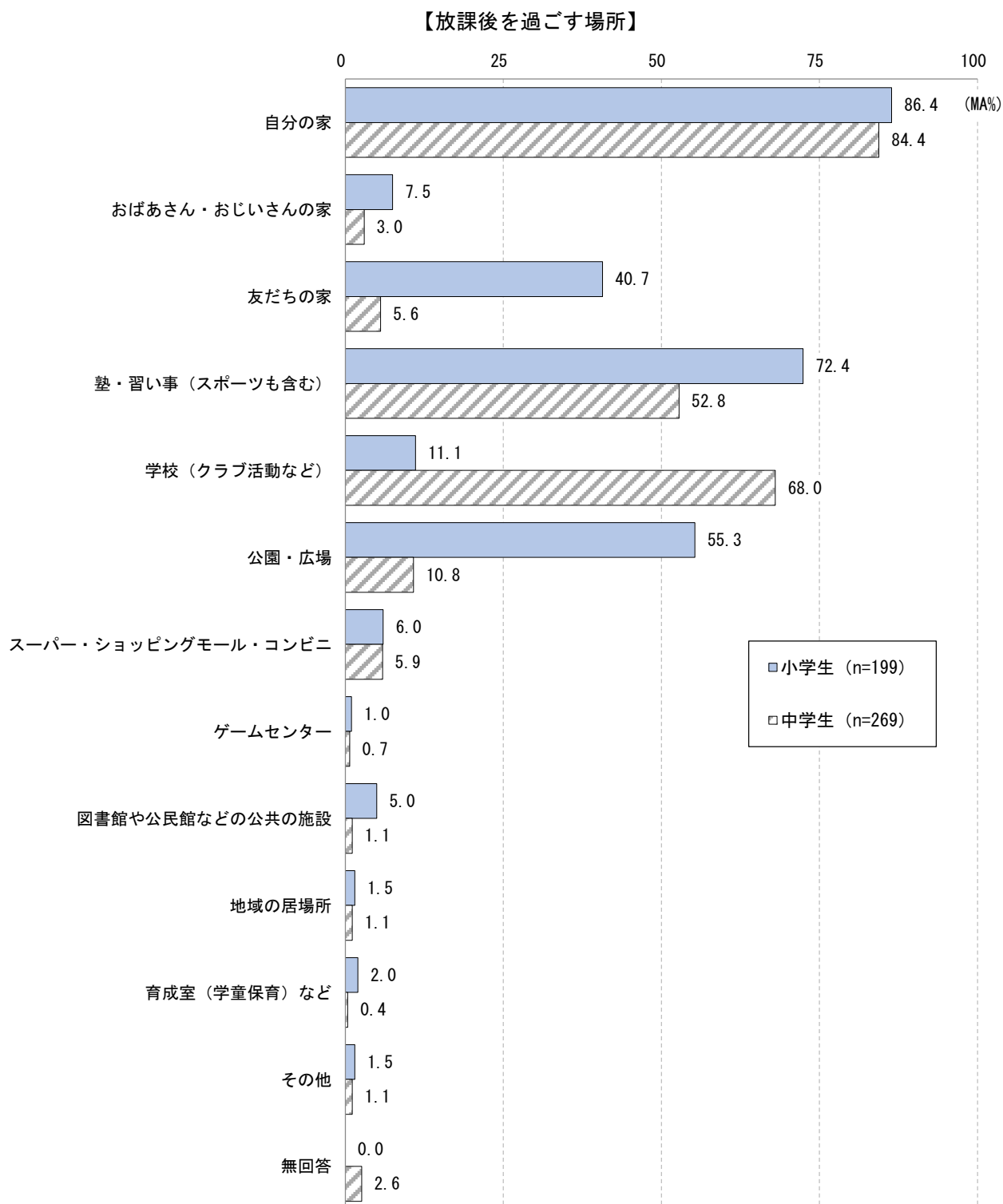


ふだんの生活の中での活動内容（12項目）について、「よくある」または「時々ある」と回答した割合でみると、中学生では、『⑦勉強でわからないことがあったときそのままにしないで調べること』で69.1%と最も高く、次いで『⑩ゲームやパソコンでの遊びに時間を費やすこと』で67.3%、『⑧テストに備えて計画的に勉強すること』で66.9%、『⑤欲しいものを買うために貯金すること』で60.6%となっている。



(11) 放課後を過ごす場所

問 15 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。（あてはまるすべてに○）



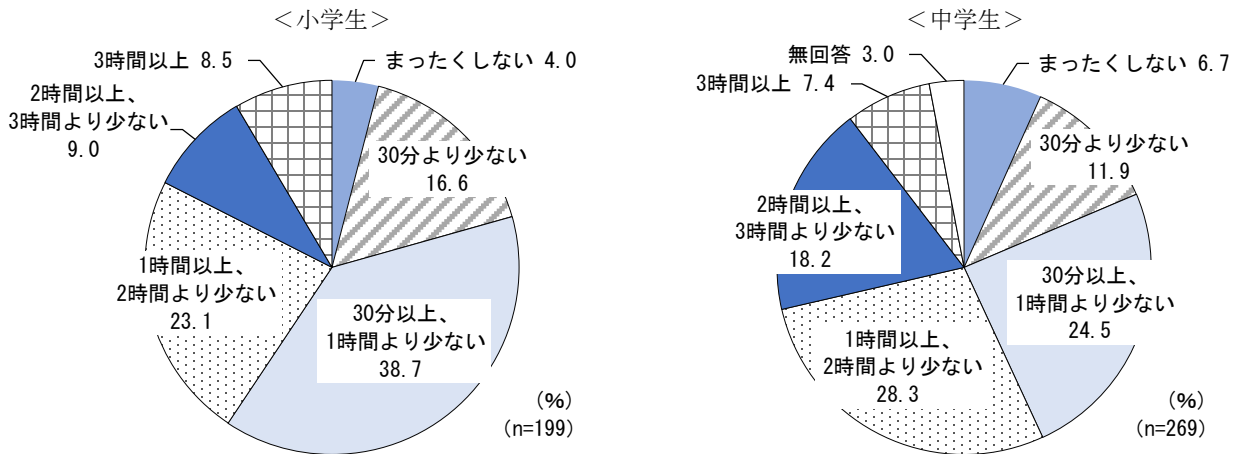
放課後を過ごす場所としては、「自分の家」が小学生で86.4%、中学生で84.4%と、ともに最も高くなっている。これに続くのが、小学生では、「塾・習い事 (スポーツも含む)」が72.4%、「公園・広場」が55.3%、「友だちの家」が40.7%となっており、中学生では、「学校 (クラブ活動など)」が68.0%、「塾・習い事 (スポーツも含む)」が52.8%と続いている。

(12) 学校以外での勉強の状況

① 1日当たりの勉強時間

問 16 あなたは、ふだん、授業時間以外に1日あたりどれくらい勉強をしますか。(塾などの時間も含む) (ひとつに○)

【1日当たりの勉強時間】



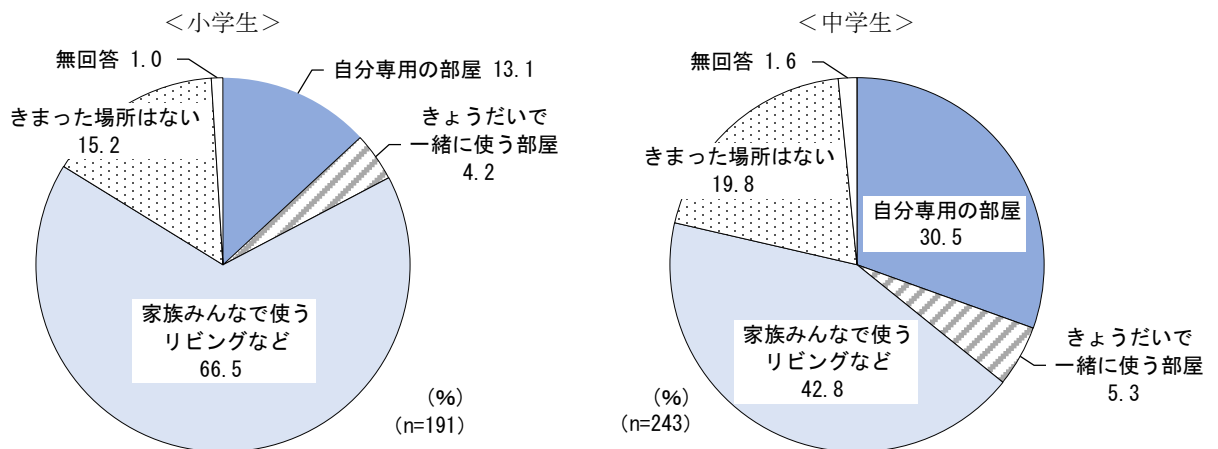
1日あたりの勉強時間（塾などの時間を含む）として、小学生では「30分以上、1時間より少ない」が38.7%、中学生では「1時間以上、2時間より少ない」が28.3%と、それぞれ最も高くなっている。

② 家で勉強する際の主な場所

問 16 で「30分より少ない」～「3時間以上」に○をつけた方にうかがいます。

問 17 あなたは、家で勉強するとき、どこで勉強していますか。(ひとつに○)

【家で勉強する際の主な場所】



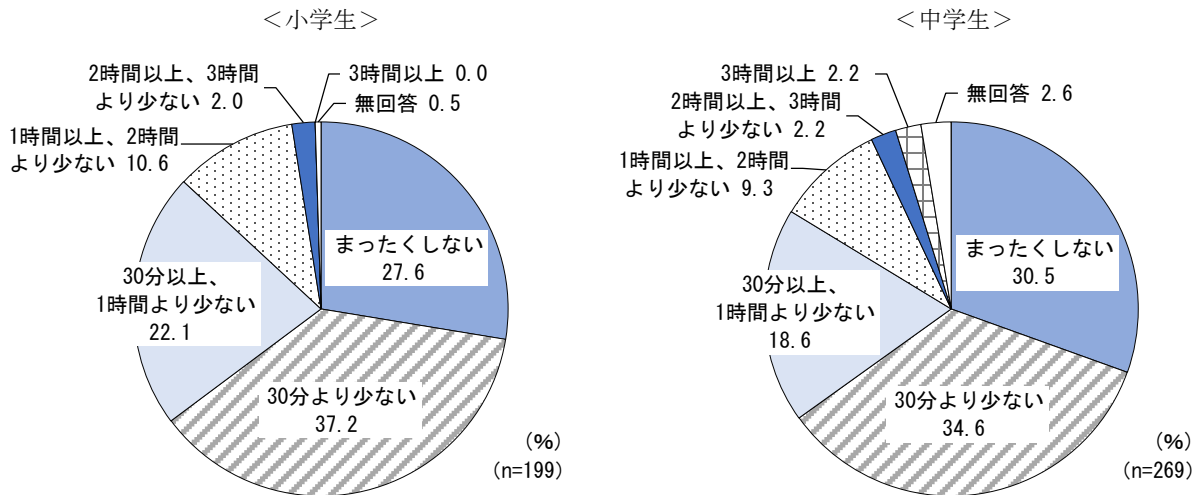
30分以上勉強すると回答した児童・生徒の家で勉強する際の主な場所として、小学生では、「家族みんなで使うリビングなど」が6割台（66.5%）を占めている。

中学生では、「家族みんなで使うリビングなど」が42.8%と最も高く、次いで「自分専用の部屋」が30.5%となっている。

(13) 1日当たりの読書時間

問 18 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらい読書をしますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞく) (ひとつに○)

【1日当たりの読書時間】

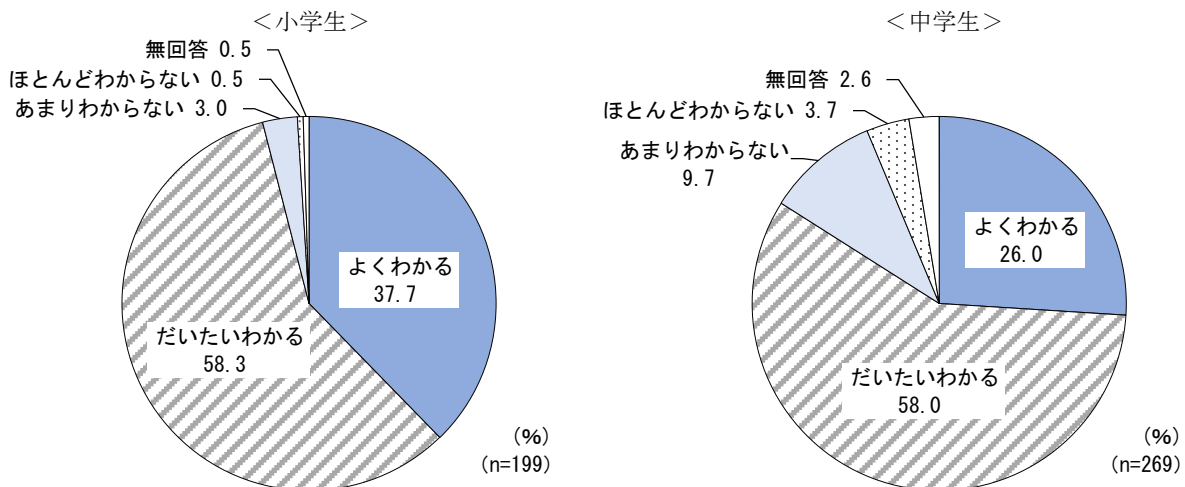


1日当たりの読書時間としては、小学生・中学生ともに、「30分より少ない」(小学生 37.2%、中学生 34.6%) が最も高く、次いで「まったくしない」(小学生 27.6%、中学生 30.5%) となっている。一方、30分以上の割合は、小学生で 34.7%、中学生で 32.3%と、ともに3割台となっている。

(14) 学校での勉強の理解度

問 19 学校の勉強はわかりますか。一番あなたの気持ちに近いものはどれですか。(ひとつに○)

【学校での勉強の理解度】

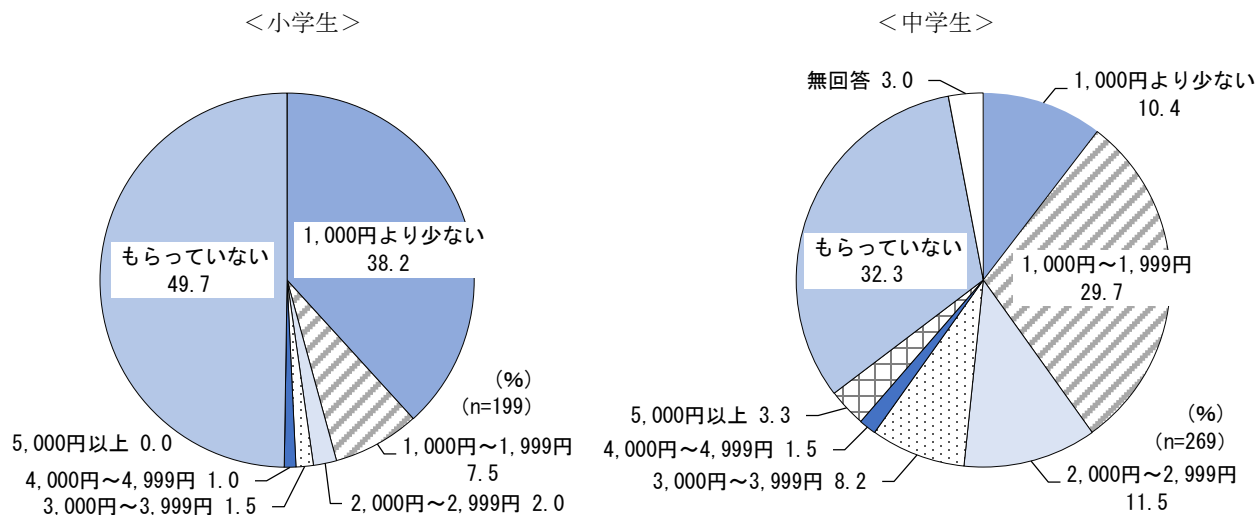


学校の勉強について、「よくわかる」が、小学生で 37.7%、中学生で 26.0%となっている。一方、「あまりわからない」または「ほとんどわからない」は、小学生で 3.5%に対し、中学生では1割台 (13.4%) みられる。

(15) おこづかいの月額

問 20 あなたの毎月のおこづかいはいくらですか。(ひとつに○)

【おこづかいの月額】



おこづかいを毎月もらっているという割合は、小学生で約5割(50.2%)、中学生で6割台(64.6%)となっている。月額の割合をみると、小学生では「1,000円より少ない」が38.2%、中学生では「1,000円～1,999円」が29.7%と、それぞれ最も高くなっている。

(16) 手助け等をしてくれる人

問 21 あなたに①～⑥のことをしてくれる人はだれですか。(あてはまるすべてに○)

【手助け等をしてくれる人】

<小学生>

(MA%)

	(人) 調査数	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	きょうだい	友だち	学校の先生	地域の人	その他の人	誰もいない	無回答
①勉強やスポーツなどでがんばったときに、ほめてくれる	199	85.4	66.8	51.3	23.6	40.2	36.2	7.0	12.1	3.5	2.0
②あなたのことを大切にしてくれる	199	93.0	83.9	80.9	56.3	66.8	46.2	22.6	14.1	0.5	2.0
③長所も短所もよくわかっている	199	86.4	69.3	48.2	43.7	46.7	34.2	3.5	7.0	2.5	2.0
④悩みや困ったことがあると助けてくれる	199	83.4	62.8	40.7	33.7	67.8	45.7	8.0	7.5	2.0	2.0
⑤わからないことがあると教えてくれる	199	83.4	66.8	42.2	54.3	62.3	63.3	7.5	8.0	1.0	1.5
⑥まちがったことをすると叱ったり注意してくれる	199	94.0	78.4	48.7	39.7	30.2	66.8	8.0	8.0	0.0	1.5

手助け等をしてくれる人として6項目についてたずねたところ、小学生では、いずれの項目も「お母さん」が最も高く、『⑥まちがったことをすると叱ったり注意してくれる』で94.0%、『②あなたのことを大切にしてくれる』で93.0%などとなっている。また、「友だち」が『④悩みや困ったことがあると助けてくれる』で67.8%、「学校の先生」が『⑥まちがったことをすると叱ったり注意してくれる』で66.8%と、それぞれ最も高い。

<中学生>

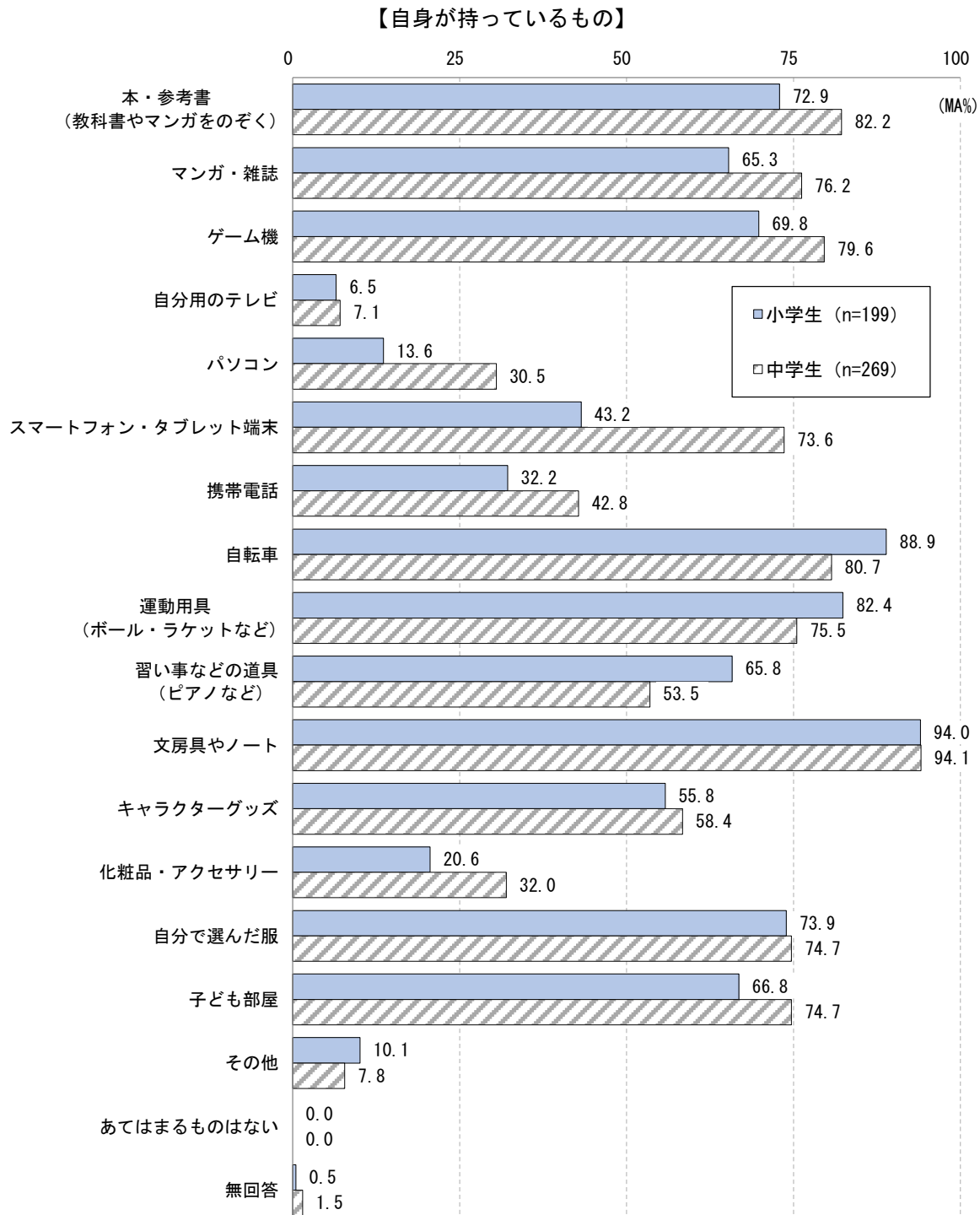
(MA%)

	(人) 調査数	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	きょうだい	友だち	学校の先生	地域の人	その他の人	誰もいない	無回答
①勉強やスポーツなどでがんばったときに、ほめてくれる	269	87.0	64.7	48.3	32.0	58.0	41.3	8.9	9.3	4.1	1.5
②あなたのことを大切にしてくれる	269	90.7	82.2	66.2	55.0	74.0	37.9	17.8	10.0	2.2	1.9
③長所も短所もよくわかっている	269	86.2	69.9	35.7	46.5	51.7	20.4	2.2	5.2	3.3	2.6
④悩みや困ったことがあると助けてくれる	269	80.7	58.4	31.6	38.3	69.9	32.7	3.7	4.8	2.6	2.2
⑤わからないことがあると教えてくれる	269	71.0	56.1	21.9	51.3	69.5	52.4	2.6	7.8	2.2	2.2
⑥まちがったことをすると叱ったり注意してくれる	269	91.4	74.3	29.7	34.2	33.8	56.5	5.6	5.6	1.5	2.6

手助け等をしてくれる人として6項目についてたずねたところ、中学生では、いずれの項目も「お母さん」が最も高く、『⑥まちがったことをすると叱ったり注意してくれる』で91.4%、『②あなたのことを大切にしてくれる』で90.7%などとなっている。また、「友だち」が『②あなたのことを大切にしてくれる』で74.0%、「学校の先生」が『⑥まちがったことをすると叱ったり注意してくれる』で56.5%と、それぞれ最も高い。

(17) 自身が持っているもの

問 22 あなたが、持っているものや、あなたが自由に使うことができるものを選んでください。  
(あてはまるすべてに○)



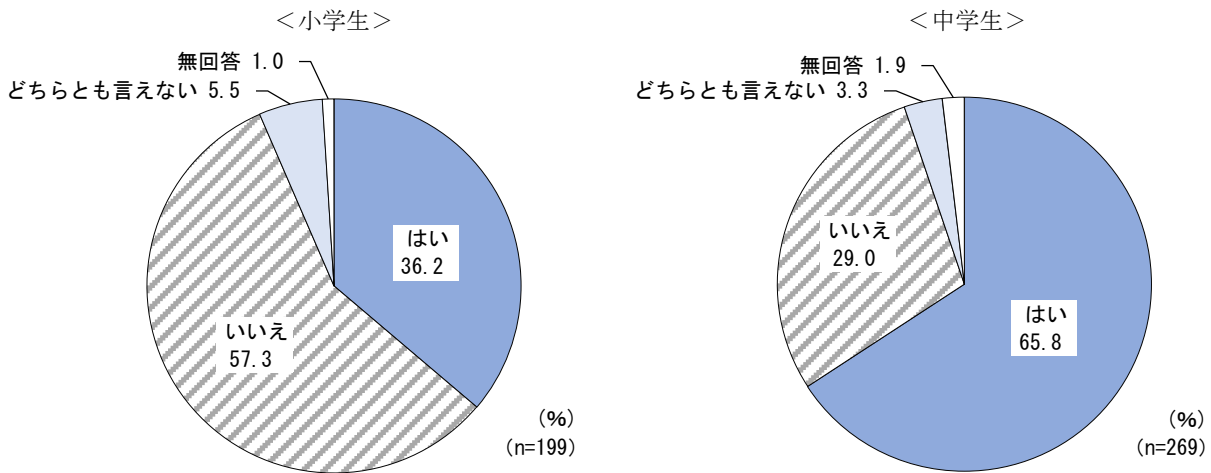
自身が持っているものや、自由に使うことができるものとしては、「文房具やノート」が小学生で94.0%、中学生で94.1%と、ともに最も高くなっている。これに続くのが、小学生では、「自転車」が88.9%、「運動用具（ボール・ラケットなど）」が82.4%、「自分で選んだ服」が73.9%となっており、中学生では、「本・参考書（教科書やマンガをのぞく）」が82.2%、「自転車」が80.7%、「ゲーム機」が79.6%と続いている。

### 3 携帯電話、タブレット端末、パソコンの利用について

#### (1) 携帯電話（スマートフォン）の所持状況

問 23 あなたは自分の携帯電話（スマートフォン）を持っていますか。（ひとつに○）

【携帯電話（スマートフォン）の所持状況】



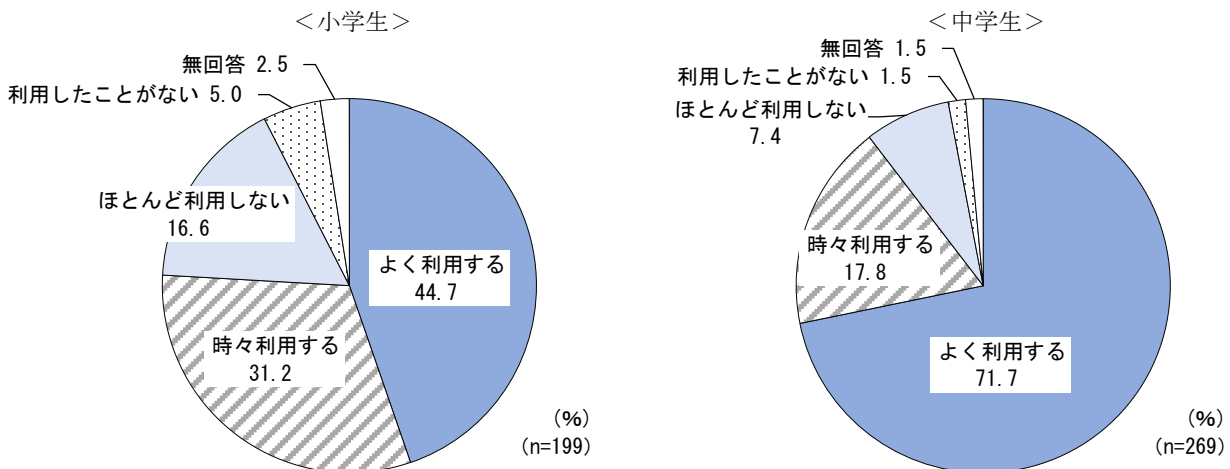
自分の携帯電話（スマートフォン）を持っている（「はい」）という割合は、小学生で36.2%、中学生で65.8となっている。

#### (2) インターネットの利用状況

##### ①インターネットの利用頻度

問 24 あなたは携帯電話（スマートフォン）、タブレット端末、パソコンでインターネットを利用していますか。（ひとつに○）

【インターネットの利用頻度】



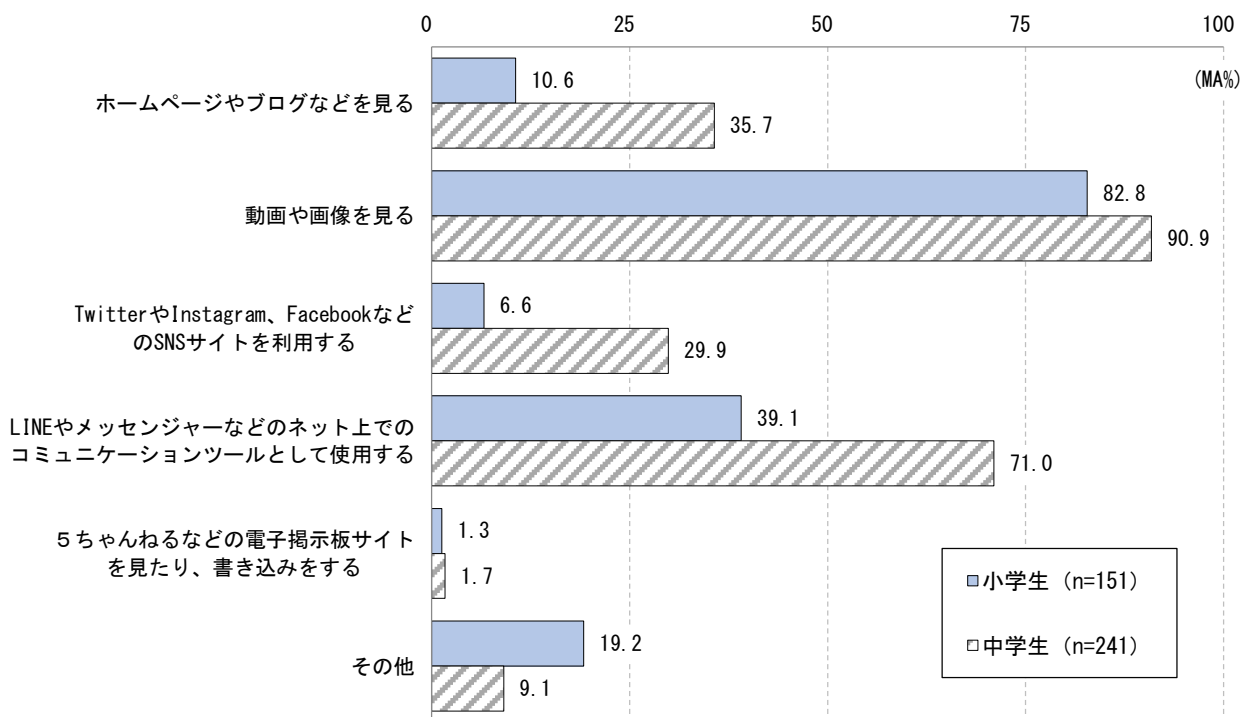
携帯電話（スマートフォン）、タブレット端末、パソコンでインターネットを利用するという割合（「よく利用する」「時々利用する」の計）が、小学生で7割台（75.9%）、中学生で約9割（89.5%）を、それぞれ占めている。

②インターネットの利用目的

問 24 で「よく利用する」「時々利用する」に○をつけた方にうかがいます。

問 24-1 あなたが携帯電話（スマートフォン）やタブレット端末、パソコンでインターネットを使う目的は次のうちどれですか。（あてはまるすべてに○）

【インターネットの利用目的】

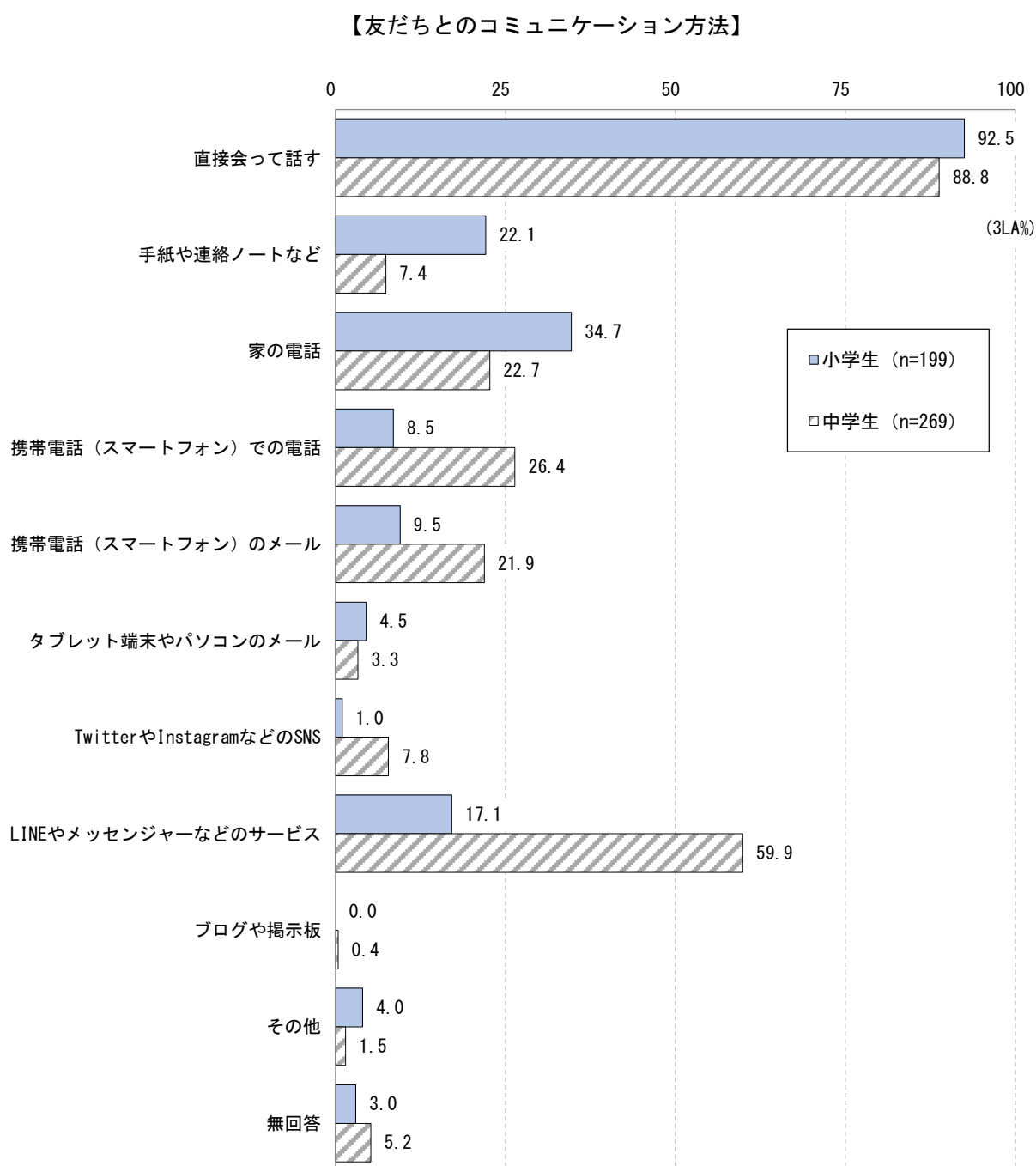


インターネットを利用すると回答した児童・生徒の利用目的としては、「動画や画像を見る」が小学生で82.8%、中学生で90.9%と、ともに最も高くなっている。また、中学生では、「LINEやメッセージなどのネット上でのコミュニケーションツールとして使用する」も71.0%と高い。



(3) 友だちとのコミュニケーション方法

問 25 友だちとのコミュニケーション方法で主なものはどれですか。(あてはまる3つまでに○)



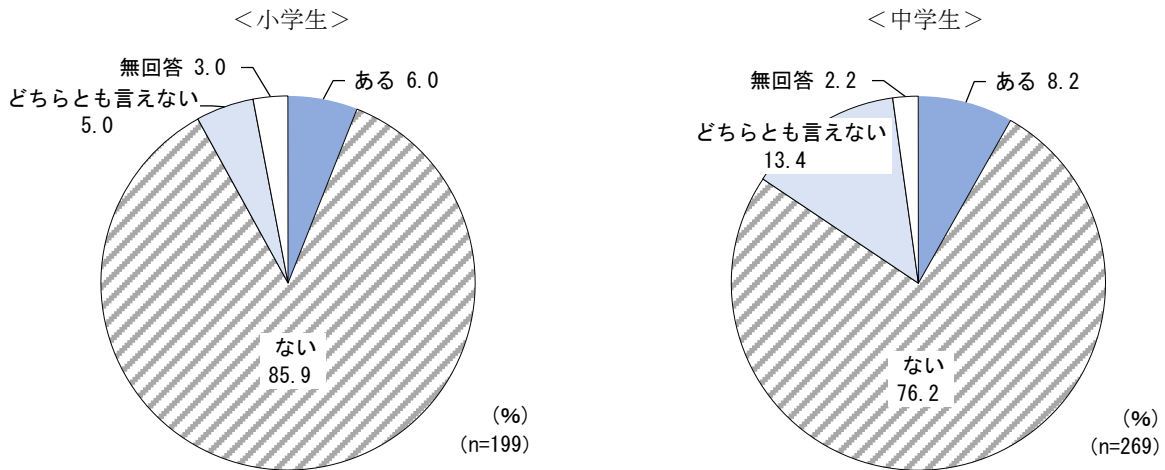
主な友だちとのコミュニケーション方法としては、「直接会って話す」が小学生で 92.5%、中学生で 88.8%と、ともに最も高くなっている。これに続くのが、小学生では、「家の電話」が 34.7%、「手紙や連絡ノートなど」が 22.1%となっており、中学生では、「LINE やメッセージなどのサービス」が 59.9%、「携帯電話（スマートフォン）での電話」が 26.4%と続いている。

(4) インターネットを介したコミュニケーションでの問題

①インターネットを介していやな気持ちになった経験

問 26 インターネットを利用した友だちなどとのコミュニケーションにおいて、いやな気持ちになったことはありますか。(ひとつに○)

【インターネットを介していやな気持ちになった経験】



インターネットを利用した友だちなどとのコミュニケーションにおいて、いやな気持ちになったことが「ある」は、小学生で6.0%、中学生で8.2%となっている。

②いやな気持ちになった内容

問 26 で「ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 26-1 いやな気持ちになった経験は何ですか。(あてはまる3つまでに○)

【いやな気持ちになった内容】

		(3LA%)							
	調査数 (人)	しに自分	送すネ	なすネ	るネ	う自	くメ自	そ	無
		てだ分	らまッ	こまッ	ネッ	に分	メー分	他	回
		くけ、	られた	ととして	口を	に、情	ネット		
		れ、ネ	た	書か	を書	だ、報	が友		
		な誰ッ	た	か分	か、	けを	だち		
		かもト	た	れが	自分	を伝	にを		
		つた	た	た困	に	制わ	こに		
		の反	た	るに	対	限ら	送		
		の言	た	な	す	さな	つ		
		も	た	う		れた	り		
			た			たよ	た		
小学生	12	8.3	0.0	8.3	16.7	0.0	0.0	58.3	8.3
中学生	22	13.6	4.5	0.0	36.4	36.4	9.1	27.3	4.5

インターネットを介したコミュニケーションで、いやな気持ちになったことがあると回答した児童・生徒の具体的な内容として、中学生では、「ネット上で、自分に対する悪口を書かれた」、「自分にだけ伝わらないように、情報を制限された」がともに36.4%と最も高くなっている。

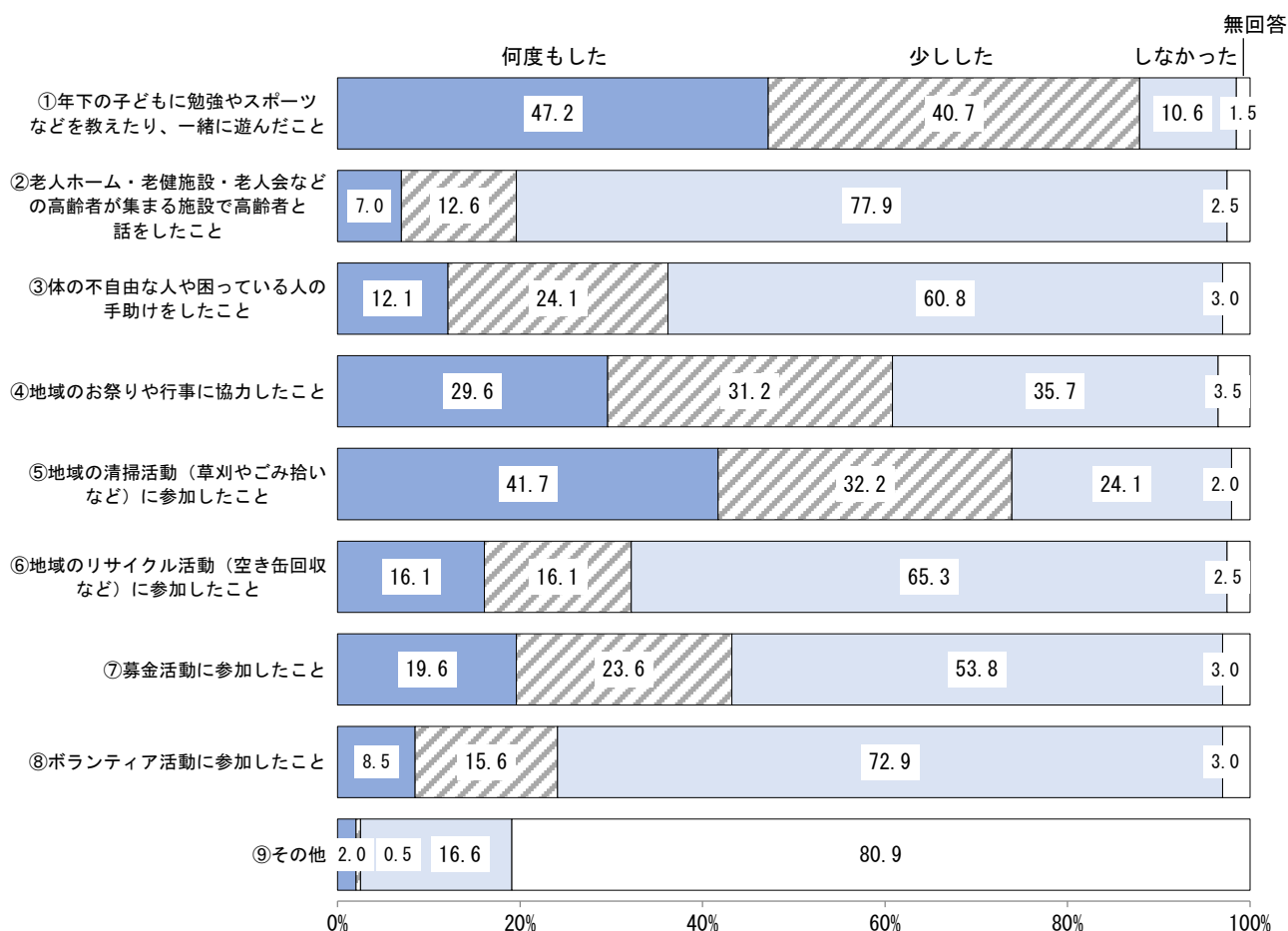
## 4 体験活動や地域活動について

### (1) 学校以外での活動状況

問 27 あなたは、過去 1 年間に、学校の授業や行事以外で、次のことをそれぞれのくらいしましたか。(①～⑨それぞれひとつに○)

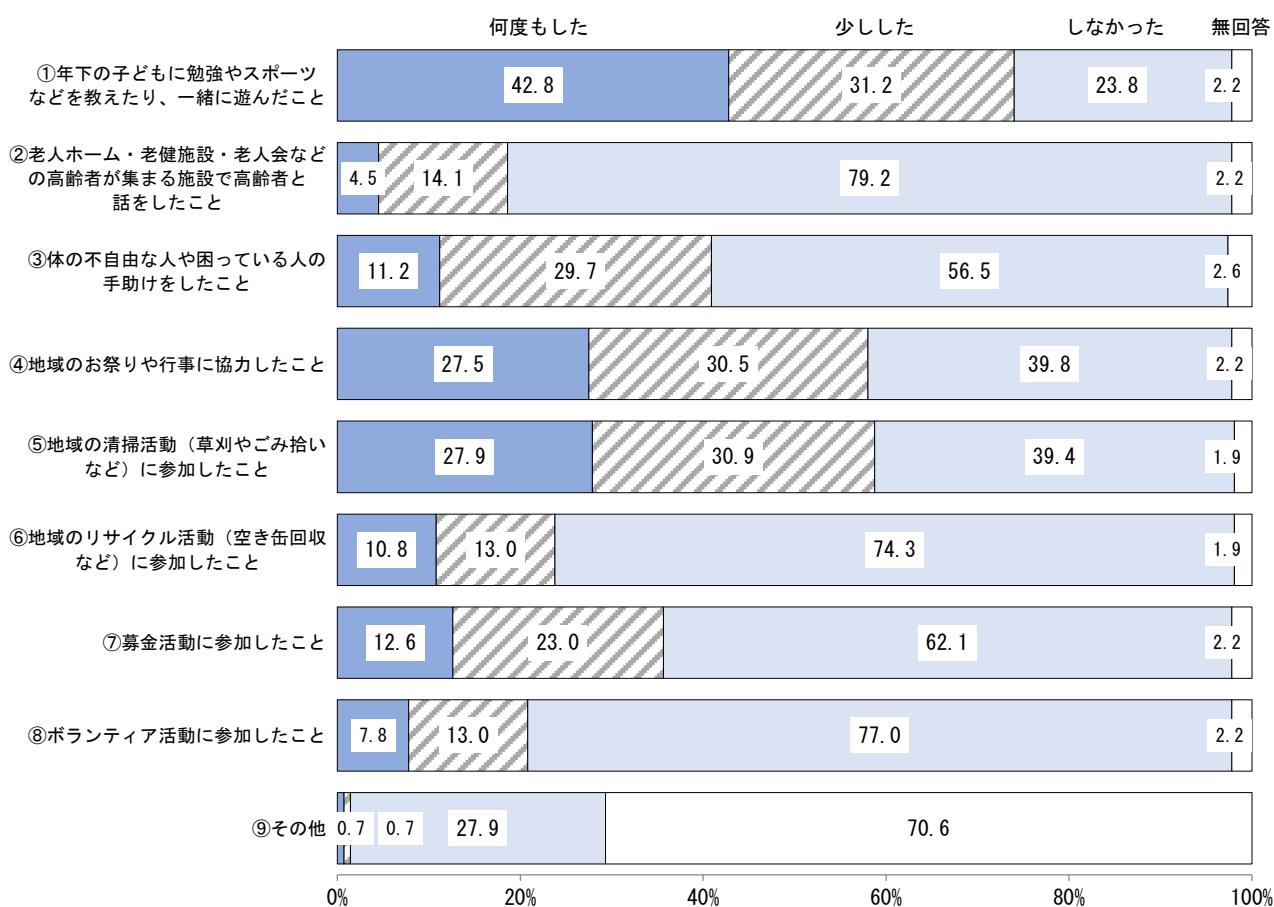
【学校以外での活動状況】

<小学生>



過去 1 年間の学校の授業や行事以外での活動状況（9 項目）について、したことがあるという割合（「何度もした」「少しした」の計）が、小学生では、『①年下の子どもに勉強やスポーツなどを教えたり、一緒に遊んだこと』で 87.9%と最も高く、次いで『⑤地域の清掃活動（草刈やごみ拾いなど）に参加したこと』で 73.9%、『④地域のお祭りや行事に協力したこと』で 60.8%、『⑦募金活動に参加したこと』で 43.2%となっている。

<中学生>



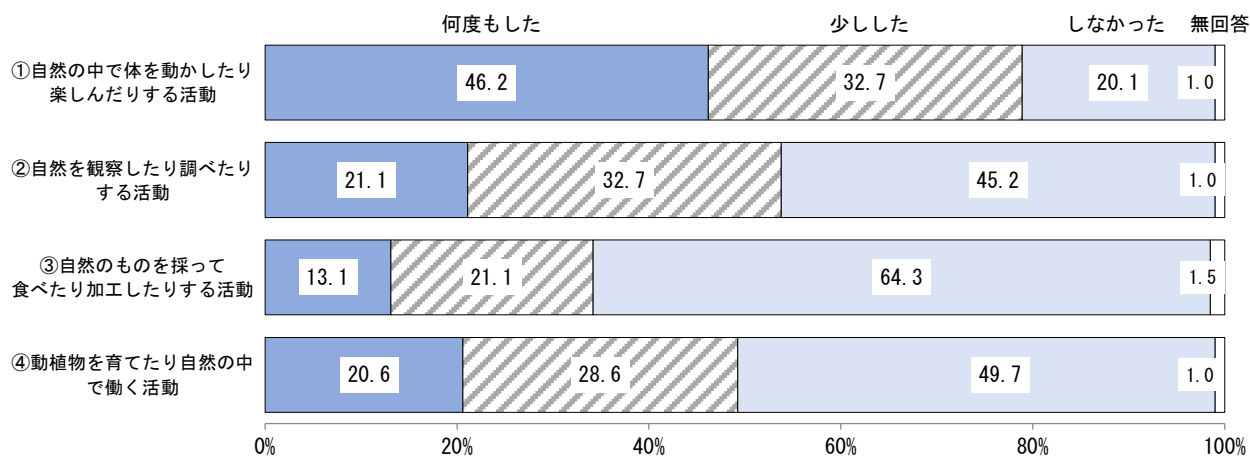
過去1年間の学校の授業や行事以外での活動状況（9項目）について、したことがあるという割合（「何度もした」「少しした」の計）が、中学生では、『①年下の子どもに勉強やスポーツなどを教えたり、一緒に遊んだこと』で74.0%と最も高く、次いで『⑤地域の清掃活動（草刈やごみ拾いなど）に参加したこと』で58.8%、『④地域のお祭りや行事に協力したこと』で58.0%、『③体の不自由な人や困っている人の手助けをしたこと』で40.9%となっている。

(2) 学校以外での自然とふれあう活動の状況

問 28 あなたは、過去 1 年間に、学校の授業や行事以外で、次の自然とふれあう活動をそれぞれのくらししましたか。(①～④それぞれひとつに○)

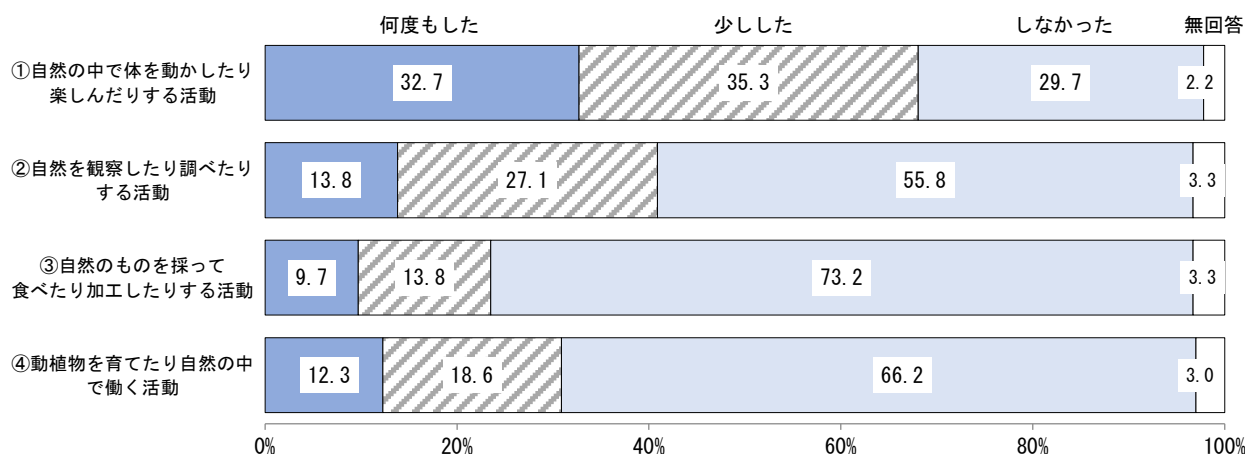
【学校以外での自然とふれあう活動の状況】

<小学生>



過去 1 年間に、学校の授業や行事以外での自然とふれあう活動（4 項目）について、したことがあるという割合（「何度もした」「少しした」の計）が、小学生では、『①自然の中で体を動かしたり楽しんだりする活動』で 78.9%と最も高く、次いで『②自然を観察したり調べたりする活動』で 53.8%となっている。

<中学生>

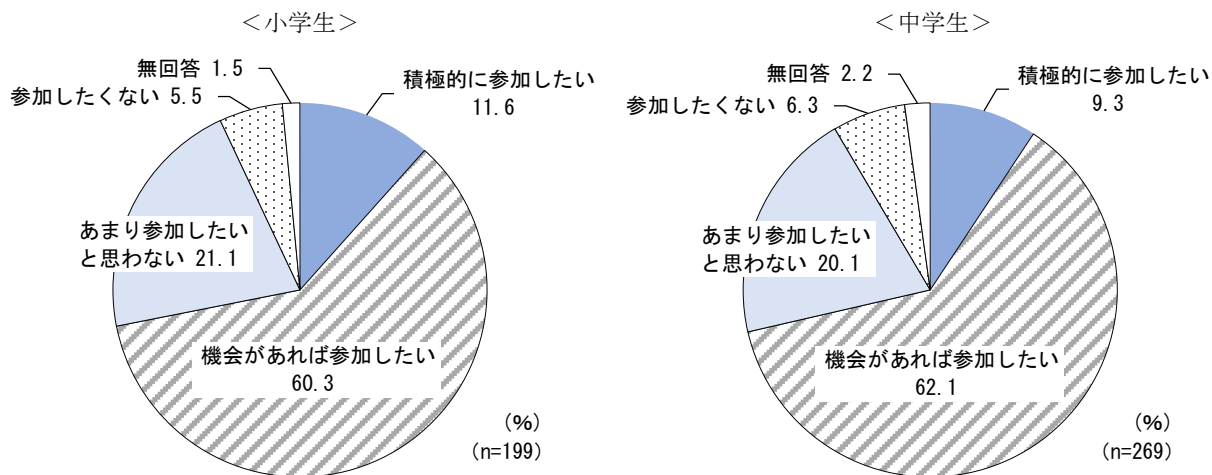


過去 1 年間に、学校の授業や行事以外での自然とふれあう活動（4 項目）について、したことがあるという割合（「何度もした」「少しした」の計）が、中学生では、『①自然の中で体を動かしたり楽しんだりする活動』で 68.0%と最も高く、次いで『②自然を観察したり調べたりする活動』で 40.9%となっている。

(3) 地域活動への参加意向

問 29 あなたは今後、地域の活動に参加したいと思いますか。(ひとつに○)

【地域活動への参加意向】

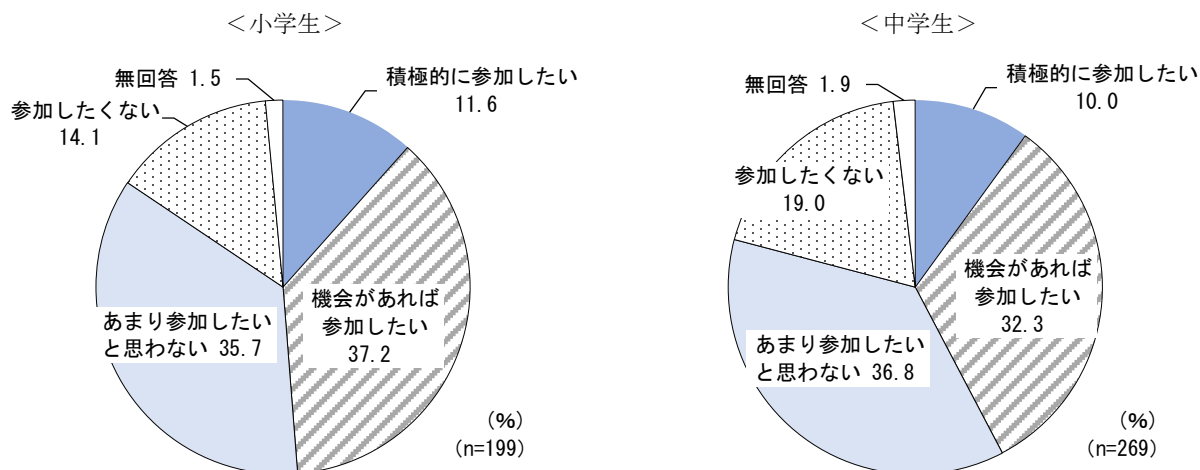


今後の地域の活動について、参加意向がある割合（「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」の計）が、小学生で71.9%、中学生で71.4%と、ともに7割台を占めている。

(4) 年下の遠足等へのリーダーとしての参加意向

問 30 年下の子どもたちの遠足やキャンプなどに、リーダーとして参加する機会があれば、参加したいと思いますか。(ひとつに○)

【年下の遠足等へのリーダーとしての参加意向】



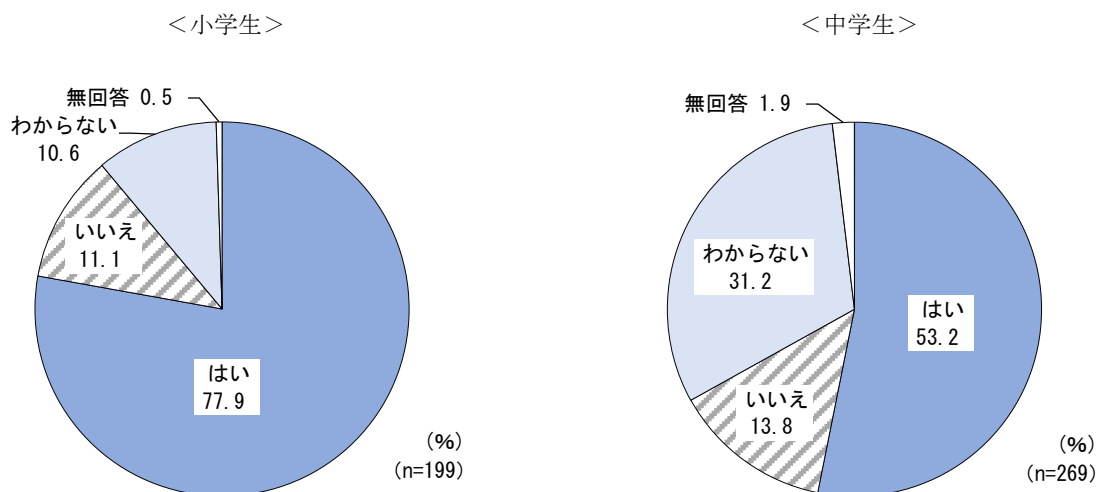
年下の子どもたちの遠足やキャンプなどへのリーダーとして参加する機会について、参加意向がある割合（「積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」の計）が、小学生で48.8%、中学生で42.3%と、ともに4割台となっている。

## 5 将来のことについて

### (1) 将来の夢の有無

問 31 将来の夢を持っていますか。(ひとつに○)

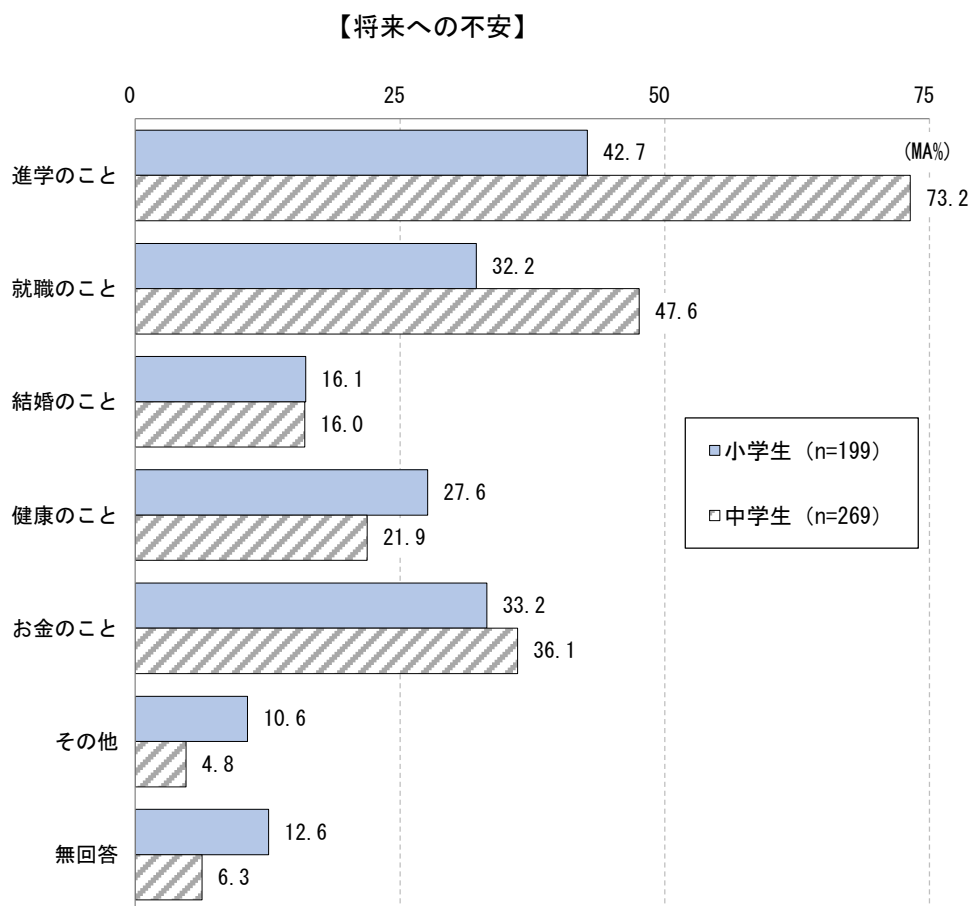
【将来の夢の有無】



将来の夢を持っている（「はい」）という割合は、小学生で 77.9%、中学生で 53.2%となっている。

(2) 将来への不安

問 32 将来ことで不安に思っていることはありますか。(あてはまるすべてに○)

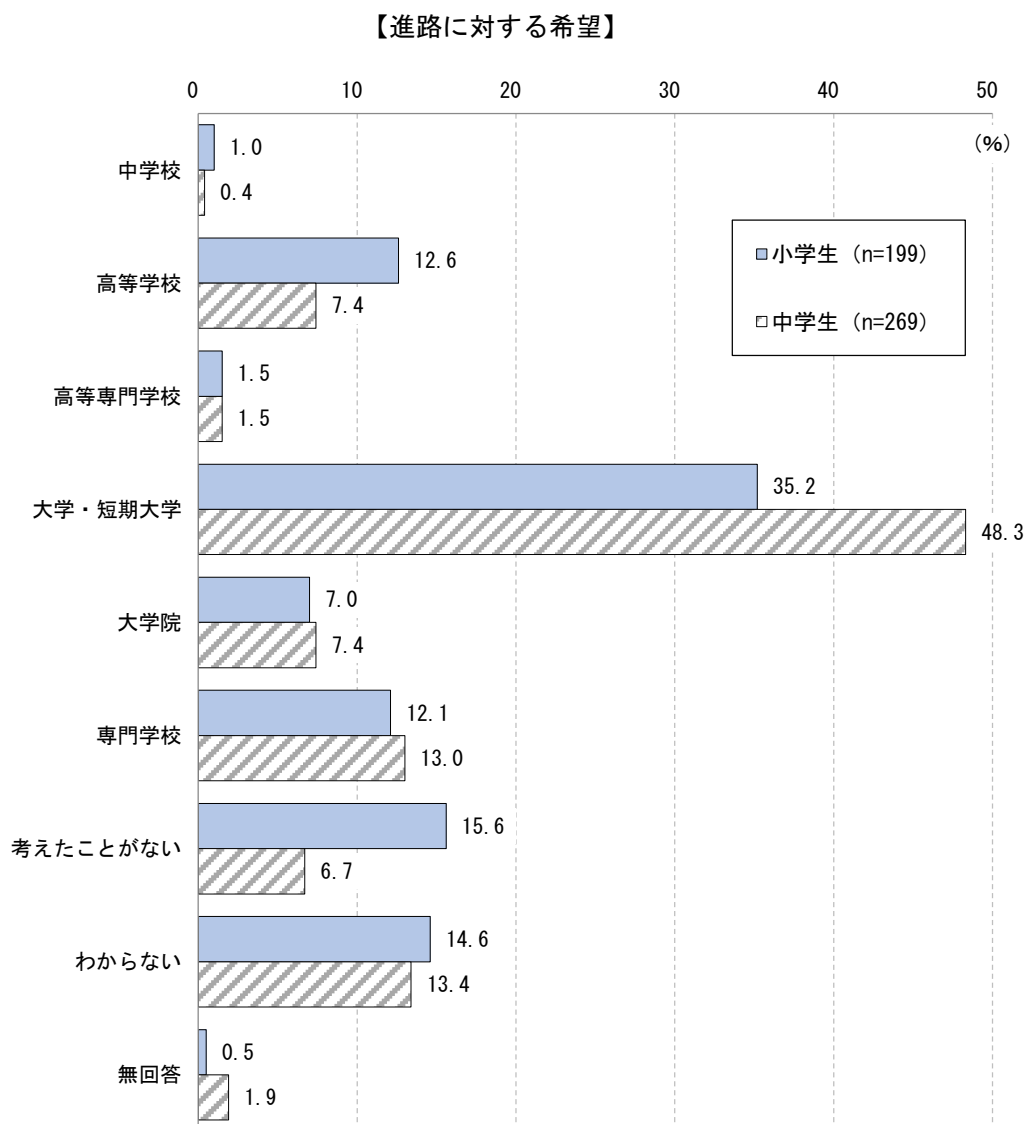


将来のことでは不安に思っていることとしては、「進学のこと」が小学生で42.7%、中学生で73.2%と、ともに最も高くなっている。これに続くのが、小学生では「お金のこと」が33.2%、中学生では「就職のこと」が47.6%となっている。



(3) 進路に対する希望

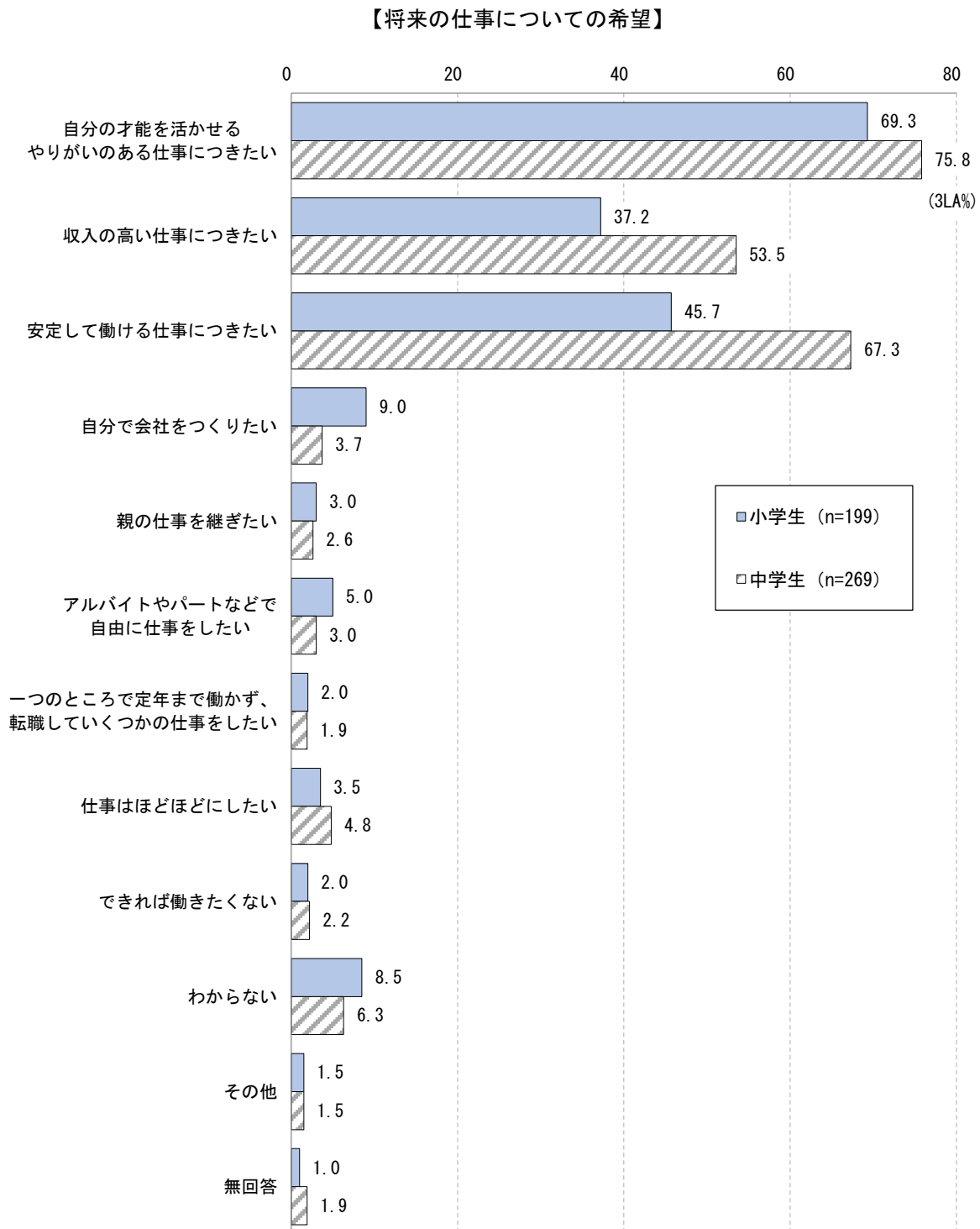
問 33 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。(ひとつに○)



将来どの学校まで行きたいと思うかについて、「大学・短期大学」が小学生で 35.2%、中学生で 48.3%と、ともに最も高くなっている。これに続くのが、小学生では「高等学校」が 12.6%、中学生では「専門学校」が 13.0%となっている。

(4) 将来の仕事についての希望

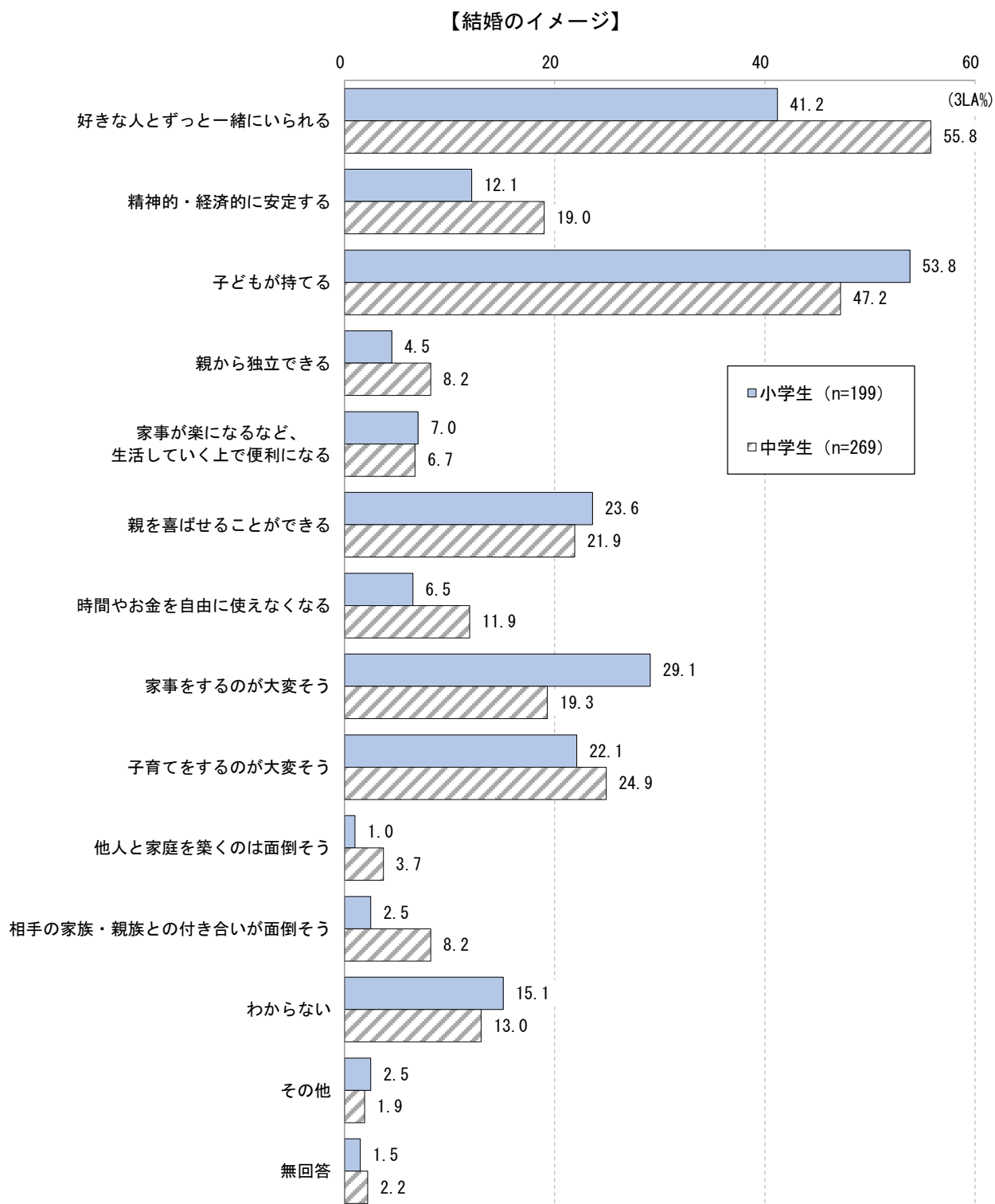
問 34 仕事について将来どのような希望を持っていますか。(あてはまる3つまでに○)



仕事についての将来の希望としては、小学生・中学生ともに「自分の才能を活かせるやりがいのある仕事につきたい」(小学生 69.3%、中学生 75.8%) が最も高く、次いで「安定して働ける仕事につきたい」(小学生 45.7%、中学生 67.3%)、「収入の高い仕事につきたい」(小学生 37.2%、中学生 53.5%) となっている。

(5) 結婚のイメージ

問 35 結婚についてどのようなイメージを持っていますか。(あてはまる3つまでに○)

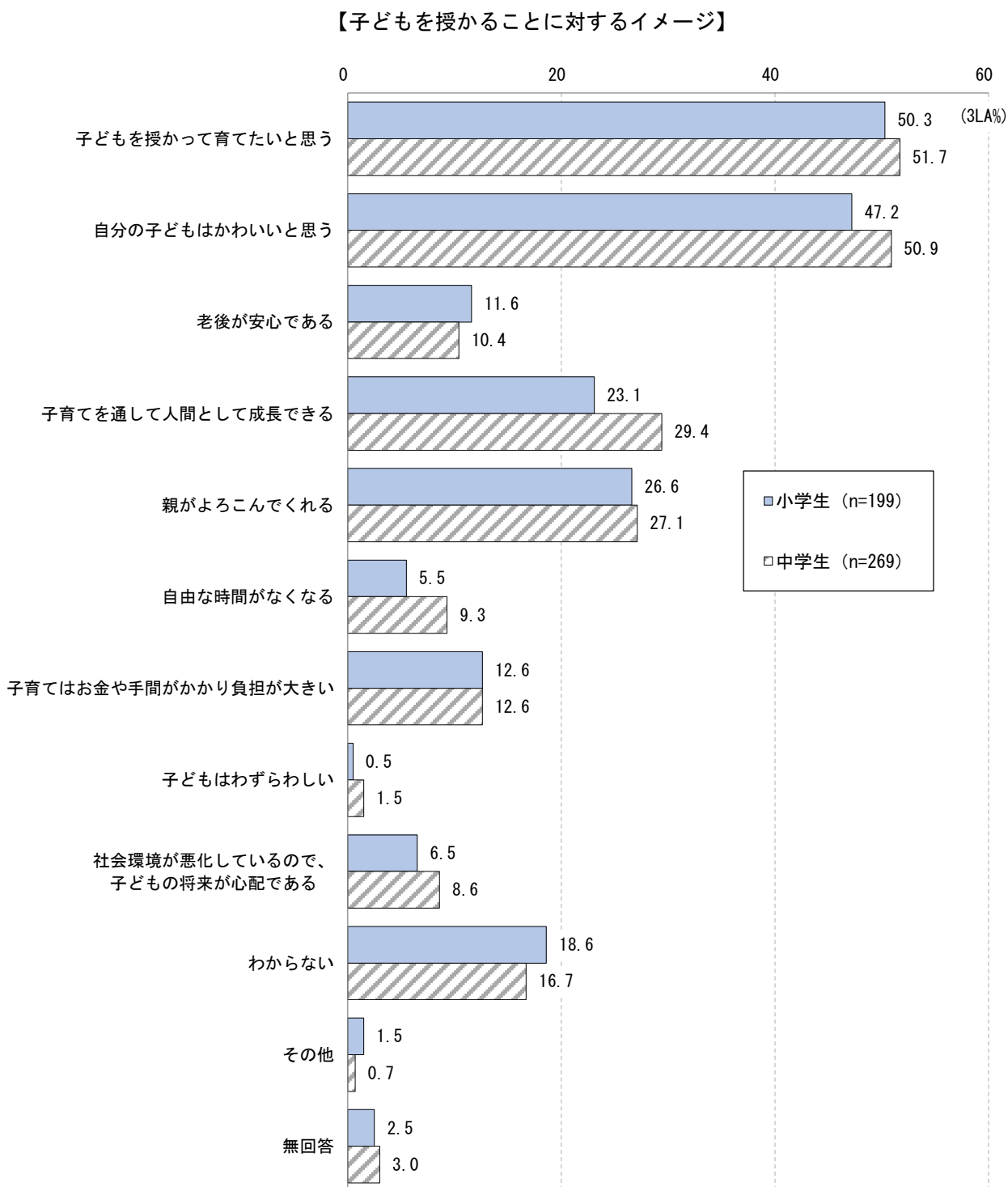


結婚のイメージとして、小学生では、「子どもが持てる」が 53.8%と最も高く、次いで「好きな人とずっと一緒にいられる」が 41.2%、「家事をするのが大変そう」が 29.1%となっている。

中学生では、「好きな人とずっと一緒にいられる」が 55.8%と最も高く、次いで「子どもが持てる」47.2%、「子育てをするのが大変そう」が 24.9%となっている。

(6) 子どもを授かることに対するイメージ

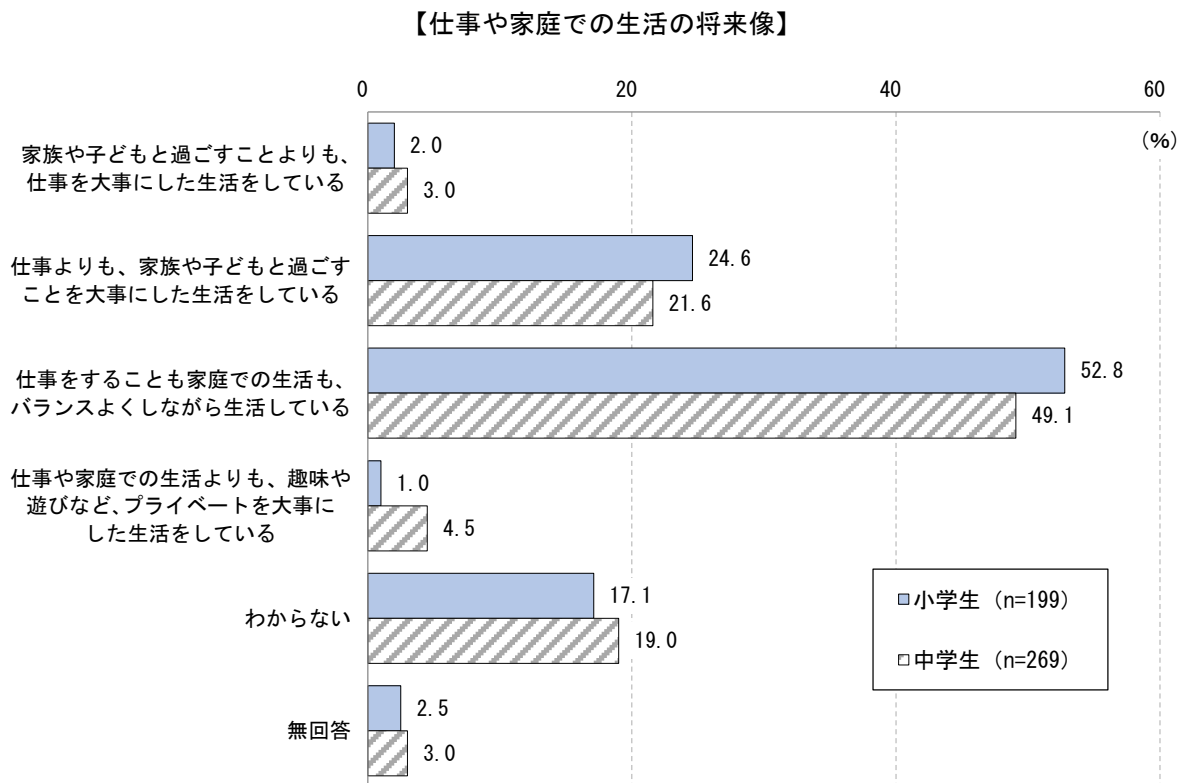
問 36 子どもを授かることにどのようなイメージを持っていますか。(あてはまる3つまでに○)



子どもを授かることに対するイメージとしては、小学生・中学生ともに、「子どもを授かって育てたいと思う」(小学生 50.3%、中学生 51.7%)、「自分の子どもはかわいいと思う」(小学生 47.2%、中学生 50.9%) が5割前後と高くなっている。これに続くのが、小学生では「親がよろこんでくれる」が 26.6%、中学生では「子育てを通して人間として成長できる」が 23.1%となっている。

(7) 仕事や家庭での生活の将来像

問 37 将来のあなたの仕事や家庭での生活を思い浮かべたとき、次のどれが最も近いと思いますか。  
(ひとつに○)



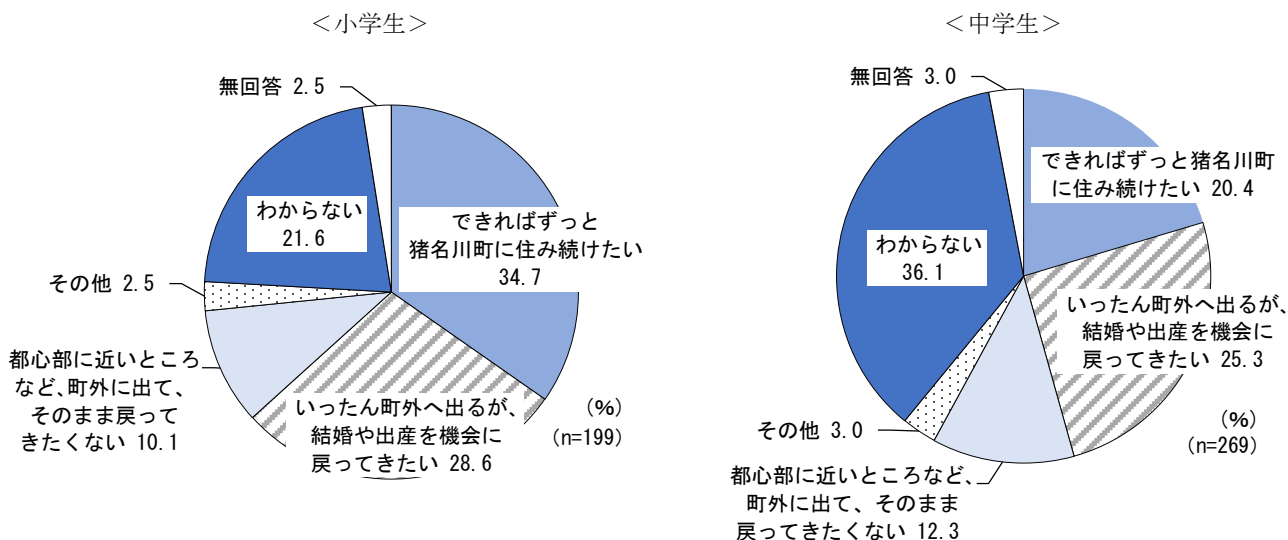
将来の仕事や家庭での生活を思い浮かべたときに最も近いものとしては、小学生・中学生ともに、「仕事をする 것도 家庭での生活も、バランスよくしながら生活している」(小学生 52.8%、中学生 49.1%) が最も高く、次いで「仕事よりも、家族や子どもと過ごすことを大事にした生活をしている」(小学生 24.6%、中学生 21.6%) となっている。

(8) 猪名川町での居留意向

① 居住継続の意向

問 38 あなたはこれからも猪名川町に住みたいと思いますか。(ひとつに○)

【居住継続の意向】



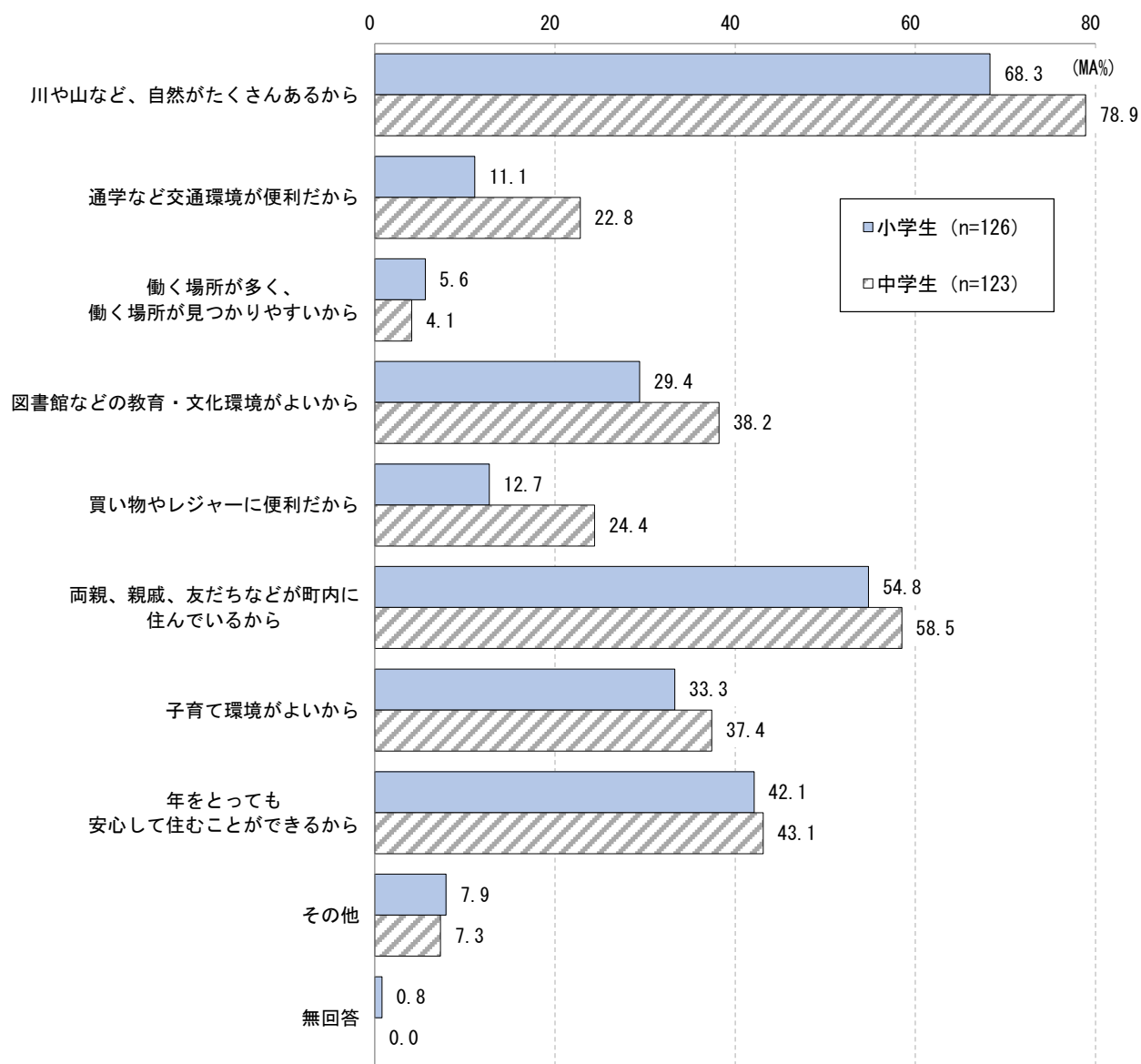
これからも猪名川町に住みたいと思うかについて、小学生では「できればずっと猪名川町に住み続けたい」が34.7%、中学生では「いったん町外へ出るが、結婚や出産を機会に戻ってきたい」が25.3%と、それぞれ最も高くなっている。また、これらを合わせた、猪名川町に住みたいと思う割合は、小学生で6割台(63.3%)を占めるのに対し、中学生では4割台(45.7%)となっている。

②住み続けたいと思う理由

問 38 で「できればずっと猪名川町に住み続けたい」「いったん町外へ出るが、結婚や出産を機会に戻ってきたい」に○をつけた方にうかがいます。

問 38-1 住み続けたいと思う理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

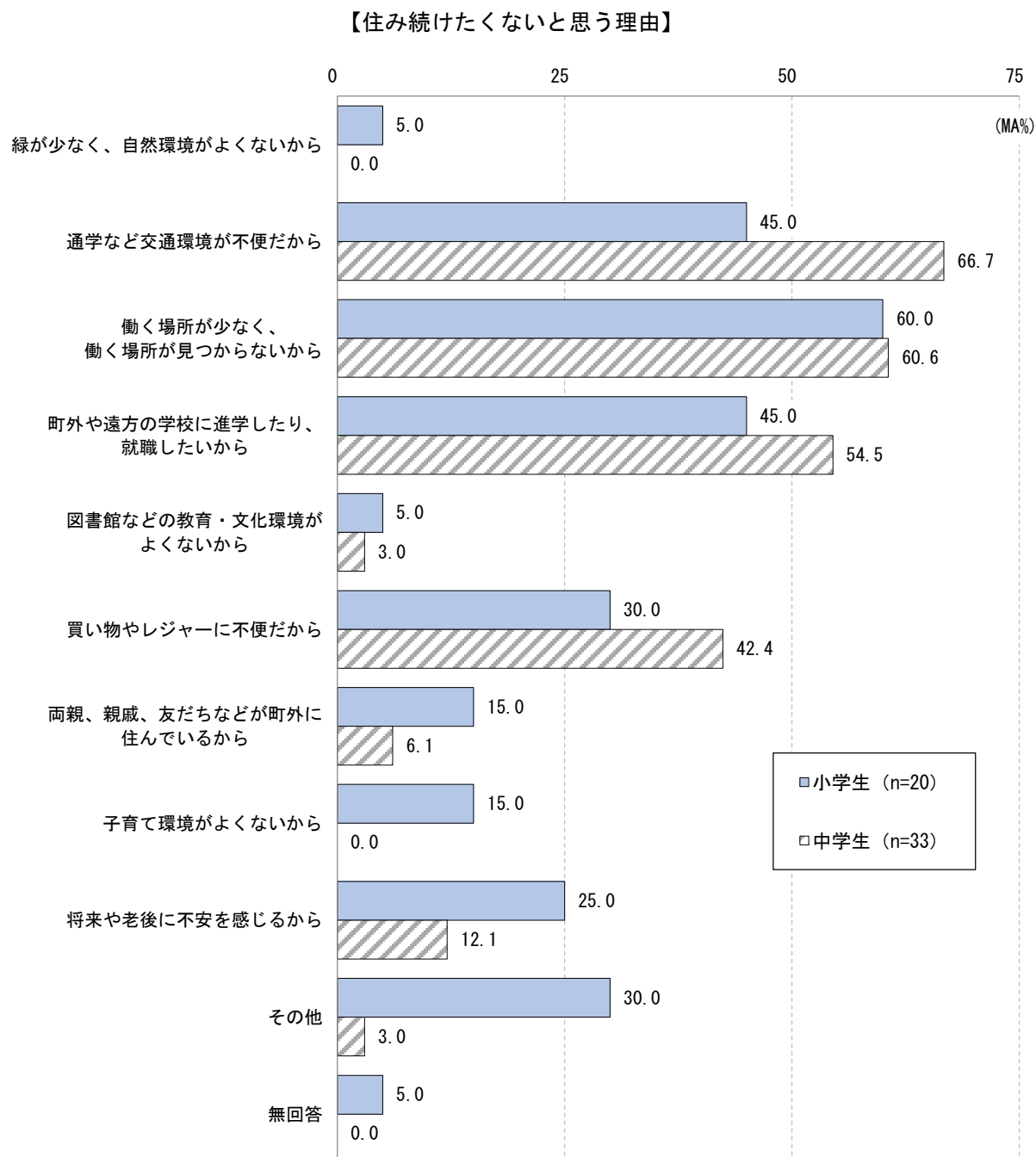
【住み続けたいと思う理由】



これからも猪名川町に住みたいと思うと回答した児童・生徒の理由としては、小学生・中学生ともに、「川や山など、自然がたくさんあるから」(小学生 68.3%、中学生 78.9%) が最も高く、次いで「両親、親戚、友だちなどが町内に住んでいるから」(小学生 54.8%、中学生 58.5%)、「年をとっても安心して住むことができるから」(小学生 42.1%、中学生 43.1%) となっている。

③住み続けたくないと思う理由

問 38 で「都心部に近いところなど、町外へ出て、そのまま戻ってきたくない」に○をつけた方にうかがいます。  
 問 38-2 住み続けたくないと思う理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)



猪名川町に住み続けたいとは思わないと回答した児童・生徒の理由として、小学生では「働く場所が少なく、働く場所が見つからないから」が60.0%、中学生では「通学など交通環境が不便だから」が66.7%と、それぞれ最も高くなっている。



---

---

子育て支援に関するアンケート  
報 告 書

発行 猪名川町 生活部 こども課

〒666-0292

兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑 11-1

電話 072-767-7477

FAX 072-766-8906

---

---

令和元年9月